

教授要目

(令和7年度)

防衛医科大学校
医学教育部医学科

令和7年度 教授要目目次

I	ディプロマポリシー・アドミッションポリシー カリキュラムポリシー 等	1
II	教官配置 教官配置	21
III	学年別開設時間配当表 カリキュラム学年別開設時間配当表 1. 02カリキュラム進学課程 2. 02カリキュラム専門課程	24 25
IV	令和7年度予定表	27
V	令和7年度授業時間表	31
VI	授業科目の要目 VI-I 授業科目要目 1. 進学課程 (1) 一般教育科目 (2) 外国語科目 (3) 保健体育科目 (4) 基礎教育科目 2. 専門課程 VI-II 臨床講義要目 VI-III その他	87 87 115 130 136 151 301 352
VII	モデル・コア・カリキュラム	別示

I 授業科目別

1. 進学課程

(1) 一般教育科目

心理学	-----	87
哲学	-----	89
社会学	-----	91
法学	-----	93
コミュニケーション技法	-----	95
倫理学	-----	97
国語・国文学 I	-----	99
国語・国文学 II	-----	101
数理倫理学	-----	103
史学	-----	104
政治学	-----	105
経済学	-----	106
人文地理	-----	108
教養講座（美術）	-----	110
情報技術	-----	111
医学導入教育	-----	113

(2) 外国語科目

英語 I	-----	115
英語 II	-----	117
実用英語 I（2年）	-----	119
選択外国語		
英 語	-----	121
独 語	-----	123
仏 語	-----	125
中 国 語	-----	127

(3) 保健体育科目

体育倫理・実技（1年・2年・3年）	-----	130
-------------------	-------	-----

(4) 基礎教育科目

数 学	-----	136
物理学	-----	137
化 学	-----	141
生物学	-----	145

2. 専門課程

形態医学系（1年～3年）	151
救急・総合医学系（1年～4年）	172
機能医学系（1年～4年）	190
循環器系（3年）	215
呼吸器系（3年）	219
消化器系（3年）	222
感染症系（2年～4年）	228
免疫・アレルギー・膠原病系（2年・3年）	236
防衛医学系（1年～4年）	242
社会医学系（3年・4年）	256
血液・造血器・リンパ系（3年）	270
神経系（3年）	272
腎尿路系（3年）	275
精神系（3年）	279
生殖器系（4年）	281
内分泌・代謝・成長発育系（3年）	285
感覚器系（4年）	288
運動器系（3年）	294
基本的診療技能実習（4年）	297

II 臨床講義

衛生学・公衆衛生学	301
防衛医学	305
内科学（Ⅰ～Ⅲ）	310
精神科学	317
小児科学	319
外科学（Ⅰ～Ⅲ）	321
脳神経外科学	325
整形外科学	328
皮膚科学	330
泌尿器科学	334
眼科学	336
耳鼻咽喉科学	339
産科婦人科学	342
放射線医学	345
麻酔学	348
救急医学	349
総合臨床医学	350
形成外科学	351

III その他

特別講義	352
卒業生のプロフェッショナリズム：医師の誓いとバイオセキュリティ（6年）	353
研究室配属	355
多職種連携教育（IPE）	362

I ディプロマ・ポリシー、
アドミッション・ポリシー、
カリキュラム・ポリシー 等

教授要目の構成と目的について

教授要目は各学年の開始時に配付されます。その中には各科目の時間割や担当教官のリストだけでなく、本校の教育の基本方針や最終的に修得すべき能力、それらを各学年においてどの科目で修得していくかのロードマップが示されています。

教育機関、とくに医学部は国から多くの助成を受け、学生数あたりの教員数も多く、大学病院の患者さんにも教育への協力を求めるなど、多くのリソース（人材、設備、資金、労力）をかけて運営されています。従って社会に対してどのような人材を供給するかを示し（卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー））、それを実現していく責務を負っているのです。すなわち、卒業する学生が備えているはずの資質（卒業時コンピテンシー）、どのような学生を入学させて（入校者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー））、その学生に対してどのような段階を経てそれらの資質を身につけさせるか（教育方針（カリキュラム・ポリシー））を明らかにして、それをより高いレベルで実現するために教育を改善していかなければなりません。

これらは大学ごとに勝手に決めて良いものではありません。どの大学においても教育すべき項目が医学教育モデル・コア・カリキュラムとして定められています。その概要に、大学独自の特徴的な教育によって身につけるべき項目を加えたものが、卒業時コンピテンシーとなります。なお、令和4年度に、医学教育モデル・コア・カリキュラムの大幅な改訂が行われました。これに伴い、今年度の教授要目では、各種ポリシーおよび卒業時コンピテンシーが改訂されています。

学生諸君は各学年の最初に卒業時コンピテンシーを確認して下さい。低学年のうちは何を言っているのかよく分からない項目もあるでしょう。しかし学年を経るごとにそれらの具体的なイメージがつくられ、自分がそこに近づいているかどうか確認できるようになるでしょう。教授要目は単に時間割を確認するための表を綴じたものではなく、自らの学習のプロセスを折に触れて確認し、必要なら勉強の内容や方法を変えていくための道しるべだと理解してください。

卒業する際にはこれらのコンピテンシー（なにができるようになったか）を自己評価していただきます。その時になって、同級生に遅れをとっていることに気がつくことがないよう、自らの学習過程を意識して6年間を過ごすようにしてください。

卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）

防衛医科大学校医学教育部医学科は、医師である幹部自衛官となる者を養成することを目的とする。そのために、本校所定の課程を修了し、（１）医師としてのプロフェッショナリズムを身につけ、（２）基盤的臨床能力と（３）基礎的研究能力をもち、（４）医師である幹部自衛官としての資質を備え、（５）国際社会で活動するための基本的能力をもつ者に卒業を認める。

卒業時コンピテンシー

1 医師としてのプロフェッショナリズム

1.1 【知識】 医師としてのプロフェッショナリズムの基本事項を説明できる。

- 1.1.1 医師としての患者への責任を説明できる。
- 1.1.2 医師である幹部自衛官として、自衛隊を含む社会に対する責任を説明できる。
- 1.1.3 医師としての医療チームへの関わりを説明できる。
- 1.1.4 医師としての倫理的側面を説明できる。

1.2 【技能】 患者に対し最善の治療を行うための基本部分と生涯にわたって自律的に学ぶ方法を修得する。

- 1.2.1 常に自律的に最新の医学知識を学び、患者ごとに、科学的で適切な治療を選択できる。
- 1.2.2 診断結果、治療に対し、患者の理解を得られる説明ができる。
- 1.2.3 治療の基本部分に関して、適切な手技を行うことができる。

1.3 【態度】 患者、家族、自衛隊を含む社会、医療関係者との関係において、誠実な態度、責任ある正直な行動を取り、信頼を得られるよう医療関係者と共に自己研鑽することができる。

- 1.3.1 自分の態度、行動の責任を自分でとることができる。
- 1.3.2 自分と患者との関係は、患者家族や自衛隊を含む社会とも関わりがあることを理解して、誠実な態度で患者に接することができる。
- 1.3.3 患者や家族、社会を欺くことをせず、正直に行動することができる。
- 1.3.4 患者、家族、自衛隊を含む社会、医療関係者からの信頼を得られるように医療関係者とともに自己研鑽することが出来る。

2 基盤的臨床能力

2.1 【知識】 根拠に基づいた疾病の診断や治療、医療に必要な情報・科学技術および医療安全についての基礎的知識を修得し、それらを健康増進、予防に応用する方法を知る。

- 2.1.1 主要な疾患の概念を説明できる。
- 2.1.2 主要な疾患の根拠に基づいた診断方法について説明できる。
- 2.1.3 主要な疾患の根拠に基づいた治療方法について説明できる。
- 2.1.4 予防医学の観点から疾患を考えることができる。

- 2.1.5 医療に必要な情報・科学技術について説明できる。
- 2.1.6 医療安全について説明できる。

2.2 【技能】初期臨床研修に必要な疾病の診断や治療、情報・科学技術および医療安全の基本的技能を修得する。

- 2.2.1 医療面接を行うことができる。
- 2.2.2 身体診察を行い、その結果を解釈できる。
- 2.2.3 基本的な臨床検査の結果を解釈できる。
- 2.2.4 基本的な画像検査を読み取ることができる。
- 2.2.5 得られた臨床情報を総合的に解釈できる。
- 2.2.6 患者の問題点を抽出し解決方法を考えることができる。
- 2.2.7 広く医療情報を収集吟味し、実際の患者に応用する方法を説明できる。
- 2.2.8 学生に許容される医行為の基本を実践できる。
- 2.2.9 医療における情報・科学技術の基本的技能を実践できる。
- 2.2.10 医療安全の基本的技能を実践できる。

2.3 【態度】臨床医としての倫理および医療における情報・科学技術利用のための倫理を理解し、総合的な医療に配慮することができる。

- 2.3.1 臨床医としての倫理を理解し、態度に示すことができる。
- 2.3.2 患者の社会的な背景の理解に努め、患者のニーズに柔軟に対応できる。
- 2.3.3 患者と適切なコミュニケーションを構築できる。
- 2.3.4 医療チームの一員として他職種と良好な関係を維持できる。
- 2.3.5 医療における情報・科学技術利用のための倫理を理解し、配慮できる。
- 2.3.6 患者安全に配慮できる。

3 基礎的研究能力

3.1 【知識】医学研究に必要な基本的事項について説明できる。

- 3.1.1 生命科学倫理の歴史と現在の制度についての基本的事項を説明できる。
- 3.1.2 生命科学研究に必要な物理学・化学・生物学・統計学の基本的事項を説明できる。
- 3.1.3 各器官系における正常の構造と機能の概要を説明できる。
- 3.1.4 各器官系に関連する疾患を列挙し、その病態生理の概要を説明できる。
- 3.1.5 医学研究に必要な情報・科学技術について説明できる。

3.2 【技能】医学研究に必要な基本的技能を修得し、研究内容を論理的に表現できる。

- 3.2.1 与えられた研究課題の意義を説明できる。
- 3.2.2 研究に必要な情報を外国語も含めて探索し、概要を説明できる。
- 3.2.3 研究方法の妥当性を説明できる。
- 3.2.4 生命科学に必要な基本的実験操作ができる。
- 3.2.5 実験結果、調査結果の妥当性を評価できる。
- 3.2.6 結果から結論を導く過程を論理的に表現できる。
- 3.2.7 医学研究における情報・科学技術の基本的技能を実践できる。

3.3 【態度】経験した現象に疑問を持ち、論理的に考え、倫理的に適切な行動をとることができる。

- 3.3.1 科学的な分析や推論の重要性について認識し、エビデンスに基づいて判断できる。
- 3.3.2 倫理が研究の一部であると認識し、倫理的に適切な方法を選択できる。

4 医師である幹部自衛官としての資質

4.1 【知識】医師である幹部自衛官として必要な人格及び識見の概要について説明できる。

- 4.1.1 自衛隊の任務の概要について説明できる。
- 4.1.2 自衛隊の組織の概要について説明できる。
- 4.1.3 自衛隊の訓練並びに業務の概要を例示できる。
- 4.1.4 学生舎生活での規律について説明できる。
- 4.1.5 リーダーシップについて例示できる。
- 4.1.6 防衛医学について説明できる。

4.2 【技能】医師である幹部自衛官として必要な基礎的な訓練要項について錬成し、医師である幹部自衛官としての職責を理解してこれに適応できる。

- 4.2.1 規律ある団体生活を送ることができる。
- 4.2.2 医官として部隊を指揮し、基本的業務を処理することができる。
- 4.2.3 戦傷医療対処に関する基本的技能を実践できる。

4.3 【態度】団体生活のなかで自主的精神、規律ある態度及び責任感をもって行動できる。

- 4.3.1 将来医師である幹部自衛官として国防に任ずる重大な使命を自覚し、常に学生としての誇りを持ち、その本分とする学業に励み、規律ある団体生活を送るよう心がけるとともに、良き伝統の育成に努めることができる。

5 国際社会で活動するための基本的能力

5.1 【知識】グローバルな医療支援活動をするために必要な基本的事項について説明できる。

- 5.1.1 国際貢献活動における枠組みや関与する国際機関について概要を説明できる。
- 5.1.2 国際貢献活動において遵守すべき国際法について概要を説明できる。
- 5.1.3 医療資源の低充足環境で主体的に問題を解決していく姿勢を示すことができる。
- 5.1.4 我が国や他国・地域の文化・社会制度の特徴や違いについて説明できる。

5.2 【技能】活動する地域の環境や異文化にも適応できる能力の基盤を有する。

- 5.2.1 活動する地域の人々と基本的コミュニケーションができる。
- 5.2.2 患者及び医療者と外国語を用いた基本的コミュニケーションができる。

5.3 【態度】異なる文化や習俗を尊重できる。

- 5.3.1 異文化交流を積極的に行う姿勢を示すことができる。
- 5.3.2 国際的に協調的な対応が必要とされる傷病について関心を払うことができる。
- 5.3.3 異なる文化的背景をもつ人の価値観・社会観について尊重できる。
- 5.3.4 被支援者のみならず支援者側についてのケアにも配慮することができる。

入校者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

防衛医科大学校医学教育部医学科は、医師である幹部自衛官となるべき者に対して、各種事態への対処や国内外における多様な任務に対応し得るための教育訓練をつかさどる防衛省の教育機関として、以下のような人材を求めます。

- 1 本校の設立目的を十分に理解し、我が国の平和と安全、国民の生命と幸せな暮らしを守り、自衛隊員の健康を維持し、生命を救う自衛隊医官としての志をもち、高い倫理観と健康な身体を有する者
- 2 規律ある団体生活を通してコミュニケーション能力と協調性を高め、将来、自衛隊の医療や防衛医学研究の分野において指導的役割を担うために、他者を尊重しつつ自らの行動を律することができる者
- 3 幅広い国際的な視野をもち、自衛隊が国内外において要請される多様な活動を遂行するために必要な教養、医学・医療に関する専門的知識・技能を主体的、積極的に修得しようとする者

教育方針（カリキュラム・ポリシー）

防衛医科大学校医学教育部医学科は卒業時コンピテンシー修得のために、次の方針でカリキュラムを編成している。

カリキュラムは進学課程、専門課程、訓練課程からなる。

第1学年：進学課程、専門課程および訓練課程を中心に修得する。進学課程のうち、人文・社会科学系の学科目では、医師としてのプロフェッショナリズムと国際社会で活動するための基本的能力の基盤を、自然科学系の学科目では、自然の諸法則を探求できる基礎的研究能力を涵養する。また、専門課程は基礎医学を中心とし、学体系に基づくカリキュラムによって医学的なものの考え方を修得する。これにより、基礎的研究能力とは何かを知り、医師としてのプロフェッショナリズムを学ぶとともに、医学導入教育、病院体験実習および多職種連携教育を併せて行うことにより、基盤的臨床能力を修得するための準備を行う。医師である幹部自衛官に必要な医学知識を修得するために防衛医学の学修を開始する。訓練課程では訓育、教練、部隊研修等を通じて幹部自衛官としての資質を培い、併せて国際社会で活動するための基本的能力を養う。

第2学年：専門課程と訓練課程を中心に修得する。専門課程は前期では、学体系に基づくカリキュラムによって医学的なものの考え方を修得する。後期では器官系別のカリキュラムに移行し、疾患の病態と診断・治療について学修する。これにより、基礎的研究能力とは何かを知り、医師としてのプロフェッショナリズムを学ぶとともに、基盤的臨床能力の修得を開始する。器官系別のカリキュラムの冒頭を基礎講座が担当するなど、学体系に基づくカリキュラムからの移行を容易にしている。

第3学年：引き続き専門課程と訓練課程を中心に修得する。専門課程の器官系別のカリキュラムでは、引き続き疾患の病態と診断・治療について学修する。これにより基礎的研究能力を養い、予防医学の概念や基盤的臨床能力を修得し、医師としてのプロフェッショナリズムを学ぶ。

第4学年：8月までは引き続き専門課程の器官系別カリキュラムを中心に学修する。9月と10月に共用試験（CBT・OSCE）を受験し、その後実施される研究室配属では研究の実際に触れることで実証的な考え方を学び、基礎的研究能力をさらに向上させる。11月から開始される診療科別の臨床実習では、診療参加

を通して医療の現場で実際の症例によって、基盤的臨床能力を修得し、医師としてのプロフェッショナリズムを向上させる。

第5学年：通年で臨床実習を行い、基盤的臨床能力をさらに向上させる。また、多職種連携教育を併せて行うことにより、医師としてのプロフェッショナリズムのさらなる向上を進める。

第6学年：引き続き前半は臨床実習を行い、基盤的臨床能力と医師としてのプロフェッショナリズムを充実させる。その後総合試験の準備を行い知識と技能の再確認を進める。

進学課程と専門課程は上記の学年配分を原則としつつ、必要に応じて前後の学年にも時間を配分することにより、早期の体験によって学修意欲を高め、高学年への継続によってさらに高度な内容の修得を可能にしている。特に、防衛医学および訓練課程は6年間を通じて履修する。

到達度の評価：学生の到達度の評価は、各科目で適宜実施する形成的評価を経て、定期試験による総括的評価が行われ、進級判定がなされる。第1学年・3学年は前期及び後期の定期試験から、第2学年は前期及び後期の定期試験と総合試験からなる。第4学年は9月の定期試験と9月と10月の共用試験（CBT・OSCE）からなる。第5学年は8月と2月に進級試験が行われる。第6学年は臨床実習での各科の評価、共用試験（OSCE）及び8月と12月の総合試験に基づき卒業判定がなされる。

※CBT（Computer Based Testing）：コンピューターを使用した試験方式

※OSCE（Objective Structured Clinical Examination）：客観的臨床能力試験

項目	課程、各科目等	責任者	学年	進学課程																					
				一般教育科目													外国語科目								
				心理学	哲学	倫理学	史学	国語・国文学 I	国語・国文学 II	社会学	政治学	法学	経済学	人文地理	教養講座(美術)	コミュニケーション技法	数理論理学	情報技術	医学導入教育	英語 I	英語 II	実用英語 I			
				佐藤 豊 講師	宮岸 雄介 講師	大井 賢一 (非常勤) 講師	澤元 (非常勤) 講師	伴野 英一 講師			金子 雅彦 准教授	中野 克博 (非常勤) 講師	児玉 俊介 (非常勤) 講師	平川 亨 (非常勤) 講師	近藤 隼次 (非常勤) 講師	伴野 英一 講師	中村 好宏 教授	石原 美弥 教授	栗原 勲 教授	矢口 朱美 准教授	矢口 朱美 准教授	矢口 朱美 准教授			
				1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2		
1 医師としてのプロフェッショナリズム	1.1 知識	医師としての患者への責任を説明できる。																							
		医師である幹部自衛官として、自衛隊を含む社会に対する責任を説明できる。																							
		医師としての医療チームへの関わりを説明できる。																							
		医師としての倫理的側面を説明できる。																							
	1.2 技能	患者に対し最善の治療を行うための基本部分と生誕にわたって自律的に学ぶ方法を修得する。																							
		診断結果、治療に対し、患者の理解を得られる説明ができる。																							
		治療の基本部分に関して、適切な手技を行うことができる。																							
	1.3 態度	患者、家族、自衛隊を含む社会、医療関係者との関係において、誠実な態度、責任ある正直な行動を取り、信頼を得られるよう医療関係者と共に自己研鑽することができる。																							
		自分の態度、行動の責任を自分でとることができる。																							
		自分と患者との関係は、患者家族や自衛隊を含む社会とも関わっており、誠実な態度で患者に接することができる。																							
		患者や家族、社会と関わり、信頼を得られるよう行動することができる。																							
	2.1 知識	根拠に基づいた疾病の診断や治療、医療に必要な情報・科学技術および医療安全についての基礎的知識を修得し、それらを健康増進、予防に応用する方法を知る。																							
主要な疾患の概念を説明できる。																									
主要な疾患の根拠に基づいた診断方法について説明できる。																									
主要な疾患の根拠に基づいた治療方法について説明できる。																									
予防医学の観点から疾患を考慮することができる。																									
医療に必要な情報・科学技術について説明できる。																									
2.2 技能	初期臨床研修に必要な疾病の診断や治療、情報・科学技術および医療安全の基本的技能を修得する。																								
	医療面接を行うことができる。																								
	身体診察を行い、その結果を解釈できる。																								
	基本的な臨床検査の結果を解釈できる。																								
	基本的な画像検査を読み取ることができる。																								
	得られた臨床情報を総合的に解釈できる。																								
	患者の問題点を抽出し解決方法を考えることができる。																								
	広く医療情報を収集的試し、実際の患者に応用する方法を説明できる。																								
	学生に許容される医行為の基本を実践できる。																								
	医療における情報・科学技術の基本的技能を実践できる。																								
2.3 態度	臨床医としての倫理を理解し、態度に示すことができる。																								
	患者の社会的背景の理解に努め、患者のニーズに柔軟に対応できる。																								
	患者と適切なコミュニケーションを構築できる。																								
	医療チームの一員として他職種と良好な関係を維持できる。																								
	医療における情報・科学技術利用のための倫理を理解し、配慮できる。																								
	患者安全に配慮できる。																								

項目		課程、各科目等	責任者	学年	進学課程																				
					一般教育科目												外国語科目								
					心理学	哲学	倫理学	史学	国語・国文学 I	国語・国文学 II	社会学	政治学	法学	経済学	人文地理	教養講座(美術)	コミュニケーション技法	数理論理学	情報技術	医学導入教育	英語 I	英語 II	実用英語 I		
			佐藤 豊 講師	宮岸 雄介 講師	大井 賢一 (非常勤) 講師	澤元 (非常勤) 講師	伴野 英一 講師		金子 雅彦 准教授		中野 克博 (非常勤) 講師	児玉 俊介 (非常勤) 講師	平川 亨 (非常勤) 講師	近藤 隼次 (非常勤) 講師	伴野 英一 講師	中村 好宏 教授	石原 美弥 教授	栗原 勲 教授	矢口 朱美 准教授	矢口 朱美 准教授	矢口 朱美 准教授				
			1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2			
3	基礎的研究能力	3.1 知識 医学研究に必要な基本的事項について説明できる。	3.1.1 生命科学の歴史と現在の制度についての基本的事項を説明できる。		○				○						○		○								
			3.1.2 生命科学に必要な物理学・化学・生物学・統計学の基本的事項を説明できる。														○	○							
			3.1.3 各器官系における正常の構造と機能の概要を説明できる。																						
			3.1.4 各器官系に関連する疾患を列挙し、その病理生理の概要を説明できる。																						
			3.1.5 医学研究に必要な情報・科学技術について説明できる。															○	○						
	3.2 技能 医学研究に必要な基本的能力を修得し、研究内容を論理的に表現できる。	3.2.1 与えられた研究課題の意義を説明できる。		○			○	○								○		○							
		3.2.2 研究に必要な情報を外国語も含めて探査し、概要を説明できる。		○			○									○		○			○	○	○		
		3.2.3 研究方法の妥当性を説明できる。		○			○	○								○		○							
		3.2.4 生命科学に必要な基本的実験操作ができる。																○							
		3.2.5 実験結果、調査結果の妥当性を評価できる。						○								○		○							
3.3 態度 経験した現象に疑問を持ち、論理的に考え、倫理的に適切な行動をとることができる。	3.3.1 科学的な分析や推論の重要性について認識し、エビデンスに基づいて判断できる。		○			○	○					○			○		○			○	○	○			
	3.3.2 倫理が研究の一部であると認識し、倫理的に適切な方法を選択できる。		○	○			○	○		○					○		○								
4	4.1 知識 医師である幹部自衛官として必要な知識及び職業の概要について説明できる。	4.1.1 自衛隊の任務の概要について説明できる。					○								○			○							
		4.1.2 自衛隊の組織の概要について説明できる。																							
		4.1.3 自衛隊の訓練並びに業務の概要を例示できる。																							
		4.1.4 学生生活での規律について説明できる。																							
		4.1.5 リーダーシップについて例示できる。	○					○								○		○							
	4.1.6 防衛医学について説明できる。																	○							
	4.2 技能 医師である幹部自衛官としての職務を理解してこれに適切に対応できる。	4.2.1 規律ある団体生活を送ることができる。																○							
4.2.2 医師として部隊を指揮し、基本的業務を処理することができる。																									
4.3 態度 団体生活のなかで自主的精神、規律ある態度及び責任感をもって行動できる。	4.3.1 将来医師である幹部自衛官として国防に任ずる重大な使命を自覚し、常に学生としての誇りを持ち、その本分とする学業に励み、規律ある団体生活を送るよう心がけるとともに、良き伝統の育成に努めることができる。																								
	4.3.2 将来医師である幹部自衛官として国防に任ずる重大な使命を自覚し、常に学生としての誇りを持ち、その本分とする学業に励み、規律ある団体生活を送るよう心がけるとともに、良き伝統の育成に努めることができる。																								
5	5.1 知識 グローバルな医療支援活動をするために必要な基本的事項について説明できる。	5.1.1 国際貢献活動における枠組みや関与する国際機関について概要を説明できる。								○															
		5.1.2 国際貢献活動において遵守すべき国際法について概要を説明できる。								○															
		5.1.3 医療資源の低充足環境で主体的に問題を解決していく姿勢を示すことができる。																							
		5.1.4 我が国や他国・地域の文化・社会制度の特徴や違いについて説明できる。		○			○		○	○	○	○			○							○			
	5.2 技能 活動する地域の環境や異文化にも対応できる能力の基盤を有する。	5.2.1 活動する地域の人々と基本的コミュニケーションができる。		○			○	○						○	○		○				○	○	○		
		5.2.2 患者及び医療者と外国語を用いた基本的コミュニケーションができる。																○			○	○	○		
	5.3 態度 異なる文化や習俗を尊重できる。	5.3.1 異文化交流を積極的に行う姿勢を示すことができる。		○			○	○							○						○	○	○		
5.3.2 国際的に協調的な対応が必要とされる場面について関心を払うことができる。													○		○					○	○	○			
5.3.3 異なる文化的背景をもつ人の価値観・社会観について尊重できる。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5.3.4 被支援者のみならず支援者側についてのケアにも配慮することができる。																	○								

項目	課程、各科目等	責任者	学年	進学課程										訓練課程														
				外国語科目				保健体育科目			基礎教育科目			訓練課程														
				選択外国語(英語)	選択外国語(独語)	選択外国語(仏語)	選択外国語(中国語)	体育理論・実技	数学	物理学	化学	生物学	訓育			基本教練			部隊実習									
矢口 朱美 准教授	長田 浩 准教授	古谷 佐世子 (非常勤) 講師	宮岸 雄介 講師	廣瀬 かほる 講師	中村 好宏 教授	金長 正彦 講師	武井 史恵 准教授	野口 立彦 教授	学生部			学生部			学生部													
				1	2	3	1	1	1	1	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	4	5	6			
1 医師としてのプロフェッションナリズム	1.1 知識	1.1.1 医師としての患者への責任を説明できる。																										
		1.1.2 医師である幹部自衛官として、自衛隊を含む社会に対する責任を説明できる。																										
		1.1.3 医師としての医療チームへの関わりを説明できる。																										
		1.1.4 医師としての倫理的側面を説明できる。																										
	1.2 技能	1.2.1 患者に対し最善の治療を行うための基本部分と生涯にわたって自律的に学ぶ方法を修得する。																										
		1.2.2 診断結果、治療に対し、患者の理解を得られる説明ができる。																										
		1.2.3 治療の基本部分に関して、適切な手技を行うことができる。																										
	1.3 態度	1.3.1 患者、家族、自衛隊を含む社会、医療関係者との関係において、誠実な態度、責任ある正直な行動を取り、信頼を得られるよう医療関係者と共に自己研鑽することができる。																										
		1.3.2 自分と患者との関係は、患者家族や自衛隊を含む社会とも関わっていることを理解し、誠実な態度で患者に接することができる。																										
		1.3.3 患者や家族、社会を欺くことをせず、正直に行動することができる。																										
		1.3.4 患者、家族、自衛隊を含む社会、医療関係者からの信頼を得られるように医療関係者とともに自己研鑽することができる。																										
	2 基礎的臨床能力	2.1 知識	2.1.1 主要な疾患の概念を説明できる。																									
2.1.2 主要な疾患の根拠に基づいた診断方法について説明できる。																												
2.1.3 主要な疾患の根拠に基づいた治療方法について説明できる。																												
2.1.4 予防医学の観点から疾患を考慮することができる。																												
2.1.5 医療に必要な情報・科学技術について説明できる。																												
2.1.6 医療安全について説明できる。																												
2.2 技能		2.2.1 医療面接を行うことができる。																										
		2.2.2 身体診察を行い、その結果を解釈できる。																										
		2.2.3 基本的な臨床検査の結果を解釈できる。																										
		2.2.4 基本的な画像検査を読み取ることができる。																										
		2.2.5 得られた臨床情報を総合的に解釈できる。																										
		2.2.6 患者の問題点を抽出し解決方法を考えることができる。																										
2.3 態度	2.2.7 広(医療情報を収集・吟味し、実際の患者に適用する方法を説明できる。																											
	2.2.8 学生に許容される医行為の基本を実践できる。																											
	2.2.9 医療における情報・科学技術の基本的技能を実践できる。																											
	2.2.10 医療安全の基本的技能を実践できる。																											
	2.3.1 臨床医としての倫理を理解し、態度に示すことができる。																											
	2.3.2 患者の社会的な背景の理解に努め、患者のニーズに柔軟に対応できる。																											
2.3 態度	2.3.3 患者と適切なコミュニケーションを構築できる。																											
	2.3.4 医療チームの一員として他職種と良好な関係を維持できる。																											
	2.3.5 医療における情報・科学技術利用のための倫理を理解し、配慮することができる。																											
	2.3.6 患者安全に配慮できる。																											

項目	課程、各科目等	責任者	学年	進学課程								訓練課程														
				外国語科目				保健体育科目		基礎教育科目		訓練課程														
				選択外国語(英語)	選択外国語(独語)	選択外国語(仏語)	選択外国語(中国語)	体育理論・実技	数学	物理学	化学	生物学	訓育						基本教練			部隊実習				
矢口 朱美 准教授	長田 浩 准教授	古谷(非常勤) 佐世子 講師	富岸 雄介 講師	廣瀬 かほる 講師	中村 好宏 教授	金長 正彦 講師	武井 史恵 准教授	野口 立彦 教授	学生部						学生部			学生部								
				1	2	3	1	1	1	1	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	4	6		
3	3.1 知識	3.1.1 生命科学の歴史と現在の制度についての基本的事項を説明できる。																								
		3.1.2 生命科学研究に必要な物理学・化学・生物学・統計学の基本的事項を説明できる。																								
		3.1.3 各器官系における正常の構造と機能の概要を説明できる。																								
		3.1.4 各器官系に関連する疾患を列挙し、その病態生理の概要を説明できる。																								
		3.1.5 医学研究に必要な情報・科学技術について説明できる。																								
		3.2 技能	3.2.1 与えられた研究課題の意義を説明できる。																							
	3.2 技能	3.2.2 研究に必要な情報を外国語も含めて探索し、概要を説明できる。																								
	3.2 技能	3.2.3 研究方法の妥当性を説明できる。																								
	3.2 技能	3.2.4 生命科学に必要な基本的実験操作ができる。																								
	3.2 技能	3.2.5 実験結果、調査結果の妥当性を評価できる。																								
	3.2 技能	3.2.6 結果から結論を導く過程を論理的に表現できる。																								
	3.2 技能	3.2.7 医学研究における情報・科学技術の基本的技能を実践できる。																								
3.3 態度	3.3.1 科学的な分析や推論の重要性に疑問を持たず、論理的に考え、倫理的に適切な行動をとることができる。																									
	3.3.2 倫理が研究の一部であると認識し、倫理的に適切な方法を選択できる。																									
4	4.1 知識	4.1.1 自衛隊の任務の概要について説明できる。																								
		4.1.2 自衛隊の組織の概要について説明できる。																								
		4.1.3 自衛隊の訓練並びに業務の概要を例示できる。																								
		4.1.4 学生生活での規律について説明できる。																								
		4.1.5 リーダーシップについて例示できる。																								
		4.1.6 防衛医学について説明できる。																								
4.2 技能	4.2.1 医師である幹部自衛官として必要な基礎的な訓練事項について理解し、医師である幹部自衛官としての職責を理解してこれに適切に対応できる。																									
	4.2.2 医師として部隊を指揮し、基本的業務を処理することができる。																									
	4.2.3 戦傷医療対応に関する基本的技能を実践できる。																									
4.3 態度	4.3.1 団体生活のなかで自主的精神、規律ある態度及び責任感をもって行動できる。																									
	4.3.2 将来医師である幹部自衛官として国防に任ずる重大な使命を自覚し、常に学生としての誇りを持ち、その本分とする学業に励み、規律ある団体生活を送るよう心がけるとともに、良き伝統の育成に努めることができる。																									
5	5.1 知識	5.1.1 国際貢献活動における仲間みや隣国との関係について概要を説明できる。																								
		5.1.2 国際貢献活動において遵守すべき国際法について概要を説明できる。																								
		5.1.3 医療資源の低充足環境で主体的に問題を解決していく姿勢を示すことができる。																								
	5.2 技能	5.2.1 我が国や他国・地域の文化・社会制度の特徴や違いについて説明できる。																								
		5.2.2 活動する地域の人々と基本的コミュニケーションができる。																								
		5.2.3 患者及び医療者と外国語を用いた基本的コミュニケーションができる。																								
5.3 態度	5.3.1 異文化交流を積極的に行う姿勢を示すことができる。																									
	5.3.2 国際的に協調的な対応が必要とされる場面について関心を払うことができる。																									
5.3 態度	5.3.3 異なる文化的背景をもつ人の価値観・社会観について尊重できる。																									
	5.3.4 被支援者のみならず支援者側についてのケアにも配慮することができる。																									

項目	課程、各科目等	社会医学系										形態医学系										血液・造血器・リンパ系	神経系	感覚器系	運動器系	循環器系
		衛生学	衛生学実習	公衆衛生学	公衆衛生学実習	統計学	法医学	医療倫理	解剖学(解剖学実習・運動器学実習)	解剖学(解剖学実習)	組織学(組織学実習)	細胞組織学(細胞組織学実習)	発生学	病理学総論	病理学各論	形態病理・症例検討	形態放射線									
		角田 正史 教授				中村 好宏 教授	金武 潤 教授	大井 賢一 (非常勤) 講師	西井 清雅 教授	伊藤 正孝 教授	西井 清雅 教授	西井 清雅 教授		松熊 仁晋 教授	野崎 太希 教授	小林 真一 教授	和田 孝次郎 教授	竹内 大 教授	堀内 圭輔 教授	足立 健 教授						
3	3	3	3	4	3	4	1	2	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	3	3						
1 医師としてのプロフェッショナリズム	1.1 知識	1.1.1 医師としての患者への責任を説明できる。	○	○			○	○													○		○			
		1.1.2 医師である幹部自衛官として、自衛隊を営む社会に対する責任を説明できる。	○	○				○	○															○		
		1.1.3 医師としての医療チームへの関わりを説明できる。			○			○	○														○	○		
		1.1.4 医師としての倫理的側面を説明できる。			○			○	○		○												○	○		
	1.2 技能	1.2.1 常に自律的に最新の医学知識を学び、患者ごとに、科学的で適切な治療を選択できる。			○																		○	○		
		1.2.2 診断結果、治療に対し、患者の理解を得られる説明ができる。						○															○	○		
		1.2.3 治療の基本部分に関して、適切な手技を行うことができる。																						○		
	1.3 態度	1.3.1 自分と患者との関係は、患者家族や自衛隊を含む社会、医療関係者との関係において、誠実な態度、責任ある正直な行動を取ることができる。		○		○		○	○		○												○	○		
		1.3.2 自分と患者との関係は、患者家族や自衛隊を含む社会と関わって、誠実な態度で患者に接することができる。				○			○														○	○		
		1.3.3 患者や家族、社会を欺くことをせず、正直に行動することができる。				○			○	○														○	○	
		1.3.4 患者、家族、自衛隊を含む社会、医療関係者からの信頼を得られるように医療関係者とともに自己研鑽することができる。							○	○														○	○	
	2.1 知識	2.1.1 主要な疾患の概念を説明できる。													○	○	○	○	○			○	○	○		
2.1.2 主要な疾患の根拠に基づいた診断方法について説明できる。														○	○	○	○	○	○		○	○	○			
2.1.3 主要な疾患の根拠に基づいた治療方法について説明できる。															○	○	○	○	○		○	○	○			
2.1.4 予防医学の観点から疾患を考へることができる。		○	○	○	○									○	○	○	○	○	○		○	○	○			
2.1.5 医療に必要な情報・科学技術について説明できる。					○									○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
2.1.6 医療安全について説明できる。				○												○					○	○	○	○		
2.2 技能	2.2.1 医療面接を行うことができる。																				○	○	○			
	2.2.2 身体診察を行い、その結果を解釈できる。																					○	○			
	2.2.3 基本的な臨床検査の結果を解釈できる。													○					○			○	○			
	2.2.4 基本的な画像検査を読み取ることができる。													○	○							○	○			
	2.2.5 得られた臨床情報を総合的に解釈できる。														○							○	○			
	2.2.6 患者の問題点を抽出し解決方法を考へることができる。													○	○	○	○	○				○	○			
	2.2.7 広く医療情報を収集し、実践の患者に応用する方法を説明できる。																					○	○			
	2.2.8 学生に許容される医行為の基本を実践できる。														○	○	○	○	○			○	○			
	2.2.9 医療における情報・科学技術の基本的技能を実践できる。														○	○	○	○	○			○	○			
	2.2.10 医療安全の基本的技能を実践できる。			○																		○	○			
2.3 態度	2.3.1 臨床医としての倫理を理解し、態度に示すことができる。							○						○							○	○	○			
	2.3.2 患者の社会的な背景の理解に努め、患者のニーズに柔軟に対応できる。			○	○			○														○	○			
	2.3.3 患者と適切なコミュニケーションを構築できる。																					○	○			
	2.3.4 医療チームの一員として他職種と良好な関係を維持できる。								○													○	○			
	2.3.5 医療における情報・科学技術利用のための倫理を理解し、配慮できる。	○		○																		○	○			
	2.3.6 患者安全に配慮できる。			○																		○	○			

項目	責任者	学年	専門課程																		
			呼吸器系	消化器系	腎・尿路系	精神系	生殖機能系	内分泌・代謝・成長発育系	感染症系		免疫・アレルギー・膠原病系			救急・総合医学系							
			君塚 善文 教授	上野 秀樹 教授	伊藤 敬一 教授	戸田 裕之 教授	高野 政志 教授	今井 耕輔 教授	実習	臨床	木下 学 教授	木下 学 教授	免疫学実習	リハビリ・エクスポージャー	学実習	部外病院等施設見	救急	麻酔	総合臨床	症候診断学	
			3	3	3	3	4	3	2	3	4	2	3	3	1-2-3	1	4	4	4	4	
1 医師としてのプロフェッショナリズム	1.1 知識 医師としてのプロフェッショナルの基本事項を説明できる。	1.1.1 医師としての患者への責任を説明できる。	○	○	○	○	○								○		○		○		
		1.1.2 医師である幹部自衛官として、自衛隊を含む社会に対する責任を説明できる。														○		○		○	
		1.1.3 医師としての医療チームへの関わりを説明できる。	○		○	○	○	○								○		○		○	
		1.1.4 医師としての倫理的側面を説明できる。	○		○	○	○	○								○		○		○	
	1.2 技能 患者に対し最善の治療を行うための基本部分と生進にわたって自律的に学ぶ方法を修得する。	1.2.1 常に自律的に最新の医学知識を学び、患者ごとに、科学的で適切な治療を選択できる。	○	○	○	○	○	○	○							○		○		○	
		1.2.2 診断結果、治療に対し、患者の理解を得られる説明ができる。	○	○	○	○	○	○	○							○		○		○	
		1.2.3 治療の基本部分に関して、適切な手技を行うことができる。	○	○	○		○	○	○	○						○		○	○	○	
	1.3 態度 患者、家族、自衛隊を含む社会、医療関係者との関係において、誠実な態度、責任ある正直な行動を取り、信頼を得られるよう医療関係者と共に自己研鑽することができる。	1.3.1 自分の態度、行動の責任を自分でとることができる。				○	○	○								○		○			
		1.3.2 自分と患者との関係は、患者家族や自衛隊を含む社会とも関わっており、誠実な態度で患者に接することができる。				○	○	○								○		○		○	
		1.3.3 患者や家族、社会を欺くことをせず、正直に行動することができる。				○	○	○								○		○		○	
		1.3.4 患者、家族、自衛隊を含む社会、医療関係者からの信頼を得られるように医療関係者とともに自己研鑽することができる。				○	○	○								○		○		○	
	2 基礎的臨床能力	2.1 知識 根拠に基づいた疾病の診断や治療、医療に必要な情報・科学技術および医療安全についての基礎知識を修得し、それらを健康増進・予防に応用する方法を知る。	2.1.1 主要な疾患の概念を説明できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○		○	○
2.1.2 主要な疾患の根拠に基づいた診断方法について説明できる。			○	○	○	○	○	○	○	○	○						○		○	○	
2.1.3 主要な疾患の根拠に基づいた治療方法について説明できる。			○	○	○	○	○	○	○	○	○						○		○	○	
2.1.4 予防医学の観点から疾患を考慮することができる。			○	○	○		○	○	○	○	○					○			○		
2.1.5 医療に必要な情報・科学技術について説明できる。				○	○	○	○	○	○	○	○					○		○		○	
2.1.6 医療安全について説明できる。			○	○	○	○	○	○			○					○		○		○	
2.2 技能 初期臨床研修に必要な疾病の診断や治療、情報・科学技術および医療安全の基本的技能を修得する。		2.2.1 医療面接を行うことができる。	○	○	○	○	○	○									○		○		
		2.2.2 身体診察を行い、その結果を解釈できる。	○	○	○	○	○	○									○		○	○	
		2.2.3 基本的な臨床検査の結果を解釈できる。	○	○	○	○	○	○									○		○	○	
		2.2.4 基本的な画像検査を読み取ることができる。	○	○	○	○	○	○									○		○	○	
		2.2.5 得られた臨床情報を総合的に解釈できる。	○	○	○	○	○	○									○		○	○	
		2.2.6 患者の問題点を抽出し解決方法を考えることができる。	○	○	○	○	○	○									○		○	○	
2.3 態度 臨床医としての倫理および医療における情報・科学技術利用のための倫理を理解し、総合的な医療に配慮することができる。	2.2.7 広く医療情報を収集し、実際の患者に応用する方法を説明できる。	○	○	○	○	○	○								○		○		○		
	2.2.8 学生に許容される行為の基本を実践できる。	○	○	○	○	○	○									○		○	○		
	2.2.9 医療における情報・科学技術の基本的技能を実践できる。	○	○	○	○	○	○									○		○	○		
	2.2.10 医療安全の基本的技能を実践できる。	○	○	○	○	○	○									○		○	○		
	2.3.1 臨床医としての倫理を理解し、態度に示すことができる。				○	○	○									○		○	○		
	2.3.2 患者の社会的な背景の理解に努め、患者のニーズに柔軟に対応できる。				○	○	○									○		○	○		
2.3.3 患者と適切なコミュニケーションを構築できる。	○			○	○	○								○		○		○			
2.3.4 医療チームの一員として他職種と良好な関係を維持できる。	○			○	○	○									○		○	○			
2.3.5 医療における情報・科学技術利用のための倫理を理解し、配慮できる。				○	○	○									○		○	○			
2.3.6 患者安全に配慮できる。	○			○	○	○									○		○	○			

項目	課程、各科目等	責任者	学年	専門課程																				
				呼吸器系	消化器系	腎・尿路系	精神系	生殖機能系	内分泌・代謝・成長発育系	感染症系		免疫・アレルギー・膠原病系			救急・総合医学系									
										実習	臨床				救急	麻酔	総合臨床	症候診断学						
				君塚 善文 教授	上野 秀樹 教授	伊藤 敬一 教授	戸田 裕之 教授	高野 政志 教授	今井 耕輔 教授	木下 学 教授	木下 学 教授			栗原 勲 教授	加来 浩器 教授	清住 哲郎 教授	池田 健彦 教授	廣岡 伸隆 教授						
				3	3	3	3	4	3	2	3	4	2	3	3	1・2・3	1	4	4	4	4			
3 基礎的研究能力	3.1 知識	3.1.1 生命科学倫理の歴史と現在の制度についての基本的事項を説明できる。						○	○					○	○	○								
		3.1.2 生命科学研究に必要な物理学・化学・生化学・統計学の基本的事項を説明できる。						○	○					○	○	○								
		3.1.3 各臓器系における正常の構造と機能の概要を説明できる。	○	○	○			○	○					○	○	○								
	3.2 技能	3.1.4 各臓器系に関連する疾患を判別し、その病態生理の概要を説明できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
		3.1.5 医学研究に必要な情報・科学技術について説明できる。		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○								
		3.2.1 与えられた研究課題の意義を説明できる。		○			○	○	○	○				○	○	○								
		3.2.2 研究に必要な情報を外国語も含めて探索し、概要を説明できる。		○			○	○	○	○				○	○	○								
		3.2.3 研究方法の妥当性を説明できる。		○			○	○	○	○				○	○	○								
		3.2.4 生命科学に必要な基本的実験操作ができる。		○			○	○	○	○				○	○	○								
		3.2.5 実験結果、調査結果の妥当性を評価できる。		○			○	○	○	○				○	○	○								
3.3 態度	3.2.6 結果から結論を導く過程を論理的に表現できる。		○			○	○	○	○				○	○	○									
	3.2.7 医学研究における情報・科学技術の基本的技能を実践できる。		○			○	○	○	○				○	○	○									
	3.3.1 経験した現象に疑問を持ち、論理的に考え、倫理的に適切な行動をとることができる。		○			○	○	○	○				○	○	○			○				○		
4 医師である幹部自衛官としての資質	4.1 知識	4.1.1 自衛隊の任務の概要について説明できる。					○						○	○								○		
		4.1.2 自衛隊の組織の概要について説明できる。					○																○	
		4.1.3 自衛隊の訓練並びに業務の概要を例示できる。					○							○	○									
		4.1.4 学生生活での規律について説明できる。																						
		4.1.5 リーダーシップについて例示できる。												○	○									
		4.1.6 防衛医学について説明できる。						○																
	4.2 技能	4.2.1 規律ある団体生活を送ることができる。																						
		4.2.2 医官として部隊を指揮し、基本的業務を処理することができる。						○																
		4.2.3 戦傷医療対応に関する基本的技能を実践できる。								○							○							
	4.3 態度	4.3.1 団体生活のなかで自主的な精神、規律ある態度及び責任感をもって行動できる。																					○	
4.3.2 将来医師である幹部自衛官として国防に任ずる重大な使命を自覚し、常に学生としての誇りを持ち、その身分とする事業に誇り、規律ある団体生活を送るよう心がけるとともに、良き伝統の育成に努めることができる。										○														
5 国際社会で活動するための基本的能力	5.1 知識	5.1.1 国際貢献活動における特長みや関与する国際機関について概要を説明できる。						○	○				○	○										
		5.1.2 国際貢献活動において遵守すべき国際法について概要を説明できる。							○	○				○	○									
		5.1.3 医療資源の充足環境で主体的に問題を解決していく姿勢を示すことができる。								○	○			○	○									
		5.1.4 我が国や他国・地域の文化・社会制度の特徴や違いについて説明できる。							○	○	○			○	○									
	5.2 技能	5.2.1 活動する地域の文化や人々と基本的なコミュニケーションができる。							○	○				○	○									
		5.2.2 患者及び医療者と外国語を用いた基本的なコミュニケーションができる。							○	○				○	○									
	5.3 態度	5.3.1 異文化交流を積極的に行う姿勢を示すことができる。							○	○				○	○									
		5.3.2 国際的に協力的な対応が必要とされる場面について関心を払うことができる。							○	○				○	○									
		5.3.3 異なる文化的背景をもつ人の価値観・社会観について尊重できる。							○	○				○	○									
		5.3.4 被災者のみならず支援者側についてのケアにも配慮することができる。							○	○				○	○									

項目	課程、各科目等	責任者	学年	機能医学系											防衛医学系				基本的診療技能実習	内科系臨床実習		外科系臨床実習		卒業生のプロフェッショナルリズム：医師の誓いとバイオセキュリティ		
				生化学	生化学	生理学(生理・分子生体制御学講)	薬理学総論	薬理学各論	臨床薬理学	臨床検査	臨床検査	臨床検査	医用工学	学能分子生体制御	防衛医学系					黒川 貴幸 教授	荒木 幸仁 教授	内科系臨床実習			外科系臨床実習	
															1	2	3	4				1	2		3	4
1 医師としてのプロフェッショナルリズム	1.1 知識	1.1.1 医師としての患者への責任を説明できる。			○							○						○	○	○	○	○	○			
		1.1.2 医師である幹部自衛官として、自衛隊を含む社会に対する責任を説明できる。			○														○	○	○	○	○	○		
		1.1.3 医師としての医療チームへの関わりを説明できる。			○														○	○	○	○	○	○		
		1.1.4 医師としての倫理的側面を説明できる。																	○	○	○	○	○	○		
	1.2 技能	患者に対し最善の治療を行うための基本部分と生涯にわたって自律的に学ぶ方法を修得する。			○								○						○	○	○	○	○	○		
		1.2.2 診断結果、治療に対し、患者の理解を得られる説明ができる。			○								○						○	○	○	○	○	○		
		1.2.3 治療の基本部分に関して、適切な手技を行うことができる。											○						○	○	○	○	○	○		
	1.3 態度	患者、家族、自衛隊を含む社会、医療関係者との関係において、誠実な態度、責任ある正直な行動を取り、信頼を得られるよう医療関係者と共に自己研鑽することができる。	1.3.1 自分の態度、行動の責任を自分でとることができる。			○							○						○	○	○	○	○	○		
		1.3.2 自分と患者との関係は、患者家族や自衛隊を含む社会とも関わりのあることを理解して、誠実な態度で患者に接することができる。			○								○						○	○	○	○	○	○		
		1.3.3 患者や家族、社会を欺くことせず、正面に行動することができる。			○								○						○	○	○	○	○	○		
	2 基礎的臨床能力	2.1 知識	2.1.1 主要な疾患の概念を説明できる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○		
			2.1.2 主要な疾患の概念に基づいた診断方法について説明できる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	
2.1.3 主要な疾患の概念に基づいた治療方法について説明できる。				○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○		
2.1.4 予防医学の観点から疾患を考えたることができる。				○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○		
2.1.5 医療に必要な情報・科学技術について説明できる。				○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○		
2.1.6 医療安全について説明できる。				○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○		
2.2 技能		2.2.1 医療面接を行うことができる。																	○	○	○	○	○	○		
		2.2.2 身体診察を行い、その結果を解釈できる。				○						○							○	○	○	○	○	○		
		2.2.3 基本的な臨床検査の結果を解釈できる。				○					○	○							○	○	○	○	○	○		
		2.2.4 基本的な画像検査を読み取ることができる。									○	○							○	○	○	○	○	○		
		2.2.5 得られた臨床情報を総合的に解釈できる。				○					○	○							○	○	○	○	○	○		
		2.2.6 患者の問題点を抽出し解決方法を考えることができる。				○					○	○							○	○	○	○	○	○		
2.3 態度	2.2.7 広く医療情報を収集し、実際の患者に応用する方法を説明できる。				○					○	○							○	○	○	○	○	○			
	2.2.8 学生に許容される医行為の基本を実践できる。									○	○							○	○	○	○	○	○			
	2.2.9 医療における情報・科学技術の基本的技能を実践できる。				○					○	○							○	○	○	○	○	○			
	2.2.10 医療安全の基本的技能を実践できる。									○	○							○	○	○	○	○	○			
	2.3.1 臨床医としての倫理を理解し、態度に示すことができる。									○	○							○	○	○	○	○	○			
	2.3.2 患者の社会的な背景の理解に努め、患者のニーズに柔軟に対応できる。									○	○							○	○	○	○	○	○			
2.3 態度	臨床医としての倫理および医療における情報・科学技術利用のための倫理を理解し、総合的な医療に配慮することができる。	2.3.3 患者と適切なコミュニケーションを構築できる。								○	○							○	○	○	○	○	○			
	2.3.4 医療チームの一員として他職種と良好な関係を維持できる。								○	○								○	○	○	○	○	○			
	2.3.5 医療における情報・科学技術利用のための倫理を理解し、配慮できる。				○					○	○							○	○	○	○	○	○			
	2.3.6 患者安全に配慮できる。									○	○							○	○	○	○	○	○			

項目	課程、各科目等	責任者	学年	機能医学系										防衛医学系				基本的診療技能実習		内科系臨床実習		外科系臨床実習		卒業生のプロフェッショナルリズム：医師の誓いとハイオクセキュリティ			
				生化学	生化学	生理学・生化学(座)	生理学・生化学(分)	薬理学総論	臨床薬理学	臨床検査	臨床検査	臨床検査	医用工学	学	機能分子生体制御	1	2	3	4	4	5	6	5	6	5	6	6
				佐藤 泰司 教授	守本 祐司 教授	石塚 俊晶 教授	松熊 晋 教授	石原 美弥 教授	松尾 洋孝 教授	黒川 貴幸 教授	荒木 幸仁 教授			上野 秀樹 教授	黒川 貴幸 教授												
3 基礎的研究能力	3.1 医学研究に必要な基本事項について説明できる。	3.1.1 生命科学倫理の歴史と現在の制度についての基本事項を説明できる。	○	○	○							○	○	○								○	○	○			
		3.1.2 生命科学研究に必要な物理学・化学・生化学・統計学の基本事項を説明できる。	○	○	○			○	○	○	○												○	○			
		3.1.3 各器官系における正常の構造と機能の概要を説明できる。	○	○	○						○	○											○	○			
		3.1.4 各器官系に関連する疾患を列挙し、その病態生理の概要を説明できる。	○	○	○	○	○				○												○	○			
		3.1.5 医学研究に必要な情報・科学技術について説明できる。	○	○	○						○	○											○	○			
	3.2 医学研究に必要な基本技術を修得し、研究内容を論理的に表現できる。	3.2.1 与えられた研究課題の意義を説明できる。			○				○	○	○	○															
		3.2.2 研究に必要な情報を外国語も含めて探索し、概要を説明できる。			○						○	○															
		3.2.3 研究方法の妥当性を説明できる。			○			○	○	○																	
		3.2.4 生命科学に必要な基本的実験操作ができる。			○						○																
		3.2.5 実験結果、調査結果の妥当性を評価できる。			○						○																
		3.2.6 結果から結論を導く過程を論理的に表現できる。			○						○																
	3.3 経験した現象に疑問を持ち、論理的に考え、倫理的に適切な行動をとることができる。	3.3.1 科学的な分析や推論の重要性について認識し、エビデンスに基づいて判断できる。			○						○														○		
3.3.2 倫理が研究の一部であると認識し、倫理的に適切な方法を選択できる。				○						○														○			
4 医師である幹部自衛官としての資質	4.1 医師である幹部自衛官として必要な人格及び職業の概要について説明できる。	4.1.1 自衛隊の任務の概要について説明できる。										○	○	○	○												
		4.1.2 自衛隊の組織の概要について説明できる。											○	○	○	○											
		4.1.3 自衛隊の訓練並びに業務の概要を例示できる。											○	○	○	○											
	4.2 医師である幹部自衛官として必要な体系的な訓練事項について理解し、医師である幹部自衛官としての職責を理解してこれに対応できる。	4.2.1 規律ある団体生活を送ることができる。									○														○		
		4.2.2 医官として部隊を指揮し、基本的業務を処理することができる。									○														○		
		4.2.3 戦傷医療処置に関する基本的技能を実践できる。																							○		
4.3 団体の生活のなかで自主的・積極的・環境ある態度及び責任感をもって行動できる。	4.3.1 将来医師である幹部自衛官として国防に任ずる重大な使命を自覚し、常に学生としての誇りを持ち、その本分とする学業に励み、規律ある団体生活を送るよう心がけるとともに、良き伝統の育成に努めることができる。			○																				○			
	5 国際社会で活動するための基本的能力	5.1 グローバルな医療支援活動をするために必要な基本的事項について説明できる。	5.1.1 国際貢献活動における枠組みや関与する国際機関について概要を説明できる。										○	○	○												
			5.1.2 国際貢献活動において遵守すべき国際法について概要を説明できる。											○	○												
5.1.3 医療資源の低充足環境で主体的に問題を解決していく姿勢を示すことができる。																								○			
5.1.4 我が国や他国・地域の文化・社会制度の特徴や違いについて説明できる。																								○			
5.2 活動する地域の環境や異文化にも対応できる能力の基礎を有する。	5.2.1 活動する地域の人々と基本的コミュニケーションができる。									○														○			
	5.2.2 患者及び医療者と外国語を用いた基本的コミュニケーションができる。																							○			
5.3 異なる文化や習俗を尊重できる。	5.3.1 異文化交流を積極的に進めようとする姿勢を示すことができる。																							○			
	5.3.2 国際的に協調的な対応が必要とされる事例について関心を払うことができる。																							○			
	5.3.3 異なる文化的背景をもつ人の価値観・社会観について尊重できる。										○													○			
	5.3.4 被支援者のみならず支援者側についてのケアにも配慮することができる。											○												○			

II 教 官 配 置

教 官 配 置 (令和7年4月1日現在)

区分	授 業 科 目	教 授	准 教 授	講 師	助 教	非常勤講師	
一般教育	人 文	心 理 学		佐 藤 豊			
		哲 学		宮 岸 雄 介			
		倫 理 学					大 井 賢 一
		史 学					澤 元 互
	社 会	国 語 ・ 国 文 学			伴 野 英 一		
		社 会 学		金 子 雅 彦			
		政 治 学		金 子 雅 彦			
		法 学					中 所 克 博
	總 合	經 済 学					児 玉 俊 介
		人 文 地 理					平 川 亨
教 養 講 座 (美 術)						近 藤 隼 次	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 技 法				伴 野 英 一			
外 国 語	数 理 論 理 学	中 村 好 宏			小 田 牧 子		
	情 報 技 術	石 原 美 弥	櫛 引 俊 宏		石 川 智 啓		
	英 語		矢 口 朱 美		松 崎 翔 斗	井 戸 康 夫	
保 健 体 育	独 語		長 田 浩		松 井 上 彩		
	仏 語					古 谷 佐 世 子	
	中 国 語			宮 岸 雄 介			
基 礎 教 育	数 学	中 村 好 宏			犬 伏 拓 己		
	物 理 学			廣 瀬 かほる	小 田 牧 子		
	化 学		武 井 史 恵	金 長 正 彦	八 幡 和 志		
	生 物 学	野 口 立 彦		鎌 田 香 織	関 澤 麻 伊 沙		

区分	講 座 名	教 授	准 教 授	講 師	助 教		
基 礎 講 座	再 生 発 生 学	伊 藤 正 孝	矢 野 航	三 浦 賢 司	平 柳 淑 恵		
	解 剖 学	西 井 清 雅		東 誉 人	堀 江 沙 和		
	生 理 学	守 本 祐 司	萩 沢 康 介		田 石 渡 晃 正 遼		
	生 化 学	佐 藤 泰 司	今 村 宰		新 井 仁 明	伊 達 木 穰	
	薬 理 学	石 塚 俊 晶	太 田 宏 之		高 橋 さ や か		
	病 態 病 理 学	佐 藤 仁 哉					
	免 疫 ・ 微 生 物 学	木 下 学	中 島 弘 幸		中 島 正 裕	齋 藤 雅 史	
	衛 生 学 公 衆 衛 生 学	角 田 正 史	岩 澤 聡 子	田 中 光 信	鈴 木 聡 子	吉 岡 範 幸	
	国 際 感 染 症 学	三 木 田 馨			小 野 岳 史		
	法 医 学	金 武 潤	井 戸 田 望				
臨 床 講 座	医 用 工 学	石 原 美 弥	櫛 引 俊 宏		石 川 智 啓	新 橋 諒	
	分 子 生 体 制 御 学	松 尾 洋 孝		豊 田 優	清 水 聖 子		
	防 衛 医 学	黒 川 貴 幸	石 神 徳 郎		江 頭 早 織	吉 松 真 也	
	内 科 学	内 科	足 立 健 紀	長 友 祐 司			
			大 島 直 量	坂 卷 裕 介		栗 原 千 枝	岡 田 義 清
			大 穂 善 文	富 田 謙 吾			
	精 神 科 学	精 神 科 学	戸 田 裕 之	高 橋 知 久			
		小 児 科 学	今 井 耕 輔			大 澤 有 紀 子	小 牟 田 縁
		外 科 学	上 野 秀 樹	梶 原 由 規		岩 田 朋 大	
	座	外 科 学	上 堤 浩 二	永 生 高 広		矢 口 義 久	守 矢 恒 司
		岸 庸 広			山 中 望		
		辻 本 紀					
脳 神 經 外 科 学		和 田 孝 次 郎	豊 岡 輝 繁		藤 井 和 也		
整 形 外 科 学		堀 内 圭 輔	須 佐 美 知 郎		中 村 一 喜 一	梶 川 慶 太	
皮 膚 科 学		佐 藤 貴 浩	端 本 宇 志		種 村 真 一	木 納 美 英 佑	
泌 尿 器 科 学		伊 藤 敬 一			浅 野 貴 子	小 林 裕 章	
眼 科 学		竹 内 大 一	佐 藤 智 人		播 本 幸 三	西 尾 佳 明	
耳 鼻 咽 喉 科 学		荒 木 幸 仁	鈴 木 洋		捨 田 利 慧		
産 科 婦 人 科 学		高 野 政 志	濱 田 佳 伸		鈴 木 亜 矢 子		
放 射 線 医 学	野 崎 太 希		須 山 陽 介	岡 崎 路 子			
麻 醉 学	池 田 健 彦			嶋 田 哲 也			
臨 床 検 査 医 学	松 熊 晋	緒 方 衝		土 屋 基 裕			

名 称	教 授	准 教 授	講 師	助 教
医 学 教 育 開 発 官	角 田 正 史		脇 坂 仁	
教 育 評 価 部 門		佐 藤 全 伯		
教 育 改 革 ・ 計 画 部 門	栗 原 勲			
臨 床 研 修 部 門	橋 本 賢 一			

区分	診療科名	教授	准教授	講師	助教
診療科	内科	足立 健紀 大島 直紀 穂君 量太 小鈴 善真 鈴木 文一 戸田 裕一詩之		池松 幸憲 上原 秀史 都飛 鳥 橋廣 崇 川卓 範 藤健 司	竹藤 亜紗子 末永 由美子 小倉 菜穂子
	精神科	戸田 裕一詩之		古賀 農人 竹下 昇吾 金森 貴志 森谷 邦彦	鈴木 秀一
	小児科	今井 耕輔		岡本 耕一 望月 治史 石田 博光 橋本 民大 亀山 新太 山崎 有美子	高尾 幹也
	外科	上野 秀樹 堤 浩二 岸 庸二		富山 新太 竹内 誠 三島 有美子	
	脳神経外科	和田 孝次郎		北村 和也 小林 紘樹 高井 彩華	山下 太郎 市川 武 吉留 佳代
	整形外科	堀内 圭輔		黒田 健司 神田 貴之	辻田 裕二郎
	皮膚科	佐藤 貴浩 伊藤 敬一		宇野 光祐 宮本 守員 曾山 浩明	谷合 信一
	泌尿器科	竹内 大仁 荒木 幸志		杉浦 弘明 笠智 博美 江戸 博美	
	耳鼻咽喉科	高野 政志		児玉 光 土屋 壯登	富田 温子 川上 沙織 久保 諭
	産科婦人科	野崎 太希		峯村 周	羽野 朱里 淵 嵩史
	放射線科	池田 健彦 東 隆一		関根 康雅 瀬野 宗一郎	安藤 正恵
	形成外科	横江 秀隆	村上 馨	安田 理紗子 脇坂 仁 成松 和幸	高橋 国人
	歯科口腔外科			前川 隆彰 大松 康弘 柳垣 和己	
	中央診療施設	医療安全・感染対策部	荒木 幸仁		高畑 りさ
検査部		松熊 晋		島崎 英幸 宮居 弘輔 高橋 哲也	齋藤 眞理子
手術部		上野 秀樹			
放射線部		野崎 太希			
材料部		伊藤 敬一			安藤 正恵
救急部		清住 哲郎			梶山 翼 千葉 真由子
リハビリテーション部		尼子 雅敏			
総合臨床部		廣岡 伸隆	大野 洋介 高崎 寛之 眞崎 暢之		関澤 明德
集中治療部					
医療情報部		岸 庸二			
光学医療診療部	穂君 量太	高本 俊介			
輸血・血液浄化療法部	大島 直紀	水口 斉		石関 香織	
腫瘍化学療法部		尾松 公平		加藤 顕人	
緩和ケア室					
外傷・熱傷・事態対処医療センター	清堀 哲郎 住口 明男	會田 哲士 沢村 沙明 霧生 信			

名称	施設長(教授)	准教授	講師	助教
動物実験施設	木下 学		富宿 誠吾	加藤 弘毅
共同利用研究施設	守本 祐司		三浦 賢司	江尻 寛子 新 楯 諒

区分	部門名	教授	准教授	講師	助教
防衛医学研究センター	センター長	加來 浩器			
	外傷研究部門	戸村 哲		青木 誠	朝比奈 はるか
	医療工学研究部門	中村 伸吾	宮崎 裕美		諸星 和紀
	異常環境衛生研究部門	木村 幹彦	白石 安永		
	行動科学研究部門	長峯 正典	斉藤 拓		
	生体情報・治療システム研究部門	川内 聡子		角井 泰之	杉山 夏緒里
	広域感染症疫学・制御研究部門	加來 浩器	金山 敦宏		江尻 寛子
	バイオ情報管理室	松尾 洋孝			高橋 朋子
	国際交流研究官	中山 昌喜			

Ⅲ 学年別開設時間配当表

カリキュラム学年別開設時間配当表

1. 02カリキュラム進学課程

区分	授業科目	単位		学年別開設単位数									
		開設	修得	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
一般 教育 科目	行動医学系	心理学	1	1	1								
		哲学	1	1	1								
		社会学	1	1			1						
		法学	1	1		1							
		コミュニケーション技法	1	1				1					
		倫理学	1	1		1							
	計	6	6	4		2							
	人文系	国語・国文学Ⅰ	1	1	1								
		国語・国文学Ⅱ	1	1		1							
		史学	1			1							
	社会学	政治学	1	1		1							
		経済学	1		1								
		人文地理	1			1							
	総合	教養講座	1	1		1							
		数理論理学 (文化と数学・論理学)	1		1		1						
		情報技術	1	1	1								
		医学導入教育	1	1	1								
		計	10	7	10								
	外国語科目	英語Ⅰ	2	2	2								
		英語Ⅱ	2	2	2								
実用英語		1	1			1							
選択外国語(英会話)		2	2		2								
選択外国語(独語)		2			2								
選択外国語(仏語)		2			2								
選択外国語(中国語)		2			2								
計		13		7	12		1						
保健体育	体育理論・実技	3	3	2		1		1					
	計	3	3	2		1		1					
基礎教育科目	数学	1	1	1									
	物理学	3	3	3									
	化学	3	3	3									
	生物学	3	3	3									
	計	10	10	10									
合計		42	33	38		4		1			0		

2. 02カリキュラム専門課程

区分	授業科目	開設年次及び単位数						単位数
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	
専門 教育 科目	社会医学系			○	○			6
	形態医学系	○	○	○				12
	血液・造血器・リンパ系			○				3
	神経系			○				6
	感覚器系				○			5
	運動器系			○				3
	循環器系			○				4
	呼吸器系			○				3
	消化器系			○				7
	腎・尿路系			○				3
	精神系			○				2
	生殖機能系				○			3
	内分泌・代謝・成長発育系			○				3
	感染症系		○	○	○			5
	免疫・アレルギー・膠原病系		○	○				4
	救急・総合医学系	○	○	○	○			9
	機能医学系	○	○	○	○			17
	防衛医学系	○	○	○	○			4
	基本的診療技能実習				○			2
内科系臨床実習				○	○	○	38	
外科系臨床実習				○	○	○	34	
合計							173	

※1 開設年次及び単位数は、防衛医科大学校規則に定められた時間数を示す。

IV 令和7年度予定表

IV 令和7年度予定表

令和 7 年 度 予 定 表

月	4 月																																
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水			
I	進校日	学生部長						春季定期訓練							春季定期訓練																		
II									春季定期訓練					春季定期訓練																			
III																																	
IV																																	
V																																	
VI									春季定期訓練					春季定期訓練																			

月	5 月																																	
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
I																																		
II																																		
III																																		
IV																																		
V																																		
VI																																		

月	6 月																																	
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月				
I																																		
II																																		
III																																		
IV																																		
V																																		
VI																																		

月	7 月																																		
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木				
I																																			
II																																			
III																																			
IV																																			
V																																			
VI																																			

月	8 月																																			
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日					
I																																				
II																																				
III																																				
IV																																				
V																																				
VI																																				

月	9 月																																			
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火						
I																																				
II																																				
III																																				
IV																																				
V																																				
VI																																				

月	10 月																														
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
I				OSCE 支援			観開行進訓練				観開行進訓練											観開行進訓練									
II	定期試験	観開行進訓練																													
III													スポーツの日												学校祭準備						
IV				OSCE											学生部長 所定											学校祭					
V																															
VI																															

月	11 月																														
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
I												体力検定																			
II																															
III			文化の日																												
IV													研究室配属 発表		学生部長 所定																
V																						学生部長 所定									
VI																															

月	12 月																														
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
I																															
II																															
III			PMHE									部隊実習 (硫黄島)																			
IV																															
V																															
VI																															

月	1 月																														
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
I																															
II																															
III																															
IV																															
V																															
VI																															

月	2 月																											
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
I																												
II																												
III																												
IV																												
V																												
VI																												

月	3 月																														
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
I																															
II																															
III																															
IV																															
V																															
VI																															

V 令和7年度授業時間表

V 令和7年度授業時間表

教室番号等			
校舎	階	教室番号	収容人員
1号館	1	11	88
		12	45
	2	21	88
		22	45
2号館	3	31	90
		32	90
		33	100
臨床講堂	1	1	100
		2	100
	2	大	300

授業時間	
1	0830 ~ 0915
2	0915 ~ 1000
3	1015 ~ 1100
4	1100 ~ 1145
5	1300 ~ 1345
6	1345 ~ 1430
7	1440 ~ 1525
8	1525 ~ 1610
9	1615 ~ 1700

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	火	着校日							
2	水	学生部長所定(入校式準備等)							
3	木	学生部長所定(入校式準備等)							
4	金	入校式予行							
5	土								
6	日								
7	月	入校式							
8	火	春季定期訓練							
9	水								
10	木								
11	金								
12	土								
13	日								
14	月	春季定期訓練							
15	火								
16	水								
17	木								
18	金								
19	土								
20	日								
21	月	数学	機・生化	心理学	防衛医学	補講(生)			
22	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	化学	物理学	補講(物)			
23	水	選択外国語	経済学	生物学	化学				
24	木	哲学	生物学実験	物理学実験／生物学実験					
25	金	英語Ⅰ／国語Ⅰ	国語Ⅰ／英語Ⅰ	化学	学生部長所定(休暇前教育等)	補講(生)			
26	土								
27	日								
28	月	休暇等取得奨励期間							
29	火	祝日							
30	水	選択外国語	経済学	生物学	化学				

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	木	哲学	物理学	生物学	機・生化				
2	金	英語 I / 国語 I	国語 I / 英語 I	化学実験	物理学	補講(物)			
3	土	祝日							
4	日	祝日							
5	月	祝日							
6	火	祝日							
7	水	選択外国語	経済学	生物学実験 / 化学実験					
8	木	哲学	情報技術	化学実験 / 物理学実験					
9	金	英語 I / 国語 I	国語 I / 英語 I	物理学実験 / 化学実験					
10	土								
11	日								
12	月	数学			心理学	防衛医学	補講(生)		
13	火	英語 II / 体育	体育 / 英語 II	医学導入教育					
14	水	選択外国語	経済学	生物学実験 / 物理学実験					
15	木	体育祭準備							
16	金	体育祭							
17	土								
18	日								
19	月	数学	機・生化	心理学	防衛医学	補講(生)			
20	火	英語 II / 体育	体育 / 英語 II	部外病院等施設見学実習					
21	水	選択外国語	経済学	物理学実験 / 生物学実験					
22	木	哲学	機・生化	化学実験 / 物理学実験					
23	金	英語 I / 国語 I	国語 I / 英語 I	機・生化	生物学	補講(物)			
24	土								
25	日								
26	月	数学	機・生化	心理学	防衛医学	補講(生)			
27	火	英語 II / 体育	体育 / 英語 II	医学導入教育					
28	水	選択外国語	経済学	物理学実験(1班) / 部外病院等施設見学実習(2班)					
29	木	哲学	化学	化学実験					
30	金	英語 I / 国語 I	国語 I / 英語 I	機・生化	生物学				
31	土								

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	日								
2	月	数学	機・生化	心理学	防衛医学	補講(生)			
3	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	部外病院等施設見学実習(1班)／物理学実験(2班)					
4	水	選択外国語	経済学	部外病院等施設見学実習					
5	木	哲学	情報技術	生物学					
6	金	夏季定期訓練							
7	土								
8	日								
9	月	夏季定期訓練							
10	火								
11	水								
12	木								
13	金								
14	土								
15	日								
16	月	夏季定期訓練							
17	火								
18	水								
19	木								
20	金								
21	土								
22	日								
23	月	数学	機・生化	心理学	防衛医学				
24	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	化学実験／生物学実験					
25	水	選択外国語	経済学	生物学実験／化学実験					
26	木	哲学	情報技術	化学	生物学				
27	金	英語Ⅰ／国語Ⅰ	国語Ⅰ／英語Ⅰ	心理学	物理学	補講(物)			
28	土								
29	日								
30	月	数学			心理学	防衛医学			

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	医学導入教育						
2	水	選択外国語	経済学	生物学実験／化学実験						
3	木	哲学	情報技術	化学実験／生物学実験						
4	金	英語Ⅰ／国語Ⅰ	国語Ⅰ／英語Ⅰ	物理学	防衛医学					
5	土									
6	日									
7	月	数学	機・生化	心理学	防衛医学					
8	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	医学導入教育						
9	水	選択外国語	経済学	化学実験／物理学実験						
10	木	哲学	物理学	学生部長所定(キャリアパス教育)						
11	金	英語Ⅰ／国語Ⅰ	国語Ⅰ／英語Ⅰ	機・生化	心理学					
12	土									
13	日									
14	月	医学教育部長所定			心理学	防衛医学	補講(生)			
15	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	医学導入教育						
16	水	選択外国語	経済学	物理学実験／化学実験						
17	木	哲学	情報技術	化学実験／物理学実験						
18	金	英語Ⅰ／国語Ⅰ	国語Ⅰ／英語Ⅰ	心理学	情報技術					
19	土									
20	日									
21	月	祝日								
22	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	化学	生物学	補講(生)				
23	水	選択外国語	経済学	物理学	機・生化	補講(物)				
24	木	哲学	情報技術	物理学実験／化学実験						
25	金	英語Ⅰ／国語Ⅰ	国語Ⅰ／英語Ⅰ	防衛医学	学生部長所定(休暇前教育等)					
26	土									
27	日									
28	月	休暇等取得奨励期間								
29	火									
30	水									
31	木									

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 金	休暇等取得奨励期間								
2 土									
3 日									
4 月	休暇等取得奨励期間								
5 火									
6 水									
7 木									
8 金									
9 土									
10 日									
11 月	祝日								
12 火	休暇等取得奨励期間								
13 水									
14 木									
15 金									
16 土									
17 日									
18 月	数学			心理学		防衛医学			
19 火	英語Ⅱ／体育		体育／英語Ⅱ		生物学実験／物理学実験				
20 水	選択外国語		経済学		機・生化		生物学		補講(物)
21 木	哲学		情報技術		物理学実験／化学実験				
22 金	多職種連携 (IPE)				多職種連携 (IPE)				
23 土									
24 日									
25 月	数学			心理学		防衛医学			
26 火	英語Ⅱ／体育		体育／英語Ⅱ		生物学実験／物理学実験				
27 水	選択外国語		経済学		化学実験／生物学実験				
28 木	哲学		情報技術		物理学実験／生物学実験				
29 金	英語Ⅰ／国語Ⅰ		国語Ⅰ／英語Ⅰ		化学		機・生化		
30 土									
31 日									

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	月	物理学	生物学	機・生化	化学				補講(物)
2	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	機・生化	生物学				
3	水	選択外国語	物理学	化学実験／物理学実験					
4	木	哲学	機・生化	物理学実験／化学実験					
5	金	英語Ⅰ／国語Ⅰ	国語Ⅰ／英語Ⅰ	化学	化学				
6	土								
7	日								
8	月	物理学	生物学	防衛医学					補講(物)
9	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	物理学実験／化学実験					
10	水	生物学	機・生化	物理学実験／生物学実験					
11	木	哲学	機・生化	訓育		化学			
12	金	英語Ⅰ／国語Ⅰ	国語Ⅰ／英語Ⅰ	化学実験／物理学実験					
13	土								
14	日								
15	月	祝日							
16	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	生物学実験／化学実験					
17	水	体力検定			化学	化学			
18	木	機・生化	生物学	化学	化学			補講 (生・物)	
19	金	英語Ⅰ／国語Ⅰ	国語Ⅰ／英語Ⅰ	機・生化	生物学				
20	土								
21	日								
22	月	定期試験							
23	火	祝日							
24	水	定期試験							
25	木								
26	金								
27	土								
28	日								
29	月	定期試験							
30	火								

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	水	選択外国語	法学	政治学	化学				
2	木	機・生化	倫理学	数理論理学	観閲行進訓練				
3	金	英語Ⅰ／史学	国語Ⅱ／英語Ⅰ	生物学	化学				
4	土	共用試験(OSCE)支援(案)							
5	日								
6	月	教養講座(美術)			化学	人文地理	補講(生)		
7	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	生物学	観閲行進訓練				
8	水	選択外国語	法学	政治学	物理学	補講(物)			
9	木	機・生化	倫理学	数理論理学	観閲行進訓練				
10	金	英語Ⅰ／史学	国語Ⅱ／英語Ⅰ	物理学実験／生物学実験					
11	土								
12	日								
13	月	祝日							
14	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	生物学実験／物理学実験					
15	水	選択外国語	法学	政治学	化学				
16	木	機・生化	倫理学	数理論理学	物理学				
17	金	英語Ⅰ／史学	国語Ⅱ／英語Ⅰ	観閲行進訓練					
18	土								
19	日								
20	月	教養講座(美術)			化学	人文地理	補講(生)		
21	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	観閲行進訓練					
22	水	選択外国語	法学	政治学	機・生化				
23	木	機・生化	生物学	学校祭準備					
24	金	学校祭準備							
25	土	学校祭							
26	日								
27	月	学校祭撤収			化学	人文地理	補講(生)		
28	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	生物学実験／物理学実験					
29	水	選択外国語	機・生化	政治学	生物学				
30	木	機・生化	倫理学	数理論理学	物理学	補講(物)			
31	金	総合防災訓練							

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	土								
2	日								
3	月	祝日							
4	火	慰霊祭準備支援			化学		生物学		
5	水	慰霊祭							
6	木	訓育	倫理学		数理論理学		機・生化		
7	金	英語Ⅰ／史学		国語Ⅱ／英語Ⅰ		物理学実験／生物学実験			
8	土								
9	日								
10	月	機・生化		生物学		化学		人文地理	
11	火	英語Ⅱ／体育		体育／英語Ⅱ		体力検定補備			
12	水	機・生化		法学		政治学		化学	
13	木	生物学				機・生化実			
14	金	英語Ⅰ／史学		国語Ⅱ／英語Ⅰ		化学		機・生化 補講(生)	
15	土								
16	日								
17	月	教養講座(美術)			機・生化		人文地理		
18	火	英語Ⅱ／体育		体育／英語Ⅱ		生物学実験／物理学実験			
19	水	選択外国語		生物学		政治学		化学	
20	木	物理学		倫理学		数理論理学		化学	
21	金	英語Ⅰ／史学		国語Ⅱ／英語Ⅰ		物理学実験／生物学実験			
22	土								
23	日	祝日							
24	月	振替							
25	火								
26	水	生物学		法学		物理学		化学	
27	木	創立記念行事							
28	金	英語Ⅰ／史学		国語Ⅱ／英語Ⅰ		物理学		機・生化	
29	土								
30	日								

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

1 2 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1 月	教養講座(美術)				化学		人文地理		補講(生)	
2 火	英語Ⅱ／体育		体育／英語Ⅱ		機・生化実					
3 水	選択外国語		法学		化学					
4 木	機・生化		倫理学		数理論理学		物理学		補講(物)	
5 金	英語Ⅰ／史学		国語Ⅱ／英語Ⅰ		機・生化実					
6 土										
7 日										
8 月	教養講座(美術)				人文地理					
9 火	英語Ⅱ／体育		体育／英語Ⅱ		機・生化実					
10 水	選択外国語		法学		政治学		生物学			
11 木	機・生化		倫理学		数理論理学		物理学		補講(物)	
12 金	英語Ⅰ／史学		国語Ⅱ／英語Ⅰ		生物学		機・生化			
13 土										
14 日										
15 月	教養講座(美術)				生物学		人文地理		補講(生)	
16 火	英語Ⅱ／体育		体育／英語Ⅱ		物理学実験／生物学実験					
17 水	生物学		機・生化		生物学実験／物理学実験					
18 木	機・生化		倫理学		数理論理学		物理学		補講(物)	
19 金	英語Ⅰ／史学		国語Ⅱ／英語Ⅰ		機・生化実					
20 土										
21 日										
22 月	教養講座(美術)				人文地理		学生部長所定(休暇前教育等)			
23 火	英語Ⅱ／体育		体育／英語Ⅱ		物理学		機・生化			
24 水	機・生化				政治学		生物学			
25 木	代休(学校祭10/25)									
26 金	代休(学校祭10/26)									
27 土										
28 日										
29 月	特別休暇									
30 火										
31 水										

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	木	特別休暇							
2	金								
3	土								
4	日								
5	月	生物学	物理学	機・生化実					
6	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	物理学	機・生化				
7	水	選択外国語	法学	政治学	機・生化				
8	木	機・生化	倫理学	数理論理学	生物学				
9	金	英語Ⅰ／史学	国語Ⅱ／英語Ⅰ	生物学	物理学	補講(物)			
10	土								
11	日								
12	月	祝日							
13	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	機・生化実					
14	水	選択外国語	法学	政治学	生物学				
15	木	生物学	倫理学	機・生化実					
16	金	英語Ⅰ／史学	国語Ⅱ／英語Ⅰ	機・生化	物理学	補講(物)			
17	土								
18	日								
19	月	Early Exposure(病院体験実習)		機・生化	人文地理				
20	火	Early Exposure(病院体験実習)		機・生化	物理学	補講(物)			
21	水	Early Exposure(病院体験実習)		政治学	物理学	補講(物)			
22	木	Early Exposure(病院体験実習)		数理論理学	生物学				
23	金	Early Exposure(病院体験実習)		機・生化実					
24	土								
25	日								
26	月	生物学	機・生化	物理学	人文地理		補講(物)		
27	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	形態・組織					
28	水	選択外国語	法学	政治学	機・生化				
29	木	機・生化	倫理学	数理論理学	生物学				
30	金	英語Ⅰ／史学	国語Ⅱ／英語Ⅰ	形態・組織					
31	土								

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	日								
2	月	生物学	物理学	機・生化	人文地理				
3	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	形態・組織					
4	水	選択外国語	法学	形態・組織					
5	木	機・生化	倫理学	数理論理学	物理学	補講(物)			
6	金	英語Ⅰ／史学	国語Ⅱ／英語Ⅰ	形態・組織	機・生化	補講(物)			
7	土								
8	日								
9	月		物理学	機・生化	人文地理				
10	火	機・生化	法学		物理学	補講(物)			
11	水	祝日							
12	木	機・生化	倫理学	数理論理学	形態・組織				
13	金	英語Ⅰ／史学	国語Ⅱ／英語Ⅰ						
14	土								
15	日								
16	月	教養講座(美術)			形態・組織				
17	火	英語Ⅱ／体育	体育／英語Ⅱ	機・生化実					
18	水	選択外国語	法学	政治学	形態・組織				
19	木	定期試験							
20	金								
21	土								
22	日								
23	月	祝日							
24	火	定期試験							
25	水								
26	木								
27	金								
28	土								

令和7年度 第1学年(第52期)授業時間割表

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	日									
2	月					形態・組織				
3	火	形態・解剖				形態・組織				
4	水					形態・解剖				
5	木					形態・解剖				
6	金	卒業式予行								
7	土	卒業式								
8	日									
9	月	形態・解剖				形態・組織				
10	火					形態・解剖				
11	水					形態・解剖				
12	木					形態・組織				
13	金					形態・解剖				
14	土									
15	日									
16	月					形態・組織				
17	火									
18	水									
19	木									
20	金	祝日								
21	土									
22	日									
23	月									
24	火									
25	水									
26	木	代休(卒業式 3/7)								
27	金	学生部長所定								
28	土									
29	日									
30	月	学生部長所定								
31	火									

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	火	学生部長所定(入校式準備等)							
2	水	学生部長所定(入校式準備等)							オリエンテーション
3	木	感染症	形態・解剖	形態・解剖					
4	金	入校式予行							
5	土								
6	日								
7	月	入校式							
8	火	形態・組織(各実)			形態・解剖				
9	水	形態・解剖	感染症	形態・解剖					
10	木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・解剖					
11	金	社会学	形態・解剖	春季定期訓練					
12	土								
13	日								
14	月	春季定期訓練							
15	火								
16	水								
17	木								
18	金								
19	土								
20	日								
21	月	春季定期訓練							
22	火	機・生理			形態・解剖				
23	水	形態・解剖	感染症	形態・解剖					
24	木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・組織(各実)					
25	金	社会学	形態・解剖	感染症	学生部長所定(休暇前教育等)				
26	土								
27	日								
28	月	休暇等取得奨励期間							
29	火	祝日							
30	水	形態・解剖			形態・組織(各実)				

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・解剖					
2	金	社会学	形態・解剖	形態・解剖					
3	土	祝日							
4	日	祝日							
5	月	祝日							
6	火	祝日							
7	水	形態・解剖	感染症	形態・解剖					
8	木	機・生理			形態・解剖				
9	金	機・生理			形態・解剖				
10	土								
11	日								
12	月	社会学	感染症	形態・解剖					
13	火	Early Exposure (病院体験実習)			形態・組織(各実)				
14	水	Early Exposure (病院体験実習)			形態・解剖				
15	木	体育祭準備							
16	金	体育祭							
17	土								
18	日								
19	月	社会学	形態・解剖	体力検定					
20	火	機・生理			形態・解剖				
21	水	形態・解剖	感染症	形態・解剖					
22	木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・組織(各実)					
23	金	機・生理			形態・解剖				
24	土								
25	日								
26	月		形態・解剖	形態・解剖					
27	火	機・生理			形態・組織(各実)				
28	水	形態・解剖			形態・組織(各実)				
29	木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・解剖					
30	金	機・生理			形態・解剖				
31	土								

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	日								
2	月	社会学	形態・解剖	形態・解剖					
3	火	機・生理		形態・組織（各実）					
4	水	形態・解剖	形態・発生	形態・解剖					
5	木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・解剖					
6	金	形態・解剖		形態・組織（各実）					
7	土								
8	日								
9	月	社会学	形態・解剖	形態・解剖					
10	火	Early Exposure（病院体験実習）		形態・解剖					
11	水	形態・解剖		感染症	課外講演				
12	木	機・生理		形態・発生					
13	金	形態・解剖		形態・組織（各実）					
14	土								
15	日								
16	月	社会学	感染症	形態・解剖					
17	火	機・生理		形態・解剖					
18	水	形態・発生		形態・解剖					
19	木	夏季定期訓練							
20	金								
21	土								
22	日								
23	月	夏季定期訓練							
24	火								
25	水								
26	木								
27	金								
28	土	夏季定期訓練							
29	日								
30	月	夏季定期訓練							

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	火	夏季定期訓練							
2	水								
3	木								
4	金								
5	土								
6	日								
7	月	社会学	形態・解剖	形態・解剖					
8	火	形態・発生	形態・組織(各実)	形態・組織(各実)					
9	水		感染症	形態・発生					
10	木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・組織(各実)					
11	金								
12	土								
13	日								
14	月	社会学	形態・解剖	形態・解剖					
15	火	機・生理		形態・組織(各実)					
16	水		感染症	形態・解剖					
17	木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・組織(各実)					
18	金	機・生理		形態・解剖					
19	土	共用試験(OSCE)支援							
20	日								
21	月	祝日							
22	火		形態・発生	形態・解剖					
23	水	形態・発生	感染症	形態・解剖					
24	木	実用英語／体育	体育／実用英語	感染症	学生部長所定(休暇前教育等)				
25	金								
26	土								
27	日								
28	月	休暇等取得奨励期間							
29	火								
30	水								
31	木								

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 金	休暇等取得奨励期間								
2 土									
3 日									
4 月	休暇等取得奨励期間								
5 火									
6 水									
7 木									
8 金									
9 土									
10 日									
11 月	祝日								
12 火	休暇等取得奨励期間								
13 水									
14 木									
15 金									
16 土									
17 日									
18 月	社会学	感染症	形態・病理総						
19 火	形態・解剖	免・ア	形態・解剖						
20 水	形態・解剖	感染症	形態・解剖						
21 木	実用英語／体育	体育／実用英語	機・生理						
22 金	形態・組織（各実）	形態・解剖	形態・解剖						
23 土									
24 日									
25 月	社会学	形態・解剖	形態・解剖						
26 火	感染症			形態・病理総					
27 水	機・医工	機・生理	機・生理						
28 木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・病理総						
29 金	感染症			機・生理					
30 土									
31 日									

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	月	社会学	形態・解剖	形態・解剖					
2	火	感染症			形態・病理総				
3	水	機・生理			形態・解剖				
4	木	実用英語／体育	体育／実用英語	形態・発生					
5	金	感染症	形態・発生	機・生理					
6	土								
7	日								
8	月	社会学	機・分子生体	形態・解剖					
9	火	機・生理			免・ア	感染症			
10	水	機・医工	感染症	形態・病理総					
11	木	実用英語／体育	体育／実用英語	機・生理					
12	金	形態・発生	感染症	形態・病理総					
13	土								
14	日								
15	月	祝日							
16	火	感染症	免・ア	形態・病理総					
17	水	機・生理			形態・病理総				
18	木	実用英語／体育	体育／実用英語	機・医工	形態・発生				
19	金	感染症	機・生理	形態・発生	機・医工				
20	土								
21	日								
22	月	定期試験							
23	火	祝日							
24	水	定期試験							
25	木								
26	金								
27	土								
28	日								
29	月	定期試験							
30	火								

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	水	定期試験							
2	木	機・分子生体			免・ア		観閲行進訓練		
3	金	形態・病理総			機・生理実				
4	土								
5	日								
6	月	コミュニケーション技法			機・生理実				
7	火	防衛医学			防衛医学		観閲行進訓練		
8	水	感染症			機・生理				
9	木	防衛医学	機・分子生体		免・ア		観閲行進訓練		
10	金	機・医工	機・薬理		機・生理実				
11	土								
12	日								
13	月	祝日							
14	火	形態・病理総			感染症		免・ア		
15	水	感染症	機・薬理		機・医工実習				
16	木	防衛医学	機・医工		機・医工実習				
17	金	機・薬理			観閲行進訓練				
18	土								
19	日								
20	月	コミュニケーション技法			形態・病理総				
21	火	機・薬理	感染症		観閲行進訓練				
22	水	機・薬理	感染症		形態・病理総				
23	木				学校祭準備				
24	金	学校祭準備							
25	土	学校祭							
26	日								
27	月	学校祭撤収			機・生理実				
28	火	感染症	機・分子生体		免・ア		感染症		
29	水	感染症	機・薬理		機・分子生体				
30	木	機・薬理			感染症				
31	金	総合防災訓練							

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	土								
2	日								
3	月	祝日							
4	火	感染症	機・医工	機・生理	免・ア				
5	水	慰霊祭							
6	木	訓育			機・生理実				
7	金	防衛医学	免・ア	機・生理実					
8	土								
9	日								
10	月	コミュニケーション技法			機・生理実				
11	火	防衛医学	免・ア	形態・病理総					
12	水	機・生理			形態・病理総				
13	木	防衛医学	機・医工	機・生理実					
14	金	機・医工	感染症	機・薬理					
15	土								
16	日								
17	月	コミュニケーション技法			機・生理実				
18	火	機・薬理			感染症	免・ア			
19	水	機・医工	機・薬理	形態・病理総					
20	木	防衛医学	感染症	機・生理実					
21	金	感染症	免・ア	機・医工実習					
22	土								
23	日	祝日							
24	月	振替							
25	火	学生部長所定(体力検定補備)			機・生理				
26	水	感染症			形態・病理各				
27	木	創立記念行事							
28	金	感染症	機・分子生体	免・ア					
29	土								
30	日								

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

1 2 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 月	コミュニケーション技法				機・生理実				
2 火	感染症		免・ア		形態・病理総				
3 水	機・薬理		感染症		機・生理実				
4 木	感染症				形態・病理各				
5 金	機・生理				免・ア				
6 土									
7 日									
8 月	機・生理				感染症				
9 火	防衛医学		機・分子生体		機・医工実習				
10 水	機・薬理		感染症		機・生理				
11 木	防衛医学		機・医工		機・医工実習				
12 金	機・生理				形態・病理各				
13 土									
14 日									
15 月	機・分子生体				採用試験支援準備				
16 火	機・分子生体				機・医工実習				
17 水	採用試験支援								
18 木									
19 金									
20 土									
21 日									
22 月					学生部長所定(冬訓説明・休暇前教育等)				
23 火									
24 水									
25 木	代休(学校祭10/25)								
26 金	代休(学校祭10/26)								
27 土									
28 日									
29 月	特別休暇								
30 火									
31 水									

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	木	特別休暇								
2	金									
3	土									
4	日									
5	月	コミュニケーション技法			形態・病理各					
6	火	免・ア	機・生化		防衛医学		機・医工			
7	水	形態・病理各			機・生理					
8	木	免・ア	機・分子生体		機・医工実習					
9	金	感染症	機・生化		形態・病理各					
10	土									
11	日									
12	月	祝日								
13	火	形態・病理各			機・医工実習					
14	水	機・生化	機・薬理		形態・病理各					
15	木	機・薬理			機・薬理		感染症			
16	金	機・生理			形態・病理各					
17	土									
18	日									
19	月	冬季定期訓練								
20	火									
21	水									
22	木									
23	金									
24	土									
25	日									
26	月	感染症	機・薬理		防衛医学					
27	火	感染症	機・薬理		形態・病理各					
28	水	機・薬理	機・生化		形態・病理各					
29	木	感染症	免・ア		形態・病理各					
30	金	総合試験								
31	土									

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	日								
2	月	コミュニケーション技法			形態・病理各				
3	火	免・ア	機・薬理		形態・病理各				
4	水	機・薬理		感染症		形態・病理各			
5	木	免・ア			機・生理				
6	金			機・薬理		形態・病理各			
7	土								
8	日								
9	月			感染症		形態・病理各			
10	火			機・薬理		機・生理			
11	水	祝日							
12	木	免・ア			機・医工実習				
13	金	機・薬理		感染症		形態・病理各			
14	土								
15	日								
16	月	コミュニケーション技法			形態・病理各				
17	火	形態・病理各			機・医工実習				
18	水	定期試験							
19	木								
20	金								
21	土								
22	日								
23	月	祝日							
24	火	定期試験							
25	水								
26	木								
27	金								
28	土								

令和7年度 第2学年(第51期)授業時間割表

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	日									
2	月	定期試験(追再試)								
3	火	定期試験(追再試)								
4	水									
5	木									
6	金	卒業式予行								
7	土	卒業式								
8	日									
9	月	学生部長所定								
10	火									
11	水									
12	木									
13	金									
14	土									
15	日									
16	月									
17	火									
18	水									
19	木									
20	金	祝日								
21	土									
22	日									
23	月									
24	火									
25	水									
26	木	代休(卒業式 3/7)								
27	金	学生部長所定								
28	土									
29	日									
30	月	学生部長所定								
31	火									

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

R7.3月		1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	土									
2	日									
3	月	定期試験(追再試)								
4	火	血液等			定期試験(追再試)					
5	水	消化器			内分泌等		循環器			
6	木									
7	金	卒業式予行								
8	土	卒業式								
9	日									
10	月									
11	火									
12	水									
13	木									
14	金									
15	土									
16	日									
17	月									
18	火									
19	水									
20	木	祝日								
21	金									
22	土									
23	日									
24	月									
25	火									
26	水	学生部長所定								
27	木									
28	金									
29	土									
30	日									
31	月									

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	火	学生部長所定(着校支援)							
2	水	学生部長所定(着校支援)							
3	木	精神			運動		血液等		オリエンテーション
4	金	入校式予行							
5	土								
6	日								
7	月	入校式							
8	火	血液等			運動		消化器		
9	水	消化器	社会・衛生公衆衛生		呼吸器				
10	木	循環器			形態・病理各				
11	金	運動	社会・衛生公衆衛生		呼吸器				
12	土								
13	日								
14	月	消化器			形態・病理各				
15	火	循環器	運動		免疫学実習				
16	水	形態・病理各			呼吸器				
17	木	血液等			体育				
18	金	消化器	循環器		免疫学実習				
19	土								
20	日								
21	月	精神			消化器				
22	火	血液等	社会・衛生公衆衛生		免疫学実習				
23	水	循環器			消化器				
24	木	春季定期訓練							
25	金								
26	土								
27	日								
28	月	精神			消化器				
29	火	祝日							
30	水	消化器			循環器				

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	木	運動	機能・臨床検査	血液等					
2	金	消化器			運動				
3	土	祝日							
4	日	祝日							
5	月	祝日							
6	火	祝日							
7	水	消化器	社会・衛生公衆衛生	機能・臨床検査					
8	木	運動			血液等				
9	金	消化器	循環器	免疫学実習					
10	土								
11	日								
12	月	体力検定			内分泌等				
13	火	形態・病理各	血液等	形態・病理各					
14	水	運動	社会・衛生公衆衛生	機能・薬理実習					
15	木	体育祭準備							
16	金	体育祭							
17	土								
18	日								
19	月	循環器	社会・衛生公衆衛生	内分泌等					
20	火	循環器	社会・衛生公衆衛生	消化器					
21	水	精神			消化器				
22	木	形態・病理各			血液等				
23	金	消化器	内分泌等	精神					
24	土								
25	日								
26	月	精神	社会・衛生公衆衛生	消化器					
27	火	内分泌等			血液等				
28	水	精神			循環器				
29	木	消化器			体育				
30	金	精神			運動				
31	土								

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	日									
2	月	消化器	精神	消化器						
3	火	内分泌等			運動					
4	水	消化器			呼吸器					
5	木	消化器			体育					
6	金	循環器			精神	消化器				
7	土									
8	日	総合火力演習研修								
9	月	血液等			消化器					
10	火	消化器	内分泌等	消化器	免疫学実習					
11	水	消化器	内分泌等	内分泌等	課外講演					
12	木	消化器			呼吸器					
13	金	内分泌等	消化器	精神	消化器					
14	土									
15	日									
16	月	運動			社会・衛生公衆衛生	血液等				
17	火	内分泌等			内分泌等	消化器				
18	水	循環器			消化器					
19	木	血液等			体育					
20	金	消化器			学生部長所定					
21	土									
22	日									
23	月	夏季定期訓練								
24	火									
25	水									
26	木									
27	金									
28	土									
29	日									
30	月	夏季定期訓練								

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 火	夏季定期訓練								
2 水									
3 木									
4 金									
5 土									
6 日									
7 月	運動	社会・衛生公衆衛生		夏季定期訓練(水泳練成)					
8 火	血液等	社会・衛生公衆衛生		夏季定期訓練(学生部長所定(水泳練成))					
9 水	循環器			夏季定期訓練(水泳練成)					
10 木	消化器	社会・衛生公衆衛生		夏季定期訓練(学生部長所定(水泳練成))					
11 金	内分泌等			夏季定期訓練(水泳練成)					
12 土									
13 日									
14 月	夏季定期訓練								
15 火									
16 水									
17 木									
18 金							消化器		
19 土									
20 日									
21 月	祝日								
22 火	運動			形態・病理各					
23 水	消化器	運動		内分泌等		消化器			
24 木	機能・臨床検査			体育					
25 金	消化器			内分泌等		学生部長所定			
26 土									
27 日									
28 月	代休(総合火力演習 6/8)								
29 火	休暇等取得奨励期間								
30 水									
31 木									

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 金	休暇等取得奨励期間								
2 土									
3 日									
4 月	休暇等取得奨励期間								
5 火									
6 水									
7 木									
8 金									
9 土									
10 日									
11 月	祝日								
12 火	休暇等取得奨励期間								
13 水									
14 木									
15 金									
16 土									
17 日									
18 月	消化器			内分泌等					
19 火	内分泌等		形態・放射線		消化器				
20 水	循環器			運動					
21 木	消化器			形態・放射線		I P M H E			
22 金	運動		社会・衛生公衆衛生		精神				
23 土									
24 日									
25 月	機能・臨床検査		社会・衛生公衆衛生		消化器				
26 火	運動		社会・衛生公衆衛生		精神			Early Exposure	
27 水	機能・薬理各			精神		運動			
28 木	循環器			体育					
29 金	機能・薬理各		社会・衛生公衆衛生		消化器				
30 土									
31 日									

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1月	Early Exposure(病院体験実習)				機能・薬理各		内分泌等		
2火	Early Exposure(病院体験実習)				循環器				
3水	機能・薬理各		循環器		運動				
4木	消化器		形態・放射線		体育				
5金	精神				内分泌等				
6土									
7日									
8月	消化器				循環器				
9火	循環器		免疫等		循環器				
10水	運動		形態・放射線		消化器		精神		
11木	運動		形態・放射線		体育				
12金	免疫等				形態・放射線		内分泌等		
13土									
14日									
15月	祝日								
16火	呼吸器				循環器				
17水	消化器		形態・放射線		機能・臨床検査				
18木	防衛医学				体育				
19金	運動		神経		循環器				
20土									
21日									
22月	定期試験								
23火	祝日								
24水	定期試験								
25木									
26金									
27土									
28日									
29月	定期試験								
30火									

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	水	定期試験								
2	木	社会・法医	社会・衛生公衆衛生	腎・尿路	観閲行進訓練					
3	金	神経	形態・放射線	社会・衛生学実習						
4	土									
5	日									
6	月	神経	形態・放射線	形態・病理(症例)						
7	火	機能・薬理各	社会・衛生公衆衛生	腎・尿路	観閲行進訓練					
8	水	神経	社会・法医	呼吸器						
9	木	腎・尿路	形態・放射線	呼吸器	観閲行進訓練					
10	金	形態・病理(症例)	社会・衛生公衆衛生	社会・衛生学実習						
11	土									
12	日									
13	月	祝日								
14	火	腎・尿路	防衛医学	呼吸器	神経					
15	水	社会・法医	社会・衛生公衆衛生	機能・薬理各	腎・尿路					
16	木	社会・法医	社会・衛生公衆衛生	形態・病理(症例)	腎・尿路					
17	金	呼吸器			観閲行進訓練					
18	土									
19	日									
20	月	呼吸器			神経	I P M H E				
21	火	神経	腎・尿路	観閲行進訓練						
22	水	血液等	社会・衛生公衆衛生	機能・薬理各	腎・尿路					
23	木	呼吸器								
24	金	学校祭準備								
25	土	学校祭								
26	日									
27	月	学校祭撤収			形態・病理(症例)					
28	火	要員基礎(救急法)								
29	水	神経	社会・衛生公衆衛生	形態・病理(症例)						
30	木	防衛医学			体育					
31	金	総合防災訓練								

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	土									
2	日									
3	月	祝日								
4	火	社会・法医	機能・薬理各	学生部長所定(体力検定補備)						
5	水	慰霊祭								
6	木	腎・尿路	社会・衛生公衆衛生	神経	機能・薬理各					
7	金	神経	社会・衛生公衆衛生	呼吸器						
8	土									
9	日									
10	月	神経	社会・衛生公衆衛生	形態・病理(症例)						
11	火	社会・法医	呼吸器	機能・薬理各	神経					
12	水	免疫等			循環器					
13	木	神経	社会・衛生公衆衛生	形態・病理(症例)						
14	金	防衛医学			機能・薬理実習					
15	土									
16	日									
17	月	神経	社会・衛生公衆衛生	形態・病理(症例)						
18	火	防衛医学			循環器					
19	水	腎・尿路			神経					
20	木	呼吸器	社会・衛生公衆衛生	体育						
21	金	社会・法医			社会・衛生公衆衛生	I P M H E				
22	土									
23	日	祝日								
24	月	振替								
25	火	社会・法医	神経	循環器						
26	水	神経			形態・病理(症例)					
27	木	創立記念行事								
28	金	免疫等			学生部長所定					
29	土									
30	日									

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

1 2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1月	機能・薬理各		社会・衛生公衆衛生		機能・臨床検査		神経		循環器
2火	防衛医学				神経				
3水	I P M H E								
4木	神経		機能・薬理各		社会・公衆衛生実習				
5金	免疫等				社会・法医実習				
6土									
7日									
8月	神経		社会・衛生公衆衛生		機能・薬理実習				
9火	循環器		社会・衛生公衆衛生		社会・法医実習				
10水	硫黄島所在部隊実習								
11木									
12金									
13土									
14日									
15月	腎・尿路		社会・衛生公衆衛生		社会・法医実習				
16火	神経				腎・尿路		I P M H E		
17水	社会・法医		社会・衛生公衆衛生		社会・公衆衛生実習				
18木	呼吸器		腎・尿路		体育				
19金	神経				社会・法医実習				
20土									
21日									
22月	腎・尿路		社会・衛生公衆衛生		神経		学生部長所定(休暇前教育等)		
23火	防衛医学				社会・法医実習				
24水	社会・法医				社会・公衆衛生実習				
25木	代休(学校祭10/25)								
26金	代休(学校祭10/26)								
27土									
28日									
29月	特別休暇								
30火									
31水									

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	木	特別休暇								
2	金									
3	土									
4	日									
5	月	神経			社会・法医実習					
6	火	腎・尿路			神経					
7	水	免疫等								
8	木	機能・薬理各		社会・衛生公衆衛生		体育				
9	金	神経			社会・法医実習					
10	土									
11	日									
12	月	祝日								
13	火	循環器			機能・薬理実習					
14	水	神経			社会・法医実習					
15	木	社会・法医		社会・衛生公衆衛生		感染症実習				
16	金	神経			感染症実習					
17	土									
18	日									
19	月	呼吸器		社会・衛生公衆衛生		社会・公衆衛生実習				
20	火	神経			社会・法医実習					
21	水	腎・尿路		腎・尿路		免疫等				
22	木	神経			感染症実習					
23	金	神経		腎・尿路		感染症実習				
24	土									
25	日									
26	月	神経		社会・衛生公衆衛生		感染症実習				
27	火	循環器			社会・法医実習					
28	水				腎・尿路					
29	木	機能・臨床検査		社会・衛生公衆衛生		感染症実習				
30	金	神経			感染症実習					
31	土									

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	日									
2	月	機能・臨床検査	社会・衛生公衆衛生		感染症実習					
3	火	循環器			感染症実習					
4	水	腎・尿路			感染症実習					
5	木	機能・薬理各			社会・法医実習					
6	金	神経	機能・薬理各		訓育					
7	土									
8	日									
9	月	腎・尿路	社会・衛生公衆衛生		社会・法医実習					
10	火	機能・薬理実習			感染症実習					
11	水	祝日								
12	木	免疫等	神経		体育					
13	金	機能・薬理各	循環器		社会・法医実習					
14	土									
15	日									
16	月	神経	社会・衛生公衆衛生		感染症実習					
17	火	社会・法医			機能・臨床検査					
18	水	機能・薬理実習			感染症実習					
19	木	機能・薬理各			機能・臨床検査					
20	金	神経			感染症実習					
21	土									
22	日									
23	月	祝日								
24	火	循環器	機能・薬理各		腎・尿路					
25	水	定期試験								
26	木									
27	金									
28	土									

令和7年度 第3学年(第50期)授業時間割表

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 日									
2 月	定期試験								
3 火									
4 水	定期試験(追再試)								
5 木	定期試験(追再試)								
6 金	卒業式予行								
7 土	卒業式								
8 日									
9 月	学生部長所定								
10 火									
11 水									
12 木									
13 金									
14 土									
15 日									
16 月									
17 火									
18 水									
19 木									
20 金	祝日								
21 土									
22 日									
23 月									
24 火									
25 水									
26 木	代休(卒業式 3/7)								
27 金	学生部長所定								
28 土									
29 日									
30 月	学生部長所定								
31 火									

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	火	救・総系総臨			感覚器				
2	水	救・総系麻酔	機能・臨床検査		防衛医学		感染症		
3	木	社会・統計学		感覚器		感覚器			
4	金	入校式予行							
5	土								
6	日								
7	月	入校式							
8	火	救・総系麻酔	救・総系救急		生殖器				
9	水	救・総系総臨	機能・臨床検査		防衛医学		感染症		オリエンテーション
10	木	社会・統計学		感覚器		感覚器			
11	金	生殖器			救・総系救急		感覚器		
12	土								
13	日								
14	月	救・総系麻酔	救・総系救急		生殖器				
15	火	社会・統計学		感覚器		救・総系麻酔		感覚器	
16	水	救・総系救急	機能・臨床検査		防衛医学		感染症		
17	木	社会・統計学		感覚器		救・総系総臨		感覚器	
18	金	生殖器			感覚器		救・総系救急		
19	土								
20	日								
21	月	春季定期訓練							
22	火								
23	水								
24	木								
25	金								
26	土								
27	日								
28	月	休暇等取得奨励期間							
29	火	祝日							
30	水	救・総系総臨	救・総系救急		救・総系救急		救・総系麻酔		

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	木	社会・統計学	救・総系麻醉	感觉器					
2	金								
3	土	祝日							
4	日	祝日							
5	月	祝日							
6	火	祝日							
7	水	感觉器	機能・臨床検査	防衛医学		救・総系総臨			
8	木	社会・統計学	社会・医療倫理	生殖器					
9	金	生殖器			感觉器		感染症		
10	土								
11	日								
12	月	救・総系麻醉	救・総系救急	感觉器					
13	火	社会・統計学	救・総系総臨	生殖器					
14	水	感觉器	機能・臨床検査	防衛医学		感染症			
15	木	体育祭準備							
16	金	体育祭							
17	土								
18	日								
19	月	体力検定			防衛医学		感觉器		
20	火	社会・統計学	感觉器		生殖器				
21	水	感觉器			救・総系救急		感染症		
22	木	社会・統計学	社会・医療倫理	救・総系麻醉		救・総系総臨			
23	金	生殖器			機能・臨床検査				
24	土								
25	日								
26	月	救・総系麻醉	救・総系救急	救・総系救急		感觉器			
27	火	社会・統計学	感觉器		生殖器				
28	水	感觉器			救・総系総臨		感染症		
29	木	社会・統計学	社会・医療倫理	感觉器		防衛医学			
30	金	生殖器			機能・臨床検査				
31	土								

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	日									
2	月	救・総系麻酔	救・総系救急	救・総系救急	感覚器					
3	火	社会・統計学	感覚器	生殖器						
4	水	感覚器	救・総系救急	防衛医学	感染症					
5	木	社会・統計学	機能・臨床検査							
6	金	生殖器			感覚器					
7	土									
8	日									
9	月	救・総系麻酔	救・総系救急	防衛医学	感覚器					
10	火	社会・統計学	感覚器	機能・臨床検査						
11	水	感覚器			救・総系救急	課外講演				
12	木	社会・統計学	社会・医療倫理	感覚器						
13	金	生殖器			生殖器					
14	土									
15	日									
16	月	救・総系麻酔	救・総系救急	感覚器						
17	火	社会・統計学	感覚器	生殖器						
18	水	感覚器			防衛医学	感染症	オリエンテーション			
19	木	社会・統計学	社会・医療倫理	機能・臨床検査						
20	金	学生採用説明会支援（準備）								
21	土	学生採用説明会支援								
22	日									
23	月	救・総系麻酔	防衛医学	生殖器						
24	火	社会・統計学	感覚器	機能・臨床検査						
25	水	感覚器			防衛医学	感染症				
26	木	社会・統計学	感覚器	感覚器						
27	金	生殖器			機能・臨床検査	感染症				
28	土									
29	日									
30	月	救・総系麻酔	救・総系救急	感覚器	基本的診療技能実習					

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	火	社会・統計学	感觉器		感觉器		機能・臨床検査			
2	水	救・総系救急					基本的診療技能実習			
3	木	社会・統計学	社会・医療倫理		生殖器		基本的診療技能実習			
4	金	救・総系症候診断			感觉器		基本的診療技能実習			
5	土									
6	日									
7	月	救・総系症候診断			救・総系救急		基本的診療技能実習			
8	火	救・総系症候診断			感觉器		基本的診療技能実習			
9	水	救・総系症候診断			防衛医学		基本的診療技能実習			
10	木	救・総系症候診断			学生部長所定(キャリアパス教育)					
11	金	救・総系症候診断			感觉器		基本的診療技能実習			
12	土									
13	日									
14	月	救・総系症候診断			救・総系救急		基本的診療技能実習			
15	火	救・総系症候診断			救・総系麻酔		基本的診療技能実習			
16	水	救・総系症候診断			救・総系救急		基本的診療技能実習			
17	木	救・総系症候診断			生殖器		基本的診療技能実習			
18	金	救・総系症候診断			感觉器		基本的診療技能実習			
19	土									
20	日									
21	月	祝日								
22	火	救・総系症候診断			救・総系麻酔		基本的診療技能実習			
23	水	救・総系症候診断			救・総系救急		基本的診療技能実習			
24	木	救・総系症候診断			生殖器		学生部長所定(休暇前教育等)			
25	金	代休(学生採用説明会 6/21)								
26	土									
27	日									
28	月	休暇等取得奨励期間								
29	火									
30	水									
31	木									

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 金	休暇等取得奨励期間								
2 土									
3 日									
4 月	休暇等取得奨励期間								
5 火									
6 水									
7 木									
8 金									
9 土									
10 日									
11 月	祝日								
12 火	休暇等取得奨励期間								
13 水									
14 木									
15 金									
16 土									
17 日									
18 月									
19 火	救・総系症候診断			感覚器		基本的診療技能実習			
20 水	救・総系症候診断			救・総系救急		基本的診療技能実習			
21 木	救・総系症候診断			生殖器		基本的診療技能実習			
22 金	救・総系症候診断			感覚器		基本的診療技能実習			
23 土									
24 日									
25 月	救・総系症候診断			感覚器		救・総系総臨			
26 火	救・総系症候診断			救・総系救急		救・総系症候診断			
27 水	救・総系症候診断			救・総系麻酔		救・総系症候診断			
28 木	C B T 対策								
29 金									
30 土									
31 日									

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	月	CBT対策							
2	火	共用試験(CBT)							
3	水	救・総系症候診断				救・総系総臨			
4	木	基本的診療技能実習				基本的診療技能実習			
5	金	定期試験							
6	土								
7	日								
8	月	定期試験							
9	火								
10	水								
11	木								
12	金								
13	土								
14	日								
15	月	祝日							
16	火	定期試験							
17	水								
18	木	定期試験(追試)							
19	金	基本的診療技能実習				基本的診療技能実習			
20	土								
21	日								
22	月	基本的診療技能実習				基本的診療技能実習			
23	火	祝日							
24	水	基本的診療技能実習				基本的診療技能実習			
25	木	基本的診療技能実習				基本的診療技能実習			
26	金	基本的診療技能実習				基本的診療技能実習			
27	土								
28	日								
29	月	基本的診療技能実習				基本的診療技能実習			
30	火	基本的診療技能実習				基本的診療技能実習			

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	水	基本的診療技能実習			基本的診療技能実習				
2	木	基本的診療技能実習			基本的診療技能実習				
3	金	基本的診療技能実習			基本的診療技能実習				
4	土	共用試験(OSCE)							
5	日								
6	月	研究室配属							
7	火								
8	水								
9	木								
10	金								
11	土								
12	日								
13	月	祝日							
14	火	研究室配属							
15	水								
16	木	訓育							
17	金	研究室配属			金曜午後授業				
18	土								
19	日								
20	月	研究室配属							
21	火								
22	水								
23	木	学校祭準備							
24	金	学校祭準備							
25	土	学校祭							
26	日								
27	月	研究室配属							
28	火								
29	水								
30	木								
31	金	総合防災訓練							

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

1	1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	土									
2	日									
3	月	祝日								
4	火	研究室配属								
5	水	慰霊祭								
6	木	研究室配属								
7	金									
8	土									
9	日									
10	月	研究室配属								
11	火									
12	水	研究室配属発表会								
13	木	BSLオリエンテーション								
14	金	臨床実習準備				学生部長所定(体力検定補備)				
15	土									
16	日									
17	月	臨床実習								
18	火									
19	水									
20	木									
21	金						金曜午後授業			
22	土									
23	日	祝日								
24	月	振替								
25	火	臨床実習								
26	水									
27	木	創立記念行事								
28	金	臨床実習				金曜午後授業				
29	土									
30	日									

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

1 2 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 月	臨床実習								
2 火									
3 水									
4 木									
5 金									
6 土	特別休暇								
7 日	特別休暇								
8 月	臨床実習								
9 火									
10 水									
11 木									
12 金									
13 土	特別休暇								
14 日	特別休暇								
15 月	臨床実習								
16 火									
17 水									
18 木									
19 金									
20 土	特別休暇								
21 日	特別休暇								
22 月							学生部長所定(休暇前教育等)		
23 火	臨床実習								
24 水	臨床実習								
25 木	代休(学校祭10/25)								
26 金	代休(学校祭10/26)								
27 土	特別休暇								
28 日	特別休暇								
29 月	特別休暇								
30 火									
31 水									

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	木	特別休暇								
2	金									
3	土									
4	日									
5	月	臨床実習								
6	火									
7	水									
8	木									
9	金									
10	土									
11	日									
12	月	祝日								
13	火	臨床実習								
14	水									
15	木									
16	金									
17	土									
18	日									
19	月	臨床実習								
20	火									
21	水									
22	木									
23	金									
24	土									
25	日									
26	月	臨床実習								
27	火									
28	水									
29	木									
30	金					金曜午後授業				
31	土									

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 日									
2 月	臨床実習								
3 火									
4 水									
5 木									
6 金									
7 土									
8 日									
9 月	臨床実習								
10 火									
11 水	祝日								
12 木	臨床実習								
13 金									
14 土									
15 日									
16 月	臨床実習								
17 火									
18 水									
19 木									
20 金									
21 土									
22 日									
23 月	祝日								
24 火	臨床実習								
25 水									
26 木									
27 金									
28 土									

令和7年度 第4学年(第49期)授業時間割表

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	日								
2	月	臨床実習							
3	火								
4	水								
5	木								
6	金	卒業式予行							
7	土	卒業式							
8	日								
9	月	臨床実習							
10	火								
11	水								
12	木								
13	金								
14	土								
15	日								
16	月	臨床実習							
17	火								
18	水								
19	木								
20	金	祝日							
21	土								
22	日								
23	月	臨床実習							
24	火								
25	水								
26	木								
27	金								
28	土								
29	日								
30	月	臨床実習							
31	火								

令和7年度第4・5・6学年金曜日午後の授業時間表

回数	月	日	4年			5年			6年			
			1300～1415	1425～1540	1550～1705	1300～1415	1425～1540	1550～1705	1300～1415	1425～1540	1550～1705	
1	4	11	専門課程	オリエンテーション (臨大)	内科学 循環器/腎/内分泌 (臨大)	小児科学 (臨大)	春季定期訓練					
2		18		精神科学 (臨2)	整形外科科学 (臨2)	整形外科科学 (臨2)	体力検定					
3		25		春季定期訓練			学生部長所定 (休暇前教育)			オリエンテーション (臨大)	学生部長所定 (休暇前教育)	
4	5	9	専門課程	耳鼻咽喉科学 (合) (臨大)	内科学(合) 消化器/感染症/呼吸器 (臨大)	防衛医学(合) (法医学) (臨大)	耳鼻咽喉科学 (合) (臨大)	内科学(合) 消化器/感染症/呼吸器 (臨大)	防衛医学(合) (法医学) (臨大)			
5		23		体力検定			救急医学 (臨大)	整形外科科学 (臨大)				
6		30		脳神経外科学 (臨2)	整形外科科学 (臨大)	眼科学 (合) (臨大)					眼科学 (合) (臨大)	
7	6	6	専門課程	訓育	防衛医学 (臨大)	防衛医学 (臨大)	公衆衛生学 (臨2)	救急医学 (臨2)	救急医学 (臨2)			
8		13		放射線医学 (臨大)	内科学(合) 循環器/腎/内分泌 (臨大)	小児科学 (合) (臨大)			内科学(合) 循環器/腎/内分泌 (臨大)	小児科学 (合) (臨大)		
9		20		内科学 消化器/感染症/呼吸器 (臨大)	外科学2 (合) (臨大)	防衛医学 (合) (臨大)	形成外科 (臨2)	外科学2 (合) (臨大)	防衛医学 (合) (臨大)			
10		27		精神科学 (合) (臨大)	内科学 血液/神経/膠原病/抗加齢血管 (臨大)	外科学1・3 (臨大)	精神科学 (合) (臨大)	救急医学 (臨2)				
11	7	4	専門課程	防衛医学 (合) (臨大)	内科学(合) 血液/神経/膠原病/抗加齢血管 (臨大)	外科学1・3 (合) (臨大)	防衛医学 (合) (臨大)	内科学(合) 血液/神経/膠原病/抗加齢血管 (臨大)	外科学1・3 (合) (臨大)			
12		11		小児科学 (臨2)	整形外科科学 (臨1)	防衛医学 (合) (臨大)	公衆衛生学 (臨大)	整形外科科学 (臨大)	防衛医学 (合) (臨大)			
13		18		内科学 消化器/感染症/呼吸器 (臨2)	泌尿器科学 (臨2)	産科婦人科学 (臨2)	公衆衛生学 (臨大)	救急医学 (臨大)	救急医学 (臨大)			
14		25					学生部長所定 (休暇前教育)			学生部長所定 (休暇前教育)		
15	8	22	専門課程	耳鼻咽喉科学 (臨2)	皮膚科学 (臨2)	放射線医学 (臨2)	公衆衛生学 (臨大)	救急医学 (臨大)	救急医学 (臨大)			
16		29		精神科学 (臨2)	産科婦人科学 (臨2)	眼科学 (臨2)	公衆衛生学 (臨大)	救急医学 (臨大)	救急医学 (臨大)			
17	9	5	専門課程	内科学 血液/神経/膠原病/抗加齢血管 (臨2)	泌尿器科学 (臨2)	小児科学 (臨2)	衛生学 (臨1)	救急医学 (臨1)	救急医学 (臨1)			
18		12		耳鼻咽喉科学 (臨2)	皮膚科学 (臨2)	眼科学 (臨2)	訓育					
19		19		脳神経外科学 (臨2)	皮膚科学 (合) (臨大)	泌尿器科学 (合) (臨大)	衛生学 (臨大)	皮膚科学 (臨大)	泌尿器科学 (合) (臨大)			
20		26		脳神経外科学 (合) (臨大)	産科婦人科学 (合) (臨大)	防衛医学 (合) (臨大)	脳神経外科学 (合) (臨大)	産科婦人科学 (合) (臨大)	防衛医学 (合) (臨大)			

令和7年度第4・5・6学年金曜日午後の授業時間表

回数	月	日	4年			5年			6年		
			1300～1415	1425～1540	1550～1705	1300～1415	1425～1540	1550～1705	1300～1415	1425～1540	1550～1705
21	10	3	基本的診療技能実習					総合臨床医学 (臨2)			
22		10	OSCEフィードバック			放射線医学 (臨2)	外科学2 (臨2)	整形外科学 (臨2)			
23		17	研究室配属			精神科学 (臨2)	内科学 消化器/ 感染症・呼吸器 (臨2)	皮膚科学 (臨2)			
24		24	学校祭準備			産科婦人科学 (臨2)	内科学 循環器/ 腎/内分泌 (臨2)	小児科学 (臨2)			
25		31	総合防災訓練			総合防災訓練			総合防災訓練		
26	11	7	研究室配属			防衛医学 (臨2)	防衛医学 (臨2)	小児科学 (臨2)			
27		14	学生部所定 (体力検定補備)			脳神経外科学 (臨2)	産科婦人科学 (臨2)	外科学1・3 (臨2)			
28		21	臨床実習			学生部所定 (体力検定補備)					
29		28	臨床実習			放射線医学 (臨2)	内科学 循環器/ 腎/内分泌 (臨2)	泌尿器科学 (臨2)	学生部所定 (体力検定補備)		
30	12	5	臨床実習			耳鼻咽喉科学 (臨2)	内科学 血液/ 神経/膠原病/ 抗加齢血管 (臨2)	眼科学 (臨2)			
31		12	臨床実習			内科学 循環器/ 腎/内分泌 (臨2)		外科学1・3 (臨2)			
32		19	臨床実習			総合臨床医学 (31番教場)	放射線医学 (31番教場)	放射線医学 (31番教場)			
33	1	9	臨床実習			内科学 消化器/ 感染症・呼吸器 (臨2)	産科婦人科学 (臨2)	IPEリエゾン (臨2)			
34		16	放射線医学 (臨1)	脳神経外科学 (臨1)	麻酔学 (臨1)	整形外科学 (臨2)	内科学 血液/ 神経/膠原病/ 抗加齢血管 (臨2)	外科学1・3 (臨2)			
35		23	耳鼻咽喉科学 (臨1)			防衛医学 (臨2)	防衛医学 (臨2)				
36		30	耳鼻咽喉科学 (合) (臨大)	皮膚科学 (合) (臨大)	眼科学 (合) (臨大)	耳鼻咽喉科学 (合) (臨大)	皮膚科学 (合) (臨大)	眼科学 (合) (臨大)			
37	2	6	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)			
38		13	臨床実習			多職種連携教育 (IPE)					
39		20	臨床実習								
40		27	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)	特別講義 (臨大)	卒前教育		

3月6日(予定) : 卒業式予行 (対象 : 5・6年)

VI 授業科目の要目

VI 授業科目要目

- ※ 1 進学課程の1単位当たり時間数
- | | |
|--------|--------|
| 講義 | : 15時間 |
| 演習(語学) | : 30時間 |
| 実習・実技 | : 30時間 |
- 2 担当者欄の(招)は、招へい講師を指す。

第1学年	科目	心理学	1単位	責任者	佐藤 豊
------	----	-----	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 佐藤 豊

到達目標： 人の行動と心理を理解するための基礎的知識と考え方を学び、人間の全体的理解に資する。

1. 知識： 人間の心理的活動を規定する諸法則、諸理論を概観し、臨床応用について学ぶ。
2. 態度： 講義中の課題に積極的に参加する。レポート課題の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験、レポート課題により評価する。
2. 態度： 講義中の課題への参加姿勢、リアクションペーパーおよびレポート課題により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
PR-02-01-02	他者に思いやりをもって接することができない場合の原因・背景を考える。
PR-02-02-01	自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。
PR-02-02-02	他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
GE-01-02-01	身体・心理・社会の問題を統合したアプローチを理解している。
GE-01-02-02	個人・家族の双方への影響を踏まえたアプローチを理解している。
GE-03-01-01	ライフサイクル(胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、壮年期、老年期、終末期)の視点で、患者の課題を検討できる。
GE-03-01-03	家族ライフサイクル・家族成員間関係・家族システムの視点で、患者・家族間の問題(虐待・ネグレクト等)を指摘できる。
CM-01-01-01	言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。
CM-01-01-02	非言語的コミュニケーション(身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等)を意識できる。
CM-01-01-04	対人関係に関わる心理的要因(陽性感情・陰性感情等)を認識しながらコミュニケーションをとることができる。

テキスト等：

- ① 当日配布プリント
- ② 長谷川寿一他編 はじめて出会う心理学 第3版（有斐閣アルマ）

教室：臨床小講堂2（4月21日、6月27日、7月11日は2号館31番教場、7月18日は2号館32番教場）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	21	月	5-6	イントロダクション 集団および社会心理学	佐藤	①②
2	5	12	月	5-6	ストレスとコーピング	佐藤	①②
3	5	19	月	5-6	個人差	佐藤	①②
4	5	26	月	5-6	集団および社会心理学②	佐藤	①②
5	6	2	月	5-6	集団および社会心理学③	佐藤	①②
6	6	23	月	5-6	発達心理学	佐藤	①②
7	6	27	金	5-6	学習と記憶	佐藤	①②
8	6	30	月	5-6	動機づけと情動	佐藤	①②
9	7	7	月	5-6	心理社会的介入序説	佐藤	①②

10	7	11	金	7-8	心理社会的介入序説②	佐藤	①②
11	7	14	月	5-6	患者と医療者のストレス	佐藤	①②
12	7	18	金	5-6	職場のメンタルヘルスとマネジメント	佐藤	①②
13	8	18	月	5-6	災害心理学序説	佐藤	①②
14	8	25	月	7-8	心理学小史・全体のまとめ	佐藤	①②

第1学年	科目	哲学	2単位	責任者	宮岸 雄介
------	----	----	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 宮岸 雄介

到達目標：

医官になるための学殖を涵養するため、東洋の哲学を世界の文化遺産と比較しつつ歴史的に概観し、自分自身の人生観・世界観の問題点を発見し、それを先哲の知恵を応用しながら哲学的に思索・解決していく能力を身につける。また、臨床医学や自然科学などの根底にある哲学を理解し、治療の前提となる人間性・倫理観の問題を考えることができるようにする。

1. 知識： 西欧哲学の発展史と比較しながらアジアの諸思想・宗教の特質について説明できる。また、海外の思想が日本の思想にどのような影響を及ぼしたかを概説できる。さらに、以上のような知識を総合して、西洋近代文明の特質と功過を説明できる。
2. 技能： 臨床医学における科学知識を学問の礎である哲学的な観点から概説できる素養を習得する。
3. 態度： 東西の思想を総合的に理解して、医師としての人生観・世界観・自然観を述べるができる素地を形成する。こうした知的営みを行いながら、世界中の様々な価値観を客観的に理解し、尊重できる謙虚な態度を身につける。

評価法：

1. 講義中に行う思索レポートと筆記試験等で評価する。
2. 講義で扱う内容をテーマごとにレポート等でまとめさせ、そこで得られた知識をまとめる構成力、物事を評価する批判力などを評価する。
3. 講義中の態度、講義中に思索した所感文などから評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する（利益相反等）。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-02-01-02	他者に思いやりをもって接することができない場合の原因・背景を考える。
PR-02-02-02	他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものかを考え、意識して行動する。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
GE-04-02-01	人の言動の意味をその人の人生史・生活史や社会関係の文脈の中において検討できる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
RE-01-01-01	常識を疑う。
RE-01-01-02	何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
RE-01-02-01	最先端の研究に刺激を受ける。
RE-03-01-01	自身の関心を問いにすることができる。
S0-04-04-01	近現代思想・哲学の語彙の概要を理解している。
S0-06-01-03	個や集団に及ぼす文化・慣習による影響（コミュニケーションの在り方等）を理解している。

テキスト等：

- ① バートランド・ラッセル『西洋哲学史』（みすず書房）
- ② 津田左右吉『支那思想と日本』（岩波新書）
- ③ 栗田直躬『中国上代思想入門』（平楽寺書店）
- ④ 武内義雄『中国思想史』（岩波書店）
- ⑤ 金谷治『中国思想を考える』（中公新書）
- ⑥ 楠山春樹『老子の人と思想』（汲古書院）
- ⑦ 福井文雅『アジア思想概論』（五曜書房）

- ⑧ 村山吉廣『中国の思想』（社会思想社）
- ⑨ 坂出祥伸『「気」と養生』（人文書院）
- ⑩ 堀池信夫『中国哲学とヨーロッパの哲学者』上下（明治書院）
- ⑪ ハンドアウト（担当者の配布資料など）

教室： 9号館視聴覚教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	24	木	1-2	哲学への誘い	宮岸	①③④⑦⑪
2	5	1	木	1-2	天と地（古代中国の世界観）	宮岸	③⑨⑪
3	5	8	木	1-2	道（中国の自然観）	宮岸	⑥⑦⑪
4	5	22	木	1-2	陰と陽（万物のしくみ探求）	宮岸	③④⑩⑪
5	5	29	木	1-2	生と死（東アジアの死生観）	宮岸	⑪
6	6	5	木	1-2	男と女（東アジアのジェンダー論）	宮岸	①⑪
7	6	26	木	1-2	人の性は善か悪か（人間観の展開）	宮岸	④⑧⑪
8	7	3	木	1-2	義と利（東アジア的資本論）	宮岸	④⑤⑧⑩
9	7	10	木	1-2	孝と忠（家族愛と組織規範、身体論）	宮岸	⑤⑨⑪
10	7	17	木	1-2	法と礼（社会秩序論）	宮岸	⑪
11	7	24	木	1-2	雅と俗（文化のとらえ方）	宮岸	⑤⑦⑪
12	8	21	木	1-2	正統と異端（思想統制の諸相）	宮岸	⑤⑧⑪
13	8	28	木	1-2	古と今（尚古、復古そして疑古、歴史観）	宮岸	⑪
14	9	4	木	1-2	多様性と融合（アジア思想の可能性）	宮岸	①⑤⑦⑩⑪
15	9	11	木	1-2	まとめ	宮岸	⑪
					定期試験	宮岸	

第2学年	科目	社会学	2単位	責任者	金子 雅彦
------	----	-----	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 金子 雅彦

到達目標：

社会的文化的文脈のなかで人の心と社会の仕組みを理解するための基礎的な知識と考え方及びリベラルアーツを学ぶ。臨床実践に行動科学・社会科学の知見を生かすことができるよう、健康・病い・医療に関する社会学（主に医療社会学）の視点・方法・理論について、理解を深める。内容は、医学教育モデル・コア・カリキュラムとともに、米国医学校協会（AAMC）の試験（MCAT）の「行動の心理学的・社会的・生物学的基礎」セクションにおける社会学関連項目も参考にする。

1. 知識： 行動や行動変容に影響を与える社会文化的要因を説明できる。我々が自分自身や他者について考える仕方や他者との相互作用の仕方に影響を与える社会文化的要因を説明できる。健康な状態に影響を与える社会的文化的相異を説明できる。健康な状態に影響を与える社会階層や資源へのアクセスを説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の社会学知識の更新に取り組む。

評価法： 以下の項目を総合的に評価する。

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 課題学習で評価する。講義中の学習態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-03-01： 教養</u>
PR-03-01-01 PR-03-01-02
<u>GE-01-03： 患者中心の医療</u>
GE-01-03-02
<u>GE-02-01： プライマリ・ケアにおける基本概念</u>
GE-02-01-01 GE-02-01-02
<u>GE-03-01： 人生のプロセス</u>
GE-03-01-03
<u>GE-04-02： 社会科学</u>
GE-04-02-01 GE-04-02-02 GE-04-02-03
<u>RE-01-01： 能動的姿勢</u>
RE-01-01-01 RE-01-01-02
<u>RE-03-01： 問い</u>
RE-03-01-01
<u>RE-05-02： 対象者の保護</u>
RE-05-02-01
<u>IP-02-02： 関係性への働きかけ</u>
IP-02-02-02
<u>S0-01-02： 社会保険、公的扶助、社会福祉</u>
S0-01-02-01 S0-01-02-02 S0-01-02-03
<u>S0-06-01： 社会科学と医療との関係</u>
S0-06-01-01 S0-06-01-02 S0-06-01-03

テキスト等：

- ① 当日配布するプリント
- ② 中川輝彦・黒田浩一郎編『よくわかる医療社会学』（ミネルヴァ書房）

- ③ Ballantine, J.H., K.A. Roberts, and K.O. Korgen, *Our Social World: Introduction to Sociology (8th ed.)*, Sage.

教室： 2号館 31 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	11	金	1-2	社会学理論	金子	①②③
2	4	25	金	1-2	社会関係・社会学の諸概念 1	金子	①②③
3	5	2	金	1-2	障害の社会モデル・社会学の諸概念 2	金子	①②③
4	5	12	月	1-2	社会システム (1): 家族・インフォーマルケア	金子	①②③
5	5	19	月	1-2	社会システム (2): 社会的分業と多職種連携	金子	①②③
6	6	2	月	1-2	社会システム (3): 政治 (福祉国家論)	金子	①②③
7	6	9	月	1-2	人口学的推移 (少子高齢化) と社会変化 (グローバル化)	金子	①②③
8	6	16	月	1-2	社会調査 (社会階層と健康格差を事例に)	金子	①②③
9	7	7	月	1-2	文化・ジェンダーと医療	金子	①②③
10	7	14	月	1-2	健康や病気のとらえ方 1 (健康観・行動モデル)	金子	①②③
11	8	18	月	1-2	健康や病気のとらえ方 2 (病の経験)、健康政策	金子	①②③
12	8	25	月	1-2	医療提供システム	金子	①②
13	9	1	月	1-2	専門職論・専門職倫理	金子	①②
14	9	8	月	1-2	社会保障 (医療保障を中心に)	金子	①②
15					定期試験	金子	

第1学年	科目	法学(憲法を含む)	1単位	責任者	中所 克博
------	----	-----------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 中所 克博

到達目標： 基礎となる法の枠組みや解釈の手法を知り、基本的な法知識を獲得する。

1. 知識： 大学課程を修了した者として、社会人として、医療従事者として、国家公務員として知っておくべき基礎となる法（「六法」と呼ばれる憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法および関係する諸法令）について、各自の頭の中に大きな索引を構築する。日常生活や実務に就いた後に法的な問題に遭遇したとき、何を調べ、どのようにアプローチし、いかに考え、行動してゆけば問題の解決に至ることができるのか、その手掛かりとなる最低限の法知識を習得する。
2. 能力： 法的な問題の本質を把握する能力（問題の所在の「当たり」をつける能力）、分析する能力及び紛争を未然に防止し解決する能力を身につける。

評価法：

1. 知識： 論述式の筆記試験によって評価する。
2. 能力： 同上

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応： なし

テキスト等： 授業時に配付するレジュメや法文（①）だけで十分である（格別の準備は必要ない）。なお法に興味を持ち、より広く深く法を概観したいときは、「デイリー六法（令和7年版）」（三省堂・2420円・税別）などのコンパクトな六法を所持しておくことが有益である（なお、購入しなくても、授業と定期試験で不都合はない）。

教室： 1号館 11 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	1	水	3-4	授業ガイダンス 法とは何か、憲法・法律・命令（政令・府省令・規則） の関係、法解釈とは何か	中所	①
2	10	8	水	3-4	憲法(1) 憲法の全体像、立憲主義・法の支配、最高法規と違憲 審査権、個人の尊厳と幸福追求権	中所	①
3	10	15	水	3-4	憲法(2) 基本的人権①（個人情報保護を含む）	中所	①
4	10	22	水	3-4	憲法(3) 基本的人権②（重要判例の紹介を含む）	中所	①
5	11	12	水	3-4	憲法(4) 基本的人権③（自己決定権を含む）、統治機構	中所	①
6	11	26	水	3-4	憲法(5) 憲法改正、平和主義（憲法9条と重要判例）	中所	①
7	12	3	水	3-4	刑事法(1) 刑事訴訟手続全般の流れ（具体例に基づいて）	中所	①
8	12	10	水	3-4	刑事法(2) 刑法の全体像、罪刑法定主義、刑法総論（構成要件 該当性・違法性・有責性）、	中所	①
9	1	7	水	3-4	刑事法(3) 刑法各論（特に医療従事者に関する犯罪類型）	中所	①

10	1	14	水	3-4	刑事法(4) 医療過誤と刑事責任、医療過誤と行政処分	中所	①
11	1	28	水	3-4	民事法(1) 民事法とは、民事法の全体像、医療過誤と民事責任 (損害賠償における人的損害の評価方法を含む)	中所	①
12	2	4	水	3-4	民事法(2) 民事訴訟手続全体の流れ(特に医療従事者が遭遇する 証拠保全、証人尋問・証言拒絶、鑑定、カルテなど につき証拠としての扱われ方)	中所	①
13	2	10	火	3-4	民事法(3) 特に医療従事者に関する部分(能力、代理、委任 契約・診療契約・応召義務、債務不履行・不法行為、 事務管理・トリアージ、親族・相続など)	中所	①
14	2	18	水	3-4	諸法 労働法(各種ハラスメント加害と被害の防止)、医師 法・医療法・保健師助産師看護師法、金融法(クレ ジット・借入れ、各種保険、預金・株式・投資信託) など	中所	①
15	2	25	水	3-4	まとめと定期試験	中所	①

第2学年	科目	コミュニケーション技法	1単位	責任者	伴野 英一
------	----	-------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 伴野 英一

到達目標：

医療面接を睨んでコミュニケーション技法を総合的に学習し、あらゆる「対話」をこなせるようにする。

1. 知識： コミュニケーションの仕組みを論理的に説明できる。
各メディアを冷静に読み解くための用語を説明できる。
非言語コミュニケーションの手法を説明できる。
2. 技能： メディアを冷静に読み解く力を養成し、その手法を自己の表現、意思伝達に利用し活用できる。
非言語コミュニケーション技法を使い、自己のプレゼンテーションを行える。
他者との対話を円滑に行える（医療行為における様々なコミュニケーション技法を活用できる）。
3. 態度： 他者とのコミュニケーションを円滑に行えるよう心掛ける。
聞く力を涵養する。
自ら進んで発信する。
課題の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 講義中の試問とプレゼンテーションおよびディベート等の成果により評価する。
2. 技能： プレゼンテーション、ディベート実践等の達成度を評価する。
3. 態度： 講義中の態度、さらに発表・討議における自発性・積極性を評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-02-01: 思いやり

PR-02-01-01

PR-02-03: 品格・礼儀

PR-02-03-02

PR-03-01: 教養

PR-03-01-02

LL-01-01: 生涯学習の実践

LL-01-01-02

LL-02-01: 医療者教育の実践

LL-02-01-01 LL-02-01-02

RE-01-01: 能動的姿勢

RE-01-01-01 RE-01-01-02

RE-03-01: 問い

RE-03-01-01

RE-04-01: 研究発表

RE-04-01-01 RE-04-01-02 RE-04-01-03

RE-05-01: 適切な研究遂行

RE-05-01-01

IT-01-02: 情報・科学技術利用にあたっての倫理観とルール

IT-01-02-02

IT-03-02: 情報・科学技術を活用した学習スキル

IT-03-02-02

CS-01-01: 医療面接

CS-01-01-01 CS-01-01-03

CM-01-01: 患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用

CM-01-01-01 CM-01-01-02 CM-01-01-03 CM-01-01-04 CM-01-01-05

SO-06-01: 社会科学と医療との関係

SO-06-01-03

テキスト等：

- ① R. E. ワイルマン他『ビジュアル・コミュニケーション』（北大路書房 2002）
- ② 斉藤清二『はじめての医療面接 コミュニケーション技法とその学び方』（医学書院 2000）
- ③ 配布プリント
- ④ 映像教材

教室： 2号館 33 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	6	月	1-4	コミュニケーション実践	伴野	③
2	10	20	月	1-4	プレゼンテーション実践①	伴野	③④
3	11	10	月	1-4	ディベート実践①	伴野	③④
4	11	17	月	1-4	プレゼンテーション実践②	伴野	
5	12	1	月	1-4	プレゼンテーション実践③	伴野	
6	1	5	月	1-4	メディア・リテラシー	伴野	③④
7	2	2	月	1-4	ディベート実践②	伴野	
8	2	16	月	1-4	ディベート実践③	伴野	

第1学年	科目	倫理学	1単位	責任者	大井 賢一
------	----	-----	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 大井 賢一

到達目標：

本科目と医療倫理学（4年後期）は連携して教育を行う。本科目では倫理学の基礎知識や概念を学習し、臨床現場で遭遇しうる倫理学的問題を提示する。医療倫理学では、臨床素材を通じて、より実際の・現代的な倫理学的ジレンマについて、臨床医としての問いの立て方や対応法を学習する。

1. 知識： 倫理原則について理解するとともに、それらの医療への応用について学ぶ。
2. 態度： 講義中の質疑討論に積極的に参加する。レポート課題の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験により評価する。
2. 態度： 講義中の討論への参加姿勢およびレポート課題により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01: 誠実さ</u>		
PR-01-01-01	PR-01-01-02	
<u>PR-01-02: 省察</u>		
PR-01-02-01	PR-01-02-02	
<u>PR-02-01: 思いやり</u>		
PR-02-01-01	PR-02-01-02	
<u>PR-02-02: 他者理解と自己理解</u>		
PR-02-02-01	PR-02-02-02	
<u>PR-02-03: 品格・礼儀</u>		
PR-02-03-01	PR-02-03-02	
<u>PR-03-01: 教養</u>		
PR-03-01-01	PR-03-01-02	
<u>PR-04-01: 臨床倫理</u>		
PR-04-01-01	PR-04-01-02	PR-04-01-03
<u>GE-03-06: 終末期</u>		
GE-03-06-01	GE-03-06-05	
<u>RE-05-01: 適切な研究遂行</u>		
RE-05-01-01		
<u>RE-05-02: 対象者の保護</u>		
RE-05-02-01		
<u>IT-01-02: 情報・科学技術利用にあたっての倫理観とルール</u>		
IT-01-02-01		
<u>S0-04-04: 哲学と医療</u>		
S0-04-04-01		
<u>S0-04-05: 歴史と医学・医療</u>		
S0-04-05-01		
<u>S0-04-07: 社会的公正</u>		
S0-04-07-01		

テキスト等:

- ① 関東医学哲学・倫理学会編『【新版】医療倫理 Q&A』(太陽出版)
- ② 当日配布プリント

教室: 臨床大講堂 (10月30日、12月18日は9号館視聴覚室)

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	2	木	3-4	倫理とは何か 倫理に対する抵抗/人間が倫理的責任を問われる理由/倫理という言葉/倫理とそれに類似するものとの関係 (道徳、法律、宗教)	大井	①②
2	10	9	木	3-4	専門性とは何か プロフェSSIONALという語/プロとノン・プロの違い/プロであるための条件/医業独占・名称独占と応招義務	大井	①②
3	10	16	木	3-4	倫理思想 哲学と倫理学/幸福論としての倫理学/権利思想/功利主義倫理/義務論的倫理	大井	①②
4	10	30	木	3-4	医の倫理の歴史的視点 アスクレピオス物語/ヒポクラテスの誓い/ジュネーブ宣言/医の倫理の国際綱領	大井	①②
5	11	6	木	3-4	医療倫理の歴史的視点 ニュールンベルグ綱領/ヘルシンキ宣言/患者の権利に関するリスボン宣言	大井	①
6	11	20	木	3-4	生命倫理の誕生 人体実験の暴露/医療技術の革新/宗教離れ・世俗化/疾病構造の変化/消費者運動/生命倫理の4原則	大井	①
7	12	4	木	3-4	守秘義務 倫理綱領・法律での守秘の取り扱い/臨床での守秘の限界に関わる状況/危険な患者と医師の警告義務/個人情報保護法とプライバシー権	大井	①②
8	12	11	木	3-4	インフォームド・コンセント インフォームド・コンセントの歴史/インフォームド・コンセントの要件/自己決定権とは	大井	
9	12	18	木	3-4	生きることの質 SOLとQOL/終末期でのQOLを考える/アドバンス・ディレクティブス	大井	①②
10	1	8	木	3-4	死をめぐる倫理問題 死とは/三徴候死と脳死/死後の世界	大井	①②
11	1	15	木	3-4	死をめぐる倫理問題 尊厳死・安楽死	大井	①
12	1	29	木	3-4	死をめぐる倫理問題 QOD (Quality of Death and Dying)	大井	①
13	2	5	木	3-4	出生をめぐる倫理問題 体外受精と人工授精/子の出自を知る権利/生殖に関する権利と生存権/産む権利と産まない権利	大井	①②
14	2	12	木	3-4	生命科学をめぐる倫理問題 遺伝子検査の倫理問題/遺伝子治療の倫理問題	大井	①②
15	2	19	木	3-4	定期試験	大井	

第1学年	科目	国語・国文学 I	2単位	責任者	伴野 英一
------	----	----------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 伴野 英一

到達目標：

日本語（書記言語）の特色について理解を深め、特に学術的文章による意思の伝達を円滑に行えるようにする。

1. 知識： 日本語の文章表現の特色についてその形式別に説明できる。
必要な語彙と文章表現、文章作法を習得する。
2. 技能： 段落構成・文章構成をわきまえ、的確な要約文を作ることができる。
課題に対する意見を的確に叙述することができる。
具体的例証を伴った論理的な小論文・レポートを書くことができる。
3. 態度： 課題の達成に真摯に取り組み、能力の向上を目指す。

評価法：

1. 知識： 講義中の試問および課題として作成した文章と論述試験により評価する。
2. 技能： 課題として作成した文章と論述試験により評価する。
3. 態度： 受講態度と課題に取り組む姿勢によって評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-03-01: 教養</u>
PR-03-01-01 PR-03-01-02
<u>GE-04-02: 社会科学</u>
GE-04-02-01
<u>LL-01-01: 生涯学習の実践</u>
LL-01-01-02
<u>LL-02-01: 医療者教育の実践</u>
LL-02-01-01 LL-02-01-02
<u>RE-01-01: 能動的姿勢</u>
RE-01-01-01 RE-01-01-02
<u>RE-03-01: 問い</u>
RE-03-01-01
<u>RE-04-01: 研究発表</u>
RE-04-01-01
<u>RE-05-01: 適切な研究遂行</u>
RE-05-01-01

テキスト等： ① 配布プリント

教室： 1号館 21 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	25	金	1-4	文章表現法①（書記言語の特質）	伴野	①
2	5	2	金	1-4	文章表現法②（文章作成の決まり事）	伴野	①
3	5	9	金	1-4	文章表現法③（要約文の作成Ⅰ）	伴野	①
4	5	23	金	1-4	文章表現法④（要約文の作成Ⅱ）	伴野	①
5	5	30	金	1-4	文章表現法⑤（要約文の作成Ⅲ）	伴野	①
6	6	27	金	1-4	文章表現法⑥（要約文の作成Ⅳ）	伴野	①

7	7	4	金	1-4	文章表現法⑦（小論文の作成Ⅰ）	伴野	①
8	7	11	金	1-4	文章表現法⑧（小論文の作成Ⅱ）	伴野	①
9	7	18	金	1-4	文章表現法⑨（小論文の作成Ⅲ）	伴野	①
10	7	25	金	1-4	文章表現法⑩（小論文の作成Ⅳ）	伴野	①
11	8	29	金	1-4	文章表現法⑪（小論文の作成Ⅴ）	伴野	①
12	9	5	金	1-4	文章表現法⑫（範例を真似るⅠ）	伴野	①
13	9	12	金	1-4	文章表現法⑬（範例を真似るⅡ）	伴野	①
14	9	19	金	1-4	文章表現法⑭（要約文の作成Ⅴ）	伴野	①
15				1-4	定期試験	伴野	

第1学年	科目	国語・国文学Ⅱ	2単位	責任者	伴野 英一
------	----	---------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 伴野 英一
宮岸 雄介

到達目標：

1. 上代文学の講読を通じて、「原型」というべき日本人の死生観の特質を理解できる。
2. 古文学の講読を通じて、仏教・儒教思想受容の実態と、人生観・死生観の特質を理解できる。
3. 軍記物語・随筆文学の講読を通じて、武士の死生観・倫理観・自然観について理解できる。
4. 鷗外のドイツ留学の記録をたどり、鷗外が西洋から学び得た学術と文学について理解する。
5. 漱石の文学の講読を通じて、近代知識人の苦悩と時代認識について理解できる。
6. 日本の文学作品に現れた各時代の医療の実情と死生観の問題を通観する視野を養う。
7. 東アジアのモダンクラシックである魯迅文学を講読し、文学における国際化の意義を理解する。

評価法：

1. 出席日数、受講態度、講義における課題および定期試験により評価する。
2. 講義で扱う内容をテーマごとにレポート等でまとめさせ、そこで得られた知識をまとめる構成力、物事を評価する批判力などを評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-02-01-01	患者を含めた他者に思いやりをもって接する。
PR-02-03-02	礼儀正しく振る舞う。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
GE-04-02-01	人の言動の意味をその人の人生史・生活史や社会関係の文脈の中において検討できる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
RE-01-01-01	常識を疑う。
RE-03-01-01	自身の関心を問いにすることができる。
RE-03-02-01	研究計画の素案を作ることができる。
RE-04-01-02	発表の場に応じて読者・聴衆にわかりやすく研究内容をプレゼンテーションできる。
CM-01-01-01	言語的コミュニケーション技能を發揮して、良好な人間関係を築くことができる。

テキスト等：

- ① 配布資料
- ② 津田左右吉著『文学に現れたる我が国民思想の研究』（岩波文庫 1977/『津田左右吉全集』（岩波書店）1986
- ③ 新村拓著『日本医療史』（吉川弘文館 2006）
- ④ 竹内好・松枝茂夫編『魯迅選集』（全13巻）（岩波書店 1986）

教室： 1号館 22 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	3	金	3-4	文学とは？—文学研究への誘い	宮岸	①
2	10	10	金	3-4	国文学史の展望① 医療と国文学	宮岸	①③
3	10	17	金	3-4	国文学史の展望② 古典名著概説	宮岸	①②③
4	11	7	金	3-4	国文学史の展望③ 古典名著概説	宮岸	①②③
5	11	14	金	3-4	上代・中古文学に現れた死生観と倫理観	宮岸	①②③
6	11	21	金	3-4	中世文学に現れた死生観と倫理観	宮岸	①②
7	11	28	金	3-4	近世文学に現れた死生観と倫理観	宮岸	①②
8	12	5	金	3-4	鷗外のドイツ留学—航西日記、独逸日記、還東日乗を読む	宮岸	①
9	12	12	金	3-4	漱石のイギリス留学—文学論序を読む	宮岸	①
10	12	19	金	3-4	漱石の漢詩	宮岸	①
11	1	9	金	3-4	漱石の「三四郎」と鷗外の「青年」	宮岸	①④
12	1	16	金	3-4	越境する日本文学① 世界における日本文学	宮岸	①④
13	1	30	金	3-4	越境する日本文学② 東アジアにおける日本文学	宮岸	①④
14	2	6	金	3-4	越境する日本文学③ 近代東アジアにおける日本文学	宮岸	①④
15	2	13	金	3-4	まとめと定期試験	宮岸	①

第1学年	科目	数理論理学	2単位	責任者	中村 好宏
------	----	-------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 中村 好宏
小田 牧子

到達目標：

一般教養ならびに専門教育の履修に際して必要な数学として、線形代数と確率の習得を目標とする。また、論理的思考を身につけるため、数理論理学の初歩を習得する。線形代数においては、統計学の基礎となる、逆行列、固有値を中心に学ぶ。確率においては、統計学の基礎となる確率分布を習得する。自然科学の基礎となる数学を理解することで、論理的な思考を身につけ、科学的考察を行う力を養う。

1. 知識： 逆行列、行列式、固有値を説明できる。確率の定義および各種の確率分布を説明できる。論理結合子を説明できる。
2. 技能： 行列に関する実際の計算を行うことが出来る。実際の確率計算を行うことが出来る。論理結合子を用いて数学の命題を記述できる。
3. 態度： 知識、技能の習得に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 技能： 筆記試験および講義内で行う演習により評価する。
3. 態度： 講義中の態度や提出物により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応： なし

準備教育モデル・コア・カリキュラム「3. 情報の科学（2）統計の基礎」の3）～8）と対応する。ただし、項目を整理統合したため1対1の対応にはなっていない。

テキスト等：

- ① 永田靖 共著「統計学のための数学入門30講」朝倉書店（2005）
- ② 当日配布するプリント

教室： 1号館21番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	2	木	5-6	逆行列	小田	
2	10	9	木	5-6	部分ベクトル空間と行列のランク	小田	
3	10	16	木	5-6	行列式	小田	
4	10	30	木	5-6	固有値・固有ベクトル	小田	
5	11	6	木	5-6	線形代数まとめ	小田	
6	11	20	木	5-6	中間テスト	小田 中村	
7	12	4	木	5-6	事象と確率	中村	
8	12	11	木	5-6	確率変数と確率分布	中村	
9	12	18	木	5-6	離散型確率変数の確率分布	中村	
10	1	8	木	5-6	連続型確率変数の確率分布	中村	
11	1	22	木	5-6	正規分布（1）	中村	
12	1	29	木	5-6	正規分布（2）	中村	
13	2	5	木	5-6	数理論理学	中村	
14	2	12	木	5-6	まとめ	中村	
15					定期試験	小田 中村	

第1学年	科目	史学	1単位	責任者	澤元 互
------	----	----	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 澤元 互

到達目標：

ヨーロッパの医学の歴史について古代ギリシアを中心に、その始まりから近代医学の成立までを学び、各時代・各地域における医療・病気観の違いを認識し現代の医学への理解を深める。

1. 知識： 現代の医学につながる古代・中世から近代医学成立までのさまざまな医術とその背景にある学説、そして世界観を知る（授業項目について多少の変更があるかもしれません）。
2. 態度： 単なる国家試験のための医学の学習ではなく、病とその治療に取り組んだ近代以前の人々の真摯な態度から謙虚に学び、自らも優れた医師になるべく努める。

評価法：

1. 知識： 定期試験による。
2. 態度： 講義形式であるため態度を適切に評価する方法はない。ただしヒポクラテスの精神を学び得たかどうかはおのずから試験結果に表れるものと思う。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

S0-04-05: 歴史と医学・医療

S0-04-05-01

テキスト等： なし

教室： 1号館 21番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	3	金	1-2	ガイダンス（全体の梗概、参考図書の紹介など）	澤元	
2	10	10	金	1-2	医学史・科学史論の概説と文献紹介（1）	澤元	
3	10	17	金	1-2	医学史・科学史論の概説と文献紹介（2）	澤元	
4	11	7	金	1-2	ホメロス医学（1）	澤元	
5	11	14	金	1-2	ホメロス医学（2）	澤元	
6	11	21	金	1-2	神殿医療（1）	澤元	
7	11	28	金	1-2	神殿医療（2）	澤元	
8	12	5	金	1-2	原始キリスト教と癒し（1）	澤元	
9	12	12	金	1-2	原始キリスト教と癒し（2）	澤元	
10	12	19	金	1-2	これまでの復習と議論	澤元	
11	1	9	金	1-2	ヒポクラテス全集とその医学	澤元	
12	1	16	金	1-2	修道院の医学	澤元	
13	1	30	金	1-2	医学校の医学	澤元	
14	2	6	金	1-2	医学部の医学	澤元	
15	2	13	金	1-2	定期試験	澤元	

第1学年	科目	政治学	2単位	責任者	金子 雅彦
------	----	-----	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 金子 雅彦

到達目標：

リベラルアーツの1つである、政治上の諸問題に関する基本的知識を身につけ、現代政治に関する全体像を獲得する。

1. 知識： 政治学理論や諸外国の政治システムと照らし合わせて、日本の政治システムの特徴を把握する。安全保障の基礎概念や戦後日本の安全保障の歴史の変遷を理解する。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の政治学知識の更新に取り組む。

評価法： 以下の事項を総合的に評価する。

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 課題学習で評価する。講義中の学習態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-03-01: 教養
PR-03-01-01 PR-03-01-02
RE-01-01: 能動的姿勢
RE-01-01-01 RE-01-01-02
RE-03-01: 問い
RE-03-01-01

テキスト等：

- ① 当日配布するプリント
- ② 久米郁男ほか『政治学（補訂版）』（有斐閣）
- ③ 防衛大学校安全保障学研究会編『安全保障学入門（新訂第5版）』（亜紀書房）

教室： 1号館21番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	1	水	5-6	政治思想	金子	①②
2	10	8	水	5-6	選挙制度と政治参加	金子	①②
3	10	15	水	5-6	投票行動	金子	①②
4	10	22	水	5-6	政党	金子	①②
5	10	29	水	5-6	議会	金子	①②
6	11	12	水	5-6	執政部	金子	①②
7	11	19	水	5-6	官僚制	金子	①②
8	12	10	水	5-6	国際関係・安全保障の概念（1）	金子	①②③
9	12	24	水	5-6	国際関係・安全保障の概念（2）	金子	①③
10	1	7	水	5-6	冷戦期の日本の安全保障（1）	金子	①③
11	1	14	水	5-6	冷戦期の日本の安全保障（2）	金子	①③
12	1	21	水	5-6	ポスト冷戦期の日本の安全保障（1）	金子	①③
13	1	28	水	5-6	ポスト冷戦期の日本の安全保障（2）	金子	①③
14	2	18	水	5-6	国連と安全保障	金子	①③
15					定期試験	金子	

第1学年	科目	経済学	1単位	責任者	児玉 俊介
------	----	-----	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 児玉 俊介

到達目標：

1. 知識： 経済学の標準的な内容を理解することが第1の目標である。第2には、学んだ理論を現実の経済活動・経済現象にあてはめ、解釈できるようになることである。
2. 態度： 講義中の質疑応答に対し積極的に回答しようとする。レポート課題に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験や副次的なレポートにより評価する。
2. 態度： 講義中の受講態度や質疑応答への姿勢、レポートにより判断する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

S0-01-02： 社会保険、公的扶助、社会福祉

S0-01-02-01 S0-01-02-02

テキスト等：

- ① 八田達夫『ミクロ経済学Ⅰ』（東洋経済新報社）参考書
- ② 細谷・増原・林『医療経済学15講』（新世社）
- ③ 河口洋行『医療の経済学』（日本評論社）
- ④ 小塩隆士『社会保障の経済学』（日本評論社）
- ⑤ 井伊・五十嵐・中村『新医療経済学』（日本評論社）
- ⑥ 康永秀生『経済学を知らずに医療ができるか！？医療従事者のための医療経済学入門』（金芳堂）
- ⑦ 当日配布するプリント
- ⑧ ウェブサイト： 厚生労働省（<http://www.mhlw.go.jp/>）など
- ⑨ その他、講義中に適宜指示する。

教室： 1号館21番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	23	水	3-4	1. 経済学の考え方 1-1 経済の循環 1-2 課題 1-3 モデル 1-4 前提 1-5 完全競争	児玉	①序章1章、 ⑦
2	4	30	水	3-4	2. 需要曲線 2-1 消費者 2-2 性質 2-3 グロスマンモデル 2-4 弾力性 2-5 シフト	児玉	①1章、5章、 ②11講、⑦
3	5	7	水	3-4	3. 供給曲線 3-1 企業 3-2 生産関数 3-3 費用曲線 3-4 短期供給曲線 3-5 シフト	児玉	①2章、5章
4	5	14	水	3-4	4. 市場均衡と経済厚生 4-1 市場均衡の性質 4-2 比較静学 4-3 余剰分析 4-4 競争均衡と厚生	児玉	①2章、3章、4 章、②4講、
5	5	21	水	3-4	5. 市場の失敗、政府の失敗 5-1 独占 5-2 規制 5-3 外部効果 5-4 公共財	児玉	①2章、6章、7 章、8章、10 章、⑦
6	5	28	水	3-4	6. 不確実性と保険 6-1 期待効用 6-2 保険理論 6-3 医療保険とモラルハザード	児玉	②5講、③6章
7	6	4	水	3-4	7. 情報の非対称性 7-1 逆選択 7-2 自己選抜 7-3 シグナル均衡 7-4 エージェントモデル 7-5 医師誘発需要	児玉	①9章、②5、6 講、③1章、6 章、⑦

8	6	25	水	3-4	8. 日本経済概論 8-1 経済成長 8-2 インフレ・デフレ 8-3 財政赤字と公債残高 8-4 財政再建	児玉	⑦⑧
9	7	2	水	3-4	9. 日本の医療経済 9-1 医療の特徴 9-2 社会医療保険制度 9-3 後期高齢者医療制度	児玉	②1~3、7~ 9、12講、③序 章、④⑥⑦⑧
10	7	9	水	3-4	10. 国民医療費 10-1 国民医療費の推移 10-2 増加の意味 10-3 増加の原因 10-4 高齢化	児玉	②、③7章、④ ⑥⑦⑧
11	7	16	水	3-4	11. 医療制度改革 11-1 社会保障と税の一体改革 11-2 地域包括システム 11-3 地域医療構想	児玉	②④⑥⑦⑧
12	7	23	水	3-4	12. 経済学から見た医療制度改革(1) 12-1 ユニバーサルサービス 12-2 エビデンス 12-3 費用対効果評価	児玉	②⑤⑥⑦⑧
13	8	20	水	3-4	12. 経済学から見た医療制度改革(2) 12-4 社会的価値観と総合的評価 12-5 健康行動と予防政策	児玉	②⑤⑥⑦⑧
14	8	27	水	3-4	13. 医療制度改革の方向性 13-1 医療制度改革の評価軸 13-2 保険者機能の強化 13-3 医療の規制緩和 13-4 コロナウイルスと医療制度	児玉	②15講、③7 章、8章、⑤⑥ ⑦⑧
15	9	24	水	3-4	定期試験	児玉	

第1学年	科目	人文地理（地政学）	1単位	責任者	平川 亨
------	----	-----------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 平川 亨

到達目標：

人文地理学の基礎的概念、認識枠組みを理解する。グローバル・ヒストリー、つまりは世界システムの形成過程を通じて地理学の概念や認識枠組みを用い分析・習得する。以上を応用し、新しい事象や事例に対しても、対処可能な考察力を体得する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験や小レポート、課題により評価する。
2. 技能： 地図上において読図作業を適切に行うことによって、地域の特徴を説明できるか評価する。
3. 態度： 講義中の態度、課題への取り組み方により評価する。
「国際社会で活動するための基本的能力」のコンピテンシーについても確認する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応： なし

テキスト等：

- ① 配付資料
 - ② 地図帳（高校・中学校で使用した古いもので良い）
- この他、参考となる文献や資料は授業中に紹介する。定規が必要となる場合には事前に案内する。

教室： 1号館 21 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	6	月	7-8	イントロダクション：地理学の概念	平川	①
2	10	20	月	7-8	人文地理学：地理学的人文的側面-場所の中の人間	平川	①
3	10	27	月	7-8	総合地理学：自然地理学と人文地理学の結合	平川	①②
4	11	10	月	7-8	「地図の歴史」①：地図の始まりと発達	平川	①②
5	11	17	月	7-8	実習：地図作成と講評	平川	①②
6	12	1	月	7-8	「地図の歴史」②：近代地図と地理的発見（大航海時代）	平川	①②
7	12	8	月	5-6	「地図の歴史」③：現代地図と読図，および GIS（疾病地理学関連）	平川	①②
8	12	8	月	7-8	近代のグローバル・ヒストリー①：大航海時代の幕開け-コロンブス交換とグローバリゼーションの始まり	平川	①②
9	12	15	月	7-8	近代のグローバル・ヒストリー②：コロンブス交換の実態-大西洋を渡ったモノと伝染病	平川	①②
10	12	22	月	5-6	近代のグローバル・ヒストリー③：太平洋航路の発見-運ばれたモノとその影響	平川	①②
11	1	19	月	7-8	近代のグローバル・ヒストリー④：新大陸原産の作物の伝播-産業革命と植民地主義に与えた影響	平川	①②
12	1	26	月	7-8	近代のグローバル・ヒストリー⑤：植民地と奴隷-黒人奴隷制度とアフリカ	平川	①②

13	2	2	月	7-8	ハワイのグローバル・ヒストリー①：クックの来航とハワイ王国の成立，天然資源と貿易産業，キリスト教の布教，ハワイ先住民と伝染病	平川	①②
14	2	9	月	7-8	ハワイのグローバル・ヒストリー②：プランテーション産業と農業移民，ハワイ王国転覆と合衆国併合，観光化と軍事化の関係，ハワイ立州と伝統文化復興運動	平川	①②
15	2			7-8	定期試験	平川	①②

第1学年	科目	教養講座（美術）	1単位	責任者	近藤 隼次
------	----	----------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 近藤 隼次

到達目標：

1. 知識： 医学における美術実技の方法を理解する。
適正な道具知識を習得し、対象物を観察する目(感覚)を養う。
2. 態度： 対象物を観察理解し、的確な方法で描画できるようにする。
描画することで見過ごしていたものを再発見し、対象物に対してより理解を深める方法を知る。
対象物を描写する技術を体得する。

評価法： 授業で使用したスケッチブックの提出及び内容による。また出席日数、受講態度による。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応： なし

テキスト等：

- ① スケッチブック (F4～F6 サイズ)、描画道具(鉛筆 2B・HB・2H、消しゴム)の準備
- ② 10/6 紙コップ・帽子等、10/20 果物・野菜、11/17 葉、12/8 鏡(なるべく顔全体が映る大きめのもの)、12/22 女性着衣モデル(白ブラウス・ジーンズ)
- ③ 資料等を配布

教室： 1号館 11 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	6	月	1-4	美術実技の概要・各項目説明 道具の説明(描画道具の用途、使用法、基礎技法解説) 鉛筆基礎デッサン① 「身近な題材を使って描く (紙コップ・帽子)」	近藤	スケッチブック 、描画道具、各 自の帽子等
2	10	20	月	1-4	鉛筆基礎デッサン② 「果物、野菜を描く～表情の観察」	近藤	バナナ・リンゴ ・柿等
3	11	17	月	1-4	鉛筆基礎デッサン③ 「葉を描く～葉脈の観察」、鉛筆基礎デッサン まとめ	近藤	葉(種類の異なるものを2枚)
4	12	1	月	1-4	人体基礎デッサン① 「自分の手を描く」	近藤	
5	12	8	月	1-4	人体基礎デッサン② 「自分の顔を描く(自画像)」、人体基礎デッサンまとめ	近藤	鏡(なるべく顔 全体が映るもの)
6	12	15	月	1-4	人体基礎デッサン③、人体デッサンの説明 「人体(友人)を描く」、人体基礎デッサンまとめ	近藤	
7	12	22	月	1-4	人体デッサン① 「人体(モデル)を描く～全身の見方」	近藤	女性着衣モデル (白ブラウス・ ジーンズ)
8	2	16	月	1-4	人体デッサン② 「人体(友人)を描く～上半身の見方」 人体デッサンまとめ・講座のまとめ	近藤	

第1学年	科目	情報技術	2単位	責任者	石原 美弥
------	----	------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 石原 美弥
 櫛引 俊宏
 石川 智啓
 新橋 諒
 脇坂 仁

到達目標：

複雑・多様化する社会の要請と医療技術の急速な進歩に適切に対応できる教養等、医療人として兼ね備えるべき素養を修得する。特に、インターネットその他の情報通信環境を通して、自由かつ安全に多様な情報又は知識を世界的規模で入手可能とする情報活用能力・課題探究・解決能力・論理的思考と表現力を養う。

1. 知識： 情報リテラシー・セキュリティの基本概念を説明できる。さらに、インターネットシステムの概要やデータサイエンスの基礎とその医療応用や最新知識を説明できる。
2. 技能： アカウントやパスワードなど管理ができ、適切に対処することの重要性を認識できる。E-learning システムを用いることができる。診療や医学研究に必要な信頼性の高い文献を検索できる。医療におけるデータサイエンスの技法を活用できる。
3. 態度： 重要課題を見出すことができ、その中から、自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。これらの課題を解決する具体的な手法を選び、実行できる。課題の解決にあたっては、他の学習者や教員とグループディスカッションを行い、コミュニケーションをとることで最善な解決方法を見出すことができる。適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。自分の考えを論理的に整理し、結論とその導出過程を表現できる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験、レポート（電子ファイルを含む）により評価する。
2. 技能： 課題をまとめたプレゼンテーション及び課題の進捗度、さらに、適切なパソコンの操作方法やマナーを評価する。
3. 態度： 課題学習の態度、グループディスカッションでの協力態度とコミュニケーション力、プレゼンテーション力を評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>IT-01-01: 情報・科学技術に向き合うための準備</u>		
IT-01-01-01	IT-01-01-02	IT-01-01-03
<u>IT-01-02: 情報・科学技術利用にあたっての倫理観とルール</u>		
IT-01-02-01	IT-01-02-02	
<u>IT-02-01: 情報・科学技術を活用した医療</u>		
IT-02-01-01	IT-02-01-02	
<u>IT-02-02: 情報・科学技術の先端知識</u>		
IT-02-02-01	IT-02-02-02	
<u>IT-03-02: 情報・科学技術を活用した学習スキル</u>		
IT-03-02-01	IT-03-02-02	

テキスト等：

- ① 講座作成テキスト
- ② 「臨床工学講座 医用情報処理工学」（医歯薬出版）
- ③ 「最新臨床検査学講座 情報科学」（医歯薬出版）
- ④ 「ドクターがやさしく教える！ 医療 AI 入門」（金原出版）
- ⑤ 「Python で体感！ 医療と AI はじめの一步～糖尿病・乳がん・残存歯のデータ、肺の X 線画像を使って機械学習・深層学習を学ぶ体験型入門書」（羊土社）

- ⑥ 「Python ゼロからはじめるプログラミング」(翔泳社)
- ⑦ 「ゼロから作る Deep Learning —Python で学ぶディープラーニングの理論と実装」
(オライリー・ジャパン)

教室： 医用工学実習室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	8	木	3-4	オリエンテーション	石原	①
2	6	5	木	3-4	情報利用にあたっての倫理観とルール	石原 櫛引 石川 新楯	①②③
3	6	26	木	3-4	データサイエンスの基礎	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④⑤⑥⑦
4	7	3	木	3-4	データサイエンスの応用	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④⑤⑥⑦
5	7	17	木	3-4	技能到達度チェック (中間テスト)	石原 櫛引 石川 新楯	
6	7	18	金	7-8	最先端の医療情報収集	石原 櫛引 石川 新楯	①②③
7	7	24	木	3-4	現代社会を支える情報技術	石原 櫛引 石川 新楯	①
8	8	21	木	3-4	インターネットの基礎と応用	石原 脇坂	①
9	8	28	木	3-4	グループディスカッション 情報技術まとめ	石原 櫛引 石川 新楯	①
					定期試験		

第1学年	科目	医学導入教育	30時間	責任者	栗原 勲
------	----	--------	------	-----	------

担当教官名と連絡先：

栗原 勲 (教育改革・計画部門)
 松尾 洋孝 (分子生体制御学講座)
 黒川 貴幸 (防衛医学講座)
 廣岡 伸隆 (総合臨床部)

到達目標：

医科大学入学直後の学生として、医学への高い知的興味を持ち、かつ良医になるための人格の向上に資することを目標とする。学生は、各専門分野の講師による講義を通し、医学の本質と自衛隊医療の特質とを理解し、併せて、6年間の医学教育の到達点を認識し、有意義な学生生活を送る能力を身につける。

評価法：

グループワークへの参加姿勢、発表資料の提出内容、授業後課題の提出内容などで評価を行う。発表資料や授業後課題の提出がなかった場合は、大きな減点となる。定期試験期間中の筆記試験は実施しない。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-02-02-01	自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。
PR-02-02-02	他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
GE-01-05-01	行動科学に関する知識・理論・面接法を予防医療、診断、治療、ケアに適用できる。
GE-04-02-01	人の言動の意味をその人の人生史・生活史や社会関係の文脈の中において検討できる。
LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
RE-01-01-01	常識を疑う。
RE-01-01-02	何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
RE-01-02-02	ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。
IT-01-01-01	情報・科学技術を医療に活用することの重要性と社会的意義を理解している。
IT-03-02-01	自己学習や協同学習の場に適切なICT(eラーニング、モバイル技術等)を活用できる。
IT-03-02-02	新たに登場する情報・科学技術を自身の学び及び医療に活用する柔軟性を有する。
SO-04-01-02	バリアフリー等の障害と社会環境に関連する概念を理解した行動をとることができる。

テキスト等： なし

教室：臨床大講堂（変更があれば、医学教育研修センター事務局より連絡する）

内容・順番等が変更される可能性がありますので、適宜、医学教育研修センター事務局からの指示に注意し、それに従ってください。

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	18	金	1310-1420	臨床医学 概論	廣岡	
				1430-1540	防衛医学 概論	黒川	
				1550-1700	基礎医学 概論	松尾	
2	5	13	火	5-9	「シネメデュケーション」	栗原	
3	5	27	火	5-9	「医道におけるレジリエンス」	栗原 外部講師	
4	7	1	火	5-9	「日常の中の医学」	栗原	
5	7	8	火	5-9	「医学教育における ICT の活用」	栗原 外部講師	
6	7	15	火	5-9	「学修の milestone」	栗原	

第1学年	科目	英語 I	2単位	責任者	矢口 朱美
------	----	------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 井戸 康夫

到達目標：

医療に携わる者として国際化社会に対応しうる実用的な医学英語力、知識を身につけることを目標とする。

1. 知識： 解剖学、生化学などを含む基本的な医学用語と疾病の知識と用語を学ぶ。
2. 技能： アメリカで行なっている医学の講義を聞けるように訓練する。
3. 態度： 授業に積極的に参加することを目標として一人ずつ授業内で評価を行う。

評価法：

1. 知識： 学期末試験による評価
2. 技能： 授業内での質問による評価
3. 態度： 授業態度の評価

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-01-04: <u>根拠に基づいた医療(EBM)</u> GE-01-04-04
RE-04-01: <u>研究発表</u> RE-04-01-01 RE-04-01-02
CM-01-01: <u>患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用</u> CM-01-01-01 CM-01-01-03 CM-01-01-05
CM-02-01: <u>患者へのわかりやすい言葉の説明</u> CM-02-01-01
CM-03-02: <u>患者・家族の心理・社会的背景に配慮した診療</u> CM-03-02-01
IP-02-02: <u>関係性への働きかけ</u> IP-02-02-02
SO-06-01: <u>社会科学と医療との関係</u> SO-06-01-03

テキスト等： 特にないが、英語の病理学イラスト、MIT biology video を適宜使用する。

教室： 1号館 11 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	25	金	1-4	イントロダクション	井戸	
2	5	2	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
3	5	9	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
4	5	23	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
5	5	30	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
6	6	27	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
7	7	4	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
8	7	11	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
9	7	18	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
10	7	25	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
11	8	29	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	

12	9	5	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
13	9	12	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
14	9	19	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
					学期末試験	井戸	
15	10	3	金	1-4	イントロダクション	井戸	
16	10	10	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
17	10	17	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
18	11	7	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
19	11	14	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
20	11	21	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
21	11	28	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
22	12	5	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
23	12	12	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
24	12	19	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
25	1	9	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
26	1	16	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
27	1	30	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
28	2	6	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
29	2	13	金	1-4	英単語、参考英文と videos	井戸	
					学期末試験	井戸	

第1学年	科目	英語Ⅱ	2単位	責任者	矢口 朱美
------	----	-----	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 未定

到達目標：

国際化社会に対応しうる実用的な英語力を身につけ、医療現場におけるコミュニケーションや英語によるプレゼンテーションの基礎を築くこと。

1. 知識： 語彙力、文法力、読解力、聴取能力を鍛えること。
2. 技能： 英会話や英語によるスピーチ、および英文文書の書き方のモデルに親しむことで、医療の現場を含めた実地的なコミュニケーション能力を向上し、英語によるプレゼンテーションの基礎を築くこと。
3. 態度： 授業に積極的に参加すること。

評価法：

1. 知識： 学期末試験による評価
2. 技能： 授業内小テスト等による評価
3. 態度： 授業態度の評価

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>CS-01-01: 医療面接</u>
CS-01-01-01
<u>CM-01-01: 患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用</u>
CM-01-01-01 CM-01-01-02 CM-01-01-04
<u>CM-02-01: 患者へのわかりやすい言葉の説明</u>
CM-02-01-01
<u>S0-06-01: 社会科学と医療との関係</u>
S0-06-01-03
<u>RE-02-02: 論文読解</u>
RE-02-02-01

テキスト等：

未定

教室： 1号館 11 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	22	火	1-4	未定	未定	未定
2	5	13	火	1-4	〃	〃	〃
3	5	20	火	1-4	〃	〃	〃
4	5	27	火	1-4	〃	〃	〃
5	6	3	火	1-4	〃	〃	〃
6	6	24	火	1-4	〃	〃	〃
7	7	1	火	1-4	〃	〃	〃
8	7	8	火	1-4	〃	〃	〃
9	7	15	火	1-4	〃	〃	〃
10	7	22	火	1-4	〃	〃	〃
11	8	19	火	1-4	〃	〃	〃
12	8	26	火	1-4	〃	〃	〃

13	9	2	火	1-4	〃	〃	〃
14	9	9	火	1-4	〃	〃	〃
15	9	16	火	1-4	〃	〃	〃
					学期末試験		
16	10	7	火	1-4	未定	未定	未定
17	10	14	火	1-4	〃	〃	〃
18	10	21	火	1-4	〃	〃	〃
19	10	28	火	1-4	〃	〃	〃
20	11	11	火	1-4	〃	〃	〃
21	11	18	火	1-4	〃	〃	〃
22	12	2	火	1-4	〃	〃	〃
23	12	9	火	1-4	〃	〃	〃
24	12	16	火	1-4	〃	〃	〃
25	12	23	火	1-4	〃	〃	〃
26	1	6	火	1-4	〃	〃	〃
27	1	13	火	1-4	〃	〃	〃
28	1	27	火	1-4	〃	〃	〃
29	2	3	火	1-4	〃	〃	〃
30	2	17	火	1-4	〃	〃	〃
					学期末試験		

第2学年	科目	実用英語	1単位	責任者	矢口 朱美
------	----	------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 矢口 朱美

到達目標：

昨年度身に着けた、国際化社会に対応しうる実用的な英語力にさらに磨きをかけ、医療現場におけるコミュニケーションや英語によるプレゼンテーションの基礎を固めて、学期末の TOEIC 本試験で 500 点以上をとること。

1. 知識： TOEIC のテスト形式（エビデンスとしての英文分析を含む）に慣れ、一般的な語彙力、文法力、読解力、聴取能力をさらに鍛えること。
2. 技能： TOEIC に現れる英会話や英語によるスピーチ（米英加豪の英語ネイティブによる発話により、国や状況に応じた丁寧な表現を含む）、および英文文書の書き方のモデルに慣れることで、医療の現場を含めた実的なコミュニケーション能力をさらに向上し、英語によるプレゼンテーションの基礎を固めること。
3. 態度： 授業に積極的に参加すること。

評価法：

1. 知識： 学期末 TOEIC 試験による評価
2. 技能： 授業内模擬試験による評価
3. 態度： 授業態度の評価

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>GE-01-04: 根拠に基づいた医療(EBM)</u>
GE-01-04-04
<u>RE-04-01: 研究発表</u>
RE-04-01-01 RE-04-01-02
<u>CM-01-01: 患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用</u>
CM-01-01-01 CM-01-01-03 CM-01-01-05
<u>CM-02-01: 患者へのわかりやすい言葉の説明</u>
CM-02-01-01
<u>CM-03-02: 患者・家族の心理・社会的背景に配慮した診療</u>
CM-03-02-01
<u>IP-02-02: 関係性への働きかけ</u>
IP-02-02-02
<u>SO-06-01: 社会科学と医療との関係</u>
SO-06-01-03

テキスト等：

- ① 『TOEIC(R) L&R テスト 究極の模試 600 問+』(ヒロ前田著、アルク)
- ② 『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 11』(Educational Testing Service 著、国際ビジネスコミュニケーション協会)

教室： 1号館語学演習室 (LL)

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	10	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
2	4	24	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
3	5	1	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
4	5	22	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
5	5	29	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
6	6	5	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
7	7	10	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
8	7	17	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
9	7	24	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
10	8	21	木	1-4	TOEIC 模擬試験と解説	矢口	①
11	8	28	木	1-4	TOEIC 直前対策模擬試験と解説	矢口	②
12	9	4	木	1-4	TOEIC 直前対策模擬試験と解説	矢口	②
13	9	11	木	1-4	TOEIC 直前対策模擬試験と解説	矢口	②
14	9	18	木	1-4	TOEIC 直前対策模擬試験と解説	矢口	②
15					TOEIC 本試験	矢口	

第1学年	科目	選択外国語（英語）	2単位	責任者	矢口 朱美
------	----	-----------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 井戸 康夫

到達目標：

The aim of this course is to develop students' English communication skills through exploring international medical issues. Documentaries and academic reading materials will be utilised to prompt class discussions, presentations, and self-reflections. By the end of this course, students will have an enhanced understanding of international development, non-Western worldviews, and English-speaking medical workplaces.

1. 知識 (knowledge): Deepen both medical and scientific understanding of Western and non-Western perspectives.
2. 技能 (skills): Develop competencies in intercultural communication, critical-multi-level analysis and reflective practice.
3. 態度 (attitude): Understand and recognize the complex relational nature of working with both Western and non-Western medical practitioners.

評価法：

Students' skills and competencies will be evaluated by means of a) in-class assignments (quiz & essay), b) group discussions, and c) student-led presentations. For example:

1. 知識 (knowledge): Demonstrated ability to show an understanding of different social norms, philosophical values, and working-styles (Western and non-Western).
2. 技能 (skills): Demonstrated ability to identify different communication styles, and group power dynamics.
3. 態度 (attitude): Demonstrated ability to recognize own beliefs and practices, and to show openness to different values and practices.

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-02-01: プライマリ・ケアにおける基本概念

GE-02-01-02

CM-01-01: 患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用

CM-01-01-01 CM-01-01-02

CM-02-01: 患者へのわかりやすい言葉の説明

CM-02-01-01

SO-06-01: 社会科学と医療との関係

SO-06-01-03

RE-02-02: 論文読解

RE-02-02-01

テキスト等： Handouts and reading materials will be provided in class.

教室：1号館21番教室

The philosophy of this class: The classroom will be a space where we can all share our unique stories as it relates to the lesson content. To maximise your participation in class discussions, please prepare before class (e.g., reading and looking up specific vocabularies).

Please note that the course plan is subject to change according to students' learning needs.

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	23	水	1-2	Introduction and course logistics	井戸	Course Outline
2	4	30	水	1-2	Problems of philosophy	井戸	Handouts
3	5	7	水	1-2	Problems of philosophy	井戸	Handouts
4	5	14	水	1-2	Problems of philosophy	井戸	Handouts
5	5	21	水	1-2	Problems of philosophy	井戸	Handouts
6	5	28	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
7	6	4	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
8	6	25	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
9	7	2	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
10	7	9	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
11	7	16	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
12	7	23	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
13	8	20	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
14	8	27	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
15	9	3	水	1-2	The basic writings of Bertrand Russell	井戸	Handouts
					学期末試験	井戸	
16	10	1	水	1-2	The principles of Medicine	井戸	Handouts
17	10	8	水	1-2	The principles of Medicine	井戸	Handouts
18	10	15	水	1-2	The principles of Medicine	井戸	Handouts
19	10	22	水	1-2	The principles of Medicine	井戸	Handouts
20	10	29	水	1-2	The principles of Medicine	井戸	Handouts
21	11	19	水	1-2	Analysis of Mind	井戸	Handouts
22	12	3	水	1-2	Analysis of Mind	井戸	Handouts
23	12	10	水	1-2	Analysis of Mind	井戸	Handouts
24	1	7	水	1-2	Analysis of Mind	井戸	Handouts
25	1	14	水	1-2	Analysis of Mind	井戸	Handouts
26	1	28	水	1-2	Analysis of Mind	井戸	Handouts
27	2	4	水	1-2	Free thought and official propaganda	井戸	Handouts
28	2	18	水	1-2	Free thought and official propaganda	井戸	Handouts
					学期末試験	井戸	Handouts

第1学年	科目	選択外国語(独語)	2単位	責任者	長田 浩
------	----	-----------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先：長田 浩

到達目標：話し言葉を中心にしてドイツ語の基礎を学ぶとともに、ドイツ語圏の文化への理解を深める。

1. 知識：ドイツ語文法・発音規則を理解し、応用できる。
日本とドイツ語圏の国々との文化・慣習の違いについて述べるができる。
2. 技能：単語・語句・文を正しく発音できる。
基本的な単語・語句・決まり文句などを口頭で活用できる。
ドイツ語検定試験の4級レベルに到達する。
3. 態度：他者に対して積極的にコミュニケーションを取ることができる。

評価法：

1. 知識：単語テストと筆記テストで評価する。
2. 技能：授業中での口頭練習、および検定試験の模擬テストにより評価する。
3. 態度：授業に積極的に参加する態度を示しているかを評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)との対応：

PR-02-02-01	自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。
PR-02-02-02	他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
CM-01-01-01	言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。
CM-01-01-02	非言語的コミュニケーション(身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等)を意識できる。
CM-02-01-01	患者や家族の多様性(高齢者、小児、障害者、LGBTQ、国籍、人種、文化・言語・慣習の違い等)に配慮してコミュニケーションをとることができる。

テキスト等：

- ① 『シュリット・フュア・シュリット(三訂版)』今井田 亜弓、前田 織絵 著(三修社)
- ② 『ベーシッククラウン独和・和独辞典 小型版』伊藤 眞(監修)(三修社)
- ③ 『クラウンドイツ語単語 1600』信岡資生著(三省堂)
- ④ 随時、配布するプリント

教室：1号館11番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	23	水	1-2	ガイダンス	長田	①②③④
2	4	30	水	1-2	アルファベット、挨拶	長田	①②③④
3	5	7	水	1-2	綴りと発音	長田	①②③④
4	5	14	水	1-2	動詞の人称変化(1)	長田	①②③④
5	5	21	水	1-2	動詞の人称変化(2)	長田	①②③④
6	5	28	水	1-2	動詞の人称変化(3)	長田	①②③④
7	6	4	水	1-2	名詞の性・格(1)	長田	①②③④
8	6	25	水	1-2	名詞の性・格(2)	長田	①②③④
9	7	2	水	1-2	人称代名詞(1)	長田	①②③④
10	7	9	水	1-2	人称代名詞(2)	長田	①②③④
11	7	16	水	1-2	不規則動詞の現在人称変化(1)	長田	①②③④
12	7	23	水	1-2	不規則動詞の現在人称変化(2)	長田	①②③④
13	8	20	水	1-2	命令形	長田	①②③④
14	8	27	水	1-2	否定表現	長田	①②③④

15	9	3	水	1-2	前期まとめ	長田	①②③④
16					前期定期試験	長田	
17	10	1	水	1-2	冠詞類	長田	①②③④
18	10	8	水	1-2	前置詞 (1)	長田	①②③④
19	10	15	水	1-2	前置詞 (2)	長田	①②③④
20	10	22	水	1-2	分離動詞	長田	①②③④
21	10	29	水	1-2	話法の助動詞 (1)	長田	①②③④
22	11	19	水	1-2	話法の助動詞 (2)	長田	①②③④
23	12	3	水	1-2	副文	長田	①②③④
24	12	10	水	1-2	動詞の3基本形	長田	①②③④
25	1	7	水	1-2	過去形	長田	①②③④
26	1	14	水	1-2	完了形	長田	①②③④
27	1	28	水	1-2	zu 不定詞句	長田	①②③④
28	2	4	水	1-2	再帰代名詞と再帰動詞	長田	①②③④
29	2	18	水	1-2	総まとめ	長田	①②③④
30					後期定期試験	長田	

第1学年	科目	選択外国語（仏語）	2単位	責任者	古谷 佐世子
------	----	-----------	-----	-----	--------

担当教官名と連絡先： 古谷 佐世子（水曜日午前中、非常勤講師室）

到達目標： フランス語を理解するための基礎文法を学び、フランス語圏文化への理解を深める。

1. 知識： フランス語の音の体系、基本的文法法則を理解し応用できる。
2. 技能： フランス語の文章を正しく読むことができ、口頭で表現できる。
3. 態度： 積極的にコミュニケーションを取ることができる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験により評価する。
2. 技能： 口頭での質疑応答により評価する。
3. 態度： 授業に積極的に参加する姿勢を示しているかを評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

CM-01-01-01	言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。
-------------	---------------------------------------

テキスト等： ① 鈴木 雅夫他： グラメール・フランセーズ 新訂版 朝日出版社 2025

教室： 1号館 22 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	23	水	1-2	Introduction	古谷	①
2	4	30	水	1-2	Prononciation1	古谷	①
3	5	7	水	1-2	Prononciation2	古谷	①
4	5	14	水	1-2	名詞、不定冠詞、部分冠詞、定冠詞	古谷	①
5	5	21	水	1-2	être と avoir	古谷	①
6	5	28	水	1-2	第一群、第二群規則動詞	古谷	①
7	6	4	水	1-2	否定文	古谷	①
8	6	25	水	1-2	疑問文	古谷	①
9	7	2	水	1-2	指示形容詞、形容詞の性と数	古谷	①
10	7	9	水	1-2	aller と venir	古谷	①
11	7	16	水	1-2	疑問代名詞、疑問副詞	古谷	①
12	7	23	水	1-2	疑問形容詞、形容詞・副詞の比較級、最上級	古谷	①
13	8	20	水	1-2	命令文、非人称構文	古谷	①
14	8	27	水	1-2	直説法、複合過去	古谷	①
15	9	3	水	1-2	目的補語人称代名詞 1	古谷	①
16					定期試験	古谷	
17	10	1	水	1-2	目的補語人称代名詞 2	古谷	①
18	10	8	水	1-2	関係代名詞、指示代名詞	古谷	①
19	10	15	水	1-2	代名動詞	古谷	①
20	10	22	水	1-2	直説法単純未来	古谷	①
21	10	29	水	1-2	直説法半過去	古谷	①
22	11	19	水	1-2	受動態	古谷	①
23	12	3	水	1-2	過去分詞、ジェロンディフ	古谷	①
24	12	10	水	1-2	条件法現在	古谷	①
25	1	7	水	1-2	条件法過去	古谷	①
26	1	14	水	1-2	接続法	古谷	①
27	1	28	水	1-2	補足(1)	古谷	①
28	2	4	水	1-2	補足(2)	古谷	①

29	2	18	水	1-2	補足(3)	古谷	①
30					定期試験	古谷	

第1学年	科目	選択外国語(中国語)	2単位	責任者	宮岸 雄介
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 宮岸 雄介

到達目標：

中国語の基礎を学びながら、中国文化の理解を深める。医療の現場で中国人の患者とコミュニケーションが取れるようになる。

1. 知識： ピンイン表記（声母、韻母ならびに声調）による中国語の発音を正確にできる。文法を理解し、簡単な会話表現を言い表せるようにする。
2. 技能： 発音法、文法を駆使して、中国の人とコミュニケーションが取れるようにする。具体的な指標としては、HSK（漢語水平考試）の2級レベルの語学力を習得する。
3. 態度： 異文化を客観的に理解する国際的な視野を持つ。中国人の思考様式を理解し、それに対して自国の考え方との違いを冷静に比較できる国際感覚を涵養する。

評価法：

1. 知識： 発音実習、筆記試験で評価する。
2. 技能： 発音練習や適宜試験する HSK の模擬問題より評価する。
3. 態度： 講義中の態度、講義中に得られた新たな知見をまとめるレポートなどから評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-02-01-01	患者を含めた他者に思いやりをもって接する。
PR-02-02-02	他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。
PR-02-03-02	礼儀正しく振る舞う。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
RE-01-01-01	常識を疑う。
RE-01-01-02	何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
CM-01-01-01	言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。
CM-01-01-03	患者や家族に敬意を持った言葉遣いや態度で接することができる。
CM-02-01-01	患者や家族の多様性(高齢者、小児、障害者、LGBTQ、国籍、人種、文化・言語・慣習の違い等)に配慮してコミュニケーションをとることができる。
IP-02-02-02	対人関係や対人行動に関わる概念について理解している。
SO-06-01-03	個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)を理解している。

テキスト等：

- ① 小野秀樹『漢語課文』（白帝社）
- ② 宮岸雄介『HSK 公認テキスト2級』（スプリックス）
- ③ 随時配布するプリント
- ④ 宮岸雄介『30日で学べる中国語文法』（ナツメ社）
- ⑤ 『中日辞典』（小学館）
- ⑥ 宮岸雄介『とらえどころのない中国人のとらえかた』（講談社+α新書）

教室： 1号館 12番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	23	水	1-2	中国語への誘い	宮岸	①②
2	4	30	水	1-2	中国語のあいうえお1 ピンイン、声調、簡体字、単母音	宮岸	①②
3	5	7	水	1-2	中国語のあいうえお2 複母音、鼻母音、子音	宮岸	①②
4	5	14	水	1-2	動詞述語文 中国語の基本的な語順	宮岸	①②
5	5	21	水	1-2	否定文と疑問文 否定の「不」、「吗」を使った疑問文と反復疑問文	宮岸	①②
6	5	28	水	1-2	「是」を使った動詞述語文 be 動詞に似た「是」の使い方	宮岸	①②
7	6	4	水	1-2	存在・所有の表現 「有」と「在」の使い方、方位詞	宮岸	①②
8	6	25	水	1-2	形容詞述語文 「很」の使い方と意味	宮岸	①②
9	7	2	水	1-2	副詞 程度を示す副詞、部分否定と全部否定	宮岸	①②
10	7	9	水	1-2	指示代詞 中国語の「こそあど」ことば	宮岸	①②
11	7	16	水	1-2	数詞と量詞 「この二冊の本」を中国語にすると？	宮岸	①②
12	7	23	水	1-2	時間の表現 時刻と時間の語順、金銭の表現	宮岸	①②
13	8	20	水	1-2	名詞述語文 名詞が述語になる文の練習	宮岸	①②
14	8	27	水	1-2	能願動詞（中国語の助動詞）① 「～できる」、「～したい」という表現	宮岸	①②
15	9	3	水	1-2	定語と状語 中国語の修飾語	宮岸	①
16					定期試験		
17	10	1	水	1-2	疑問代詞 中国語の5W1H	宮岸	①②
18	10	8	水	1-2	進行、持続のアスペクト 中国語には時制がない！「正在～呢」「着」	宮岸	①②
19	10	15	水	1-2	経験、将然のアスペクト 「过」「快要～了」	宮岸	①②
20	10	22	水	1-2	完了のアスペクト 「了」の使い方	宮岸	①②
21	10	29	水	1-2	比較表現 「比」と「有」を使った言い方	宮岸	①②
22	11	19	水	1-2	受け身の表現 「被」「让」「叫」の使い方	宮岸	①②
23	12	3	水	1-2	「把」構文 目的語を動詞の前に持ってくる形	宮岸	①②
24	12	10	水	1-2	使役表現 「让」「使」「叫」の使い方	宮岸	①②
25	1	7	水	1-2	結果補語 動詞の後ろにその結果を説明する補語の働き	宮岸	①②

26	1	14	水	1-2	兼語文	宮岸	①②
27	1	28	水	1-2	程度補語と様態補語 「得」を使った表現	宮岸	①②
28	2	4	水	1-2	方向補語 動作の方向を説明する働き	宮岸	①②
29	2	18	水	1-2	可能補語 方向補語と結果補語が可能の意味を持つ用法	宮岸	①②
30	2				定期試験		

第1学年	科目	体育理論・実技	2単位	責任者	廣瀬 かほる
------	----	---------	-----	-----	--------

担当教官名と連絡先： 廣瀬 かほる
犬伏 拓巳

到達目標：

基礎体力を養い、各種目の運動能力を総合的に鍛錬するとともに、集団スポーツを通じて、公正な態度、規則の遵守、チームワーク、相手を思いやる等の社会生活に必要な能力を身につける。

1. 知識： 各種目（バドミントン、バレーボール、バスケットボール、卓球、水泳等）の実践を通してルールを学び、反則やマナーを理解し、楽しくプレーする。また、現場におけるスポーツ障害・外傷（応急処置、テーピング等）について理解し、実践できる。
2. 技能： 体力の向上を図るとともに、各種目のスキルアップを目指し、よりレベルの高いプレーをすることで、楽しさを追求する。また、スキルアップを怪我予防につなげることができる。
3. 態度： フェアプレー（公正な態度）、チームワークの向上のための行動ができる。それを身につける。

評価法：

1. 知識： 実技を通して、または審判をすることによって、理解できているかを評価する。テーピング等の実践で理解できているかを評価する。
2. 技能： 実技を通じて各個人が努力し、スキルアップしているかを評価する。
3. 態度： 実技（チームプレー等）を通して、自分の役割を理解しているか、公正な態度ができているかで評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01: 誠実さ</u>	
PR-01-01-01	PR-01-01-02
<u>PR-01-02: 省察</u>	
PR-01-02-01	PR-01-02-02
<u>PR-02-01: 思いやり</u>	
PR-02-01-01	PR-02-01-02
<u>PR-02-02: 他者理解と自己理解</u>	
PR-02-02-01	PR-02-02-02
<u>PR-02-03: 品格・礼儀</u>	
PR-02-03-01	PR-02-03-02
<u>PR-03-01: 教養</u>	
PR-03-01-01	

テキスト等： なし

教室： 体育館、プール、その他

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	22	火	1-4	ガイダンス	廣瀬 犬伏	
2	5	13	火	1-4	テーピング実習（理論を含む）	廣瀬 犬伏	
3	5	20	火	1-4	体幹トレーニング	廣瀬 犬伏	
4	5	27	火	1-4	バドミントン（理論を含む）	廣瀬 犬伏	

5	6	3	火	1-4	バドミントン (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
6	6	24	火	1-4	バドミントン (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
7	7	1	火	1-4	バドミントン (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
8	7	8	火	1-4	バドミントン (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
9	7	15	火	1-4	バドミントン (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
10	7	22	火	1-4	バドミントン (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
11	8	19	火	1-4	屋内競技	廣瀬 犬伏	
12	8	26	火	1-4	屋内競技	廣瀬 犬伏	
13	9	2	火	1-4	屋内競技	廣瀬 犬伏	
14	9	9	火	1-4	バレーボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
15	9	16	火	1-4	バレーボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
16	10	7	火	1-4	バレーボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
17	10	14	火	1-4	バレーボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
18	10	21	火	1-4	バレーボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
19	10	28	火	1-4	バレーボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
20	11	11	火	1-4	バレーボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
21	11	18	火	1-4	バレーボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
22	12	2	火	1-4	バスケットボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
23	12	9	火	1-4	バスケットボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
24	12	16	火	1-4	バスケットボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
25	12	23	火	1-4	バスケットボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
26	1	6	火	1-4	バスケットボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
27	1	13	火	1-4	バスケットボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
28	1	27	火	1-4	バスケットボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
29	2	3	火	1-4	バスケットボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	
30	2	17	火	1-4	バスケットボール (理論を含む)	廣瀬 犬伏	

第2学年	科目	体育理論・実技	1単位	責任者	廣瀬 かほる
------	----	---------	-----	-----	--------

担当教官名と連絡先： 廣瀬 かほる
犬伏 拓巳

到達目標：

基礎体力を養い、各種目の運動能力を総合的に鍛錬するとともに、集団スポーツを通じて、公正な態度、規則の遵守、チームワーク、相手を思いやる等の社会生活に必要な能力を身につける。

1. 知識： 各種目（バドミントン、バレーボール、バスケットボール、テニス、卓球、水泳等）の実践を通してルールを学び、反則やマナーを理解し、楽しくプレーする。また、現場におけるスポーツ障害・外傷（熱中症、応急処置等）について理解し、実践できる。
2. 技能： 体力の向上を図るとともに、各種目のスキルアップを目指し、よりレベルの高いプレーをすることで、楽しさを追求する。また、スキルアップを怪我予防につなげることができる。
3. 態度： フェアプレー（公正な態度）、チームワークの向上のための行動ができる。それを身につける。

評価法：

1. 知識： 実技を通して、または審判をすることによって、理解できているかを評価する。
2. 技能： 実技を通じて各個人が努力し、スキルアップしているかを評価する。
3. 態度： 実技（チームプレー）を通して、自分の役割を理解しているか、公正な態度ができているかで評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01: 誠実さ</u>	
PR-01-01-01	PR-01-01-02
<u>PR-01-02: 省察</u>	
PR-01-02-01	PR-01-02-02
<u>PR-02-01: 思いやり</u>	
PR-02-01-01	PR-02-01-02
<u>PR-02-02: 他者理解と自己理解</u>	
PR-02-02-01	PR-02-02-02
<u>PR-02-03: 品格・礼儀</u>	
PR-02-03-01	PR-02-03-02
<u>PR-03-01: 教養</u>	
PR-03-01-01	

テキスト等： なし

教室： 体育館、テニスコート、グラウンド、プール、その他

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	10	木	1-4	講義 熱中症・応急処置	廣瀬 犬伏	
2	4	24	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
3	5	1	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
4	5	22	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
5	5	29	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
6	6	5	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
7	7	10	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
8	7	17	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
9	7	24	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
10	8	21	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
11	8	28	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
12	9	4	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
13	9	11	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
14	9	18	木	1-4	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	

第3学年	科目	体育理論・実技	1単位	責任者	廣瀬 かほる
------	----	---------	-----	-----	--------

担当教官名と連絡先： 廣瀬 かほる
犬伏 拓巳

到達目標：

基礎体力を養い、各種目の運動能力を総合的に鍛錬するとともに、集団スポーツを通じて、公正な態度、規則の遵守、チームワーク、相手を思いやる等の社会生活に必要な能力を身につける。

1. 知識： 各種目（バドミントン、水泳、バレーボール、バスケットボール、野球、サッカー、ラグビー、テニス、卓球等）の実践を通してルールを学び、反則やマナーを理解し、楽しくプレーする。
2. 技能： 体力の向上を図るとともに、各種目のスキルアップを目指し、よりレベルの高いプレーをすることで、楽しさを追求する。また、スキルアップを怪我予防につなげることができる。
3. 態度： リーダーシップ、フォロワーシップ、フェアプレー（公正な態度）、チームワークの向上のための行動ができる。それを身につける。

評価法：

1. 知識： 実技を通して、または審判をすることによって、理解できているかを評価する。
2. 技能： 実技を通じて各個人が努力し、スキルアップしているかを評価する。
3. 態度： 実技（チームプレー）を通して、自分の役割を理解しているか、公正な態度ができているかで評価する。また、リーダーシップ、フォロワーシップを実践できるかを評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01: 誠実さ</u>	
PR-01-01-01	PR-01-01-02
<u>PR-01-02: 省察</u>	
PR-01-02-01	PR-01-02-02
<u>PR-02-01: 思いやり</u>	
PR-02-01-01	PR-02-01-02
<u>PR-02-02: 他者理解と自己理解</u>	
PR-02-02-01	PR-02-02-02
<u>PR-02-03: 品格・礼儀</u>	
PR-02-03-01	PR-02-03-02
<u>PR-03-01: 教養</u>	
PR-03-01-01	

テキスト等： なし

教室： 体育館、プール、テニスコート、グラウンド、野球場、その他

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	17	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
2	5	29	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
3	6	5	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
4	6	19	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
5	7	24	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
6	8	28	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
7	9	4	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
8	9	11	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
9	9	18	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
10	10	30	水	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
11	11	20	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
12	12	18	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
13	1	8	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	
14	2	12	木	5-8	屋内競技及び屋外競技	廣瀬 犬伏	

第1学年	科目	数 学	2単位	責任者	中村 好宏
------	----	-----	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 中村 好宏
小田 牧子

到達目標：

一般教養ならびに専門教育の履修に際して必要な数学として、微分積分と線形代数の習得を目標とする。微積分学に関する基本事項を、多変数関数の微積分学に重点を置いて習得し、線形代数についてはその基礎となる行列とベクトルの演算を身につける。自然科学の基礎となる数学を理解することで、論理的な思考を身につけ、科学的考察を行う力を養う。

1. 知識： 高校までに習得した微積分の拡張および多変数関数の微積分を理解し、説明できる。ベクトル、行列の性質を説明できる。
2. 技能： 多変数関数の微積分に関する実際の計算を行うことが出来る。ベクトル、行列の演算が出来る。論理的な思考を身につけ、科学的な考察を行うことができる。
3. 態度： 知識、技能の習得に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 技能： 筆記試験および講義内で行う演習により評価する。
3. 態度： 講義中の態度や提出物により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応： なし

テキスト等：

- ① 永田靖 共著「統計学のための数学入門30講」朝倉書店（2005）

教 室： 1号館21番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	21	月	1-2	微分・平均値の定理・ロピタルの定理	中村	①P22-36
2	5	12	月	1-2	極値とニュートン法	中村	①P37-43
3	5	12	月	3-4	テーラー展開	中村	①P44-49
4	5	19	月	1-2	偏微分	中村	①P160-165
5	5	26	月	1-2	多変数関数の極値とラグランジュ未定乗数法	中村	①P166-179
6	6	2	月	1-2	広義積分と重積分	中村	①P79-84, 180-186
7	6	23	月	1-2	累次積分	中村	①P180-186
8	6	30	月	1-2	変数変換	中村	①P187-193
9	6	30	月	3-4	まとめ	中村	
10	7	7	月	1-2	中間試験	中村 小田	
11	8	18	月	1-2	ベクトルと行列の加減と積	小田	①P86-97
12	8	18	月	3-4	いろいろな行列	小田	①P98-105
13	8	25	月	1-2	行列の基本変形	小田	①P106-111
14	8	25	月	3-4	まとめ	小田	
15					定期試験	中村 小田	

第1学年	科目	物理学（講義）	5単位 (実験と合わせて)	責任者	金長 正彦
------	----	---------	------------------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 金長 正彦
八幡 和志

到達目標：

物理学の基本法則及び重要事項を習得し、自然現象に対する観察方法、結論導出方法等の考え方を学ぶ。

1. 知識： 基本法則を用いて物理現象を説明できる。自然現象を観察し、これに物理的説明を与えることができる。
2. 態度： 課題の解決、達成に向けて真摯に取り組む。

評価法： 小試験（演習含）、定期試験および授業態度の総合評価

1. 知識： 小試験（演習含）及び定期試験により評価する。
2. 態度： 授業態度により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
RE-01-01-01	常識を疑う。
RE-01-01-02	何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
RE-03-01-01	自身の関心を問いにすることができる。
RE-04-01-01	自身の行った研究内容を論文や報告書・学会発表等の形にまとめることができる。
RE-04-01-03	他の研究者の発表に対して質問や意見を述べるすることができる。

テキスト等：

- ① 参考書1： 小出昭一郎著，物理学 三訂版（裳華房）
- ② 参考書2： 高橋秀俊編，医学・生物学のための基礎物理学（裳華房）
- ③ 参考書3： 橋爪洋一郎著，物理学レクチャーコース 物理数学（裳華房）
- ④ 参考書4： 長岡洋介著，物理入門コース3 電磁気学I（岩波書店）
- ⑤ 参考書5： 長岡洋介著，物理入門コース4 電磁気学II（岩波書店）
- ⑥ 参考書6： 久武和夫・岡田利弘，原子物理概論（朝倉書店）
- ⑦ 参考書7： アトキンス 他，物理化学要論（東京化学同人）

教室： 1号館11番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	22	火	7-8	物理量と単位	金長	①P1-7
2	5	1	木	3-4	熱力学（熱と温度、第1法則）	金長	①P166-179、 ⑦P39-56
3	5	2	金	7-8	熱力学（第2法則）	金長	①P179-203、 ⑦p85-113
4	6	27	金	7-8	熱力学（エンタルピー）	金長	①P191-203、 ⑦P57-84
5	7	4	金	5-6	熱力学（エントロピー）	金長	①P191-199、 ⑦P85-113
6	7	10	木	3-4	運動の法則、運動方程式の解	金長	①P11-19
7	7	23	水	5-6	仕事、保存力、エネルギー	金長	①P19-30

8	9	1	月	1-2	静電場（電場と電位）	八幡	④P1-100
9	9	3	水	3-4	静電容量	八幡	④P101-124
10	9	8	月	1-2	電流と回路	八幡	④P125-142
11	9	26	金	7-8	定期試験	金長 八幡	
12	10	8	水	7-8	静磁場，磁性体	八幡	④P143-152
13	10	16	木	7-8	質点系と剛体（衝突）	金長	①P53-59
14	10	30	金	7-8	電流と磁場，電磁誘導，過渡現象	八幡	④P153-177、 ⑤P215-248
15	11	20	木	1-2	質点系と剛体（角運動量）	金長	①P50-53
16	11	26	水	5-6	交流，電磁波	八幡	⑤P249-278
17	11	28	金	5-6	質点系と剛体（重心）	金長	①P44-50
18	12	4	木	7-8	剛体の力学（並進運動）	金長	①P59-67
19	12	11	木	7-8	剛体の力学（回転運動）	金長	①P67-76
20	12	18	木	7-8	変形体の力学（弾性体 1）	金長	①P79-89
21	12	23	火	5-6	変形体の力学（弾性体 2）	金長	①P89-97
22	1	5	月	3-4	変形体の力学（流体）	金長	①P97-110
23	1	6	火	5-6	原子と量子論（水素原子，スピン，パウリ原理）	八幡	⑥P81-93, 109- 110, 113-119, 135-138
24	1	9	金	7-8	振動と波動	金長	①P113-137
25	1	16	金	7-8	原子と量子論（周期律，帯構造，半導体）	八幡	⑥P138-142, 178-180, 194- 195, 200-207
26	1	20	火	7-8	波動（音波）	金長	②P194-214
27	1	21	水	7-8	原子核と放射能（同位元素，原子核，質量とエネルギー）	八幡	⑥P220-224
28	1	26	月	5-6	波動（光波，幾何光学）	金長	①P141-149
29	2	2	月	3-4	原子核と放射能（NMR）	八幡	⑥P226-232
30	2	5	木	7-8	波動（干渉）	金長	①P149-155
31	2	9	月	3-4	原子核と放射能（放射能）	八幡	⑥P220-226
32	2	10	水	7-8	波動（回折）	金長	①P155-162
33	2	27	金	7-8	定期試験	金長 八幡	

第1学年	科目	物理学(実験)	5単位 (実験と合わせて)	責任者	金長 正彦
------	----	---------	------------------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 金長 正彦
八幡 和志

到達目標：

基本的な物理現象を実際に再現し、これを観察・測定し、その法則を体験によって理解するとともに、種々の機器の取り扱いを習得する。

1. 知識： 基本的な現象を測定し、それを物理的に説明できる。
2. 技能： 基本的な実験装置を正しく扱うことができる。
3. 態度： 課題の達成に向けて真摯に取り組む。

評価法： レポート及び実験態度の総合評価による。

1. 知識： レポート内容により評価する。
2. 技能： 実験装置を正しく扱えているかを評価する。
3. 態度： 実験中の態度により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

RE-01-01-01	常識を疑う。
RE-01-01-02	何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
RE-03-04-01	研究データを適切に記録、管理できる。
RE-04-01-01	自身の行った研究内容を論文や報告書・学会発表等の形にまとめることができる。
RE-04-01-03	他の研究者の発表に対して質問や意見を述べることができる。
RE-05-01-01	捏造、改ざん、盗用等を含め研究不正の類型を説明することができ、研究不正を行わない。

テキスト等：

- ① 教科書： 物理学実験(物理学科編)
- ② 参考書： 理科年表(国立天文台、丸善出版)

教室： 1号館 11番教室及び物理学実験室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4 5	24 8	木 木	5-9 5-9	ガイダンス(ノート、グラフ、DMM、副尺)	八幡	
2	5 5	9 14	金 水	5-9 5-9	1. 体積の測定と誤差	八幡	①実験 1
3	5 5	21 22	水 木	5-9 5-9	誤差論、レポートの書き方	金長 八幡	①P1-26
4	5 6	28 3	水 火	5-9 5-9	以下の実験は基本2名1班とし、2班1組で次の項目についてローテーション方式により実施する。	金長 八幡	
5	7 6	16 20	水 金	5-9 5-9	2. Katerの振り子	金長 八幡	①実験 2
6	7 7	24 9	木 水	5-9 5-9	4. プランク定数	金長 八幡	①実験 4

7	8 7	21 17	木 木	5-9 5-9	8. プリズムの屈折率と分散	金長 八幡	①実験 8	
8	8 8	28 19	木 火	5-9 5-9		9. レンズの焦点距離	金長 八幡	①実験 9
9	9 8	4 26	木 火	5-9 5-9		14. 等電位線	金長 八幡	①実験 14
10	9 9	9 3	火 水	5-9 5-9		19. フランク・ヘルツの実験 2	金長 八幡	①実験 19
11	9 9	10 12	水 金	5-9 5-9		20. 強磁性体の磁化特性曲線	金長 八幡	①実験 20
12	10 10	10 14	金 火	5-9 5-9		22. 単スリットによる光の回折	金長 八幡	①実験 22
13	11 10	7 28	金 火	5-9 5-9		24. 超音波による波動実験	金長 八幡	①実験 24
14	11 11	21 18	金 火	5-9 5-9		27. GM 計数管による計数値の分布	金長 八幡	①実験 27
15	12 12	16 17	火 水	5-9 5-9		金長 八幡		

第1学年	科目	化学	5単位 (実験と併せて)	責任者	武井 史恵
------	----	----	-----------------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 武井 史恵
鎌田 香織

到達目標：

物質の性質、構造及び変化を追究する物質科学（化学）の基礎を学ぶ。これらの学習を通して、化学の知識に加え問題解決能力、論理的思考力等を涵養する。

1. 知識： 原子・分子、化学結合、化合物などの知識をもとに物質間の相互作用、エネルギーと物質の相互作用を説明できる。また有機化合物の構造と性質や、それらが示す有機化学反応を説明できる。
2. 態度： 授業に積極的に取り組む。

評価法： 知識及び考え方の定着を評価すると同時に、授業中の態度も評価する。

1. 知識： 授業中の諮問と定期試験で評価する。
2. 態度： 授業中の態度を評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-03-01： 教養

PR-03-01-01

LL-01-01： 生涯学習の実践

LL-01-01-01 LL-01-01-02

LL-02-01： 医療者教育の実践

LL-02-01-01

RE-01-01： 能動的姿勢

RE-01-01-01 RE-01-01-02

RE-02-01： 医学と医療

RE-02-01-01

RE-02-02： 論文読解

RE-02-02-01

RE-03-01： 問い

RE-03-01-01

RE-03-02： 研究計画

RE-03-02-01

RE-03-03： 研究手法

RE-03-03-01

RE-03-04： 研究結果

RE-03-04-01

RE-04-01： 研究発表

RE-04-01-01

RE-05-01： 適切な研究遂行

RE-05-01-01

テキスト等：

- ① ブルース 有機化学概説（第3版、化学同人）
- ② アトキンス物理化学要論（第6版、東京化学同人）
- ③ 当日配布するプリント

教室： 2号館 33 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	22	火	5-6	有機化学：電子構造と共有結合，酸と塩基	武井	①
2	4	23	水	7-8	物理化学：物理化学序論	鎌田	②
3	4	25	金	5-6	有機化学：酸と塩基	武井	①
4	4	30	水	7-8	物理化学：理想気体の法則	鎌田	②
5	5	29	木	3-4	有機化学：有機化合物の基礎	武井	①
6	6	26	木	5-6	物理化学：熱力学第一法則	鎌田	②
7	7	22	火	5-6	有機化学：異性体と立体化学	武井	①
8	8	29	金	5-6	物理化学：熱力学第二法則	鎌田	②
9	9	1	月	7-8	有機化学：アルカン	武井	①
10	9	5	金	5-6	物理化学：純物質の相平衡	鎌田	②
11	9	5	金	7-8	有機化学：アルケンおよびアルキンの反応	武井	①
12	9	11	木	7-8	物理化学：混合物の性質	鎌田	②
13	9	17	水	5-6	有機化学：非局在結合が化合物の安定性に及ぼす効果	武井	①
14	9	17	水	7-8	物理化学：化学平衡の原理	鎌田	②
15	9	18	木	5-6	有機化学：ベンゼンと置換ベンゼンの反応	武井	①
16	9	18	木	7-8	物理化学：化学平衡の応用	鎌田	②
17	10	1	水	7-8	有機化学：ハロゲン化アルキルの反応	武井	①
18	10	3	金	7-8	物理化学：電気化学	鎌田	③
19	10	6	月	5-6	有機化学：アルコール、エーテル等の反応	武井	①
20	10	15	水	7-8	物理化学：反応速度，速度式の解釈	鎌田	②
21	10	20	月	5-6	有機化学：求核アシル置換反応	武井	①
22	10	27	月	5-6	物理化学：量子化学	鎌田	②
23	11	4	火	5-6	有機化学：アルデヒドおよびケトンの反応	武井	①
24	11	10	月	5-6	物理化学：分子間相互作用	鎌田	②
25	11	12	水	7-8	有機化学：炭水化物の有機化学	武井	①
26	11	14	金	5-6	物理化学：高分子と分子集団	鎌田	②
27	11	19	水	7-8	有機化学：アミノ酸、ペプチドの有機化学	武井	①
28	11	20	木	7-8	物理化学：金属、イオン性固体、共有結合固体	鎌田	②
29	11	26	水	7-8	有機化学：核酸の化学	武井	①
30	12	1	月	5-6	物理化学：固体表面	鎌田	②
31	12	3	水	5-8	有機化学・物理化学試験	武井 鎌田	

第1学年	科目	化学(実験)	5単位 (講義と併せて)	責任者	武井 史恵
------	----	--------	-----------------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 武井 史恵
鎌田 香織

到達目標：

物質及びその変化に対する化学的観察眼を養い、医学・医療の基礎となる化学の実験操作を身につける。

1. 知識： 実験に必要な知識を実験操作に関連付けて説明できる。
2. 技能： 実験に用いる種々の実験器具や装置を適切に操作できる。
3. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。事故を起こさず、かつ実験器具を適切に管理できる。

評価法： レポート及び実験態度の総合評価による。

1. 知識： 実験中および実験後の諮問とレポートで評価する。
2. 技能： 実験器具、装置の取り扱いの正確さ、データの正確さを評価する。
3. 態度： 実験中の態度を評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-03-01： 教養

PR-03-01-01

LL-01-01： 生涯学習の実践

LL-01-01-01 LL-01-01-02

LL-02-01： 医療者教育の実践

LL-02-01-01

RE-01-01： 能動的姿勢

RE-01-01-01 RE-01-01-02

RE-02-01： 医学と医療

RE-02-01-01

RE-02-02： 論文読解

RE-02-02-01

RE-03-01： 問い

RE-03-01-01

RE-03-02： 研究計画

RE-03-02-01

RE-03-03： 研究手法

RE-03-03-01

RE-03-04： 研究結果

RE-03-04-01

RE-04-01： 研究発表

RE-04-01-01

RE-05-01： 適切な研究遂行

RE-05-01-01

テキスト等：

- ① 教科書： 防衛医科大学校化学教室編 基礎化学実験 令和7年度版
- ② アトキンス 物理化学要論第7版 東京化学同人
- ③ ブルース 有機化学概説 第3版化学同人

④ 日本化学会編 実験化学講座 丸善

⑤ 配付資料

教室： 1号館化学実験室および21番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	2	金	5-6	化学実験を安全に行う留意事項、図、表、レポートの書き方等の説明 下記基本演習 1、2 の実験内容説明	武井 鎌田	①基本演習
2	5	7	水	5-9	学生 1 人 1 人が個人で次の基本演習 1、2 を実施する。学生を 1/2 ずつに分け、2 日間で基本演習 1、2 すべてを行う。 基本演習 1：天秤・ピペットの使用法 基本演習 2：分光光度計の使用法	武井 鎌田	① 基本演習
3	5	8	木	5-9		武井 鎌田	
4	5	9	金	5-9		武井 鎌田	
5	5	22	木	5-9		武井 鎌田	
6	5	29	木	5-6	実習 1~8 の内容説明：各実習の定員によりグループを編成し、実習 1~8 を実施する（編成の詳細は実験予定表による）。	武井 鎌田	
7	6	20	金	5-9	実習 1：無機金属イオンの分析	武井 鎌田	①実習 1
8	6	24	火	5-9	実習 2：分光光度計を用いた反応速度測定	武井 鎌田	①実習 2
9	6	25	水	5-9	実習 3：鎮痛剤・消炎剤の合成	武井 鎌田	①実習 3
10	7	2	水	5-9	実習 4：メチルオレンジの合成	武井 鎌田	①実習 4
11	7	3	木	5-9	実習 5：有機化合物の分析	武井 鎌田	①実習 5
12	7	9	水	5-9	実習 6：DNA 抽出法と PCR 法による遺伝子増幅	武井 鎌田	①実習 6
13	7	16	水	5-9	実習 7：アガロースゲルを用いた電気泳動法	武井 鎌田	①実習 7
14	7	17	木	5-9	実習 8：全ての実験に関する総復習	武井 鎌田	
15	7	24	木	5-9		武井 鎌田	
16	8	21	木	5-9		武井 鎌田	
17	8	27	水	5-9		武井 鎌田	
18	9	3	水	5-9		武井 鎌田	
19	9	4	木	5-9		武井 鎌田	
20	9	9	火	5-9		武井 鎌田	
21	9	12	金	5-9		武井 鎌田	
22	9	16	火	5-9		武井 鎌田	

第1学年	科目	生物学（講義）	5単位 （実験と併せて）	責任者	野口 立彦
------	----	---------	-----------------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 野口 立彦

到達目標：

生物のシステムと生体機能を学ぶことによって、生命活動を支える基本原理および生物学の研究方法を理解する。また、基礎医学、専門医学の理解に必要な基礎知識を習得する。

1. 知識： 形態学、機能生理学、生化学、遺伝学、分子生物学、進化学、生態学、発生学、分類学、行動学の基礎知識に基づいて、生命現象を多面的に説明できる。生物の普遍性と多様性を知り、その中でのヒトの特性を説明できる。
2. 技能： 習得した生物現象の知識に基づいて課題探求・解決能力、論理的思考法を運用できる。
3. 態度： 真摯に生命現象の理解に取り組む。自学自習の学習態度を身につける。

評価法：

1. 知識： 定期試験中の筆記試験で評価する。
2. 技能： 課題やレポートの設問に適確に対応できているかを評価する。
3. 態度： 授業中の態度、提出課題やレポートに取り組む態度を評価する。

3回の定期試験（各100点満点）の平均点が60点以上で合格とする。定期試験不合格者は、1学年全範囲の再試験を学年末に行い、60点以上で合格とする。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-03-01: 教養</u>					
PR-03-01-01	PR-03-01-02				
<u>PR-04-01: 臨床倫理</u>					
PR-04-01-01					
<u>LL-01-01: 生涯学習の実践</u>					
LL-01-01-01	LL-01-01-02				
<u>RE-01-01: 能動的姿勢</u>					
RE-01-01-01	RE-01-01-02				
<u>RE-01-02: 探究心</u>					
RE-01-02-01	RE-01-02-02				
<u>RE-02-01: 医学と医療</u>					
RE-02-01-01					
<u>PS-01-01: 生命現象の科学</u>					
PS-01-01-01	PS-01-01-02	PS-01-01-03	PS-01-01-04	PS-01-01-05	PS-01-01-06
PS-01-01-07	PS-01-01-08	PS-01-01-09	PS-01-01-10	PS-01-01-11	PS-01-01-12
PS-01-01-13	PS-01-01-14				
<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>					
PS-01-02-01	PS-01-02-02	PS-01-02-03	PS-01-02-04	PS-01-02-05	PS-01-02-06
PS-01-02-07	PS-01-02-08	PS-01-02-09	PS-01-02-10	PS-01-02-11	PS-01-02-12
PS-01-02-13	PS-01-02-14	PS-01-02-16	PS-01-02-17	PS-01-02-18	PS-01-02-19
PS-01-02-27	PS-01-02-28	PS-01-02-29	PS-01-02-30	PS-01-02-31	
<u>PS-01-03: 個体の反応</u>					
PS-01-03-01	PS-01-03-03	PS-01-03-08	PS-01-03-09	PS-01-03-10	PS-01-03-11
PS-01-03-12	PS-01-03-16	PS-01-03-18	PS-01-03-19	PS-01-03-20	PS-01-03-21
PS-01-03-22	PS-01-03-23	PS-01-03-24	PS-01-03-28	PS-01-03-29	PS-01-03-30

<u>PS-01-04: 病因と病態</u>						
PS-01-04-01	PS-01-04-02	PS-01-04-03	PS-01-04-04	PS-01-04-20	PS-01-04-23	
<u>PS-02-03: 神経系</u>						
<u>PS-02-03-01</u>						
<u>PS-02-04: 皮膚系</u>						
PS-02-04-01						
<u>PS-02-05: 運動器(筋骨格)系</u>						
PS-02-05-01						
<u>PS-02-06: 循環器系</u>						
PS-02-06-01						
<u>PS-02-07: 呼吸器系</u>						
PS-02-07-01						
<u>PS-02-08: 消化器系</u>						
PS-02-08-01						
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>						
PS-02-09-01						
<u>PS-02-10: 生殖器系</u>						
PS-02-10-01						
<u>PS-02-15: 眼・視覚系</u>						
PS-02-15-01						
<u>PS-02-16: 耳鼻・咽喉・口腔系</u>						
PS-02-16-01						
<u>PS-03-01: 遺伝医療・ゲノム医療</u>						
PS-03-01-01	PS-03-01-02	PS-03-01-03	PS-03-01-04	PS-03-01-05		
<u>PS-03-04: 腫瘍</u>						
PS-03-04-01						
<u>IT-03-02: 情報・科学技術を活用した学習スキル</u>						
IT-03-02-01 IT-03-02-02						

テキスト等：

- ① 教科書：モリス生物学 生命のしくみ 原書2版 八杉貞夫 他訳 東京化学同人
- ② 講義中の配布プリント
- ③ Essential 細胞生物学 原書5版 中村桂子 他訳 南江堂
- ④ トートラ人体解剖生理学 原書11版 佐伯由香 他訳 丸善出版

教室： 2号館33番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	23	水	5-6	ガイダンス	野口	①-1、②
2	4	30	水	5-6	生体分子と酵素の働き	野口	①-2, 6、②③
3	5	1	木	5-6	DNA とタンパク質 転写と翻訳	野口	①-3, 4、②③
4	5	23	金	7-8	細胞の基本構造と機能 細胞膜と細胞小器官	野口	①-5、②③
5	5	30	金	7-8	細胞呼吸と光合成	野口	①-6, 7, 8、②③
6	6	5	木	5-6	細胞・組織形成と細胞間情報伝達	野口	①-9, 10、②③
7	6	26	木	7-8	細胞分裂と細胞周期	野口	①-11、②③
8	7	22	火	7-8	染色体と DNA 複製	野口	①-12, 13、②③
9	8	20	水	7-8	突然変異と DNA 修復	野口	①-14、②③
10	9	1	月	3-4	遺伝学 I 遺伝的変異とメンデル遺伝	野口	①-15, 16、②
11	9	2	火	7-8	遺伝学 II 多様な遺伝様式とヒトの遺伝学	野口	①-17, 18、②
12	9	8	月	3-4	遺伝子発現制御 I 原核生物の遺伝子発現	野口	①-19、②③
13	9	10	水	1-2	遺伝子発現制御 II 遺伝子と発生	野口	①-20、②③
14	9	18	木	3-4	遺伝子操作とバイオテクノロジー	野口	①-12, 13、②③
15	9	19	金	7-8	ゲノム科学	野口	①-13、②③
16					定期試験	野口	
17	10	3	金	5-6	進化: 遺伝子型と表現型の変遷	野口	①-21、②
18	10	7	火	5-6	種と種分化 系統進化と化石	野口	①-22, 23、②
19	10	23	木	3-4	生物進化史 I: 細菌・アーキアと真核細胞の起源	野口	①-26, 27、②
20	10	29	水	7-8	生物進化史 II: 植物と菌類の進化	野口	①-28, 29, 33, 34、②
21	11	4	火	7-8	生物進化史 III: 動物の進化	野口	①-44、②
22	11	10	月	3-4	生物進化史 IV: 霊長類とヒトの進化	野口	①-24、②
23	11	13	木	1-2	ウイルスの多様性	野口	①-19、②
24	11	19	水	3-4	動物の行動	野口	①-45、②
25	11	26	水	1-2	行動生態学と個体群生態学	野口	①-46、②
26	12	10	水	7-8	種間相互作用・群集生態学	野口	①-47、②
27	12	12	金	5-6	バイオームと地球生態学	野口	①-48、②
28	12	15	月	5-6	人体の構造	野口	②④
29	12	17	水	1-2	神経系 I: 神経細胞と活動のしくみ	野口	①-35、②
30	12	24	水	7-8	定期試験	野口	
31	1	5	月	1-2	神経系 II: 中枢神経、自律神経、感覚器	野口	①-35, 36、②④
32	1	8	木	7-8	筋収縮のしくみと骨形成	野口	①-37、②④
33	1	9	金	5-6	主な骨格と筋肉	野口	①-37、②④
34	1	14	水	7-8	内分泌系とホメオスタシス	野口	①-38、②④
35	1	15	木	1-2	呼吸系と心臓脈管系	野口	①-39、②④
36	1	22	木	7-8	消化吸収と排出	野口	①-40, 41、②④
37	1	26	月	1-2	血液と免疫	野口	①-43、②④
38	1	29	木	7-8	生殖と受精	野口	①-42、②④
39	2	2	月	1-2	ヒトの一生: 発生から老化まで	野口	①-42、②④
40					定期試験	野口	

第1学年	科目	生物学（実験）	5単位 （講義と併せて）	責任者	野口 立彦
------	----	---------	-----------------	-----	-------

担当教官名と連絡先：

野口 立彦 (生物学科目)
朝比奈 はるか (外傷研究部門)
江尻 寛子 (広域感染症疫学・制御研究部門)
加藤 弘毅 (動物実験施設)
瀬谷 大貴 (生理学講座)
諸星 和紀 (医療工学研究部門)
矢野 航 (再生発生学講座)

到達目標：

実験と観察を通して生命現象を探究する方法を学び、生物の法則性を理解する。また、それらの体験を通して論理的思考と表現力を磨き、課題探求・解決能力を涵養する。

1. 知識： 生命現象をとらえるために必要な実験の手技手法と、そこから得られる結果とを関連付けて説明できる。生物体のもつ構造と機能を、個体から分子のレベルまで理解し説明できる。生物の進化と多様性について説明できる。
2. 技能： 実習書に示された生物医学研究の基本手技を行うことができる。実験結果を理論的に整理して、分かりやすく表現できる。
3. 態度： 生物材料や実験器具を適切に管理できる。他の学習者や教官と連携して、課題に真摯に取り組むことができる。

評価法：

1. 知識： 実験項目ごとに提出するレポートおよび定期試験中の筆記試験で評価する。
2. 技能： 毎回の実習において基本手技の正確さを評価する。
実験結果を適確に処理できているかを各回に提出するレポートで評価する。
3. 態度： 実習中の態度およびレポート提出状況で評価する。

毎回のレポートを100点満点で評価し、平均のレポート点が60点以上で合格とする。未提出のレポートがあった場合は不合格とする。詳細は実習書に記載する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01： 誠実さ</u>
PR-01-01-01 PR-01-01-02
<u>PR-01-02： 省察</u>
PR-01-02-02
<u>PR-02-01： 思いやり</u>
PR-02-01-01
<u>PR-03-01： 教養</u>
PR-03-01-01 PR-03-01-02
<u>PR-04-01： 臨床倫理</u>
PR-04-01-01
<u>LL-01-01： 生涯学習の実践</u>
LL-01-01-01 LL-01-01-02
<u>LL-02-01： 医療者教育の実践</u>
LL-02-01-01
<u>RE-01-01： 能動的姿勢</u>
RE-01-01-01 RE-01-01-02

<u>RE-02-01: 医学と医療</u>					
RE-02-01-01					
<u>RE-03-01: 問い</u>					
RE-03-01-01					
<u>RE-03-03: 研究手法</u>					
RE-03-03-01					
<u>RE-03-04: 研究結果</u>					
RE-03-04-01					
<u>RE-04-01: 研究発表</u>					
RE-04-01-02					
<u>RE-05-01: 適切な研究遂行</u>					
RE-05-01-01					
<u>PS-01-01: 生命現象の科学</u>					
PS-01-01-01	PS-01-01-02	PS-01-01-03	PS-01-01-04	PS-01-01-12	PS-01-01-13
<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>					
PS-01-02-01	PS-01-02-02	PS-01-02-03	PS-01-02-07	PS-01-02-10	PS-01-02-11
PS-01-02-12	PS-01-02-14	PS-01-02-22	PS-01-02-23	PS-01-02-24	PS-01-02-26
<u>PS-01-03: 個体の反応</u>					
PS-01-03-01	PS-01-03-07				
<u>IT-01-01: 情報・科学技術に向き合うための準備</u>					
IT-01-01-01					

テキスト等:

- ① 教科書: 防衛医科大学校生物学科目編 生物学実験 2025

教室：生物学実験室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	24	木	3-4	生物学実習ガイダンス	野口	①
2	4	24	木	5-9	ラットの解剖と観察 (I 班 5/7、II 班 4/24)	野口 加藤	①
		5	水	5-9			
3	5	14	水	5-9	動物組織の顕微鏡観察 (I 班 5/14、II 班 5/21)	野口 諸星	①
		21	水	5-9			
4	6	24	火	5-9	動物組織からの DNA 抽出 (I 班 6/25、II 班 6/24)	野口	①
		25	水	5-9			
5	7	2	水	5-9	ウニの受精と卵割 (I 班 7/2、II 班 7/3)	野口 朝比奈	①
		3	木	5-9			
6	8	19	火	5-9	ADH1B・ALDH2 遺伝子多型の解析 I ゲノム DNA の抽出と PCR 法 手のひらの常在菌と手洗いの効果 I (I 班 8/19、II 班 8/27)	野口	①
		27	水	5-9			
7	8	26	火	5-9	手のひらの常在菌と手洗いの効果 II (I 班 8/26、II 班 8/28)	野口	①
		28	木	5-9			
8	9	10	水	5-9	ADH1B・ALDH2 遺伝子多型の解析 II 電気泳動と結果解析 (I 班 9/16、II 班 9/10)	野口	①
		16	火	5-9			
9	10	10	金	5-9	医大校内の生物多様性 (I 班 10/14、II 班 10/10)	野口 朝比奈 江尻	①
		14	火	5-9			
10	10	28	火	5-9	初代培養細胞の観察 (I 班 10/28、II 班 11/7)	野口 諸星	①
		11	金	5-9			
11	11	18	火	5-9	ニワトリの発生 (I 班 11/18、II 班 11/21)	野口 瀬谷	①
		21	金	5-9			
12	12	16	火	5-9	哺乳類頭蓋骨の比較形態計測 (I 班 12/17、II 班 12/16)	野口 矢野	①
		17	水	5-9			

第1学年	科目	形態医学系 解剖学 (解剖学総論・運動器学実習)	33 時間	責任者	西井 清雅 伊藤 正孝
------	----	-----------------------------	-------	-----	----------------

担当教官名と連絡先： 西井 清雅
伊藤 正孝
東 誉人
堀江 沙和
三浦 賢司
小林 靖

到達目標：

人体の肉眼的諸構造について学び、その空間配置を理解する。また、それらを学習するにあたって課題探求・解決能力、論理的思考と表現力を涵養する。

1. 知識： 人体の骨格構造を、それらの構成部位ならびに機能と関連づけて説明できる。
運動器官の相互の位置関係を、臨床上の重要性をふまえて説明できる。
2. 技能： 実習書に示された構造を同定することができる。
3. 態度： 死者に対し礼意をもって接する。
標本ならびにその周辺の清潔を保ち、器具を適切に管理できる。
課題の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 実習中の試問と筆記試験で評価する。
2. 技能： 毎週の実習進捗状況確認において、進捗度と同定・レポートの正確さを評価する。
各運動器官と部分を同定できるか、同定試験で評価する。
3. 態度： 実習中の態度ならびに解剖体慰霊祭での態度を評価する。
(筆記試験と同定試験は第2学年の最初に行う)

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01: 誠実さ</u>
PR-01-01-02
<u>PR-02-01: 思いやり</u>
PR-02-01-01
<u>PR-02-03: 品格・礼儀</u>
PR-02-03-01 PR-02-03-02
<u>PR-03-01: 教養</u>
PR-03-01-01
<u>PR-04-01: 臨床倫理</u>
PR-04-01-01
<u>GE-03-02: 小児期全般</u>
GE-03-02-01
<u>LL-01-01: 生涯学習の実践</u>
LL-01-01-01 LL-01-01-02
<u>LL-02-01: 医療者教育の実践</u>
LL-02-01-01
<u>RE-03-03: 研究手法</u>
RE-03-03-01
<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>
PS-01-02-11 PS-01-02-16

テキスト等：

- ① 寺田・藤田：骨学実習の手びき 第4版（南山堂）
- ② Drake 他：グレイ解剖学 原著第5版（エルゼビア・ジャパン）
- ③ Moore 他：臨床のための解剖学 第3版（メディカル・サイエンス・インターナショナル）
- ④ Agur 他：グラント解剖学図譜 第8版（医学書院）
- ⑤ Schünke 他：プロメテウス解剖学 コアアトラス 第4版（医学書院）
- ⑥ Rohen 他：解剖学カラーアトラス 第9版（医学書院）
- ⑦ 配布するプリント

教室：2号館解剖学実習室、33番教室

総論・運動器学実習（担当者は各回の責任者のみ示す。副担当者は別表を参照のこと）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	3	3	火	1-4	解剖学総論・運動器学総論講義 1	西井	①実習のはじめに
2	3	4	水	5-9	運動器学総論講義 2	西井	① § 1-2
					運動器学実習 1 全身の骨格		
3	3	5	木	5-9	運動器学実習 2 体幹の骨	西井	① § 1-2
4	3	9	月	1-4	運動器学実習 3 上肢の骨	西井	① § 3-4
5	3	10	火	5-9	運動器学実習 4 下肢の骨	西井	① § 5-6
6	3	11	水	5-9	運動器学実習 5 頭蓋 1	東	① § 7-8
7	3	13	金	5-9	運動器学実習 6 頭蓋 2	東	① § 9-10

第2学年	科目	形態医学系 解剖学 (解剖学実習)	243 時間	責任者	西井 清雅 伊藤 正孝
------	----	----------------------	--------	-----	----------------

担当教官名と連絡先： 西井 清雅
伊藤 正孝
東 誉人
堀江 沙和
三浦 賢司
松村 譲児
小林 靖

到達目標：

人体の肉眼的諸構造について学び、その空間配置を理解する。また、それらを学習するにあたって課題探求・解決能力、論理的思考と表現力を涵養する。

1. 知識： 人体の各器官と器官系の構造を、それらの細胞・組織ならびに機能と関連づけて説明できる。
器官と器官系の相互の位置関係を、臨床上の重要性をふまえて説明できる。
2. 技能： 実習書に示された構造を剖出することができる。
剖出された各器官とその部分を同定することができる。
3. 態度： 死者に対し礼意をもって接する。
遺体ならびにその周辺の清潔を保ち、器具を適切に管理できる。
課題の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 実習中の試問と筆記試験で評価する。
2. 技能： 毎週の実習進捗状況確認において、進捗度と剖出・同定の正確さを評価する。
各器官と部分を同定できるか、同定試験で評価する。
3. 態度： 実習中の態度、実習終了時の所感文、ならびに解剖体慰霊祭での態度を評価する。

知識・技能・態度の細部は、下記に示したモデルコアカリキュラムの項目に準じるものとする。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-01： 誠実さ

PR-01-01-02

PR-01-02： 省察

PR-01-02-02

PR-02-01： 思いやり

PR-02-01-01

PR-02-03： 品格・礼儀

PR-02-03-01 PR-02-03-02

PR-03-01： 教養

PR-03-01-01

PR-04-01： 臨床倫理

PR-04-01-01

GE-01-01： 臓器横断的な診療

GE-01-01-01 GE-01-01-03

GE-03-02： 小児期全般

GE-03-02-01

GE-03-03: 胎児期、新生児期、乳幼児期

GE-03-03-01 GE-03-03-02

GE-03-04: 学童期、思春期、青年期、成人期

GE-03-04-01

GE-03-05: 老年期

GE-03-05-01

GE-03-06: 終末期

GE-03-06-01

LL-01-01: 生涯学習の実践

LL-01-01-01 LL-01-01-02

LL-02-01: 医療者教育の実践

LL-02-01-01 LL-02-01-02 LL-02-01-03

RE-01-01: 能動的姿勢

RE-01-01-01 RE-01-01-02

RE-01-02: 探究心

RE-01-02-01 RE-01-02-02

RE-02-01: 医学と医療

RE-02-01-01

RE-03-03: 研究手法

RE-03-03-01

RE-03-04: 研究結果

RE-03-04-01

RE-04-01: 研究発表

RE-04-01-01 RE-04-01-02 RE-04-01-03

PS-01-02: 個体の構成と機能

PS-01-02-03 PS-01-02-04 PS-01-02-10 PS-01-02-11 PS-01-02-12 PS-01-02-13

PS-01-02-14 PS-01-02-16 PS-01-02-17 PS-01-02-18 PS-01-02-22 PS-01-02-23

PS-01-02-24 PS-01-02-25 PS-01-02-26

PS-01-03: 個体の反応

PS-01-03-18

PS-01-04: 病因と病態

PS-01-04-01 PS-01-04-13

PS-02-03: 神経系

PS-02-03-01

PS-02-04: 皮膚系

PS-02-04-01

PS-02-05: 運動器(筋骨格)系

PS-02-05-01

PS-02-06: 循環器系

PS-02-06-01

PS-02-07: 呼吸器系

PS-02-07-01

<u>PS-02-08: 消化器系</u>
PS-02-08-01
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>
PS-02-09-01
<u>PS-02-10: 生殖器系</u>
PS-02-10-01
<u>PS-02-11: 妊娠と分娩</u>
PS-02-11-01
<u>PS-02-12: 小児</u>
PS-02-12-01
<u>PS-02-13: 乳房</u>
PS-02-13-01
<u>PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系</u>
PS-02-14-01
<u>PS-02-15: 眼・視覚系</u>
PS-02-15-01
<u>PS-02-16: 耳鼻・咽喉・口腔系</u>
PS-02-16-01
<u>PS-02-17: 精神系</u>
PS-02-17-01
<u>PS-03-06: 放射線の生体影響と適切な利用、放射線障害</u>
PS-03-06-04 PS-03-06-05
<u>IT-01-01: 情報・科学技術に向き合うための準備</u>
IT-01-01-01 IT-01-01-02
<u>IT-01-02: 情報・科学技術利用にあたっての倫理観とルール</u>
IT-01-02-01 IT-01-02-02

テキスト等：

- ① 寺田・藤田：解剖実習の手びき 第11版（南山堂）
- ② Drake 他：グレイ解剖学 原著第5版（エルゼビア・ジャパン）
- ③ Moore 他：臨床のための解剖学 第3版（メディカル・サイエンス・インターナショナル）
- ④ Agur 他：グラント解剖学図譜 第8版（医学書院）
- ⑤ Schünke 他：プロメテウス解剖学 コアアトラス 第4版（医学書院）
- ⑥ Rohen 他：解剖学カラーアトラス 第9版（医学書院）
- ⑦ ワックスマン：ワックスマン脳神経解剖学-臨床に役立つ-（西村書店）
- ⑧ 配布するプリント

教室： 2号館解剖学実習室、31番教室

解剖学実習第一期（体幹表層、上肢）（担当者は各回の責任者のみ示す。副担当者は別表を参照のこと）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	3	木	3-4 5-8	実習にあたっての注意・開始式 頸・胸・腹部の体表観察と剥皮 広頸筋と乳腺	西井	① § 1, 2
2	4	8	火	5-9	胸腹壁の浅層 胸筋、頸部浅層	西井	① § 3-5
3	4	9	水	1-2 5-8	背部剥皮、背部浅層 上肢の剥皮	西井	① § 6, 7, 11
4	4	10	木	5-9	頸部深層、胸筋・腋窩 腕神経叢	東	① § 8, 9, 11
5	4	11	金	3-4	鎖骨下動脈とその枝 上腕屈側の筋と神経 肩甲骨前面の筋	東	① § 10, 12, 13
	4	22	火	5-9			
6	4	23	水	1-2 5-8	上腕伸側と肩甲骨背面の筋 上肢の切り離し	堀江	① § 14, 15
7	4	25	金	3-4	前腕屈側の浅い層 前腕の伸側と手背 胸腰筋膜と固有背筋	堀江	① § 16, 17, 26
	4	30	水	1-4			
8	5	1	木	5-9	手のひらの剥皮と手掌腱膜 手のひらの浅層 後頭下筋群	東	① § 18, 19, 27
9	5	2	金	3-4 5-8	手のひらの深層 上肢の血管と神経の総括 脊髄	東	① § 20, 21, 28
10	5	7	水	1-2 5-8	肩関節とその周辺、肘関節 胸壁、鼠径部と側腹筋、腹直筋鞘	西井	① § 22, 23, 29-31
11	5	8	木	5-9	手関節、手と指の関節 横筋筋膜と腹膜、臍の周辺 腹部内臓の自然位での観察	西井	① § 24, 25, 32-34
12	5	9	金	5-9	復習と総括	小林	
13	5	12	月	5-8	第一期修了試験	東	

解剖学実習第二期（内臓、下肢、頭頸部）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	14	水	5-9	開胸、胸膜と心膜 腹部内臓の位置、腹膜と腹膜腔	小林	① § 35, 36, 43, 44
2	5	19	月	3-4	肺 腹部内臓の血管と神経	西井	① § 37, 45
	5	20	火	5-9			
3	5	21	水	1-2 5-8	くびの根もとの深層、縦隔 空腸・回腸・結腸、胃	東	① § 38, 39, 46, 47
4	5	23	金	5-9	心臓の外景・内景 肝臓	松村 西井	① § 40, 41, 48
5	5	26	月	3-4 5-8	縦隔の深部 十二指腸・膵臓・脾臓	秋田 東	① § 42, 49
6	5	28	水	1-4	くびの深層 腎臓と副腎、後胸壁と後腹膜	西井	① § 50, 51, 72
7	5	29	木	5-9	顔の浅層 横隔膜と腰神経叢	東	① § 52, 73
8	5	30	金	5-9	咽頭 下肢の皮静脈と皮神経	西井	① § 53, 74

9	6	2	月	3-4 5-8	甲状腺と気管 大腿筋膜と大殿筋、大腿前面の深層	西井	① § 54, 55, 75
10	6	4	水	1-2 5-8	喉頭 殿部の深層、大腿後面の深層	堀江	① § 56, 57, 76
11	6	5	木	5-9	膀胱とその周辺、外陰部 膝窩と下腿後面	伊藤	① § 58, 64, 65
12	6	6	金	1-4	会陰 下腿の前面と足背、足底	伊藤	① § 59, 60, 66
13	6	9	月	3-4 5-8	骨盤の切半 骨盤内臓の位置、骨盤の血管と神経 下腿の最深層	伊藤	① § 61, 67-69
14	6	10	火	5-9	骨盤内臓 膝の関節	伊藤	① § 62, 70
15	6	11	水	1-4	骨盤壁の筋と股関節 足の関節	西井	① § 63, 71
16	6	13	金	1-4	頭蓋の内面 脳の外観と脳神経・脳血管	松村 西井	① § 78
17	6	16	月	5-9	頭の切半 口腔、鼻腔と咽頭鼻部	西井	① § 79, 80
18	6	17	火	5-9	咀嚼筋と下顎管 顎関節と側頭下窩	西井	① § 81, 82
19	6	18	水	5-9	舌と口蓋 副鼻腔と翼口蓋神経節	矢野	① § 83, 84
20	7	7	月	3-4 5-9	眼球概観、眼窩内容、眼球の解剖 水平統合プログラム： 病理所見検討会	西井 病態病理学・佐藤 臨床検医学・松熊	① § 85-87
21	7	14	月	3-4 5-9	舌下神経管と頸静脈孔 外耳と中耳	西井	① § 88, 89
22	7	16	水	5-9	内耳 翼突管と頸動脈管、耳神経節	西井	① § 90, 91
23	7	18	金	5-9	復習と総括	西井	
24	7	22	火	5-8	第二期修了試験	西井	
25	7	23	水	5-8	納棺式	西井	

解剖学実習第三期（脳）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	19	火	1-2 5-8	神経解剖学実習 1 脳の基本区分、血管、脳神経	小林	⑤
2	8	20	水	1-2 5-8	神経解剖学実習 2 大脳の正中断	小林	⑤
3	8	22	金	3-4 5-8	神経解剖学実習 3 大脳の前頭断と水平断	本多 小林	⑤
4	8	25	月	3-4 5-9	神経解剖学実習 4 脳幹と小脳の内部構造	小林	⑤
5	9	1	月	3-4 5-9	神経解剖学実習 5 中枢神経系の組織	小林	⑤
6	9	3	水	5-9	神経解剖学実習 6 終脳皮質と髄質	小林	⑤
7	9	8	月	5-8	第三期修了試験	西井	

第1学年	科目	形態医学系 組織学 (細胞組織学総論講義・実習)	56 時間	責任者	伊藤 正孝 西井 清雅
------	----	-----------------------------	-------	-----	----------------

担当教官名と連絡先： 伊藤 正孝
西井 清雅
矢野 航
三浦 賢司
東 誉人
平柳 淑恵
小林 靖

到達目標：

人体の組織学的諸構造について学び、それぞれの器官の組織構造を理解する。また、それらを学習するにあたって課題探求・解決能力、論理的思考と表現力を涵養する。

1. 知識： 人体の各器官と器官系の組織構造を、肉眼的構造ならびに機能と関連づけて説明できる。各組織の構造を、臨床上の重要性をふまえて説明できる。
2. 技能： 配布資料で示された各器官の組織構造を、顕微鏡を用いて観察することができる。観察した組織構造をスケッチし、各組織の各構成器官を説明できる。
3. 態度： 人体から採取された組織切片を丁寧に扱うことができる。顕微鏡を適切に取り扱い管理することができる。課題の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 実習中のレポートと筆記試験で評価する。
2. 技能： 実習中のスケッチと実地試験で評価する。
3. 態度： 実習中の態度と提出物で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-02-03: 品格・礼儀</u>					
PR-02-03-01	PR-02-03-02				
<u>RE-01-01: 能動的姿勢</u>					
RE-01-01-02					
<u>PS-01-01: 生命現象の科学</u>					
PS-01-01-01	PS-01-01-02	PS-01-01-03	PS-01-01-04	PS-01-01-08	
<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>					
PS-01-02-06	PS-01-02-07	PS-01-02-08	PS-01-02-09	PS-01-02-10	PS-01-02-11
PS-01-02-12	PS-01-02-13	PS-01-02-14	PS-01-02-15		
<u>PS-02-03: 神経系</u>					
PS-02-03-01					
<u>PS-02-05: 運動器(筋骨格)系</u>					
PS-02-05-01					

テキスト等：

- ① 組織細胞生物学（南江堂）
- ② 入門組織学（南江堂）
- ③ 最新カラー組織学（西村書店）
- ④ 図譜（Sobotta 実習人体組織学図譜、カラーアトラス組織学図譜）
- ⑤ 配布資料

教室： 2号館組織学実習室および33番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	27	火	5-6	組織学総論 講義1 (上皮組織、腺)	伊藤 他	①-⑤
2	1	27	火	7-9	組織学総論 講義2 (結合組織、骨・軟骨)	伊藤 他	①-⑤
3	1	30	金	5-9	オリエンテーション、組織学総論 実習1-1 (上皮組織)	伊藤 他	①-⑤
4	2	3	火	5-9	組織学総論 実習1-2 (上皮組織、腺組織)	伊藤 他	①-⑤
5	2	4	水	5-6	組織学総論 講義3 (細胞学、筋組織)	伊藤 他	①-⑤
6	2	4	水	7-8	組織学総論 講義4 (神経、血液、脈管)	伊藤 他	①-⑤
7	2	6	金	5-6	組織学総論 実習1-3 (上皮組織、腺組織)	伊藤 他	①-⑤
8	2	12	木	7-8	組織学総論 実習2 (結合組織)	伊藤 他	①-⑤
9	2	16	月	5-9	組織学総論 実習3 (軟骨、骨)	伊藤 他	①-⑤
10	2	18	水	7-9	組織学総論 実習4 (補講、追実習)	伊藤 他	①-⑤
11	3	2	月	5-9	組織学総論 実習5 (筋組織)	伊藤 他	①-⑤
12	3	3	火	5-9	組織学総論 実習6 (脈管、血液)	伊藤 他	①-⑤
13	3	9	月	5-9	組織学総論 実習7 (神経組織)	伊藤 他	①-⑤
14	3	12	木	5-9	組織学総論 試験	伊藤 他	①-⑤
15	3	16	月	5-9	組織学総論 まとめと再試	伊藤 他	①-⑤

第2学年	科目	形態医学系 組織学 (組織学各論実習)	71 時間	責任者	伊藤 正孝 西井 清雅
------	----	------------------------	-------	-----	----------------

担当教官名と連絡先： 伊藤 正孝
西井 清雅
矢野 航
三浦 賢司
東 誉人
平柳 淑恵
小林 靖

到達目標：

人体の組織学的諸構造について学び、それぞれの器官の組織構造を理解する。また、それらを学習するにあたって課題探求・解決能力、論理的思考と表現力を涵養する。

1. 知識： 人体の各器官と器官系の組織構造を、肉眼的構造ならびに機能と関連づけて説明できる。各組織の構造を、臨床上の重要性をふまえて説明できる。
2. 技能： 配布資料で示された各器官の組織構造を、顕微鏡を用いて観察することができる。観察した組織構造をスケッチし、各組織の各構成器官を説明できる。
3. 態度： 人体から採取された組織切片を丁寧に取り扱いすることができる。顕微鏡を適切に取り扱い管理することができる。課題と目標の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 実習中のレポートと筆記試験で評価する。
2. 技能： 実習中のスケッチと実地試験で評価する。
3. 態度： 実習中の態度と提出物で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-02-03: 品格・礼儀

PR-02-03-01 PR-02-03-02

RE-01-01: 能動的姿勢

RE-01-01-02

PS-01-02: 個体の構成と機能

PS-01-02-06 PS-01-02-10 PS-01-02-12 PS-01-02-13

PS-02-04: 皮膚系

PS-02-04-01

PS-02-06: 循環器系

PS-02-06-01

PS-02-07: 呼吸器系

PS-02-07-01

PS-02-08: 消化器系

PS-02-08-01

PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)

PS-02-09-01

PS-02-10: 生殖器系

PS-02-10-01

PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系

PS-02-14-01

PS-02-15: 眼・視覚系

PS-02-15-01

PS-02-16: 耳鼻・咽喉・口腔系

PS-02-16-01

テキスト等：

- ① 組織細胞生物学 (南江堂)
- ② 入門組織学 (南江堂)
- ③ 最新カラー組織学 (西村書店)
- ④ 図譜 (Sobotta 実習人体組織学図譜、カラーアトラス組織学図譜)
- ⑤ 配布資料

教室： 2号館組織学実習室および31番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	8	火	1-4	組織学各論実習 1 (消化器系 1: 歯、舌、唾液腺)	伊藤 他	①-⑤
2	4	24	木	5-9	組織学各論実習 2 (消化器系 2: 食道、胃)	伊藤 他	①-⑤
3	4	30	水	5-9	組織学各論実習 3 (消化器系 3: 小腸、大腸)	伊藤 他	①-⑤
4	5	13	火	5-9	組織学各論実習 4 (消化器系 4: 肝・胆・膵)	伊藤 他	①-⑤
5	5	22	木	5-9	組織学各論実習 5 (呼吸器系)	伊藤 他	①-⑤
6	5	27	火	5-9	組織学各論実習 6 (泌尿器系)	伊藤 他	①-⑤
7	5	28	水	5-9	組織学各論実習 7 (女性生殖器)	伊藤 他	①-⑤
8	6	3	火	5-9	組織学各論実習 8 (男性生殖器)	伊藤 他	①-⑤
9	6	6	金	5-9	組織学各論実習 9 (感覚器 1: 眼)	伊藤 他	①-⑤
10	6	13	金	5-9	組織学各論実習 10 (内分泌器)	伊藤 他	①-⑤
11	7	8	火	3-4	まとめと復習	伊藤 他	①-⑤
12	7	8	火	5-9	組織学各論実習 11 (感覚器 2: 皮膚、耳)	伊藤 他	①-⑤
13	7	10	木	5-9	組織学各論実習 12 (リンパ組織)	伊藤 他	①-⑤
14	7	15	火	5-8	特論 組織と発生	伊藤 他	①-⑤
15	7	17	木	5-9	組織学各論 試験、後片付け	伊藤 他	①-⑤
16	8	22	金	1-2	再試験	伊藤 他	①-⑤

第2学年	科目	形態医学系 発生学	30時間	責任者	伊藤 正孝 西井 清雅
------	----	-----------	------	-----	----------------

担当教官名と連絡先： 伊藤 正孝
西井 清雅
矢野 航
三浦 賢司
東 誉人
平柳 淑恵
小林 靖

到達目標：

ヒトの個体発生と器官発生について学び、生殖細胞の発生、受精から個体が形成されるまでのヒトの発生過程を系統的に理解する。また、それらを学習するにあたって課題探求・解決能力、論理的思考と表現力を涵養する。

1. 知識： 人体とそれぞれの器官の発生過程を理解する。
2. 態度： 課題と目標の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 講義中の態度と提出物で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-02-03: 品格・礼儀</u>				
PR-02-03-02				
<u>PR-04-01: 臨床倫理</u>				
PR-04-01-01				
<u>RE-01-01: 能動的姿勢</u>				
RE-01-01-02				
<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>				
PS-01-02-22	PS-01-02-23	PS-01-02-24	PS-01-02-25	PS-01-02-26
<u>PS-02-11: 妊娠と分娩</u>				
PS-02-11-01				

テキスト等：

- ① ラングマン 人体発生学 第11版
- ② 当日配布のプリント

教室： 2号館 31 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	4	水	3-4	発生学1 排卵から着床	伊藤 他	①②
2	6	12	木	5-6	発生学2 二層性杯盤・胚子期	伊藤 他	①②
3	6	12	木	7-8	発生学3 腸管と体腔・先天異常と出生前診断	伊藤 他	①②
4	6	18	水	1-2	発生学4 心臓・血管系の発生	伊藤 他	①②
5	6	18	水	3-4	発生学5 骨格系・筋系・体肢の発生	伊藤 他	①②
6	7	8	火	1-2	発生学6 消化器系の発生	伊藤 他	①②
7	7	9	水	5-6	発生学7 呼吸器系の発生	伊藤 他	①②
8	7	9	水	7-8	発生学8 泌尿・生殖器系	伊藤 他	①②
9	7	22	火	3-4	発生学9 視覚器の発生	伊藤 他	①②
10	7	23	水	1-2	発生学10 平衡感覚器・外皮系の発生	伊藤 他	①②
11	9	4	木	5-6	発生学11 頭頸部の発生	伊藤 他	①②
	9	4	木	7-9	予備		
12	9	5	金	3-4	発生学12 中枢神経系の発生	伊藤 他	①②
13	9	12	金	1-2	発生学 試験	伊藤 他	
14	9	18	木	7-8	発生学13 特論 再生医療	伊藤 他	①②
15	9	19	金	5-6	発生学 再試験	伊藤 他	

第2学年	科目	形態医学系 病理学総論	75時間	責任者	佐藤 仁哉
------	----	-------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 佐藤 仁哉
吉松 真也

到達目標：

- 知識： 疾病の基本的概念（細胞傷害、細胞増殖と適応、遺伝子・染色体と発生発達異常、代謝異常、循環障害、炎症、腫瘍、環境要因によって生じる疾患）を学習し、顕微鏡実習、演習を通じてこれらの概念を形態学的側面から説明できる。また、これらの知識、情報を客観的・批判的に統合整理する基本的知識と技能を有している。
ミニケーススタディでは病理総論で学んだ基本的病変について、実際の症例を班毎で担当し、臨床経過や検査所見の情報を参照しながら、肉眼観察と鏡検によって病理所見を正確に捉え、班員が協力してレジユメの作成と発表を行うことができる。他班の症例についても他の班の班員と議論して知識を得ることができる。
- 態度： 講義、実習の間は、講師の話や実習に集中している。不明な点は質問するなどして、できるだけ多くのことを授業中に理解しようと努めている。実習、症例検討では学生間で協力し全員が内容を理解している。実習レポートや発表会のレジユメは丁寧に作成している。これらを通じて形態学的側面から疾病をみる眼が養われているとともに、研究発表の仕方や他人の研究発表を聴講する作法も身につけている。

評価法：

- 知識： 前期試験と後期試験の成績を中心に、講義、実習のレポートの提出状況、内容を加え、総合的に判定する。前期試験と後期試験では講義・実習内容の筆記試験と、マクロ、ミクロ画像をみてのスライド試験との両方を行う。
- 態度： 講義室、実習室での学習態度、意欲、質疑応答で評価する。学生グループ発表（ミニケーススタディ等）では実習の態度、姿勢、発表会での発表や討議内容、発表会開催における役割やグループ内の役割なども評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>RE-02-01: 医学と医療</u>					
RE-02-01-01					
<u>PS-01-01: 生命現象の科学</u>					
PS-01-01-01	PS-01-01-06	PS-01-01-08	PS-01-01-09		
<u>PS-01-04: 病因と病態</u>					
PS-01-04-02	PS-01-04-03	PS-01-04-05	PS-01-04-06	PS-01-04-07	PS-01-04-08
PS-01-04-09	PS-01-04-10	PS-01-04-11	PS-01-04-12	PS-01-04-13	PS-01-04-14
PS-01-04-15	PS-01-04-16	PS-01-04-17	PS-01-04-18	PS-01-04-19	PS-01-04-20
PS-01-04-21	PS-01-04-22	PS-01-04-23	PS-01-04-24		
<u>PS-02-01: 総論</u>					
PS-02-01-01					
<u>PS-03-04: 腫瘍</u>					
PS-03-04-01	PS-03-04-02	PS-03-04-03	PS-03-04-06	PS-03-04-07	PS-03-04-08
<u>PS-03-05: 救急・集中治療</u>					
PS-03-05-02					

テキスト等：

- ① 毎回講義の前にハンドアウトを配布する。
- ② 仁木利郎・小田義直編：標準病理学第7版（医学書院、2023）
- ③ Kumar V, Abbas AK, Aster JC 編：Robbins & Kumar Basic Pathology 第11版（Elsevier, 2022）
- ④ Kumar V, Abbas AK, Aster JC 編：Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease 第10版（Elsevier, 2021）
- ⑤ 赤木忠孝、松原修、真鍋俊明他編：カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断第7版（医歯薬出版、2020）
- ⑥ 坂本穆彦、北川昌伸、菅野 純編：組織病理カラーアトラス第3版（医学書院、2021）

教室： 2号館 31 番教室、組織学実習室、またはオンライン

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	18	月	5	病理学序論	佐藤	①②
2	8	18	月	6-9	細胞増殖と適応 /実習	佐藤	①②
3	8	26	火	5-9	細胞傷害/実習	吉松	①②
4	8	28	木	5-9	炎症 (1) /実習	佐藤	①②
5	9	2	火	5-9	炎症 (2) /実習	佐藤	①②
6	9	10	水	5-9	循環障害/実習	吉松	①②
7	9	12	金	5-9	腫瘍 (1) /実習	佐藤	①②
8	9	16	火	5-9	遺伝子染色体異常 (1) /実習	吉松	①②
9	9	17	水	5-9	代謝障害/実習	小原	①②
					前期定期試験	佐藤	①②
10	10	3	金	1-4	遺伝子染色体異常 (2) /実習	吉松	①②
11	10	14	火	1-4	腫瘍 (2) /実習	佐藤	①②
12	10	20	月	5-9	ミニケーススタディ (1)	佐藤	
13	10	22	水	5-6	環境病理学	小原	①②
14	10	22	水	7-9	腫瘍 (3)	佐藤	①②
15	11	11	火	5-6	ミニケーススタディ (2)	佐藤	
16	11	12	水	5-9	ミニケーススタディ (3)	佐藤	
17	11	19	水	5-9	ミニケーススタディ (発表会)	佐藤	
18	12	2	火	5-9	病理学総論試験	佐藤	

第2学年	科目	形態医学系 病理学各論	96時間	責任者	佐藤 仁哉、 松熊 晋
------	----	-------------	------	-----	----------------

担当教官名： 松熊 晋
佐藤 仁哉
緒方 衝
宮居 弘輔
土屋 基裕
吉松 真也

到達目標：

1. 知識：循環器系、消化器系、呼吸器系、内分泌系、造血器系、腎臓、神経系および小児におけるそれらの構造と機能を理解し、主な循環器系疾患、消化器系疾患、呼吸器系疾患、内分泌系疾患、造血器系疾患、腎臓疾患、神経系疾患、小児疾患の病因、病態生理、症候、診断を説明できる。これらを通じて病理総論で得た基本的概念を土台に疾病ごとの医学知識を広げ、臨床とのつながりを意識しながら、各系の知識、情報を客観的、批判的に統合整理する基本能力を身につけている。
2. 態度：実習の間は、講師の話や実習に集中している。不明な点は質問するなどして、できるだけ多くのことを授業中に理解しようと努めている。実習では学生間で協力し全員が内容を理解できている。実習レポートは丁寧に作成している。

評価法：

1. 知識：循環器、消化管、呼吸器、内分泌、造血器、腎臓、神経、小児の病理について第2学年後期あるいは第3学年進級後に前期試験を含め、複数回にわたり筆記試験、スライド試験を実施する。各試験の成績を中心に、講義、実習レポートの提出状況、内容を加え総合的に判定する。
2. 態度：講義室、実習室での学習態度、意欲、質疑応答で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-02-01: 総論</u>				
PS-02-01-01				
<u>PS-02-02: 血液・造血器・リンパ系</u>				
PS-02-02-01	PS-02-02-02	PS-02-02-05		
<u>PS-02-03: 神経系</u>				
PS-02-03-01	PS-02-03-02	PS-02-03-05		
<u>PS-02-06: 循環器系</u>				
PS-02-06-01	PS-02-06-02	PS-02-06-05		
<u>PS-02-07: 呼吸器系</u>				
PS-02-07-01	PS-02-07-02	PS-02-07-05		
<u>PS-02-08: 消化器系</u>				
PS-02-08-01	PS-02-08-02	PS-02-08-05		
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>				
PS-02-09-01	PS-02-09-02	PS-02-09-05		
<u>PS-02-12: 小児</u>				
PS-02-12-01	PS-02-12-04			
<u>PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系</u>				
PS-02-14-01	PS-02-14-02	PS-02-14-05	PS-02-14-06	
<u>PS-02-16: 耳鼻・咽喉・口腔系</u>				
PS-02-16-01	PS-02-16-02	PS-02-16-05		

PS-03-04: 腫瘍

PS-03-04-09 PS-03-04-10 PS-03-04-13 PS-03-04-14 PS-03-04-18 PS-03-04-19
 PS-03-04-20 PS-03-04-21

テキスト等：

- ① 毎回講義の前にハンドアウトを配布する。
- ② 仁木利郎・小田義直編：標準病理学 第7版（医学書院、2023）
- ③ Kumar V, Abbas AK, Aster JC 編：Robbins & Kumar Basic Pathology 第11版（Elsevier, 2022）
- ④ Kumar V, Abbas AK, Aster JC 編：Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease 第10版（Elsevier, 2021）
- ⑤ 赤木忠孝、松原修、真鍋俊明他編：カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断第7版（医歯薬出版、2020）
- ⑥ 坂本穆彦、北川昌伸、菅野 純編：組織病理カラーアトラス第3版（医学書院、2021）

教室： 2号館 31 番教室、組織学実習室、またはオンライン

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	11	26	水	5-9	循環器 (1) 心臓／実習	宮居	①②
2	12	4	木	5-9	内分泌 (1) ／実習	緒方	①②
3	12	12	金	5-9	循環器 (2) 血管／実習	佐藤	①②
4	1	5	月	5-6	内分泌 (2) ／実習	緒方	①②
5	1	5	月	7-9	小児	緒方	①②
6	1	7	水	1-4	呼吸器 (1) 腫瘍性肺疾患／実習	松熊	①②
7	1	9	金	5-9	呼吸器 (2) 非腫瘍性肺疾患／実習	佐藤	①②
8	1	13	火	1-4	呼吸器 (3) 胸膜・縦隔／実習	土屋 松熊	①②
9	1	14	水	5-9	頭頸部・食道／実習	緒方	①②
10	1	16	金	5-9	腎 (1) ／実習	吉松	①②
11	1	27	火	5-9	胃	猛尾	①②
12	1	28	水	5-9	肝胆膵(1)／実習	緒方	①②
13	1	29	木	5-9	神経 (1)	松熊	①②
14	2	2	月	5-9	肝胆膵(2)／実習	緒方	①②
15	2	3	火	5-9	腎 (2) ／実習	吉松	①②
16	2	4	水	5-9	肝胆膵(3)	緒方	①②
17	2	6	金	5-8	血液 (1) 赤血球疾患／実習	佐藤	①②
18	2	9	月	5-9	血液 (2) 骨髄球系疾患／実習	佐藤	①②
19	2	13	金	5-9	血液 (3) リンパ球疾患／実習	佐藤	①②
20	2	16	月	5-9	神経 (2)	土屋 松熊	①②
21	2	17	火	1-4	小腸・大腸・腹膜・腹壁・横隔膜／実習	猛尾	①②
					定期試験		

第3学年	科目	形態医学系 病理学各論 (症例検討)	67時間	責任者	佐藤 仁哉、 松熊 晋
------	----	-----------------------	------	-----	----------------

担当教官名： 松熊 晋
佐藤 仁哉
緒方 衝
宮居 弘輔
土屋 基裕

到達目標：

- 知識：《病理学各論》第3学年では泌尿器系、生殖器系、運動器系、感覚器系の構造と機能を理解し、泌尿器系、生殖器系、運動器系、感覚器系の病因、病態生理、症候、診断を説明できる。これらを通じて病理総論で得た基本的概念を土台に疾病ごとの医学知識を広げ、臨床とのつながりを意識しながら、各系の知識、情報を客観的、批判的に統合整理することができる。
《症例検討》病理総論で学んだ基本的な病変の理解と系別講義・実習で学んだ病理と臨床との関係を、実際の症例を手にとって検討する機会である。剖検症例をグループ毎で検討し、臨床経過や検査所見、病理所見を正確に捉え、疾病を総合的・全身的に理解することができる。特に肉眼による詳細な病変の観察とともに病理スライドを鏡検し、形態をもとにして疾病の病態をとらえられる。症例報告の手法を学びつつ発表会を行い、自分たちが関わっていない他班の症例についても他班のメンバーとも議論しながら十分理解を深められる。免疫組織化学の理論と手法の習得により、研究的素養を身につけられるとともに、検査値と病理所見との対応について統合的に学ぶことができる。
- 態度：《病理各論》講義、実習の間は、講師の話や実習に集中している。不明な点は質問するなどして、できるだけ多くのことを授業中に理解しようと努めている。実習では学生間で協力し全員が内容を理解できている。実習レポートは丁寧に作成している。
《症例検討》自分に必要な課題について同じ班のメンバーと話し合いながら、知識、情報を集積するとともに、得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを論理的に整理し、レジュメを作成することができる。実習内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。

評価法：

- 知識：第3学年で実施する各論の試験は、前期定期試験を含め3回に分けて講義と実習に関する筆記試験とスライド試験を行う。試験の成績を中心に、講義、実習レポートの提出状況、内容を加え、総合的に判定する。
- 態度：講義室、実習室での学習態度、意欲、質疑応答で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-02-04: 皮膚系</u>		
PS-02-04-01	PS-02-04-02	PS-02-04-05
<u>PS-02-05: 運動器(筋骨格)系</u>		
PS-02-05-01	PS-02-05-02	PS-02-05-05
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>		
PS-02-09-01	PS-02-09-02	PS-02-09-05
<u>PS-02-10: 生殖器系</u>		
PS-02-10-01	PS-02-10-02	PS-02-10-05
<u>PS-02-11: 妊娠と分娩</u>		
PS-02-11-01	PS-02-11-02	PS-02-11-05
<u>PS-02-13: 乳房</u>		
PS-02-13-01	PS-02-13-02	PS-02-13-05

PS-03-04: 腫瘍

PS-03-04-11 PS-03-04-12 PS-03-04-15 PS-03-04-16 PS-03-04-17

IT-03-02: 情報・科学技術を活用した学習スキル

IT-03-02-01

テキスト等：

- ① 毎回講義の前にハンドアウトを配布する。
- ② 仁木利郎・小田義直編：標準病理学 第7版（医学書院、2023）
- ③ Kumar V, Abbas AK, Aster JC 編：Robbins & Kumar Basic Pathology 第11版（Elsevier, 2022）
- ④ Kumar V, Abbas AK, Aster JC 編：Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease 第10版（Elsevier, 2021）
- ⑤ 赤木忠孝、松原修、真鍋俊明他編：カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断第7版（医歯薬出版、2020）
- ⑥ 坂本穆彦、北川昌伸、菅野 純編：組織病理カラーアトラス第3版（医学書院、2021）

教室： 2号館 32番教室、組織学実習室、またはオンライン

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	10	木	5-8	皮膚/実習	緒方	①②
2	4	14	月	5-8	泌尿器・男性生殖器 (1) /実習	宮居	①②
3	4	16	水	1-4	泌尿器・男性生殖器 (2) /実習	宮居	①②
4	5	13	火	1-2	運動器	松熊	①②
5	5	13	火	5-9	女性生殖器 (1) /実習	桂田	①②
6	5	22	木	1-4	女性生殖器 (2) /実習	佐藤	①②
7	7	22	火	5-9	乳腺/実習	桂田	①②
8					定期試験	全員	
9	10	6	月	5-9	Autopsy Case Study (1)	佐藤	
10	10	10	金	1-2	Autopsy Case Study (2)	佐藤	
11	10	16	木	5-6	Autopsy Case Study (3)	佐藤	
12	10	27	月	5-9	Autopsy Case Study (4)	佐藤	
13	10	29	水	5-9	Autopsy Case Study (5)	佐藤	
14	11	10	月	5-9	Autopsy Case Study (6)	佐藤	
15	11	13	木	5-9	Autopsy Case Study (発表会 1)	佐藤	
16	11	17	月	5-9	Autopsy Case Study (発表会 2)	佐藤	
17	11	26	水	5-9	終講試験、授業評価	佐藤	

第3学年	科目	形態放射線	20時間	責任者	野崎 太希
------	----	-------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 野崎 太希
杉浦 弘明
笠松 智孝
須山 陽介
富田 浩子

一般目標：

1. 放射線生物学、放射線障害、放射線管理の基本を修得する。
2. 放射線医学（放射線診断学、核医学、放射線治療学）の種類、方法を知り、その適応、解釈を身につける。
3. CR、CT、MRI、USの方法、適応と解釈を学ぶ。
4. 血管造影、インターベンショナルラジオロジー（IVR）の方法、適応と解釈を学ぶ。

到達目標：

1. 単純エックス線撮影の原理と撮影技術を述べる。
2. 放射線診断による副作用と障害を列挙する。
3. 胸部および腹部単純エックス線撮影について、その画像解剖と目的、正面・側面・斜位像の適応を述べ、基本的異常所見を説明する。
4. CR、CT、MRI、USおよび血管造影検査、インターベンショナルラジオロジー（IVR）の原理と撮影技術、目的、適応を述べ、基本的異常所見を説明する。
5. 消化管バリウム造影検査、泌尿器・生殖器系の造影検査、小児の画像診断について、その画像解剖と方法、目的、適応を述べ、基本的異常所見を説明する。
6. 放射線防護について具体的に述べ、その管理について配慮する。
7. 放射線の種類、特性、線量・放射能の単位を列挙する。
8. 放射性同位元素の種類・特性と核医学検査の原理、目的、適応を述べ、基本的異常所見を説明する。
9. 急性放射線症候群とその晩発性障害について述べる。
10. 細胞および分子レベルの放射線傷害と細胞死について述べる。
11. 細胞・組織の放射線感受性を述べる。
12. 放射線治療の原理を述べ、主な放射線治療法を分類し適応疾患を列挙する。
13. 放射線治療による有害事象を列挙する。

評価法：

1. 知識： 実習中の試問と筆記試験で評価する。
2. 技能： 実習中の試問で評価する。
3. 態度： 実習中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

<u>PS-03-04: 腫瘍</u>					
PS-03-04-05	PS-03-04-24				
<u>PS-03-06: 放射線の生体影響と適切な利用、放射線障害</u>					
PS-03-06-01	PS-03-06-02	PS-03-06-03	PS-03-06-04	PS-03-06-05	PS-03-06-06
PS-03-06-07	PS-03-06-08				
<u>CS-02-03: 検査(計画、分析評価)</u>					
CS-02-03-01	CS-02-03-02	CS-02-03-03	CS-02-03-04	CS-02-03-05	CS-02-03-06
CS-02-03-07					
<u>CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)</u>					
CS-02-04-15	CS-02-04-16				

CS-03-01: 検査手技

CS-03-01-01

CS-03-02: 治療手技

CS-03-02-01

テキスト等：

- ① 標準放射線医学 第7版
- ② ハンドアウト（講義時配布する講義内容プリント）

教室： 2号館 32 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	19	火	3-4	IVR の原理と撮影技術、目的、適応、基本的異常所見	須山	①P694-718、②
2	8	21	木	5-6	CT の原理と撮影技術、目的、適応、基本的異常所見	野崎	①P3-18、②
3	9	4	木	3-4	X線撮影の基礎と撮影技術	杉浦	①P7-18、②
4	9	10	水	3-4	放射線同位元素と核医学検査の原理と撮影技術、目的、適応、基本的異常所見	富田	①P637-691、②
5	9	11	木	3-4	MRI の原理と撮影技術、目的、適応、基本的異常所見	野崎	①P43-52、②
6	9	12	金	5-6	CR の原理と撮影技術、目的、適応、基本的異常所見	須山	①P694-718、②
7	9	17	水	3-4	胸部 CT の基礎	杉浦	①P3-18、②
8	10	3	金	3-4	放射線障害の予防と管理 放射線治療総論： 適応、照射法インフォームドコンセント 放射線生物学： 放射線の作用、細胞、組織、腫瘍、効果	笠松	①P33-41, P259-314、②
9	10	6	月	3-4	造影剤の基礎、適応、副作用	野崎	①P11-18, P37-38, P52, P344-352、②
10	10	9	木	3-4	US の原理と撮影技術、目的、適応、基本的異常所見	野崎	①P721-802, P804-808、②

第1学年	科目	救急・総合医学系 病院体験実習	20時間	責任者	栗原 勲
------	----	--------------------	------	-----	------

担当教官名と連絡先：

栗原 勲（教育改革・計画部門）
高畑 りさ（医療安全・感染対策部）
藤倉 雄二（医療安全・感染対策部）

到達目標：

今後の学修の指標とするため、病院各部門を見学・体験することによって、病院診療の仕組み、チーム医療の在り方およびその中で医師の役割を認識する。

1. 知識： 病院の構造を理解する。
各部門の医療安全・感染対策について理解を深める。
諸職種が有機的に連携することの重要性を理解する。
2. 態度： 各職種の職員に敬意をもって接する。
来院患者の前で防衛医科大学校学生として適切に振舞う。

評価法：

実習先担当教官による観察記録、与えられた課題への取り組み姿勢、グループワークへの参加姿勢などで評価を行う。実習中の振舞いで、アンプロフェッショナルな行為がみられた場合は、大きな減点となる。定期試験期間中の筆記試験は実施しない。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-02-03-01	医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。
PR-02-03-02	礼儀正しく振る舞う。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
PS-03-03-18	標準予防策(スタンダード・プリコーション)、感染経路別予防策(飛沫感染予防策、接触感染予防策、空気感染予防策等)が必要となる病原微生物、患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等、医療従事者の体液曝露後の感染予防策について理解している。
CS-05-01-01	品質改善の手法を用いて医療を改善する重要性を理解し、繰り返し評価する姿勢を身に付ける。
CS-05-03-01	患者安全のための管理体制と各々の役割(リスクマネージャー、医療安全管理委員会等)の概要を理解している。
CS-05-04-01	医療関連感染症に関連したシステム(院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、感染制御チーム、感染対策マニュアル等)の役割や意義を理解して参加する。
CS-05-05-01	基本的予防策(患者確認、ダブルチェック、チェックリスト法、類似名称薬への注意喚起、フェイルセイフやフルブルーフの考え方等)を実践できる。
CM-01-01-01	言語的コミュニケーション技能を發揮して、良好な人間関係を築くことができる。
CM-01-01-02	非言語的コミュニケーション(身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等)を意識できる。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。

テキスト等： なし

教室：未定（授業の時期が近付いたら、医学教育研修センター事務局より連絡する）

以下は、令和6年度に実施された内容です。内容・順番等が変更される可能性がありますので、適宜、医学教育研修センター事務局からの指示に注意し、それに従ってください。

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	8	木	9	オリエンテーション	栗原	
2	1	19	月	1-4	医療安全に関する事前学修	高畑	
3	1	20	火	1-4	感染対策に関する事前学修	藤倉	
4	1	21	水	1-4	部門訪問見学 (12グループに分かれてローテーション) 1) 運営課 2) 地域医療連携室（患者支援センター） 3) 放射線部	別示	
5	1	22	木	1-4	4) 検査部 5) 手術部 6) 給食係 7) 看護部（さらに小グループに分かれて病棟を見学）		
6	1	23	金	1-4	振り返り実習（課題確認テスト、課題発表）	栗原	

第2学年	科目	救急・総合医学系 病院体験実習	12時間	責任者	栗原 勲
------	----	--------------------	------	-----	------

担当教官名と連絡先：

栗原 勲（医学教育研修センター教育改革・計画部門）

到達目標：

今後の学修の指標とするため、病院各部門を見学・体験することによって、病院診療の仕組み、チーム医療の在り方およびその中での医師の役割を認識する。

1. 知識： 各診療科の業務について理解を深める。
諸職種が有機的に連携する中で、医師の果たす役割とその重要性を理解する。
2. 態度： 各職種の職員に敬意をもって接する。
来院患者の前で防衛医科大学校学生として適切に振舞う。

評価法：

実習先担当教官による観察記録、与えられた課題への取り組み姿勢、グループワークへの参加姿勢などで評価を行う。実習中の振舞いで、アンプロフェッショナルな行為がみられた場合は、大きな減点となる。定期試験期間中の筆記試験は実施しない。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-02-03-01	医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。
PR-02-03-02	礼儀正しく振る舞う。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
PS-03-03-18	標準予防策(スタンダード・プリコーション)、感染経路別予防策(飛沫感染予防策、接触感染予防策、空気感染予防策等)が必要となる病原微生物、患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等、医療従事者の体液曝露後の感染予防策について理解している。
CS-05-01-01	品質改善の手法を用いて医療を改善する重要性を理解し、繰り返し評価する姿勢を身に付ける。
CS-05-03-01	患者安全のための管理体制と各々の役割(リスクマネージャー、医療安全管理委員会等)の概要を理解している。
CS-05-04-01	医療関連感染症に関連したシステム(院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、感染制御チーム、感染対策マニュアル等)の役割や意義を理解して参加する。
CS-05-05-01	基本的予防策(患者確認、ダブルチェック、チェックリスト法、類似名称薬への注意喚起、フェイルセーフやフルプルーフの考え方等)を実践できる。
CM-01-01-01	言語的コミュニケーション技能を發揮して、良好な人間関係を築くことができる。
CM-01-01-02	非言語的コミュニケーション(身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等)を意識でき
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。

テキスト等： なし

教室：未定（授業の時期が近付いたら、医学教育研修センター事務局より連絡する）

内容・順番等が変更される可能性がありますので、適宜、医学教育研修センター事務局からの指示に注意し、それに従ってください。

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	13	火	1-4	各日 1 診療科、2 日間で異なる 2 つの診療科を見学する	別示	
2	5	14	水	1-4			
3	6	10	火	1-4	振り返り実習（課題発表）	栗原	

備考：訪問見学先の診療科については、4月に希望調査を行う（必ずしも希望に沿えるとは限らない）。
訪問見学における実習内容については、各診療科の担当者に一任しており、実習当日に提示される。

第3学年	科目	救急・総合医学系 病院体験実習	8時間	責任者	栗原 勲
------	----	--------------------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先：

栗原 勲（医学教育研修センター教育改革・計画部門）

到達目標：

今後の学修の指標とするため、病院各部門を見学・体験することによって、病院診療の仕組み、チーム医療の在り方およびその中での医師の役割を認識する。

1. 知識： 各診療科における診療参加型臨床実習の現状と課題を整理し、理解する。
臨床実習を行う中で、目指すべき学生医像に対する理解を深める。
2. 態度： 各職種の職員に敬意をもって接する。
来院患者の前で防衛医科大学校学生として適切に振舞う。

評価法：

実習先担当教官による観察記録、与えられた課題への取り組み姿勢、グループワークへの参加姿勢などで評価を行う。実習中の振舞いで、アンプロフェッショナルな行為がみられた場合は、大きな減点となる。定期試験期間中の筆記試験は実施しない。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-02-03-01	医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。
PR-02-03-02	礼儀正しく振る舞う。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
PS-03-03-18	標準予防策(スタンダード・プリコーション)、感染経路別予防策(飛沫感染予防策、接触感染予防策、空気感染予防策等)が必要となる病原微生物、患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための个人防护具、予防接種等、医療従事者の体液曝露後の感染予防策について理解している。
CS-05-01-01	品質改善の手法を用いて医療を改善する重要性を理解し、繰り返し評価する姿勢を身に付ける。
CS-05-03-01	患者安全のための管理体制と各々の役割(リスクマネージャー、医療安全管理委員会等)の概要を理解している。
CS-05-04-01	医療関連感染症に関連したシステム(院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、感染制御チーム、感染対策マニュアル等)の役割や意義を理解して参加する。
CS-05-05-01	基本的予防策(患者確認、ダブルチェック、チェックリスト法、類似名称薬への注意喚起、フェイルセーフやフルブルーフの考え方等)を実践できる。
CM-01-01-01	言語的コミュニケーション技能を發揮して、良好な人間関係を築くことができる。
CM-01-01-02	非言語的コミュニケーション(身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等)を意識できる。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。

テキスト等： なし

教室：未定（授業の時期が近付いたら、医学教育研修センター事務局より連絡する）
オリエンテーションについては、2号館32番教場

内容・順番等が変更される可能性がありますので、適宜、医学教育研修センター事務局からの指示に注意し、それに従ってください。

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	26	火	9	オリエンテーション	栗原	
2	9	1	月	1-4	診療科訪問見学 (少人数のグループに分かれて各診療科を訪問する)	別示	
3	9	2	火	1-4	振り返り実習（課題発表）	栗原	

備考：診療科訪問見学では、約1年後から開始される臨床実習に向けて、学生医が行う医行為についての現状の把握に努める。振り返り実習では、課題の抽出や臨床実習までの学修計画などを議論する。

第1学年	科目	救急・総合医学系 部外病院等施設見学実習	2単位	責任者	加来 浩器
------	----	-------------------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 加来 浩器
三木田 馨

到達目標：

医学・医療への入門、動機付けとして、医療関連サービスを提供する部外施設見学、体験を通じて、社会保障体系を学ぶ。福祉（人権）テーマの学習においては、事例としてハンセン病患者に対する差別・偏見問題や過去の医療行政の過ちについて学び、これからの医療において患者の福祉、人権が如何にあるべきかを考え討議する機会を提供する。

評価法： 受講および施設見学の態度、グループ研究発表、討議内容

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-02-01-01	患者を含めた他者に思いやりをもって接する。
PR-02-01-02	他者に思いやりをもって接することができない場合の原因・背景を考える。
PR-02-02-02	他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。
PR-02-03-01	医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。

テキスト等： なし

教室： 1号館 21 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	20	火	5-9	感染症と差別・偏見の問題	加来 三木田	
2	5	28	水	5-9	国立ハンセン病資料館見学	加来 三木田	
3	6	3	火	5-9	教務1班 グループ発表	加来 三木田	
4	6	4	水	5-9	教務2班 グループ発表	加来 三木田	

第4学年	科目	救急・総合医学系 救急医学	50時間	責任者	清住 哲郎
------	----	---------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 清住 哲郎
 関根 康雅
 霧生 信明
 瀬野 宗一郎
 金子 真由子
 梶山 翼
 長村 龍憲
 笹 秀典
 戸村 哲
 戸田 裕之
 眞崎 暢之
 東山 正明
 青木 誠
 今井 耕輔
 杉浦 弘明
 柳川 洋一
 小野 聡

到達目標：

①緊急を要する疾病・外傷の病態と急性臓器障害の病態を理解し、原因、症候、診断および治療法を学ぶ。②急性発症の疾病に関する原因、症候、診断、治療法を学ぶ。③災害時に必要な医療知識を学ぶ。

- 知識： ショックの概念・分類・病態整理・治療法を説明できる。外傷の重症度・分類・診断・治療方法を説明できる。急性中毒の原因物質・検査・治療法を説明できる。熱傷の重症度・病態・治療方法を説明できる。異常環境における障害と病態・治療方法を説明できる。災害時の医療体制と疾病を説明できる。急性発症の病態を鑑別し、病態と重症度に応じた治療法を説明できる。
- 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚からも学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

- 知識： 筆記試験で評価する。
- 態度： 課題学習で評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

<u>PS-03-05: 救急・集中治療</u>					
PS-03-05-01	PS-03-05-02	PS-03-05-03	PS-03-05-04	PS-03-05-05	PS-03-05-06
PS-03-05-07	PS-03-05-08	PS-03-05-09	PS-03-05-10	PS-03-05-11	PS-03-05-12
PS-03-05-13	PS-03-05-14	PS-03-05-15	PS-03-05-16	PS-03-05-17	PS-03-05-18
PS-03-05-19					
<u>CS-03-03: 救急・初期対応</u>					
CS-03-03-01	CS-03-03-02	CS-03-03-03	CS-03-03-04	CS-03-03-05	
<u>S0-01-05: 健康危機管理</u>					
S0-01-05-02		S0-01-05-03			
<u>S0-04-03: 気候変動と医療</u>					
S0-04-03-02					

テキスト等：

- ① 標準救急医学：第5版（医学書院）全ての講義に用いる
- ② 救急診療指針：改訂第5版（へるす出版）
- ③ 外傷初期ガイドライン：改訂第6版（へるす出版）
- ④ 急性中毒標準診療ガイド（じほう）参考書
- ⑤ JRC 蘇生ガイドライン2020（医学書院）参考書

教室：臨床小講堂1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト
1	4	8	火	3-4	救急医学概論	清住	①②
2	4	11	金	5-6	ショック、蘇生、検査	清住	①②⑤
3	4	14	月	3-4	病院前救護	関根	①②
4	4	16	水	1-2	外傷初期診療	清住	③
5	4	18	金	7-8	敗血症と多臓器不全	小野	①②
6	4	30	水	3-4	外傷処置	関根	③
7	4	30	水	5-6	熱傷	清住	①②
8	5	12	月	3-4	胸部外傷	青木	③
9	5	21	水	5-6	整形外傷	関根	①②
10	5	26	月	3-4	腹部外傷	霧生	①
11	5	26	月	5-6	集中治療医学1	長村	
12	6	2	月	3-4	集中治療医学2	長村	②
13	6	2	月	5-6	救急医療の展開（ドクターヘリ）	柳川	①
14	6	4	水	3-4	内因性救急（循環器）	眞崎	①③
15	6	9	月	3-4	救急の画像診断とIVR	杉浦	①
16	6	11	水	5-6	特殊感染症、環境障害	瀬野	②
17	6	16	月	3-4	内因性救急（呼吸器）	清住	②③
18	6	30	月	3-4	内因性救急（内分泌代謝/アナフィラキシー）	金子	①
19	7	2	水	1-2	災害医療/DMAT/CBRNE	霧生	①②
20	7	7	月	5-6	精神科救急	戸田	①
21	7	14	月	5-6	頭部外傷	戸村	②
22	7	16	水	5-6	小児救急	今井	①
23	7	23	水	5-6	産婦人科救急	笹	①
24	8	20	水	5-6	中毒	梶山	①④
25	8	26	火	5-6	内因性救急（消化器）	東山	①

第4学年	科目	救急・総合医学系 麻酔学	34時間	責任者	池田 健彦
------	----	--------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 池田 健彦
 佐藤 泰司（生化学講座）
 高橋 哲也
 児玉 光巖
 富田 温子
 嶋田 哲也
 川口 慎憲
 零石 正明
 松浦 史博

到達目標： 周術期全身管理医学としての麻酔学を解剖、生理、薬理的観点を通し理解する。

1. 知識： 麻酔法、麻酔薬、麻酔の生体に及ぼす影響、特殊疾患の麻酔、モニター、ペインクリニック、集中治療について理解する。
2. 技能： 呼吸、循環管理を理解する。区域麻酔を理解する。
3. 態度： 意識の有無に関わらず患者の痛みを理解する。患者のバイタルサインの変化に対し論理的に、そして、迅速冷静に対処する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 技能： 相互型の授業で評価する。
3. 態度： 授業中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)				
CS-02-04-28	CS-02-04-29	CS-02-04-30	CS-02-04-31	CS-02-04-32

テキスト等： ① 当日配布するプリント

教室： 臨床小講堂1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	2	水	1-2	麻酔学概論	池田	①
2	4	8	火	1-2	麻酔と循環	嶋田	①
3	4	14	月	1-2	麻酔と呼吸	高橋	①
4	4	15	火	5-6	小児麻酔	富田	①
5	4	30	水	7-8	麻酔の分子学的基礎	佐藤	①
6	5	1	木	3-4	産科麻酔	松浦	①
7	5	12	月	1-2	全身麻酔	高橋	①
8	5	22	木	5-6	ペインクリニック	川口	①
9	5	26	月	1-2	モニター（循環）	嶋田	①
10	6	2	月	1-2	モニター（循環以外）	池田	①
11	6	9	月	1-2	心大血管麻酔	児玉	①
12	6	16	月	1-2	臨床麻酔	池田	①
13	6	23	月	1-2	局所麻酔	児玉	①
14	6	30	月	1-2	集中治療	高橋	①
15	7	15	火	5-6	筋弛緩	零石	①
16	7	22	火	5-6	麻酔と内分泌	富田	①
17	8	27	水	5-6	ショック	零石	①

第4学年	科目	救急・総合医学系 総合臨床医学	26時間	責任者	廣岡 伸隆
------	----	--------------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 廣岡 伸隆
高崎 寛
大野 洋介
橋本 賢一
大淵 康弘
関澤 明德

到達目標：

患者を社会・心理学的背景を含め全人的にとらえるために、診療（医療面接・臨床判断）に関する基本的知識、技能及び態度を修得させる。

1. 知識：

総合診療及び総合臨床を説明できる。

自衛隊における総合臨床の必要性を概説できる。

医療面接の目的・意義（情報収集、良好な医師-患者関係、治療・教育的効果）を説明できる。

病歴情報の種類（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、社会歴、システムレビュー）とそれを聴取する際の手順、記録方法について説明できる。

総合的な視点（病態生理学的・臨床疫学的事実、患者の意向、心理社会的要因）を列挙できる。

インフォームド・コンセントの概念と必要性を説明できる。

生活習慣に関連した疾病の種類、病態を説明し、予防治療を含めた健康指導を説明できる。

行動変容と動機付け面接の概要を説明できる

総合臨床（ファストエイド）で必要な基本的臨床手技を説明できる。

総合臨床で必要な小外科の概要、手技を説明できる。

和漢薬について説明できる。

2. 態度：

適切な身だしなみ、言葉遣いや礼儀を実践できる。

医療面接における基本的コミュニケーション技法を模倣できる。

評価法：

1. 知識： 客観試験で評価する（主に筆記試験）

2. 態度： 講義中の質疑応答や、学習に対する態度等で評価する。

講義時間内小テスト及び定期試験（客観・論述）により評価する。小テストは講義時間中、随時、カード型電子投票システム Turning Point®を用いて行い、所定の内容につき良好な修得が確認できたら、時間内であっても講義は終了する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重す
GE-01-01-01	臓器横断的に医学的課題を捉えることができる。
GE-01-01-04	主訴に応じて、必要な医療面接・身体診察・検査を実施できる。
GE-02-01-01	地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。
GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。
GE-02-03-01	地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。
GE-02-03-02	離島・へき地や医師不足地域等の医療資源が限られた状況での医療提供体制及び保健・福祉・介護の体制の概要を理解している。
CS-01-01-01	医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。
CS-01-01-02	病歴（主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー）を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。

CS-02-01-01	適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録を作成できる。
CS-02-01-02	診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画で記載できる。
CS-02-02-01	主要症候について原因と病態生理を理解している。
CS-02-02-02	主要症候について鑑別診断を検討し、診断の要点を説明できる。
CS-02-02-03	基本診療科で主訴からの診断推論を組み立てられる。
CS-02-04-14	漢方医学の特徴、主な和漢薬(漢方薬)の適応、薬理作用について概要を理解している。
CS-02-04-33	気管挿管を含む各種の気道確保法を理解している。
CS-03-01-01	検査に関する基本的臨床手技(表7)を実施できる。
CS-03-02-01	治療に関する基本的臨床手技(表7)を実施できる。
CS-03-03-02	一次救命処置を実施できる。

テキスト等：

- ① ハンドアウト(当日配布するプリント)
- ② 防衛医学：防衛医学振興会 第9章 疾病予防・健康管理 第1～3節(P471-508)

教室：臨床小講堂1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	1	火	1-2	総論 「総合」とは何か？ プライマリケア・ファストエイド 実際の診療の進み方 医療面接 健康指導・予防医療	廣岡	①②
2	4	1	火	3-4	法的側面 臨床倫理 インフォームド・コンセント セカンドオピニオン 医療安全・医療事故への対応 感染対策 医師の法的責任	関澤	①
3	4	9	水	1-2	プライマリケアに必要な内科対応 頭痛・腹痛・胸痛 めまい・ふらつき 発熱・不明熱 不定愁訴 漢方薬の位置づけと活用 その他	大野	①
4	4	17	木	5-6	医療面接(1) 収集すべき情報	廣岡	①
5	4	30	水	1-2	医療面接(2) コミュニケーション技法	関澤	①
6	5	7	水	7-9	医療面接(3) ロールプレイへの準備	橋本	①
7	5	13	火	3-4	臨床推論	高崎	②
8	5	22	木	7-9	ファストエイドの基本手技(1)(2) 静脈採血・動脈採血 胸腔穿刺・腹腔穿刺 腰椎穿刺 BLS 中心静脈確保 気管挿管 その他	大淵	

9	5	28	水	5-6	プライマリケアに必要な小外科	大淵	①
10	8	25	月	7-9	和漢薬 1	(招)	①
11	9	3	水	7-9	和漢薬 2	(招)	①

注：(招) は招聘講師

第4学年	科目	救急・総合医学系 症候診断学	92時間	責任者	廣岡 伸隆
------	----	-------------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 廣岡 伸隆

到達目標：

主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢並びに性別と関連づけて学ぶ。

1. 知識： 主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢並びに性別と関連づけて学ぶ。
2. 技能： 模擬症例について基本的診療計画を立てる。
問題志向型診療録（POMR）と各種診療記録の書き方を学ぶ。
臨床的な判断に関する基本的な考え方を学ぶ。

【ショック】

- 1) ショックの定義、原因と病態を説明できる。
- 2) ショック患者の診断の要点を列挙できる。
- 3) ショックの治療を概説できる。

【発熱】

- 1) 発熱の原因と病態生理を説明できる。
- 2) 発熱患者の診断と対症療法を説明できる。

【けいれん】

- 1) けいれんの種類と原因を列挙できる。
- 2) けいれん患者の診断の要点を概説できる。
- 3) けいれん発作時の初期治療を概説できる。

【意識障害・失神】

- 1) 意識障害・失神の原因を列挙し、その病態を説明できる。
- 2) 意識障害の程度評価（コーマ・スケール）を説明できる。
- 3) 意識障害・失神をきたした患者の診断の要点を説明できる。
- 4) 意識障害・失神をきたした患者の治療を概説できる。

【チアノーゼ】

- 1) チアノーゼの原因と病態を説明できる。
- 2) チアノーゼを呈する患者の診断の要点を説明できる。

【脱水】

- 1) 脱水の原因と病態を説明できる。
- 2) 脱水をきたした患者の診断と治療の要点を説明できる。

【全身倦怠感】

- 1) 全身倦怠感をきたす原因を列挙できる。
- 2) 全身倦怠感を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【肥満・やせ】

- 1) 肥満・やせを定義し、それぞれの原因を列挙できる。
- 2) 肥満・やせを呈する患者の診断の要点を説明できる。

【黄疸】

- 1) 黄疸の原因と病態を説明できる。
- 2) 黄疸患者の診断と治療の要点を説明できる。

【発疹】

- 1) 発疹の種類と主な原因を列挙できる。
- 2) 発疹の所見を記述して分類できる。
- 3) 発疹患者の診断の要点を説明できる。

【貧血】

- 1) 貧血の原因、分類と病態を説明できる。
- 2) 貧血患者の診断の要点を説明できる。

【出血傾向】

- 1) 出血傾向の原因と病態を説明できる。
- 2) 出血傾向を呈する患者の診断の要点を説明できる。

【リンパ節腫脹】

- 1) リンパ節腫脹の原因を列挙できる。
- 2) リンパ節腫脹を呈する患者の診断の要点を説明できる。

【浮腫】

- 1) 全身浮腫と局所性浮腫の原因と病態を説明できる。
- 2) 浮腫をきたした患者の診断と治療の要点を説明できる。

【動悸】

- 1) 動悸の原因を列挙し、その病態を説明できる。
- 2) 動悸を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【胸水】

- 1) 胸水の原因と病態を説明できる。
- 2) 胸水を呈する患者の診断の要点を説明できる。

【胸痛】

- 1) 胸痛の原因と病態を説明できる。
- 2) 胸痛患者の診断の要点を説明できる。
- 3) 胸痛患者に対する初期治療を概説できる。

【呼吸困難】

- 1) 呼吸困難の原因と病態を説明できる。
- 2) 呼吸困難の程度に関する分類を説明できる。
- 3) 呼吸困難患者の診断の要点を説明できる。
- 4) 呼吸困難患者に対する初期治療を概説できる。

【咳・痰】

- 1) 咳・痰の原因と病態を説明できる。
- 2) 咳・痰を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【血痰・喀血】

- 1) 血痰・喀血の原因を列挙できる。
- 2) 血痰・喀血を呈する患者の診断の要点を説明できる。

【めまい】

- 1) めまいの原因と病態を説明できる。
- 2) めまいを訴える患者の診断の要点を説明できる。

【難聴・耳鳴】

- 1) 難聴をきたす疾患を列挙できる。
- 2) 難聴をきたす疾患の病態と診断の要点を説明できる。

【視力障害・視野異常】

- 1) 視力障害・視野異常の原因と病態を説明できる。
- 2) 視力障害・視野異常を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【複視】

- 1) 複視の原因と病態を説明できる。
- 2) 複視を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【頭痛】

- 1) 頭痛の原因と病態を説明できる。
- 2) 頭痛を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【運動麻痺・筋力低下】

- 1) 運動麻痺・筋力低下の原因と病態を説明できる。
- 2) 運動麻痺・筋力低下を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【腹痛】

- 1) 腹痛の原因と病態を説明できる。
- 2) 腹痛患者の診断の要点を説明できる。
- 3) 急性腹症を概説できる。

【悪心・嘔吐】

- 1) 悪心・嘔吐の原因と病態を説明できる。
- 2) 悪心・嘔吐を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【嚥下困難・障害】

- 1) 嚥下困難・障害の原因と病態を説明できる。
- 2) 嚥下困難・障害を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【食思（欲）不振】

- 1) 食思不振をきたす原因と病態を説明できる。
- 2) 食思不振を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【便秘・下痢】

- 1) 便秘・下痢の原因と病態を説明できる。
- 2) 便秘・下痢患者の診断の要点を説明できる。

【吐血・下血】

- 1) 吐血・下血の原因と病態を説明できる。
- 2) 吐血・下血患者の診断の要点を列挙できる。
- 3) 吐血・下血患者の初期治療を概説できる。

【腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤】

- 1) 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤の原因と病態を説明できる。
- 2) 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤のある患者の診断の要点を説明できる。

【タンパク尿】

- 1) タンパク尿の原因と病態を説明できる。
- 2) タンパク尿を呈する患者の診断の要点を説明できる。

【血尿】

- 1) 血尿の原因を列挙できる。
- 2) 血尿をきたした患者の診断の要点を説明できる。

【尿量・排尿の異常】

- 1) 尿量・排尿の異常の原因と病態を説明できる。
- 2) 尿量・排尿の異常をきたした患者の診断の要点を説明できる。

【月経異常】

- 1) 月経異常の原因と病態を説明できる。
- 2) 月経異常を呈する患者の診断の要点を説明できる。

【関節痛・関節腫脹】

- 1) 関節痛・関節腫脹の原因と病態生理を説明できる。
- 2) 関節痛・関節腫脹のある患者の診断の要点を説明できる。

【腰背部痛】

- 1) 腰背部痛の原因を列挙できる。
- 2) 腰背部痛を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【問題志向型システム】

- 1) 基本的診療知識にもとづき、症例に関する情報を収集・分析できる。
- 2) 得られた情報をもとに、その症例の問題点を抽出できる。
- 3) 病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。
- 4) 主要疾患の症例に関して、診断・治療計画を立てられる。

【診療記録】

- 1) 診療録をPOMR形式で記載する方法を説明できる。
- 2) 診療経過をSOAPで記載する方法を説明できる。

【臨床判断】

- 1) 臨床判断の概念を説明し、考慮すべき要素（病態生理学的・臨床疫学的事実、患者の意向、社会的要因）を列挙できる。
- 2) 科学的根拠にもとづいた医療（EBM）を概説できる。

評価法： レポート及び小テスト等により総合的に判断する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

CS-02-01-01	適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録を作成できる。
CS-02-01-02	診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画で記載できる。
CS-02-01-03	過去の診療経過をまとめて診療録に記載できる。
CS-02-02-01	主要症候について原因と病態生理を理解している。
CS-02-02-02	主要症候について鑑別診断を検討し、診断の要点を説明できる。
CS-02-02-03	基本診療科で主訴からの診断推論を組み立てられる。
CS-02-02-04	基本診療科における疾患の病態や疫学を理解している。

テキスト等： ハンドアウト等

教室： 臨床小講堂1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	7	4	金	1-2	オリエンテーション（総臨）	廣岡	ハンドアウト
2	7	4	金	3-4	問題志向型システム、診療記録、臨床判断（総臨）	廣岡	ハンドアウト
3	7	7	月	1-2	出血傾向（内3）	木村	ハンドアウト
4	7	7	月	3-4	肥満、体重減少（総臨）	橋本	ハンドアウト
5	7	8	火	1-2	運動麻痺、筋力低下（内3）	本郷	ハンドアウト
6	7	8	火	3-4	救急でみる発疹症（皮膚）	佐藤	見て分かる皮膚疾患（中外医学）
7	7	9	水	1-2	食欲不振、悪心嘔吐（精神科）（内2）	竹下 富田	ハンドアウト
8	7	9	水	3-4	肺癌に関連した症状（内2 感染呼吸器）	新海	
9	7	10	木	1-2	発熱（内2 感染呼吸器）	川名	ハンドアウト
10	7	10	木	3-4	月経異常、不正性器出血（産婦人科）	高野 古谷	ハンドアウト
11	7	11	金	1-2	胸水（内2 感染呼吸器）	小川	ハンドアウト
12	7	11	金	3-4	腰背部痛（整形外科）	北村	ハンドアウト
13	7	14	月	1-2	腹部膨隆、腹部腫瘍、腹水	関澤	ハンドアウト
14	7	14	月	3-4	手足のしびれ（整形外科）	久島	
15	7	15	火	1-2	尿量、排尿の異常（泌尿器）	辻田	ハンドアウト
16	7	15	火	3-4	リンパ節腫脹（内3）	木村	
17	7	16	水	1-2	腹痛（外1）（内2）	山寺 富田	ハンドアウト
18	7	16	水	3-4	めまい（耳鼻及び内3） 3限目 耳鼻科、4限目 内3	宇野 本郷	ハンドアウト
19	7	17	木	1-2	小児のけいれん（小児科）	今井 座波	ハンドアウト
20	7	17	木	3-4	呼吸困難、息切れ、チアノーゼ（内2 感染呼吸器）	川名	ハンドアウト
21	7	18	金	1-2	小児の発熱（小児科）	金井	
22	7	18	金	3-4	眼の異常（眼科）	上田	ハンドアウト
23	7	22	火	1-2	ショック（救急）	清住	ハンドアウト

24	7	22	火	3-4	関節痛、関節腫脹（整形外科）	小林	
25	7	23	水	1-2	貧血（内3）	小林	ハンドアウト
26	7	23	水	3-4	咳嗽、血痰、喀痰（内2 感染呼吸器）	君塚	ハンドアウト
27	7	24	木	1-2	全身倦怠感（総臨）	廣岡	ハンドアウト
28	7	24	木	3-4	脱水（総臨）	大野	ハンドアウト
29	8	19	火	1-2	動悸（内1）	竹藤	
30	8	19	火	3-4	蛋白尿、血尿（泌尿器）	新地	ハンドアウト
31	8	20	水	1-2	吐血、下血（内2）	成松	
32	8	20	水	3-4	手足のしびれ（内3）	本郷	ハンドアウト
33	8	21	木	1-4	認知症（精神科）	戸田	ハンドアウト
34	8	22	金	1-2	ショック（救急）	清住	ハンドアウト
35	8	22	金	3-4	難聴、耳鳴（耳鼻）	渡部	新耳鼻咽喉科学
36	8	25	月	1-2	蛋白尿、血尿（内1）	大島	ハンドアウト
37	8	25	月	3-4	けいれん（小児以外）（精神科）	岩田	ハンドアウト
38	8	26	火	1-2	黄疸（内2）（外3）（小児科）	東山 川原林 若松	ハンドアウト
39	8	26	火	3-4	低血糖（内1）	宇都	ハンドアウト
40	8	26	火	7-8	頭痛（脳外）	豊岡	病気が見える ⑦脳・神経
41	8	27	水	1-2	胸痛（内1）	眞崎	ハンドアウト
42	8	27	水	3-4	腹部膨隆、腹部腫瘤、腹水（内2）	成松	
43	8	27	水	7-8	嚥下困難・障害、気道緊急・気管切開（耳鼻）	荒木	新耳鼻咽喉科学
44	9	3	水	1-2	浮腫（内1）	安田	ハンドアウト
45	9	3	水	3-4	意識障害、失神（内3）	本郷	

第1学年	科目	機能医学系 生化学	158時間	責任者	佐藤 泰司
------	----	-----------	-------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 佐藤 泰司（生化学）
 今村 宰（生化学）
 新井 仁明（生化学）
 伊達木 穰（生化学）
 松延 毅（非常勤講師）
 古谷 健一（非常勤講師）
 石塚 俊晶（薬理学）
 池田 健彦（麻酔科）
 松尾 洋孝（分子生体制御）
 豊田 優（分子生体制御）
 古賀 農人（精神科）
 高山 英次（朝日大学、招聘講師）
 鈴木 廣一（大阪医科薬科大学、招聘講師）

到達目標：

細胞の基本的構造と機能に関する基礎知識を基盤として生体物質の構造と性質を学び、それらの代謝動態と制御機構を理解する。生体内の情報伝達機構について学び、関連する生命現象を理解する。遺伝情報の伝達機構について学び、遺伝子からタンパク質への流れに基づいて生命現象を理解する。

1. 知識： 生命科学・医学で重要な生体物質の構造、性質、機能、代謝を分子レベルで説明できる。遺伝子からタンパク質への遺伝情報の流れを理解し、それに基づいて遺伝子異常を分子レベルで説明できる。
2. 技能： 生化学実験法の基礎を理解した上で実習書に基づいた実験を行い、適切な結果を得ることができる。
3. 態度： 講義、実習、学生発表の際に積極的に課題に取り組み、同僚と協力して課題を遂行できる。

評価法：

1. 知識： 筆答試験で評価する。
2. 技能： 実習の提出レポートで評価する。
3. 態度： 講義と実習中の学習態度および提出物で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-01-01: 生命現象の科学

PS-01-01-01	PS-01-01-02	PS-01-01-03	PS-01-01-04	PS-01-01-05	PS-01-01-06
PS-01-01-07	PS-01-01-08	PS-01-01-09	PS-01-01-10	PS-01-01-11	PS-01-01-12
PS-01-01-13	PS-01-01-14				

テキスト等：

- ① ヴォート基礎生化学 第5版（東京化学同人）
- ② リピンコット イラストレイテッド生化学 第6版（丸善）
- ③ 細胞の分子生物学 第6版（ニュートンプレス）
- ④ Marks' Basic Medical Biochemistry: A Clinical Approach 第5版（LWW）
- ⑤ デブリン生化学 原書7版（丸善）
- ⑥ Metabolism at a Glance 第4版（Wiley-Blackwell）
- ⑦ 当日配布するプリント等
- ⑧ 講座で用意した実習書

教室： 1号館 21 番教室および臨床大講堂

機能医学系 生化学（講義）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	21	月	3-4	生化学の基礎	佐藤	①P1-61
2	5	1	木	7-8	タンパク質Ⅰ	新井	①P62-146
3	5	19	月	3-4	タンパク質Ⅱ	新井	①P62-146
4	5	22	木	3-4	タンパク質Ⅲ	新井	①P62-146
5	5	23	金	5-6	単糖と多糖	今村	①P147-163
6	5	26	月	3-4	脂質と生体膜	今村	①P164-195
7	5	30	金	5-6	膜タンパク質	今村	①P164-195
8	6	2	月	3-4	膜輸送	伊達木	①P196-215
9	6	23	月	3-4	酵素Ⅰ	伊達木	①P216-264
10	7	7	月	3-4	酵素Ⅱ	伊達木	①P216-264
11	7	11	金	5-6	酵素Ⅲ	伊達木	①P216-264
12	7	23	水	7-8	ホルモン概論	今村	①P265-292
13	8	20	水	5-6	シグナル伝達Ⅰ	今村	①P265-292
14	8	29	金	7-8	シグナル伝達Ⅱ	今村	①P265-292
15	9	1	月	5-6	試験	全教官	
16	9	2	火	5-6	代謝概説	佐藤	①P293-313
17	9	4	木	3-4	代謝異常	佐藤 高山	⑦
18	9	10	水	3-4	糖代謝Ⅰ	佐藤	①P314-367
19	9	11	木	3-4	糖代謝Ⅱ	佐藤	①P314-367
20	9	18	木	1-2	クエン酸回路Ⅰ	佐藤	①P368-387
21	9	19	金	5-6	クエン酸回路Ⅱ	佐藤	①P368-387
22	10	2	木	1-2	脂質代謝	佐藤	①P428-463
23	10	9	木	1-2	代謝調節と糖尿病	佐藤	①P514-532
24	10	16	木	1-2	電子伝達と酸化的リン酸化Ⅰ	伊達木	①P388-415
25	10	22	水	7-8	電子伝達と酸化的リン酸化Ⅱ	伊達木	①P388-415
26	10	23	木	1-2	アミノ酸代謝Ⅰ	伊達木	①P477-513
27	10	29	水	3-4	アミノ酸代謝Ⅱ	伊達木	①P477-513
28	10	30	木	1-2	ヌクレオチド代謝Ⅰ	新井	①P533-552
29	11	6	木	7-8	ヌクレオチド代謝Ⅱ	新井	①P533-552
30	11	10	月	1-2	核酸の構造Ⅰ	新井	①P553-585
31	11	12	水	1-2	核酸の構造Ⅱ	新井	①P553-585
32	11	14	金	7-8	DNAの複製と修復Ⅰ	今村	①P586-624
33	11	17	月	5-6	DNAの複製と修復Ⅱ	今村	①P586-624
34	11	28	金	7-8	DNA鑑定	鈴木 佐藤	⑦
35	12	4	木	1-2	RNA代謝	今村	①P625-654
36	12	11	木	1-2	遺伝暗号と翻訳Ⅰ	新井	①P655-689
37	12	12	金	7-8	遺伝暗号と翻訳Ⅱ	新井	①P655-689
38	12	17	水	3-4	悪性高熱症	佐藤 石塚 池田	⑦
39	12	18	木	1-2	遺伝子発現Ⅰ	今村	①P690-734
40	12	23	火	7-8	遺伝子発現Ⅱ	今村	①P690-734
41	12	24	水	1-2	細胞周期とアポトーシス	伊達木	⑦
42	1	6	火	7-8	試験	全教官	⑦

43	1	7	水	7-8	感覚器の生化学	松延 佐藤	⑦
44	1	8	木	1-2	生化学・精神科合同講義	古賀 佐藤	⑦
45	1	16	金	5-6	プリン代謝と体内動態異常	豊田 佐藤	⑦
46	1	19	月	5-6	生化学・分子生体制御合同講義	松尾 佐藤	⑦
47	1	20	火	5-6	生化学・産婦人科合同講義	古谷 佐藤	⑦
48	1	26	月	3-4	学生発表 I	全教官	⑦
49	1	28	水	7-8	学生発表 II	佐藤	⑦
	1	29	木	1-2	学生発表予備	佐藤	
50	2	2	月	5-6	学生発表 III	佐藤	⑦
51	2	5	木	1-2	学生発表 IV	佐藤	⑦
	2	6	金	7-8	学生発表予備	佐藤	
52	2	9	月	5-6	学生発表 V	佐藤	⑦
53	2	10	火	1-2	学生発表 VI	全教官	⑦
54	2	12	木	1-2	学生発表 VII	全教官	⑦

機能医学系 生化学（実習）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	11	13	木	5-9	実習説明と準備	全教官	⑧
2	12	2	火	5-9	酵素・遺伝子多型と代謝・DNA 損傷	全教官	⑧
3	12	5	金	5-9	酵素・遺伝子多型と代謝・DNA 損傷	全教官	⑧
4	12	9	火	5-9	酵素・遺伝子多型と代謝・DNA 損傷	全教官	⑧
5	12	19	金	5-9	酵素・遺伝子多型と代謝・DNA 損傷	全教官	⑧
6	1	5	月	5-9	酵素・遺伝子多型と代謝・DNA 損傷	全教官	⑧
7	1	13	火	5-9	酵素・遺伝子多型と代謝・DNA 損傷	全教官	⑧
8	1	15	木	5-9	酵素・遺伝子多型と代謝・DNA 損傷	全教官	⑧
9	1	23	金	5-9	酵素・遺伝子多型と代謝・DNA 損傷	全教官	⑧
10	2	17	火	5-9	酵素・遺伝子多型と代謝・DNA 損傷	全教官	⑧

第2学年	科目	機能医学系 生化学	8時間	責任者	佐藤 泰司
------	----	-----------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 佐藤 泰司 (生化学)
今村 宰 (生化学)
新井 仁明 (生化学)
伊達木 穰 (生化学)

到達目標：

細胞の基本的構造と機能に関する基礎知識を基盤として生体物質の構造と性質を学び、それらの代謝動態と制御機構を理解する。生体内の情報伝達機構について学び、関連する生命現象を理解する。遺伝情報の伝達機構について学び、遺伝子からタンパク質への流れに基づいて生命現象を理解する。

1. 知識： 生命科学・医学で重要な生体物質の構造、性質、機能、代謝を分子レベルで説明できる。遺伝子からタンパク質への遺伝情報の流れを理解し、それに基づいて遺伝子異常を分子レベルで説明できる。
2. 技能： 生化学実験法の基礎を理解した上で実習書に基づいた実験を行い、適切な結果を得ることができる。
3. 態度： 講義、実習、学生発表の際に積極的に課題に取り組み、同僚と協力して課題を遂行できる。

評価法：

1. 知識： 筆答試験で評価する。
2. 技能： 実習の提出レポートで評価する。
3. 態度： 講義と実習中の学習態度および提出物で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-01-01: 生命現象の科学					
PS-01-01-01	PS-01-01-02	PS-01-01-03	PS-01-01-04	PS-01-01-05	PS-01-01-06
PS-01-01-07	PS-01-01-08	PS-01-01-09	PS-01-01-10	PS-01-01-11	PS-01-01-12
PS-01-01-13	PS-01-01-14				

テキスト等：

- ① ヴォート基礎生化学 第5版（東京化学同人）
- ② リピンコット イラストレイテッド生化学 第6版（丸善）
- ③ 細胞の分子生物学 第6版（ニュートンプレス）
- ④ Marks' Basic Medical Biochemistry: A Clinical Approach 第5版（LWW）
- ⑤ デブリン生化学 原書7版（丸善）
- ⑥ Metabolism at a Glance 第4版（Wiley-Blackwell）
- ⑦ 当日配布するプリント等
- ⑧ 講座で用意した実習書

教室： 2号館 31 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	6	火	3-4	M2 総合試験対策(1)	伊達木	⑦
2	1	9	金	3-4	M2 総合試験対策(2)	新井	⑦
3	1	14	水	1-2	M2 総合試験対策(3)	佐藤	⑦
4	1	28	水	3-4	M2 総合試験対策(4)	今村	⑦

第2学年	科目	機能医学系 生理学 (生理学、分子生体制御学講座)	194 時間	責任者	守本 祐司
------	----	------------------------------	--------	-----	-------

担当教官名と連絡先：

守本 祐司 (生理学)
萩沢 康介 (生理学)
田代 晃正 (生理学)
石渡 遼 (生理学)
瀬谷 大貴 (生理学)
松尾 洋孝 (分子生体制御学)
豊田 優 (分子生体制御学)
清水 聖子 (分子生体制御学)
中山 昌喜 (国際交流研究官)

到達目標：

身体をつくるそれぞれの細胞、組織、器官の個々の機能を学び、それらが協調して身体特有の機能を維持させていることを理解する。

1. 知識：人体の生命活動とそのメカニズムならびに病気発症メカニズムの基礎を説明できる。
2. 技能：(1) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決できる。
(2) 医学情報を客観的・批判的に統合整理し、他者に伝えることができる。
(問題点の抽出、文書と口頭による発表、他者への指導)
(3) 医学研究への基礎的素養を涵養する。
3. 態度：(1) 自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。
(2) 生命の尊厳についての深い認識を有する。

評価法：

1. 知識：筆記試験、実習、各種タスクなどにより評価する。
2. 技能：細胞、組織、器官の個別機能および統合された機能を、口頭や文書で正しく説明できるかどうかを評価する。
3. 態度：積極姿勢を評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>GE-01-01: 臓器横断的な診療</u>
GE-01-01-01
<u>RE-01-01: 能動的姿勢</u>
RE-01-01-01 RE-01-01-02
<u>RE-01-02: 探究心</u>
RE-01-02-01 RE-01-02-02
<u>RE-02-01: 医学と医療</u>
RE-02-01-01
<u>RE-03-01: 問い</u>
RE-03-01-01
<u>RE-03-03: 研究手法</u>
RE-03-03-01
<u>RE-03-04: 研究結果</u>
RE-03-04-01

<u>RE-04-01: 研究発表</u>					
RE-04-01-01					
<u>RE-05-01: 適切な研究遂行</u>					
RE-05-01-01					
<u>RE-05-02: 対象者の保護</u>					
RE-05-02-02					
<u>PS-01-01: 生命現象の科学</u>					
PS-01-01-03	PS-01-01-04	PS-01-01-05	PS-01-01-06	PS-01-01-07	PS-01-01-08
PS-01-01-09					
<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>					
PS-01-02-01	PS-01-02-02	PS-01-02-03	PS-01-02-04	PS-01-02-05	PS-01-02-06
PS-01-02-07	PS-01-02-08	PS-01-02-09	PS-01-02-10	PS-01-02-11	PS-01-02-12
PS-01-02-13	PS-01-02-14	PS-01-02-15	PS-01-02-17	PS-01-02-18	PS-01-02-19
PS-01-02-20					
<u>PS-02-01: 総論</u>					
PS-02-01-01					
<u>PS-02-02: 血液・造血器・リンパ系</u>					
PS-02-02-01					
<u>PS-02-03: 神経系</u>					
PS-02-03-01					
<u>PS-02-05: 運動器(筋骨格)系</u>					
PS-02-05-01					
<u>PS-02-06: 循環器系</u>					
PS-02-06-01	PS-02-06-02				
<u>PS-02-07: 呼吸器系</u>					
PS-02-07-01	PS-02-07-02				
<u>PS-02-08: 消化器系</u>					
PS-02-08-01					
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>					
PS-02-09-01					
<u>PS-02-10: 生殖器系</u>					
PS-02-10-01					
<u>PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系</u>					
PS-02-14-01	PS-02-14-02				
<u>PS-02-15: 眼・視覚系</u>					
PS-02-15-01					
<u>PS-02-16: 耳鼻・咽喉・口腔系</u>					
PS-02-16-01					

テキスト等:

- ① (必携) ガイトン生理学・原著13版(2018年、エルゼビア・ジャパン)
- ② コスタンゾ明解生理学 原著第6版(2019年、エルゼビア・ジャパン)

- ③ カラー図解 よくわかる生理学の基礎 第2版(2017年、メディカルサイエンスインターナショナル)
 ④ Home Page URL: 適宜明示
 ⑤ ハンド・アウト: 講義時配布する講義内容プリント

教室: 2号館 31番教室、生理・薬理学実習室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	22	火	1-2	生理学について	守本	
	4	22	火	3-4	細胞生理:細胞内小器官とその働き	守本	①2章
2	5	8	木	1-2	細胞生理:細胞内外の物質移動・取り込み	守本	①4, 25章
	5	8	木	3-4	細胞生理:イオンチャネル	瀬谷	①4章
3	5	9	金	1-2	細胞生理:膜電位	瀬谷	①5章
	5	9	金	3-4	細胞生理:活動電位と伝導	瀬谷	①5章
4	5	20	火	1-2	細胞生理:シナプスと伝達	田代	①7, 46章
	5	20	火	3-4	細胞生理:骨格筋の興奮収縮連関	萩沢	①6, 7章
5	5	23	金	1-2	細胞生理:受容体	石渡	①75章
	5	23	金	3-4	細胞生理:自律神経	田代	①61章
6	5	27	火	1-2	細胞生理:心筋の興奮収縮連関	萩沢	①9章
	5	27	火	3-4	細胞生理:平滑筋の興奮および収縮	石渡	①8章
7	5	30	金	1-2	細胞生理:感覚総論	田代	①47章
	5	30	金	3-4	細胞生理:細胞間情報伝達	中山	①76-78章
8	6	3	火	1-2	細胞生理:心筋の収縮力学・心臓総論	萩沢	①9, 23章
	6	3	火	3-4	細胞生理:まとめ	守本	①3章
9	6	12	木	1-4	第1回試験(細胞生理試験)	生理全員	
10	6	17	火	1-2	腎臓生理①	守本	①25, 26章
	6	17	火	3-4	腎臓生理②	守本	①27章
11	7	15	火	1-2	腎臓生理③	守本	①28章
	7	15	火	3-4	腎臓生理④	守本	①29章
12	7	18	金	1-2	腎臓生理⑤	守本	①30章
	7	18	金	3-4	血液生理①	瀬谷	①33-37章
13	8	21	木	5-9	血液生理②	瀬谷	①33-37章
14	8	27	水	3-4	第2回試験(腎臓・血液)	守本 瀬谷	
	8	27	水	5-6	循環器生理①(血流の生理)	石渡	①14, 15章
	8	27	水	7-9	循環器生理②(心臓電気生理)	萩沢	②10章
15	8	29	金	5-6	循環器生理③(局所調節、血管平滑筋)	石渡	③16, 17章
	8	29	金	7-9	循環器生理④(心電図)	萩沢	①9, 20章
16	9	3	水	1-2	循環器生理⑤(正常心機能)	萩沢	①12, 21章
	9	3	水	3-4	循環器生理⑥(冠循環)	萩沢	①22章
17	9	5	金	5-6	循環器生理⑦(心機能異常)	萩沢	①16, 17章
	9	5	金	7-9	循環器生理⑧(特殊循環)	石渡	①62, 84章
18	9	9	火	1-2	循環器生理⑨(自律神経と循環調節)	石渡	①18章
	9	9	火	3-4	循環器生理⑩(心腎連関)	萩沢	①19, 20章
19	9	11	木	5-6	呼吸生理①(呼吸機能)	石渡	①38, 42章
	9	11	木	7-9	呼吸生理②(気管生理)	石渡	①39, 40章
20	9	17	水	1-2	呼吸生理③(肺胞生理)	萩沢	①38, 41章
	9	17	水	3-4	呼吸生理4(呼吸調節・化学受容器)	萩沢	①18, 42章

21	9	19	金	3-4	循環器生理・呼吸生理まとめ	萩沢	①18, 42 章
定期試験日					第3回試験（循環器、呼吸）	萩沢 石渡	
22	10	3	金	5-9	物質輸送（実習）	松尾 豊田 清水 中山	実習書
23	10	6	月	5-9	物質輸送（実習）	松尾 豊田 清水 中山	実習書
24	10	8	水	5-6	内分泌代謝生理①（視床下部・下垂体）	中山	①74, 76 章
	10	8	水	7-9	内分泌代謝生理②（甲状腺）	中山	①77, 80 章
25	10	10	金	5-9	物質輸送（実習・講義含む）	松尾 豊田 清水 中山	①4, 62 章
26	10	27	月	5-9	物質輸送（実習・講義含む）	松尾 豊田 清水 中山	①4, 62 章
27	11	4	火	5-6	内分泌代謝生理③（副甲状腺）	中山	①61, 78 章
28	11	6	木	5-9	物質輸送（実習・解析作業）	松尾 豊田 清水 中山	実習書
29	11	7	金	5-9	物質輸送（実習・解析作業）	松尾 豊田 清水 中山	実習書
30	11	10	月	5-9	実習 1	生理全員	生理学実習書
31	11	12	水	1-2	内分泌代謝生理④（副腎）	石渡	①73, 75 章
	11	12	水	3-4	内分泌代謝生理⑤（膵臓）	石渡	①68, 79 章
32	11	13	木	5-9	実習 2	生理全員	生理学実習書
33	11	17	月	5-9	実習 3	生理全員	生理学実習書
34	11	20	木	5-9	実習 4	生理全員	生理学実習書
35	11	25	火	5-6	内分泌代謝生理⑥（生殖）	石渡	①81-83 章
	11	25	火	7-9	内分泌代謝生理⑦（生殖）	石渡	①81-83 章
36	12	1	月	5-9	実習 5	生理全員	生理学実習書
37	12	3	水	5-9	実習 6	生理全員	生理学実習書
38	12	5	金	1-2	消化器生理①（口腔）	田代	①63, 65 章
	12	5	金	3-4	消化器生理②（胃・十二指腸）	田代	①63, 65 章
39	12	8	月	1-2	消化器生理③（小腸・大腸）	田代	①64, 66 章
	12	8	月	3-4	消化器生理④（肝臓）	田代	①70-72 章
40	12	10	水	5-6	感覚生理①（視覚）	田代	50-52 章
	12	10	水	7-9	感覚生理②（体性感覚と痛覚・筋）	田代	48, 49 章
41	12	12	金	1-2	感覚生理③（嗅覚）	田代	54 章
	12	12	金	3-4	感覚生理④（聴覚と平衡覚）	田代	53 章

42	1	7	水	5-9	第4回試験（内分泌、消化器、感覚生理）	石渡 田代 中山	①
43	1	16	金	1-2	神経生理①（運動機能）	守本	①55章
	1	16	金	3-4	神経生理②（大脳皮質機能）	守本	①58章
44	2	5	木	5-6	神経生理③（高次脳機能）	守本	①58章
	2	5	木	7-8	神経生理④（記憶）	守本	①58章
45	2	10	火	5-6	神経生理⑤（大脳辺縁系）	守本	①59章
	2	10	火	7-9	神経生理⑥（脳幹・小脳機能）	守本	①56, 57章
定期試験日					第5回試験（神経生理）	守本 田代	

第2学年	科目	機能医学系 薬理学総論	56 時間	責任者	石塚 俊晶
------	----	-------------	-------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 石塚 俊晶 (薬理学)
 太田 宏之 (薬理学)
 高橋 さやか (薬理学)

到達目標：

薬理学は基礎医学であると同時に臨床における薬物治療学の原理を学ぶ学問分野であるとの観点に立ち、生体と薬物の相互作用を病態・疾患との密接な関係において体系的に理解するとともに、薬物作用を通して生体機構の理解を深め、さらに研究心を育成する目的で、薬物の作用機序について最新の情報を得、生命科学者としての基本姿勢を体得する。

1. 知識： 薬物の受容体結合と薬理作用との関連性を説明できる。
 代表的な膜結合型受容体とその細胞内情報伝達系を説明できる。
 自律神経に作用する薬物の薬理作用を説明できる。
 代表的な神経伝達物質が作用する受容体とその作動薬、遮断薬について説明できる。
2. 態度： 目標の達成に努力する。
 課題学習やグループ学習では、グループ内のコミュニケーションを密にし、達成に努力する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験
2. 態度： 課題学習、グループ学習

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>				
PS-01-02-01	PS-01-02-02	PS-01-02-03	PS-01-02-04	PS-01-02-05
<u>PS-01-03: 個体の反応</u>				
PS-01-03-31				
<u>PS-02-03: 神経系</u>				
PS-02-03-04				
<u>PS-02-06: 循環器系</u>				
PS-02-06-04				
<u>PS-02-08: 消化器系</u>				
PS-02-08-04				
<u>PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系</u>				
PS-02-14-04				
<u>PS-02-17: 精神系</u>				
PS-02-17-04				
<u>PS-03-02: 免疫・アレルギー</u>				
PS-03-02-04				
<u>CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)</u>				
CS-02-04-04	CS-02-04-10	CS-02-04-11	CS-02-04-12	

テキスト等：

- ① 当日配布するプリント
- ② 集中講義薬理学（メジカルビュー社）
- ③ GOODMAN&GILMAN' S THE PHARMACOLOGICAL BASIS OF THERAPEUTICS TENTH EDITION (McGraw-Hill)
- ④ 薬がみえる vol.1（メディックメディア）

教室： 2号館 31 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	10	金	3-4	薬理学序論	石塚	①②
2	10	15	水	3-4	受容体 1	石塚	①④
3	10	17	金	1-2	アセチルコリン	太田	①②
4	10	17	金	3-4	ノルアドレナリン	太田	①④
5	10	21	火	1-2	ドーパミン、セロトニン	太田	①②
6	10	22	水	1-2	受容体 2	石塚	①④
7	10	29	水	3-4	中枢性鎮痛薬	石塚	①②
8	10	30	木	1-2	オータコイド	石塚	①②
9	10	30	木	3-4	抗腫瘍薬	石塚	①②
10	11	14	金	5-6	睡眠薬、抗不安薬	太田	①②
11	11	14	金	7-8	抗うつ薬	太田	①②
12	11	18	火	1-2	核内受容体	高橋	①②
13	11	18	火	3-4	免疫調節薬・ワクチン	高橋	①②
14	11	19	水	3-4	高血圧治療薬・狭心症治療薬	石塚	①②
15	12	3	水	1-2	心不全薬	石塚	①②
16	12	10	水	1-2	抗不整脈薬	石塚	①②
17	1	14	水	3-4	消化性潰瘍治療薬	石塚	①②
18	1	15	木	1-2	依存性薬物 1	石塚	①②
19	1	15	木	3-4	依存性薬物 2	石塚	①④
20	1	15	木	5-6	非ステロイド性抗炎症薬	高橋	①②
21	1	26	月	3-4	ウイルス性肝炎治療薬	石塚	①④
22	1	27	火	3-4	ステロイド性抗炎症薬	高橋	①②
23	1	28	水	1-2	糖尿病治療薬	石塚	①④
24	2	3	火	3-4	統合失調症薬	太田	①④
25	2	4	水	1-2	全身麻酔薬	太田	①②
26	2	6	金	3-4	パーキンソン病治療薬	太田	①②
27	2	10	火	3-4	貧血治療薬	高橋	①②
28	2	13	金	1-2	局所麻酔薬	太田	①④

第3学年	科目	機能医学系 薬理学各論・臨床薬理学 (実習を含む)	69時間	責任者	石塚 俊晶
------	----	---------------------------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 石塚 俊晶 (薬理学)
 太田 宏之 (薬理学)
 高橋 さやか (薬理学)
 古賀 農人 (精神科学)
 後藤 真里 (帝京大学、招聘講師)
 高山 英次 (朝日大学、招聘講師)
 田中 博幸 (招聘講師)
 中島 伸二 (招聘講師)
 黒木 康富 (所沢市民医療センター、招聘講師)

到達目標：

薬理学：薬理学は基礎医学であると同時に臨床における薬物治療学の原理を学ぶ学問分野であるとの観点に立ち、生体と薬物の相互作用を病態・疾患との密接な関係において体系的に理解するとともに、薬物作用を通して生体機構の理解を深め、さらに研究心を育成する目的で、薬物の作用機序について最新の情報を得、生命科学者としての基本姿勢を体得する。

薬理学実習：自ら動物実験を行うことによって、講義で修得した薬理学の知識を確立し、さらに各学生班がそれぞれ自主的に実験を実行することで、協調性、自主性等を向上させ、また実験結果の評価・解析によって研究の基本を学び、さらに実験動物の扱いを通して生命の尊厳を実感することを目標とする。

1. 知識：中枢神経に作用する薬物の薬理作用を説明できる。
 循環器系に作用する薬物の薬理作用を説明できる。
 呼吸器系に作用する薬物の薬理作用を説明できる。
 消化器系に作用する薬物の薬理作用を説明できる。
 血液凝固系に作用する薬物の薬理作用を説明できる。
 内分泌代謝系に作用する薬物の薬理作用を説明できる。
2. 技能：実習書に沿って実験を行うことができる。
 実験により得られたデータを解析し、考察することができる。
3. 態度：目標の達成に努力する。
 課題学習やグループ学習では、グループ内のコミュニケーションを密にし、達成に努力する。

評価法：

1. 知識：筆記試験、実習レポート
2. 技能：実習中の試問、実習レポート
3. 態度：実習中の試問、態度

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

RE-03-03: 研究手法

RE-03-03-01

PS-01-03: 個体の反応

PS-01-03-32 PS-01-03-33

PS-02-07: 呼吸器系

PS-02-07-04

PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)

PS-02-09-04

PS-02-10: 生殖器系					
PS-02-10-04					
PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系					
PS-02-14-04					
PS-03-04: 腫瘍					
PS-03-04-25					
PS-03-05: 救急・集中治療					
PS-03-05-08 PS-03-05-09					
CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)					
CS-02-04-05	CS-02-04-06	CS-02-04-08	CS-02-04-09	CS-02-04-13	CS-02-04-14

テキスト等：

- ① 当日配布するプリント
- ② 集中講義薬理学 (メジカルビュー社)
- ③ GOODMAN&GILMAN' S THE PHARMACOLOGICAL BASIS OF THERAPEUTICS TENTH EDITION (McGraw-Hill)
- ④ 薬理学実習の実際とデータの見方 (南山堂)
- ⑤ 薬がみえる vol.1 (メディックメディア)

教室： 2号館 32 番教室および薬理学実習室

機能医学系 薬理学

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	27	水	1-2	甲状腺、脂質異常症治療薬	石塚	①②
2	8	27	水	3-4	性ホルモン薬	石塚	①②
3	8	29	金	1-2	抗凝固薬	石塚	①②
4	9	1	月	5-6	抗てんかん薬	黒木	①
5	9	3	水	1-2	利尿薬	石塚	①②
6	10	7	火	1-2	薬理研究講座 1	高橋	①
7	10	15	水	5-6	生理活性脂質	後藤	①
8	10	22	水	5-6	腫瘍免疫治療学	高山	①
9	11	4	火	3-4	薬物相互作用	薬剤部	①
10	11	6	木	7-8	漢方薬	田中	①
11	11	11	火	5-6	アルツハイマー病治療薬	中島	①②
12	12	1	月	1-2	臨床薬理学総論 薬物動態	石塚	①②
13	12	4	木	3-4	喘息治療薬	石塚	①②
14	1	8	木	1-2	臨床薬理学総論 有害作用・臨床試験	石塚	①②
15	2	5	木	1-2	PK/PD	石塚	①
16	2	5	木	3-4	時間薬理	石塚	①
17	2	6	金	3-4	炎症と再生の薬理学	石塚	①
18	2	13	金	1-2	神経炎症と精神疾患	古賀	①
19	2	19	木	1-2	分子標的薬	石塚	①②
20	2	19	木	3-4	中毒学	石塚	①②
21	2	24	火	3-4	薬理研究講座 2	太田	②

機能医学系 薬理学実習

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	14	水	5-8	薬草園見学	石塚、高橋	①②
2	11	14	金	5-9	機能薬理実習 二重盲検法	石塚	①②④
3	12	8	月	5-9	機能薬理実習 循環器薬	石塚	①②④
4	1	13	火	5-9	機能薬理実習 薬物と行動	太田	①②
5	2	10	火	1-4	機能薬理実習 記憶	太田	①②
6	2	18	水	1-4	機能薬理実習 POMR 演習	石塚	①②

第3学年	科目	機能医学系 臨床検査医学	30時間	責任者	松熊 晋
------	----	--------------	------	-----	------

担当教官名と連絡先： 松熊 晋
 足立 健
 大島 直紀
 水口 斉
 緒方 衝
 眞崎 暢之
 島崎 英幸
 宮居 弘輔
 齋藤 眞理子
 土屋 基裕
 石関 香織

到達目標：

系統別の臨床講義をより深く理解するために、病気の診断、スクリーニング、モニターに用いられる臨床検査の多様な技術・方法を学び、医療の中における臨床検査の意義を理解する。

1. 知識： 臨床検査項目の測定原理を説明し、これらの測定値から典型的な疾患の病態解析ができる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 技能： RCPC等の発表内容等により評価する
3. 態度： 講義参加への積極性、相互型の授業により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-01-04: 病因と病態

PS-01-04-01

PS-02-02: 血液・造血器・リンパ系

PS-02-02-02 PS-02-02-03 PS-02-02-04 PS-02-02-05

PS-02-06: 循環器系

PS-02-06-01 PS-02-06-02 PS-02-06-03 PS-02-06-05

PS-02-07: 呼吸器系

PS-02-07-01 PS-02-07-02 PS-02-07-03

PS-02-08: 消化器系

PS-02-08-01 PS-02-08-02 PS-02-08-03 PS-02-08-05

PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)

PS-02-09-01 PS-02-09-02 PS-02-09-03

PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系

PS-02-14-01 PS-02-14-02 PS-02-14-03

PS-03-02: 免疫・アレルギー

PS-03-02-03

PS-03-03: 感染症

PS-03-03-05 PS-03-03-12

PS-03-04: 腫瘍

PS-03-04-04

CS-01-02: 身体所見

CS-01-02-06

CS-02-03: 検査(計画、分析評価)

CS-02-03-01 CS-02-03-04 CS-02-03-06

テキスト等:

- ① 内科学 第12版 (朝倉書店)
- ② Henry's Clinical Diagnosis and Management by Laboratory Methods 24th Edition (Elsevier)
- ③ 教官の配布するハンドアウト
- ④ 臨床検査のガイドライン JSLM2021 検査値アプローチ/症候/疾患 (日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会)

教室: 2号館 32番教室 (2月17日、2月19日は、臨床大講堂)

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	1	木	3-4	血清生化学検査臨床	緒方	①②P182-467、 ③
2	5	7	水	5-6	検査技術学入門	松熊	①②P89-99、 ③④P16-42
3	5	7	水	7-8	血液検査	島崎	①②P540-816、 ④P43-47
4	7	24	木	1-2	免疫学的検査と感染症検査	緒方	①②P894-1024、 1130-1352、④ P48-52
5	7	24	木	3-4	血清電解質・浸透圧検査	水口	①②P182-207
6	8	25	月	1-2	呼吸機能検査	島崎	①③
7	9	17	水	5-6	心電図	松熊	①③④P104-109
8	9	17	水	7-8	遺伝子検査	宮居	②P1368-1507、 1542-1623
					中間試験 (9月~10月)	松熊	
9	12	1	月	5-6	内分泌検査	島崎	①②P387-424
10	1	29	木	1-2	RCPC (1) オリエンテーション	松熊 宮居 緒方	①-④
11	2	2	月	1-2	RCPC (2)	松熊 宮居 緒方	①-④
12	2	17	火	5-8	RCPC (3) 発表会 1	松熊 足立 眞崎 (循環器内 科) [縦断 的統合] 宮居 緒方 島崎	①-④
13	2	19	木	5-8	RCPC (4) 発表会 2	松熊 宮居 緒方 島崎	①-④
					定期試験 (2月~3月)	松熊	

第4学年	科目	機能医学系 臨床検査	44時間	責任者	松熊 晋
------	----	------------	------	-----	------

担当教官名と連絡先： 松熊 晋
 大島 直紀
 佐藤 泰司
 水口 斉
 緒方 衝
 島崎 英幸
 宮居 弘輔
 齋藤 眞理子
 土屋 基裕
 石関 香織

到達目標：

正しい病態診断を行うことができる医師となるために、臨床検査の依頼要領、適切な検体提出方法、検査結果の正確な解釈等ができるように、臨床検査の方法、適応と解釈を学ぶ。

1. 知識： 臨床検査の適応、提出方法、異常所見を説明し、結果を解釈できる。
2. 技能： 実習書に従い各種検査項目を実施できる。
3. 態度： 検査器具を適切に管理し、課題の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 定期試験（筆記試験）および実習中の試問、レポート内容等で評価する。
2. 技能： 実習における検査手技、検査結果の正確さ等で評価する。
3. 態度： 講義参加の積極性、実習中の態度等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-01-04: 病因と病態</u>			
PS-01-04-01	PS-01-04-09		
<u>PS-02-02: 血液・造血器・リンパ系</u>			
PS-02-02-02	PS-02-02-03	PS-02-02-04	PS-02-02-05
<u>PS-02-08: 消化器系</u>			
PS-02-08-01	PS-02-08-02	PS-02-08-03	PS-02-08-05
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>			
PS-02-09-01	PS-02-09-02	PS-02-09-03	
<u>PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系</u>			
PS-02-14-01	PS-02-14-02	PS-02-14-03	
<u>PS-03-02: 免疫・アレルギー</u>			
PS-03-02-03			
<u>PS-03-04: 腫瘍</u>			
PS-03-04-04	PS-03-04-06		
<u>CS-01-02: 身体所見</u>			
CS-01-02-06			
<u>CS-02-03: 検査(計画、分析評価)</u>			
CS-02-03-01	CS-02-03-04	CS-02-03-06	
<u>CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)</u>			
CS-02-04-26	CS-02-04-39	CS-02-04-40	

CS-03-01: 検査手技

CS-03-01-01

テキスト等:

- ① 内科学 第12版 朝倉書店 2022年3月1日
- ② Henry's Clinical Diagnosis and Management by Laboratory Methods 24th Edition, Elsevier, 2021
- ③ 血液細胞アトラス 第6版 (文光堂)
- ④ 移植・輸血検査学 (講談社サイエンティフィック)
- ⑤ 臨床検査のガイドライン JSLM2021 検査値アプローチ/症候/疾患 (日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会)
- ⑥ 教官の配布するハンドアウト (機能医学系実習 臨床検査実習書含む)

教室: 講義: 臨床小講堂1

臨床検査実習: 2号館3F 専門33番教室 及び2号館2F 微生物学実習室
[6月27日(金)のみ組織学実習室]

機能医学系 (臨床検査)

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	2	水	3-4	血液の腫瘍性疾患と検査	島崎	①②P636-707, 1542-1578、 ⑤P422-448
2	4	9	水	3-4	肝胆道系検査の解釈	緒方	①②P314-330、 ⑤P53-59, 326-344
3	4	16	水	3-4	脂質異常症の病態と解釈	松熊 佐藤 (生化学) [水平的 統合]	①②P244-266、 ⑤P60-65, 390-94、⑥
4	5	7	水	3-4	一般検査 (尿検査と髄液検査)	宮居	①②P468-539、 ⑤P6-10, P202-206, P357-375
5	5	14	水	3-4	凝固とDICの検査の解釈	島崎	①②P828-878、 ⑤P193-197

機能医学系 (臨床検査実習)

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	23	金	5-6	講義: 輸血学	松熊	①②P708-827、 ④⑥
2	5	23	金	7-9	実習講義(輸血、採血)、採血、 輸血検査	全員	②P708-827、 ④⑤P11-13、⑥
3	5	30	金	5-9	採血、塗抹標本作製、血算	全員	⑤P11-13、⑥
4	6	5	木	5-9	実習講義(末梢血)、正常末梢血液像	全員	①②P540-707、 ③⑥
5	6	10	火	5-9	実習講義(骨髄)、正常骨髄像	全員	①②P540-707、 ③⑥
6	6	19	木	5-9	実習講義、病的血液像	全員	①②P540-707、 ⑤⑧
7	6	24	火	5-9	実習講義、外科病理学①	全員	①⑥
8	6	27	金	5-6	実習講義、外科病理学②	全員	①⑥
	7	1	火	7-8	定期試験	松熊	

第2学年	科目	機能医学系 医用工学	74時間	責任者	石原 美弥
------	----	------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 石原 美弥
 榑引 俊宏
 石川 智啓
 新楯 諒
 新地 祐介
 佐藤 正人 (非常勤講師)
 小川 美香子 (非常勤講師)
 中岸 義典 (招聘講師)
 池松 弘朗 (招聘講師)
 松浦 勝久 (招聘講師)
 大川 晋平 (招聘講師)

到達目標：

医学生が医用工学を学ぶ意義を根底から理解し、急速に発展する医療技術や多くのデータベースを活用できる医療人として必須の工学的知識を身に付けることで、科学に立脚した論理的思考を養う。診断・治療に用いる医用工学技術を体系的に学ぶことで、安全性への配慮と危機管理が出来るようになる。グループ実習では、できるだけ多くの医療機器を偏りなく全員が操作し、グループ間のディスカッションも行う。

1. 知識：臨床で実際に使用する医療機器（診断機器・治療機器）を体系的に理解し、その原理と概要を概説できる。これらの知識から、医療機器を用いて得られる生体情報について倫理的側面を含めた説明ができ、さらに、生体情報計測の妨げとなる雑音について、その原因と対策方法を説明できる。また、再生医学、電気工学、材料学やシミュレーション学などの最新の専門知識を活用し、超音波画像診断装置、心電計、ペースメーカー、血圧脈波検査装置、レーザードップラ血流計の原理及び特徴を説明できる。また、臨床現場において医療機器使用時における安全確保の基本を説明できる。
2. 技能：医療機器等を取り扱う上で必要となる基本的な工学的要素を理解し、医療機器の測定原理や特徴に応じた操作ができる。また、安全に配慮した機器の取扱いができる。得られた測定結果及び調査結果を考察し、臨床現場における医療機器の使用に関する妥当性を評価できる。これらの課題や実験結果についてプレゼンテーションを行うことができる。
3. 態度：自力で課題を発見し、適切な方法を選択して自己学習によってそれを解決できる能力を身につける。また、グループ学習にて適切なコミュニケーションをとることができる。さらに、情報通信技術を駆使して、科学的な分析の重要性を理解し、課題解決のための情報を収集できる。情報を取捨選択し、その要点を論理的に整理し、わかりやすく表現できる。

評価法：

1. 知識：筆記試験、レポート（電子ファイルを含む）及び小テストにより評価する。
2. 技能：課題や実験結果をまとめたプレゼンテーション力及び課題解決の進捗度を評価する。
3. 態度：課題学習の態度、グループ学習での協力態度とコミュニケーション力、プレゼンテーション力を評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

RE-01-01: 能動的姿勢

RE-01-01-01 RE-01-01-02

RE-01-02: 探究心

RE-01-02-01

RE-03-03: 研究手法

RE-03-03-01

RE-03-04: 研究結果

RE-03-04-01

<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>					
PS-01-02-11	PS-01-02-12	PS-01-02-14	PS-01-02-15	PS-01-02-16	PS-01-02-19
<u>PS-01-04: 病因と病態</u>					
PS-01-04-04	PS-01-04-12	PS-01-04-13	PS-01-04-14	PS-01-04-16	PS-01-04-17
PS-01-04-18	PS-01-04-19	PS-01-04-20	PS-01-04-21	PS-01-04-22	PS-01-04-23
PS-01-04-24					
<u>PS-02-02: 血液・造血器・リンパ系</u>					
PS-02-02-01	PS-02-02-02	PS-02-02-03			
<u>PS-02-05: 運動器(筋骨格)系</u>					
PS-02-05-01	PS-02-05-02	PS-02-05-03	PS-02-05-04	PS-02-05-05	
<u>PS-02-06: 循環器系</u>					
PS-02-06-01	PS-02-06-02	PS-02-06-03	PS-02-06-04	PS-02-06-05	
<u>PS-02-07: 呼吸器系</u>					
PS-02-07-01	PS-02-07-02	PS-02-07-03	PS-02-07-04	PS-02-07-05	
<u>PS-02-08: 消化器系</u>					
PS-02-08-01	PS-02-08-02	PS-02-08-03	PS-02-08-04	PS-02-08-05	
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>					
PS-02-09-01	PS-02-09-02	PS-02-09-03	PS-02-09-04	PS-02-09-05	
<u>PS-03-04: 腫瘍</u>					
PS-03-04-05	PS-03-04-13	PS-03-04-14	PS-03-04-15	PS-03-04-23	
<u>PS-03-06: 放射線の生体影響と適切な利用、放射線障害</u>					
PS-03-06-01					
<u>CS-02-03: 検査(計画、分析評価)</u>					
CS-02-03-01	CS-02-03-02	CS-02-03-03	CS-02-03-05	CS-02-03-06	CS-02-03-07
<u>CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)</u>					
CS-02-04-17	CS-02-04-18	CS-02-04-36			

テキスト等：

- ① 講座作成テキスト
- ② MEの基礎知識と安全管理 (南江堂)
- ③ 臨床工学講座 生体計測装置学 (医歯薬出版)
- ④ イメージでわかる！医用超音波の新しい教科書 基礎原理と装置の「なぜ? どうして？」 (金芳堂)
- ⑤ 臨床工学講座 生体物性・医用材料工学 (医歯薬出版)
- ⑥ iPS細胞の研究室：体のしくみから未来の研究まで (東京書籍)

教室： 2号館 31番教室および医用工学実習室

機能医学系 医用工学

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	27	水	1-2	医用工学講義のオリエンテーション	石原 櫛引 石川 新楯	①
2	9	10	水	1-2	医用工学を勉強するための基礎知識	石原 櫛引 石川 新楯	①②
3	9	18	木	5-6	最新の医用工学 1 (再生組織工学)	石原 櫛引 石川 新楯	①⑤⑥
4	9	19	金	7-8	最新の医用工学 2 (医用画像情報学)	石原 櫛引 石川 新楯	①
5	10	10	金	1-2	最新の医用工学 3 (泌尿器科応用)	石原 新地	①
6	10	16	木	3-4	最新の医用工学 4 (整形外科応用)	石原 佐藤	①
7	11	4	火	3-4	最新の医用工学 5 中間テスト	石原 櫛引 石川 新楯	①
8	11	13	木	3-4	最新の医用工学 6 (光免疫療法の最先端)	石原 小川	①
9	11	14	金	1-2	最新の医用工学 7 (呼吸器外科応用)	石原 中岸	①
10	11	19	水	1-2	最新の医用工学 8 (消化器内科応用)	石原 池松	①
11	12	11	木	3-4	最新の医用工学 9 (循環器内科応用)	石原 松浦	①
12	1	6	火	7-8	最新の医用工学 10 (生体光イメージング)	石原 大川	①
13					定期試験		

機能医学系 医用工学実習

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	15	水	5-9	医用工学実習オリエンテーション	石原 櫛引 石川 新楯	①
2	10	16	木	5-9	医用工学実習 1 医療機器を用いたグループ実習	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④
3	11	21	金	5-9	医用工学実習 2 医療機器を用いたグループ実習	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④
4	12	9	火	5-9	医用工学実習 3 医療機器を用いたグループ実習	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④
5	12	11	木	5-9	グループディスカッション及びプレゼンテーション (医療機器編) 確認テスト	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④
6	12	16	火	5-9	医用工学実習 4 医療機器を用いたグループ実習	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④
7	1	8	木	5-9	医用工学実習 5 医療機器を用いたグループ実習	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④
8	1	13	火	5-9	医用工学実習 6 医療機器を用いたグループ実習	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④
9	2	12	木	5-9	グループディスカッション及びプレゼンテーション (医学研究編) 確認テスト	石原 櫛引 石川 新楯	①②③④
10	2	17	火	5-9	医用工学実習まとめ	石原 櫛引 石川 新楯	①

第2学年	科目	機能医学系 分子生体制御学	29時間	責任者	松尾 洋孝
------	----	------------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先：

松尾 洋孝 (分子生体制御学)
 豊田 優 (分子生体制御学)
 清水 聖子 (分子生体制御学)
 中山 昌喜 (国際交流研究官)
 新家 一男 (産業技術総合研究所、非常勤講師)
 中岡 博史 (佐々木研究所、招聘講師)

到達目標：

生命現象である生体制御の仕組みを分子の観点から解析し、基礎医学・臨床医学の両面に応用するための基本的な考え方を理解する。また、近年の医学・生命科学技術進歩のため、従来の分類では領域を設定しにくいテーマについて、多角的な面から勉学できる素地を養う。そして、医学・生命科学に対する探究心を養い、自ら進んで勉学する姿勢を身に付ける。

1. 知識：生活習慣病や癌の分子病態について簡単に説明し、分子標的治療法の有用性について述べるができる。新規治療薬の探索についての実例を挙げ、その方法や有用点を簡単に説明できる。ゲノム制御医学の基礎と応用について複数の実例を挙げて説明できる。膜輸送体の構造と機能について重要な分子を複数挙げる。膜輸送体病の臨床遺伝学的解析の有用性について説明できる。
2. 技能：図書館やインターネットを利用して目的課題のプレゼンテーションに必要な医学情報を収集できる。収集した文献の要旨を理解し重要点を読み解くことができる。目的課題について発表時間に合った適切なパワーポイント資料を作成することができる。パワーポイント資料を用いて目的課題を制限時間内に分かりやすく説明することができる。
3. 態度：医学・生命科学に関する先端研究課題に興味を持ち、自ら工夫して勉学する態度を身に付ける。目的課題についてグループ内で討論し、必要な意見を積極的に述べる。発表資料の作成に際し、指導者の助言に素直に耳を傾け的確な改善につなげる。学生課題発表の場において積極的に討論に参加する。

評価法： レポート、プレゼンテーション、筆記テスト、授業態度などにより総合的に評価する。

1. 知識：授業中に行う筆記試験、課題レポートにより評価する。
2. 技能：学生課題発表において、目的課題に沿ったプレゼンテーション資料を作成することができたか、制限時間内に必要な内容を的確に伝えることができたか評価する。
3. 態度：授業中の受講態度、学生課題のための資料作成に対する積極姿勢、学生課題発表における発表態度、討論への積極的な参加姿勢を評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-02: 省察
PR-01-02-01 PR-01-02-02
PR-03-01: 教養
PR-03-01-01 PR-03-01-02
LL-01-01: 生涯学習の実践
LL-01-01-01
LL-02-01: 医療者教育の実践
LL-02-01-01 LL-02-01-02
RE-01-01: 能動的姿勢
RE-01-01-01 RE-01-01-02
RE-01-02: 探究心
RE-01-02-01 RE-01-02-02

<u>RE-02-01: 医学と医療</u>
RE-02-01-01
<u>RE-02-02: 論文読解</u>
RE-02-02-01
<u>RE-04-01: 研究発表</u>
RE-04-01-02 RE-04-01-03
<u>RE-05-01: 適切な研究遂行</u>
RE-05-01-01
<u>PS-01-01: 生命現象の科学</u>
PS-01-01-07 PS-01-01-11
<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>
PS-01-02-02 PS-01-02-34
<u>PS-01-04: 病因と病態</u>
PS-01-04-01 PS-01-04-03
<u>PS-02-03: 神経系</u>
PS-02-03-02
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>
PS-02-09-05
<u>IT-03-02: 情報・科学技術を活用した学習スキル</u>
IT-03-02-01
<u>CM-01-01: 患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用</u>
CM-01-01-01 CM-01-01-02 CM-01-01-05
<u>SO-02-02: 疫学</u>
SO-02-02-02

テキスト等：

- ① 参考書1 (Molecular Biology of the Cell 6th edition, Garland Publishing)
- ② 当日配布するプリント・ハンドアウト
- ③ スライドなど

教室： 2号館 31 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	9	8	月	3-4	機能分子生体制御学 概論	松尾	②③
2	10	2	木	1-2	学生課題発表 ガイダンス 医学発表の基礎	中山	②③
3	10	2	木	3-4	学生課題発表 ガイダンス 医学論文の読み方	中山	②③
4	10	9	木	3-4	遺伝子変異と疾患、診療ガイドライン	中山	②③
5	10	28	火	3-4	膜輸送体の構造と機能 (分子制御医学分野)	豊田	①②③
6	10	29	水	5-6	膜輸送体関連疾患の薬理的解析 (分子制御医学分野)	豊田	①②③
7	10	29	水	7-9	膜輸送体関連疾患の病因解明 (分子制御医学分野)	豊田	①②③

8	11	28	金	3-4	分子生体制御をベースとした新規治療薬の探索 (分子機能医学分野)	新家 松尾 豊田	②③
9	12	9	火	3-4	遺伝統計学の基礎と応用	中岡 松尾	②③
10	12	15	月	1-2	学生課題発表(1)	松尾 中山 豊田 清水	②③
11	12	15	月	3-4	学生課題発表(2)	松尾 中山 豊田 清水	②③
12	12	16	火	1-2	学生課題発表(3)	松尾 中山 豊田 清水	②③
13	12	16	火	3-4	学生課題発表(4)	松尾 中山 豊田 清水	②③
14	1	8	木	3-4	ゲノム個別化医療・予防	松尾 清水	②③

第3学年	科目	循環器系	100時間	責任者	足立 健
------	----	------	-------	-----	------

担当教官名と連絡先：

萩沢 康介 (生理学講座)
石渡 遼 (生理学講座)
石原 美弥 (医用工学講座)
足立 健 (内科学講座)
長友 祐司 (内科学講座)
池上 幸憲 (内科学講座)
竹藤 亜紗子 (内科学講座)
小倉 正恒 (抗加齢血管内科)
堤 浩二 (外科学講座)
金井 貴志 (小児科学講座)
新本 弘 (放射線医学講座)
高瀬 凡平 (集中治療部)
眞崎 暢之 (集中治療部)
安田 理紗子 (集中治療部)

到達目標：

循環器系の正常構造と生理機能を理解し、主な循環器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。実際の循環器医療に必要な基礎知識を習得し、根拠に基づいた診断法・治療法の選択について理解する。

1. 知識： 循環器系の構造と機能、循環障害の成因と病態を説明する事ができる。循環器疾患の診察に必要な基本的な身体診察を説明する事ができる。循環器疾患の診断に必要な検査の方法、適応と解釈を提示する。循環器疾患に関連する主要な症候・病態の原因、分類の概要を説明する事ができる。主な循環器疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を説明する事ができる。循環器診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、副作用）を暗唱できる。循環器救急に必要な基礎知識を提示することができる。循環器診療に関連する医用機器と人工臓器の基本を学ぶ。
2. 態度： 授業中に課題の達成に真摯に取り組んでいるかを評価付ける。授業の予習復習で教科書の知識を取り入れ、系統的な理解を深めているかを評価する。常に最新の知識を得られるよう、アップデートして同僚と理解を相互に補完し合っているかを評価する。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションがとれているかを評価する。

評価法： 定期試験結果、レポート

1. 知識： 筆記試験、レポートで評価する。
2. 態度： 授業中の質疑応答、レポートの提出で評価し、必要に応じて面接を行う。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-06-01	循環器系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-06-02	循環器系でみられる症候について理解している。
PS-02-06-03	循環器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-06-04	循環器系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-06-05	循環器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-02-12-01	小児にみられる症候について理解している。
PS-02-12-02	小児で行う検査方法について基本的事項を理解している。

PS-02-12-04	小児の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-03-02-05	膠原病、血管炎、リウマチ性疾患、アレルギー性疾患、自己免疫疾患の疾患・病態について病因、疫学、症候、主な検査・診断、治療法、合併症を説明できる。
PS-03-04-20	主な小児腫瘍の種類、症候、診断、治療について理解している。
PS-03-05-04	心停止の原因分類としての①心血管原性(急性心筋梗塞、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、肺塞栓症)、②呼吸原性(気道閉塞、緊張性気胸、肺実質病変による低酸素血症)、③神経原性(重症頭部・脊髄外傷、急性くも膜下出血)、④中毒・環境要因(中毒、熱中症、低体温症)、⑤電解質・酸塩基平衡異常(低・高カリウム血症、アシドーシス、低血糖)と病態及び診断の要点について理解している。
CS-02-04-36	主な医療機器の種類と原理について概要を理解している。

テキスト等：

生理学講座：① 参考書：ボロンブールペーパー生理学、西村書店、2011年、P446～P615。

医用工学講座：ハンドアウト（講義時配布する講義内容プリント）

内科学講座：① 参考書1：病気がみえる vol.2 循環器（第5版）（医学情報科学研究所）

② 参考書2：心臓病の病態生理—ハーバード大学テキスト
（メディカルサイエンスインターナショナル）

③ 参考書3：ハリソン内科学 第5版（メディカルサイエンスインターナショナル）

④ 参考書4：内科学第12版（朝倉書店）

⑤ ハンドアウト（講義時配布する講義内容プリント）

外科学講座：① 参考書1：標準外科学 第17版 医学書院

② ハンドアウト（講義時配布する講義内容プリント）

小児科学講座：① 標準小児科学（第9版、医学書院）

② 小児・生育循環器学（診断と治療社）※初版

③ ハンドアウト（講義時配布する講義内容プリント）

放射線医学講座：① 参考書：標準放射線医学 第7版（医学書院）

② ハンドアウト（講義時配布する講義内容プリント）

教室：2号館32番教室（2月24日のみ医用工学実習室）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	3	5	水	7-8	循環器内科総論	内科 (足立)	
2	4	10	木	1-2	小児循環器1	小児科 (金井)	①P424-483、 ②③
3	4	10	木	3-4	先天性心疾患の外科・総論	外科 (石田)	①
4	4	15	火	1-2	小児循環器2	小児科 (金井)	①P424-483、 ②P1399-1408
5	4	18	金	3-4	血圧異常、動静脈疾患1	内科 (足立)	①P245-270、 ⑤
6	4	23	水	1-2	心臓の構造と機能	内科 (安田)	①P3-20、 ⑤
7	4	23	水	3-4	予備		
8	4	30	水	5-6	循環器疾患に対する検査1	内科 (安田)	①P21-42、 ⑤
9	4	30	水	7-8	血圧異常、動静脈疾患2	内科 (足立)	①P245-270、 ⑤
10	5	9	金	3-4	脂質代謝・生活習慣病1	内科 (招)	⑤

11	5	19	月	1-2	診断法 (XP, CT, MRI, 核医学)	放射線医学 (非常勤) (林)	①P294-310, P315-324, P216-217 (肺血栓)、②
12	5	20	火	1-2	心臓疾患の主要徴候と診察 1	内科 (竹藤)	①P21-42、⑤
13	5	28	水	5-6	脂質代謝・生活習慣病 2	内科 (招)	⑤
14	5	28	水	7-8	心臓疾患の主要徴候と診察 2	内科 (竹藤)	①P21-42、⑤
15	6	6	金	1-2	循環器疾患に対する検査 2	内科 (竹藤)	①P21-42、⑤
16	6	6	金	3-4	循環器疾患に対する検査 3	内科 (竹藤)	①P21-42、⑤
17	6	18	水	1-2	小テスト・質疑	内科 (池上)	
18	6	18	水	3-4	予備		
19	7	9	水	1-2	心膜疾患、心臓腫瘍	内科 (竹藤)	
20	7	9	水	3-4	予備		
21	8	20	水	1-2	小児循環器 3	小児科 (金井)	②P424-483、②
22	8	20	水	3-4	心筋梗塞・地域医療	内科 (招) (江崎)	②ハンドアウト
23	8	28	木	1-2	先天性心疾患 1	内科 (眞崎)	①P139-177、⑤
24	8	28	木	3-4	先天性心疾患 2	内科 (眞崎)	①P139-177、⑤
25	9	2	火	5-6	失神・自律神経	集中治療部 (高瀬)	ハンドアウト
26	9	2	火	7-8	ICUにおける循環器疾患	集中治療部 (高瀬)	ハンドアウト
27	9	3	水	3-4	末梢動脈疾患	内科 (非常勤) (東谷)	
28	9	8	月	5-6	虚血性心疾患 1	内科 (非常勤) (東谷)	①P204-227、⑤
29	9	8	月	7-8	虚血性心疾患 2	内科 (非常勤) (東谷)	①P204-227、⑤
30	9	9	火	1-2	心不全 1	内科 (長友)	
31	9	9	火	5-6	心不全 2	内科 (長友)	
32	9	9	火	7-8	肺血栓症・肺高血圧症	内科 (非常勤) (磯部)	
33	9	16	火	5-6	心不全 3	内科 (長友)	
34	9	16	火	7-8	小児循環器 4	小児科 (金井)	P44 D-5-4) 疾患 (6)①

35	9	19	金	5-6	心臓手術	外科 (堤)	①
36	9	19	金	7-8	心血管 (心疾患)	放射線医学 (非常勤) (林)	①P260-270, P655-666、②
37	11	12	水	5-6	心筋症	内科 (安田)	①P228-244、⑤
38	11	12	水	7-8	小テスト・質疑	内科 (池上)	
39	11	18	火	5-6	不整脈 1	内科 (池上)	①P89-135、⑤
40	11	18	火	7-8	不整脈 2	内科 (池上)	①P89-135、⑤
41	11	25	火	5-6	不整脈 3	内科 (池上)	①P89-135、⑤
42	11	25	火	7-8	不整脈 4	内科 (池上)	
43	12	1	月	9	小テスト・質疑	内科 (池上)	
44	12	9	火	1-2	後天性心疾患 1	内科 (長友)	①P178-203、⑤
45	1	13	火	1-2	末梢動脈・静脈	外科 (非常勤) (志水)	①
46	1	13	火	3-4	後天性心疾患 2	内科 (長友)	①P178-203、⑤
47	1	27	火	1-2	虚血性心疾患の外科	外科 (石田)	①
48	1	27	火	3-4	不整脈の外科	外科 (非常勤) (木村)	①②
49	2	3	火	1-2	弁膜症の外科	外科 (石田)	①
50	2	3	火	3-4	血管生理と血管病	生理 (萩沢) 内科 (眞崎)	
51	2	13	金	3-4	大動脈	外科 (石田)	①
52	2	24	火	1-2	循環器系のME・人工心臓	医用工学 (石原)	ハンドアウト

第3学年	科目	呼吸器系	56時間	責任者	君塚 善文
------	----	------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 君塚 善文（呼吸器内科学）
川名 明彦（呼吸器内科学）
小川 卓範（呼吸器内科学）
橋本 博史（呼吸器外科学）
清住 哲郎（救急部）
今井 耕輔（小児科）
原 悠（横浜市立大学）
池村 辰之介（山梨大学）

到達目標：

呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

1. 知識：呼吸器臓器の正常構造と生理機能を説明できる。代表的な呼吸器疾患の病理を説明できる。主な呼吸器疾患（気道、肺、胸腔）の病態生理、原因を説明できる。主な呼吸器疾患の症候、診断および治療法を説明できる。呼吸器外科に必要な周術期管理、侵襲、術式について学ぶ。
2. 態度：課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚からも学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識：定期試験（筆記試験）を中心に、レポート、小テスト、授業中の質疑等を参考に評価する。
2. 態度：課題学習で評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-07-01	呼吸器系の構造と機能について基本的事項について理解している。
PS-02-07-02	呼吸器系でみられる症候について理解している。
PS-02-07-03	呼吸器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-07-04	呼吸器系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-07-05	呼吸器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-03-04-13	主な胸部腫瘍(呼吸器系)の症候、診断、治療について概要を理解している。

テキスト等：

1. 内科学
 - ① 矢崎義雄、小室一成総編集：内科学 第12版（朝倉書店）
 - ② 病気がみえる vol.4 呼吸器（メディックメディア）
 - ③ ウエスト、呼吸生理学入門：正常肺編 第2版（メディカルサイエンスインターナショナル）
 - ④ フェルソン、読める！胸部X線写真 改定第3版（診断と治療社）
2. 外科学
 - ① 標準外科学 第15版（医学書院）
 - ② 呼吸器外科学 改訂第4版（南山堂）
3. 救急医学
 - ① 標準救急医学 改訂第5版（医学書院）
 - ② 救急診療指針 改訂第5版（へるす出版）
 - ③ 外傷初期診療ガイドライン：改訂第6版（へるす出版）
4. 小児科学
 - ① 標準小児科学 第9版（医学書院）
 - ② 病気がみえる vol.15 小児科（メディックメディア）

教室： 2号館 32 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	9	水	5-6	総論 3 画像検査 1(単純 X 線、CT、PET-CT)	君塚	内科学①-④ 配付資料
2	4	9	水	7-8	急性呼吸窮迫症候群(ARDS)、肺循環障害(肺血栓塞栓症、肺性心、肺高血圧症、肺動静脈瘤)	君塚	配付資料
3	4	11	金	5-6	総論 1 呼吸器系の構造と機能、肺機能検査、血液ガス、呼吸不全と酸素療法、人工呼吸器	小川	内科学①-④ 配付資料
4	4	11	金	7-8	総論 2 喀痰検査、気管支鏡検査、肺エコー検査、胸水検査	小川	内科学①-④ 配付資料
5	4	16	水	5-6	原発性肺癌 1(疫学、組織型、病期分類、症候、診断、腫瘍随伴症・癌性胸膜炎、癌性リンパ管症)	池村	配付資料
6	4	16	水	7-8	原発性肺癌 2(薬物療法、放射線療法・放射線肺障害、緩和治療)	池村	配付資料
7	6	4	水	5-6	閉塞性肺疾患(気管支喘息、COPD、ACO)	君塚	配付資料
8	6	4	水	7-8	呼吸器外科総論、画像検査 2(MRI)、肺腫瘍外科 1(肺良性腫瘍、肺癌の外科治療 1)	橋本	外科学①② 配付資料
9	6	12	木	5-6	肺腫瘍外科 2(肺癌の外科治療 2)	橋本	外科学①② 配付資料
10	6	12	木	7-8	肺腫瘍外科 3(転移性肺腫瘍)	橋本	外科学①② 配付資料
11	9	16	火	1-2	呼吸器感染症 2(細菌性肺炎、誤嚥性肺炎、NHAP、HAP、VAP、肺化膿症)	君塚	配付資料
12	9	16	火	3-4	呼吸器感染症 3(肺真菌症：アスペルギルス、クリプトコッカス、肺日和見感染症)	君塚	配付資料
13	10	8	水	5-6	呼吸器感染症 4(抗酸菌感染症：結核、非結核性抗酸菌症、LTBI)	君塚	配付資料
14	10	8	水	7-8	炎症性肺疾患の外科治療	橋本	外科学①② 配付資料
15	10	9	木	5-6	縦隔疾患に対する外科治療(縦隔腫瘍、縦隔気腫、降下性縦隔炎など)	橋本	外科学①② 配付資料
16	10	14	火	5-6	気管支拡張症、無気肺、肺分画症、びまん性汎細気管支炎、閉塞性細気管支炎、先天異常など	君塚	配付資料
17	10	17	金	1-2	免疫・アレルギー性肺疾患(血管炎、サルコイドーシス、好酸球性肺炎、過敏性肺炎、ABPA、EGPA など)	小川	外科学①② 配付資料
18	10	17	金	3-4	間質性肺疾患 1(特発性間質性肺炎、急性増悪)	小川	内科学①-④ 配付資料
19	10	20	月	1-2	間質性肺疾患 2(膠原病関連肺疾患、薬剤性肺障害)	小川	救急医学① 配付資料
20	10	20	月	3-4	間質性肺疾患 3(じん肺、肺リンパ増殖性疾患、肺リンパ脈管筋腫症、肺胞蛋白症など)	小川	内科学①-④ 配付資料
21	10	23	木	1-2	呼吸器感染症 1(上気道炎、百日咳、ウイルス性肺炎：COVID-19、インフルエンザ肺炎)	川名	内科学①-④ 配付資料
22	10	23	木	3-4	呼吸異常(慢性呼吸不全、在宅酸素療法、身体障害者認定、過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群、肺胞低換気症候群)	川名	内科学①-④ 配付資料
23	11	7	金	5-6	胸膜・胸壁疾患 1(気胸、胸膜炎(細菌性・結核性)、血胸、乳び胸、膿胸など)	橋本	外科学①② 配付資料
24	11	7	金	7-8	胸膜・胸壁疾患 2(中皮腫、胸壁腫瘍、横隔膜ヘルニア、横隔神経麻痺など)	橋本	内科学①-④ 配付資料
25	11	11	火	3-4	救急呼吸器疾患(内因性)、急性呼吸不全	清住	救急医学① 配付資料

26	11	20	木	1-2	救急呼吸器疾患（外因性）、胸部外傷	清住	救急医学① 配付資料
27	12	18	木	1-2	慢性咳嗽(咳喘息、アトピー咳嗽、喉頭アレルギー、副鼻腔気管支症候群、上気道咳症候群、好酸球性副鼻腔炎)	原	配付資料
28	1	19	月	1-2	小児呼吸器疾患	今井	小児科学①②

第3学年	科目	消化器系	142時間	責任者	上野 秀樹
------	----	------	-------	-----	-------

担当教官名と連絡先：

穂苅 量太
 富田 謙吾
 高本 俊介
 東山 正明
 成松 和幸
 栗原 千枝
 都築 義和
 池松 弘朗
 古橋 廣崇
 上野 秀樹
 岸 庸二
 辻本 広紀
 山崎 民大
 梶原 由規
 永生 高広
 望月 早月
 岡本 耕一
 矢口 義久
 山寺 勝人
 高尾 幹也
 今井 耕輔
 野崎 太希
 江戸 博美
 須山 陽介

1. 消化器疾患

到達目標：

消化器臓器の正常構造と生理機能を理解し、代表的な消化器病変の病理を理解し、さらに主な消化器疾患（消化管、肝・胆道・膵疾患）の病態生理、原因、診断および治療法について学ぶ。

1. 知識：消化器臓器の正常構造と生理機能を説明できる。代表的な消化器病変の病理を説明できる。主な消化器疾患（消化管、肝・胆道・膵疾患）の病態生理、原因を説明できる。主な消化器疾患（消化管、肝・胆道・膵疾患）の症候、診断および治療法を説明できる。
2. 態度：課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識：筆記試験で評価する。
 2. 態度：課題学習で評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。
- ※ 知識の細部は、下記ならびに医学教育モデル・コア・カリキュラムの項目に準じるものとする。

2. 外科総論

到達目標：

外科的侵襲に対して生体の恒常性を維持するための機序を理解し、外科的治療の管理に役立てることを学ぶ。すなわち基本的な外科診療知識、外科手術における周術期管理、炎症や感染と生体防御、創傷とその治癒、出血と輸血、食事と輸液療法、細胞増殖や腫瘍、人工臓器や移植、侵襲軽減の方法論について学ぶ。

1. 知識：消化器臓器の正常構造と生理機能を説明できる。代表的な消化器病変の病理を説明できる。主な消化器疾患（消化管、肝・胆道・膵疾患）の病態生理、原因を説明できる。主な消化器疾患（消化管、肝・胆道・膵疾患）の症候、診断および治療法を説明できる。

2. 態度：課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識：筆記試験で評価する。
2. 態度：課題学習で評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-08: 消化器系				
PS-02-08-01	PS-02-08-02	PS-02-08-03	PS-02-08-04	PS-02-08-05
PS-03-04: 腫瘍				
PS-03-04-14				

テキスト等：

- 内科学：① 内科学書 第7版 Vol. 1 & Vol. 4（中山書店）
 ② 内科学 第10版 朝倉書店
 ③ 防衛医学（防衛医学振興会）
 ④ 配布プリント、ハンドアウト

- 外科学：① 標準外科学 第16版（医学書院）
 ② NEW 外科学 改訂第3版（南江堂）
 ③ 防衛医学（防衛医学振興会）
 ④ 当日配布するプリント、ハンドアウト

- 小児科学：① 配布プリント
 ② 標準小児科学 第9版（医学書院）
 ③ Nelson Textbook of Pediatrics 21th Edition (Saunders Elsevier)
 ④ 「防衛医学」

- 放射線医学：① 配布プリント
 ② 標準放射線医学 第7版（医学書院）

教室： 2号館 32番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	3	5	水	1-2	内科講義1 肝疾患1-肝癌・肝腫瘍性病変	富田	内科①④
2	3	5	水	3-4	外科総論1 手術適応・インフォームドコンセント、高齢者の外科手術	山寺	外科①②④
3	4	8	火	7-8	内科講義2 胃疾患2-悪性腫瘍	東山	内科 ①vol.4 P80-94, P832-838
4	4	9	水	1-2	外科講義1 鏡視下手術-器具と実際・適応、胆嚢摘出、胃切除、大腸切除	山寺	外科①②④
5	4	14	月	1-2	外科講義2 食道外科(1)-食道癌(診断・手術適応・合併症・予後)	辻本	外科①② 食道癌取扱い規約第9版

6	4	14	月	3-4	外科講義 3 腹壁・ヘルニア 腹壁・解剖・ヘルニア	山崎	
7	4	18	金	1-2	外科グループ学習 1 大腸症例	岡本	外科④
8	4	21	月	5-6	内科講義 5 胆膵疾患 3-膵疾患 急性膵炎・慢性膵炎	高本	内科 ①vol.4 P132-134, 144-153
9	4	21	月	7-8	内科講義 4 肝疾患 4-アルコール障害、肝代謝および感染、肝硬変、慢性肝不全	富田	内科 ①vol.4 P260-293, 302-304、 ③P557-564
10	4	23	水	5-6	内科講義 3 肝疾患 2-急性肝炎・劇症肝炎、慢性ウイルス性肝炎	富田	内科 ①vol.4 196-243、②P940-956, 957-965
11	4	23	水	7-8	外科総論 2 周術期管理 1-術前管理、手術侵襲、輸血	岸	
12	4	28	月	5-6	内科講義 9 胆膵疾患 2-胆管疾患 胆管炎、胆管癌、拡張症など 胆・膵の内視鏡治療	高本	内科 ①vol.4 P305-338、③
13	4	28	月	7-8	外科総論 3 診察・手術手技-基本手技、消毒滅菌、感染、損傷・創傷治癒	永生	外科①②
14	4	30	水	1-2	内科グループ学習 1 胆膵疾患症例の検討	成松	内科④
15	4	30	水	3-4	内科講義 16 肝疾患 3-自己免疫、肝内胆汁うっ滞、門亢症	富田	内科 ①vol.4 P244-255, 294-297
16	5	2	金	1-2	外科総論 4 周術期管理 2-術後管理、栄養管理、輸液	梶原	外科①②④
17	5	2	金	3-4	内科講義 13 腸疾患 1-腸管感染症、憩室・循環障害、良性腫瘍	穂苅	内科 ①vol.4 P98-115, 127-144、 ②③P251-265, 292-294, 334-341
18	5	7	水	1-2	内科グループ学習 3 胆膵疾患症例の発表	成松	内科④
19	5	9	金	1-2	外科講義 4 消化器癌の集学的治療	上野 山口 (招聘)	外科④
20	5	20	火	5-6	内科講義 免疫と消化管疾患	中島	
21	5	20	火	7-8	内科講義 7 胃疾患 1-構造・機能と病態生理・炎症疾患・HP、良性腫瘍	東山	内科①vol.4 P2-33-40, 66-80、 ②P780-791, 818
22	5	21	水	5-6	内科グループ学習 4 腸疾患症例の検討	古橋 栗原	内科④
23	5	21	水	7-8	外科講義 5 肝胆膵外科(1)-胆道の良性疾患	岸	外科①②
24	5	23	金	1-2	外科グループ学習 2 大腸疾患症例の発表	岡本	外科④

25	5	26	月	5-6	外科講義 6 腸管外科(1)-炎症性腸疾患(クローン・潰瘍性大腸炎など)の外科	上野	
26	5	26	月	7-8	外科総論 5 ショック、炎症、外科的感染症、ショック	辻本	
27	5	29	木	1-2	内科グループ学習 5 腸疾患症例の発表	古橋 栗原	ハンドアウト
28	5	29	木	3-4	外科グループ学習 3 胃・食道疾患症例	矢口	外科④
29	6	2	月	1-2	内科講義 6 腸疾患 2-潰瘍性大腸炎とベーチェット病	都築	内科①vol. 4 P115-120, 126-127、②
30	6	2	月	5-6	内科講義 8 食道疾患 1-食道良性疾患(食道・胃静脈瘤を含む)	成松	内科 ①vol. 4 P33-40, 48-55, 60-65、②P797-804, 810-812
31	6	2	月	7-8	外科講義 7 腸管外科(2)-大腸ポリープ・ポリポージス・その他腫瘍性疾患	上野	
32	6	4	水	1-2	外科講義 8 肝胆膵外科(2) 膵臓の炎症性疾患	高尾	外科①②④
33	6	4	水	3-4	小児科消化器 1 肝胆 肝胆総論 発達・症候 肝胆各論 疾患	今井 十河 (非常勤)	小児科①②③
34	6	5	木	1-2	外科総論 6 悪性腫瘍患者に対する緩和医療	上野 藤本 (招聘)	外科①④
35	6	5	木	3-4	外科講義 9 移植(小腸・肝臓)-肝・膵・小腸移植の現況	永生	外科①②④
36	6	6	金	7-8	外科講義 10 肝胆膵外科(3)-肝胆道外科、解剖、炎症性疾患と良性疾患	岸	外科①②
37	6	9	月	5-6	外科講義 11 消化器疾患の画像診断	上野	
38	6	9	月	7-8	外科講義 12 腸管外科(4)-急性腹症-イレウス、虫垂炎、腹膜炎	上野	外科①②④
39	6	10	火	1-2	外科グループ学習 4 肝・胆・膵	永生	外科④
40	6	10	火	5-6	内科課題学習 1 腸疾患について(2)	東山 栗原	内科④
41	6	11	水	1-2	小児科消化器 2 消化管 消化管総論 発達・症候 消化管各論 疾患	今井 石毛 (非常勤)	小児科①②③
42	6	12	木	1-2	外科講義 13 小児外科(1)-気管・食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肛門	岸 藤代 (招聘)	外科①②
43	6	12	木	3-4	外科講義 14 小児外科(2)-肝・胆道・膵、腹壁、小児腫瘍	岸 藤代 (招聘)	外科①②
44	6	13	金	3-4	放射線 1 放射線腹部単純	野崎	放射線科②

45	6	13	金	7-8	外科講義 15 胃・十二指腸外科(1)-胃癌(手術適応・術式・再発治療)	矢口	外科①②
46	6	17	火	7-8	外科講義 16 肛門外科-痔核・痔瘻など肛門良性疾患	上野 栗原 (招聘)	
47	6	18	水	5-6	内科課題学習 2 肝臓疾患について(1)	富田	内科④
48	6	18	水	7-8	外科講義 17 肝胆膵外科(4) -膵臓の腫瘍性疾患	岸	
49	6	20	金	1-2	外科講義 18 癌の増殖・転移 プロテアーゼ	望月	外科④
50	6	20	金	3-4	内科講義 14 腸疾患 1-小腸疾患、クローン病	穂苅	内科 ①vol.4 121-126、②③P51-265, 292-294, 334-347
51	7	10	木	1-2	内科課題学習 4 肝臓疾患について(2)	富田	内科 ①vol.4 P280-287, 203-224
52	7	18	金	7-8	内科講義 10 食道疾患 2-食道悪性疾患	成松	内科 ①vol.4 P33-40, 48-55, 60-65, 797-804, 810-812
53	7	23	水	1-2	内科講義 11 消化管の内視鏡治療 (潰瘍止血、静脈瘤、粘膜切除・粘膜下剥離術など)	成松	内科 ①vol.4 P20-27
54	7	23	水	7-8	内科講義 12 腸疾患 4-小腸大腸悪性腫瘍	池松	内科①④
55	7	25	金	1-2	小児科消化器 3 小児科課題学習	今井	小児科①②③
56	7	25	金	3-4	放射線 2-消化管 消化管上部・下部 消化管造影、US、CT、MRI	新本	放射線科②
57	8	18	月	1-2	内科講義 15 胆膵疾患 1-膵疾患 膵癌・膵嚢胞・内分泌腫瘍	高本	内科 ①vol.4 P359-366、②P903-910
58	8	18	月	3-4	内科課題学習 3 胆膵疾患について(1)	高本	内科④
59	8	19	火	5-6	統合学習 1: 消化管 (上部・下部)	上野 消化器内科教官 検査部病理教官	
60	8	19	火	7-8	統合学習 2: 肝胆膵	岸 消化器内科教官 須山	
61	8	21	木	1-2	外科講義 19 肝胆膵外科(5) 肝の良性疾患、良性・悪性腫瘍	永生	

62	8	21	木	3-4	外科講義 20 胃・十二指腸外科(2)-消化性潰瘍 手術適応・術式 出血・穿孔・狭窄潰瘍、癌以外の疾患 胃切除後再建・障害	矢口	外科①②
63	8	25	月	5-6	外科講義 21 腸管外科(3)-大腸癌 病理・分類・症候・診断・治療	上野	
64	8	25	月	7-8	外科グループ学習 5 胆膵疾患症例の発表	永生	外科④
65	8	29	金	5-6	内科グループ学習 2 肝臓疾患症例の検討	富田	内科④
66	8	29	金	7-8	外科講義 22 肝胆膵疾患の画像診断	岸	
67	9	4	木	1-2	外科講義 23 肝胆膵外科(6)-胆道の悪性疾患	高尾	外科①②④
68	9	8	月	1-2	外科グループ学習 6 胃・食道疾患症例の発表	矢口	外科④
69	9	8	月	3-4	放射線 3-肝臓 肝・胆・膵の US, CT, MRI, 血管造影の画像診断 治療法	江戸	放射線科②
70	9	10	水	5-6	外科講義 24 食道外科(2)-門脈圧亢進症・食道静脈瘤、良性食道 疾患(手術適応・術式・予後)	辻本	外科①②④ 食道癌取扱い 規約第9版
71	9	17	水	1-2	内科グループ学習 6 肝臓疾患症例の発表	富田	内科④

第2学年	科目	感染症系	118時間	責任者	三木田 馨
------	----	------	-------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 三木田 馨
 木下 学
 川名 明彦
 石塚 俊晶
 今井 耕輔
 佐藤 仁哉
 中島 弘幸
 金山 敦宏
 小野 岳史
 中島 正裕
 江尻 寛子

到達目標：

ウイルス、細菌、真菌、寄生虫を始めとする各種微生物の基本的性状、病原性、感染経路、引き起こされる病態について学び、微生物の基本を理解する。また、宿主の感受性、症候、病原体に対する免疫応答や、診断、治療、ワクチンを含む予防法、薬剤耐性について学び、宿主-病原体関係を理解する。さらに、エボラウイルス病を始めとする感染症の世界的な流行地域、大規模流行とその封じ込めの事例を含む感染症疫学の基礎を学び、グローバル化した感染症問題に対する知識向上に努め、その解決へ向けた科学的・合理的思考を涵養する。

1. 知識： 各種感染病原体の基本的性状について述べるができる。その感染経路、病原性、標的臓器、症候、病態、診断、治療と薬剤耐性問題、宿主免疫応答とワクチンを含む予防法、感染管理と感染防護、流行地域を含む感染症疫学的な現状について説明できる。
2. 態度： 感染症学の専門家になるという意気込みで学習に取り組み、国内外で流行するあらゆる感染症の知識を貪欲に吸収するという熱意を示す。各感染病原体の特性について合理的な理解に努め、それを基に感染症の管理、封じ込めについて創造的な思考を展開する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験、各講義に関する小試験、内容によっては口頭試問を実施し、評価する。
2. 態度： 講義室で学習に取り組む態度、質問等質疑応答時の積極性、教官とのコミュニケーションスキルの程度を見て評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-01-03: 個体の反応</u>					
PS-01-03-01	PS-01-03-02	PS-01-03-03	PS-01-03-04	PS-01-03-05	PS-01-03-06
PS-01-03-07	PS-01-03-08	PS-01-03-09	PS-01-03-10	PS-01-03-11	PS-01-03-12
PS-01-03-13	PS-01-03-14	PS-01-03-15	PS-01-03-16	PS-01-03-17	
<u>PS-03-03: 感染症</u>					
PS-03-03-01	PS-03-03-02	PS-03-03-03	PS-03-03-04	PS-03-03-05	PS-03-03-06
PS-03-03-07	PS-03-03-08	PS-03-03-09	PS-03-03-10	PS-03-03-11	PS-03-03-12
PS-03-03-13	PS-03-03-14	PS-03-03-15	PS-03-03-16	PS-03-03-17	PS-03-03-18

テキスト等：

- ① 戸田新細菌学（南山堂）
- ② 標準微生物学（医学書院）
- ③ Cellular and Molecular Immunology (Elsevier Science Health Science)
- ④ CLINICAL MICROBIOLOGY made ridiculously simple (Medmaster)
- ⑤ 図説 人体寄生虫学（南山堂）
- ⑥ エッセンシャル寄生虫病学（医歯薬出版）
- ⑦ 医科ウイルス学（南江堂）
- ⑧ 医科細菌学（南江堂）

- ⑨ Kumar V, Abbas AK, Aster JC 編 Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease 第10版 (Elsevier, 2021) P339-403
- ⑩ 標準小児科学 第9版 (医学書院)
- ⑪ 標準脳神経外科 第9版 (医学書院)
- ⑫ 防衛医学 (防衛医学振興会) 第4章 感染症学、熱帯医学 (P225-332) ; 第11章 NBC 関連医学 (P649-711)
- ⑬ アウトブレイク探偵 (ヴァン メディカル)
- ⑭ Fields Virology (Lippincott Williams & Wilkins)
- ⑮ 集中講義薬理学 (メジカルビュー社)
- ⑯ 病態のしくみがわかる免疫学 (医学書院、2010)
- ⑰ ハンドアウト、当日配布するプリント他

教室： 2号館 31 番教室、微生物学・寄生虫学実習室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	3	木	1-2	感染症学総論	三木田 小野	①②④⑤
2	4	9	水	3-4	真菌学総論	三木田 小野	③⑦⑫⑭
3	4	23	水	3-4	真菌学各論 1	三木田 小野	①②⑦⑫⑭
4	4	25	金	5-6	真菌学各論 2	三木田 小野	①②⑦⑫⑭
5	5	7	水	3-4	寄生虫学総論	三木田 小野	①②⑦⑫⑭
6	5	12	月	3-4	蠕虫総論	三木田 小野	①②⑦⑫⑭
7	5	21	水	3-4	蠕虫各論 1	三木田 小野	①②⑤⑦
8	6	11	水	5-6	蠕虫各論 2	三木田 小野	①②⑤⑦
9	6	16	月	3-4	細菌学総論	木下	①②④⑧⑰
10	7	9	水	3-4	蠕虫各論 3	三木田 小野	①②③④⑧⑰
11	7	16	水	3-4	原虫総論	三木田 小野	①②⑤⑦
12	7	23	水	3-4	原虫各論 1	三木田 小野	①②③④⑧⑰
13	7	24	木	5-6	グラム陽性菌 (連鎖球菌、ブドウ球菌)	中島 (正)	①②③④⑧⑰
14	8	18	月	3-4	グラム陰性菌	木下	①②③④⑧⑰
15	8	20	水	3-4	有害・危険動物 1	江尻	⑤⑥
16	8	26	火	1-2	国際感染症学 招聘講義	三木田 小野	①②⑤⑦
17	8	26	火	3-4	国際感染症学 招聘講義	三木田 小野	①②⑤⑦
18	8	29	金	1-2	小児感染症-1	今井	①②⑤⑦
19	8	29	金	3-4	小児感染症-2	今井	①②⑤⑦
20	9	2	火	1-2	グラム陽性菌・グラム陰性菌、混合重症細菌感染症	木下	①②③④⑧⑰
21	9	2	火	3-4	腸内細菌・ビブリオ	中島 (弘)	①②④⑧⑰
22	9	5	金	1-2	嫌気性菌	中島 (正)	①②③④⑧⑰

23	9	9	火	7-8	原虫各論 2	三木田 小野	⑤⑥⑫
24	9	10	水	3-4	原虫各論 3	三木田 小野	
25	9	12	金	3-4	結核菌・その他の抗酸菌	中島 (正)	①②④⑧
26	9	16	火	1-2	バイオテロ (bioterrorism)、デュアル・ユース (Dual Use)、生物兵器禁止条約 (BTWC)	木下 四ノ宮	⑫⑰
27	9	19	金	1-2	国際感染症学 招聘講義	三木田 小野	
					感染症系 中間試験		
28	10	8	水	1-2	化学療法の基礎	石塚	⑧⑮⑰
29	10	8	水	3-4	リケッチア、クラミジア、スピロヘータ、マイコプラズマ 1	三木田 小野	①②⑤⑦
30	10	14	火	5-6	細菌学 招へい講義	木下	①②⑤⑦
31	10	15	水	1-2	リケッチア、クラミジア、スピロヘータ、マイコプラズマ 2	三木田 小野	①②⑤⑦
32	10	21	火	3-4	滅菌と消毒、食中毒	木下	①②④⑧⑰
33	10	22	水	3-4	リケッチア、クラミジア、スピロヘータ、マイコプラズマ 3	三木田 小野	①②⑤⑦
34	10	28	火	1-2	ウイルス総論	三木田 小野	①②⑤⑦
35	10	28	火	7-8	DNA ウイルス-1	三木田 小野	③⑦⑫⑭
36	10	29	水	1-2	DNA ウイルス-2	三木田 小野	①②⑦⑫⑭
37	10	30	木	5-6	RNA ウイルス-1	川名	①②⑦⑫⑭
38	11	4	火	1-2	DNA ウイルス-3	三木田 小野	
39	11	14	金	3-4	感染症疫学 1	金山	⑬⑰
40	11	18	火	5-6	RNA ウイルス-2	三木田 小野	⑤⑥⑫
41	11	20	木	3-4	RNA ウイルス-3	川名	①②⑦⑫⑭
42	11	21	金	1-2	感染と免疫	木下	①②④⑧⑮⑰
43	11	26	水	1-2	リケッチア、クラミジア、スピロヘータ、マイコプラズマ 4	三木田 小野	⑤⑥⑫
44	11	26	水	3-4	エボラウイルス病と日本 ～動物・ウイルス・グローバル化～	金山	①②④⑤⑫⑰
45	11	28	金	1-2	特別講義 1	三木田 小野	
46	12	2	火	1-2	RNA ウイルス-4	三木田 小野	①②⑤⑦
47	12	3	水	3-4	RNA ウイルス-5	江尻	⑤⑥
48	12	4	木	1-2	有害・危険動物 2	江尻	⑤⑥
49	12	4	木	3-4	特別講義 3	三木田 小野	①②⑤⑦
50	12	8	月	5-6	感染症学 症例検討会 (CPC) -1	佐藤 木下 今井	⑨⑰
51	12	8	月	7-8	感染症学 症例検討会 (CPC) -2	佐藤 木下 今井	⑨⑰

52	12	10	水	3-4	感染病理学 1	佐藤	⑨⑰
53	1	9	金	1-2	感染病理学 2 (顕微鏡実習)	佐藤	⑨⑰
54	1	15	木	7-8	自衛隊と国際感染症	川名	①②④⑤⑫⑰
55	1	26	月	1-2	特別講義 4	三木田 小野	
56	1	27	火	1-2	感染症疫学 2	金山	⑬⑰
57	1	29	木	1-2	パンデミック・新型コロナウイルス感染症 ～人類生存への教訓～	川名	①②⑤⑦
58	2	4	水	3-4	特別講義 5	三木田 小野	①②⑤⑦
59	2	9	月	3-4	特別講義 6	三木田 小野	①②⑤⑦
60	2	13	金	3-4	国際感染症招聘講義	三木田 小野	
					感染症系 最終試験		

第3学年	科目	感染症系（実習）	70時間	責任者	三木田 馨
------	----	----------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 三木田 馨
 木下 学
 中島 弘幸
 金山 敦宏
 小野 岳史
 中島 正裕
 齋藤 雅史

到達目標：

各種微生物の基本的性状、病原性、感染経路、引き起こされる病態について学び、微生物学の基本を理解する。また、宿主の感受性、症候、病原体に対する免疫応答や、診断、治療、ワクチンを含む予防法、薬剤耐性について学び、宿主-病原体関係を理解する。さらに、エボラウイルス病を始めとする感染症の世界的な流行地域、大規模流行とその封じ込めの事例を含む感染症疫学の基礎を学び、グローバル化した感染症問題に対する知識向上に努め、その解決へ向けた科学的・合理的思考を涵養する。

1. 知識： 代表的な微生物の取り扱いを通じて、その微生物学的、生化学的、免疫学的特性の実際を学び、その基本的性状を説明できる。エボラウイルス病を始めとする感染症の世界的な流行地域、大規模流行とその封じ込め対策手法について、歴史的背景を含め列記できる。
2. 技能： 実習書に示された微生物学的手技の原理を理解し、顕微鏡を始めとする微生物学における使用器材の扱いに習熟し、微生物の同定手法を实践できる。さらに、微生物の感染管理、感染防護に関する手技や感染流行に対する感染症疫学的なアプローチについて説明できる。
3. 態度： 微生物の取り扱いを含む感染管理の原則を实践できる。同僚と協力し合いながら効果的に実習に取り組み、学ぶことができる。医学的知識のみならず、器材の取り扱い方法などについても積極的に質問し、高いコミュニケーション能力で実習を推進できる。

評価法：

1. 知識： 実習中の試問、実習レポート、実習スケッチで修得度を確認し、最終的に筆記試験を実施し評価する。
2. 技能： 実習中に器材の扱い方や手技の実際をきめ細かく指導してその適切さを判断し、最終的に得られた実習結果が妥当か否かを判断することで評価する。
3. 態度： 実習に取り組む態度、積極性、同僚、教官とのコミュニケーションスキルの程度をみて評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-01-03： 個体の反応</u>					
PS-01-03-01	PS-01-03-02	PS-01-03-03	PS-01-03-04	PS-01-03-05	PS-01-03-06
PS-01-03-07	PS-01-03-08	PS-01-03-09	PS-01-03-10	PS-01-03-11	PS-01-03-12
PS-01-03-13	PS-01-03-14	PS-01-03-15	PS-01-03-16	PS-01-03-17	
<u>PS-03-03： 感染症</u>					
PS-03-03-01	PS-03-03-02	PS-03-03-03	PS-03-03-04	PS-03-03-05	PS-03-03-06
PS-03-03-07	PS-03-03-08	PS-03-03-09	PS-03-03-10	PS-03-03-11	PS-03-03-12
PS-03-03-13	PS-03-03-14	PS-03-03-15	PS-03-03-16	PS-03-03-17	PS-03-03-18

テキスト等：

- ① 戸田新細菌学（南山堂）
- ② 標準微生物学（医学書院）
- ③ Cellular and Molecular Immunology (Elsevier Science Health Science)
- ④ CLINICAL MICROBIOLOGY made ridiculously simple (Medmaster)
- ⑤ 図説 人体寄生虫学（南山堂）
- ⑥ 病態のしくみがわかる免疫学（医学書院、2010）

- ⑦ 微生物学実習書
- ⑧ ウイルス学実習書
- ⑨ 寄生虫学実習書
- ⑩ ハンドアウト

教室： 2号館微生物学・寄生虫学実習室および32番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	15	木	5-9	細菌の染色(1)、分離培養(1)、薬剤感受性試験(1)	木下 中島 中島 齋藤	③⑦
2	1	16	金	5-9	細菌の染色(2)、分離培養(2)、薬剤感受性試験(2)	木下 中島 中島 齋藤	③⑦
3	1	22	木	5-9	ブドウ球菌・MRSA(1)、溶連菌 - α および β (1)	木下 中島 中島 齋藤	③⑥⑦
4	1	23	金	5-9	ブドウ球菌・MRSA(2)、溶連菌 - α および β (2)	木下 中島 中島 齋藤	③⑦
5	1	26	月	5-9	感染症疫学「国内編」 ～大学寮における食中毒患者発生～	金山 小野	①②④⑩ 実習書
6	1	29	木	5-9	腸内細菌・ビブリオ(1)、抗酸菌	木下 中島 中島 齋藤	③⑤⑦
7	1	30	金	5-9	腸内細菌・ビブリオ(2)	木下 中島 中島 齋藤	③⑤⑦
8	2	2	月	5-9	国際感染症学実習 1	三木田 小野	⑤⑧
9	2	3	火	5-9	国際感染症学実習 2	三木田 小野	⑤⑨
10	2	4	水	5-9	国際感染症学実習 3	三木田 小野	⑤⑨
11	2	10	火	5-9	感染症疫学「グローバル編」 ～海外派遣時のアウトブレイク～	金山 小野	①②④⑩ 実習書
12	2	16	月	5-9	国際感染症学実習 4	三木田 小野	⑤⑨
13	2	18	水	5-9	細菌学実習実技、筆記試験	木下 中島 中島 齋藤	③⑤⑦
14	2	20	金	5-9	国際感染症学実習 6	三木田 小野	⑤⑧⑨

第4学年	科目	感染症系（臨床）	22時間	責任者	三木田 馨
------	----	----------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 三木田 馨
 木下 学
 川名 明彦
 小林 真一
 今井 耕輔
 金山 敦宏
 小野 岳史

到達目標：

ウイルス、細菌、真菌、寄生虫を始めとする各種微生物の基本的性状、病原性、感染経路、引き起こされる病態について学び、微生物の基本を理解したうえで、それを臨床的視点より捉え直し、知識を新たにす。また、宿主の感受性、症候、病原体に対する免疫応答や、診断、治療、ワクチンを含む予防法、薬剤耐性について学び、宿主-病原体関係の理解を通して、臨床の現場で何が問題となり、その解決のために何が求められているか、その把握に努める。さらに、エボラウイルス病を始めとする感染症の世界的な流行地域、大規模流行とその封じ込めの事例を含む感染症疫学の基礎的技能を生かし、グローバル化した感染症問題に対するさらなる知識向上に努め、その解決へ向けた科学的・合理的思考を発展させる。

1. 知識： 各種感染病原体の基本的性状の理解を基に、具体的臨床症例の演習を通して、その感染経路、病原性、標的臓器について説明できる。また、症候、病態より、実施すべき合理的な診断手技をすべて想起し、適切な治療法について列記できる。同時に、治療薬を巡る薬剤耐性問題、宿主免疫応答とワクチンを含む予防法、感染管理と感染防護について述べるができる。さらに、各種感染症の流行地域を含む感染症疫学的な現状に関する知識を基に、その感染制御、封じ込めに関して説明できる。
2. 態度： 感染症学の専門家になるという意気込みで学習に取り組み、国内外で流行するあらゆる感染症の知識を貪欲に吸収するという熱意を示す。各感染病原体の特性について合理的な理解に努め、それを基に感染症の管理、制御、封じ込めについて創造的な思考を展開する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験、各講義に関する小試験、内容によっては口頭試問を実施し、評価する。
2. 態度： 講義室で学習に取り組む態度、質問等質疑応答時の積極性、教官とのコミュニケーションの程度を見て評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-01-03: 個体の反応</u>					
PS-01-03-01	PS-01-03-02	PS-01-03-03	PS-01-03-04	PS-01-03-05	PS-01-03-06
PS-01-03-07	PS-01-03-08	PS-01-03-09	PS-01-03-10	PS-01-03-11	PS-01-03-12
PS-01-03-13	PS-01-03-14	PS-01-03-15	PS-01-03-16	PS-01-03-17	
<u>PS-03-03: 感染症</u>					
PS-03-03-01	PS-03-03-02	PS-03-03-03	PS-03-03-04	PS-03-03-05	PS-03-03-06
PS-03-03-07	PS-03-03-08	PS-03-03-09	PS-03-03-10	PS-03-03-11	PS-03-03-12
PS-03-03-13	PS-03-03-14	PS-03-03-15	PS-03-03-16	PS-03-03-17	PS-03-03-18
<u>CS-05-04: 感染制御</u>					
CS-05-04-01	CS-05-04-02	CS-05-04-03			

テキスト等：

- ① 戸田新細菌学（南山堂）
- ② 標準微生物学（医学書院）
- ③ Cellular and Molecular Immunology (Elsevier Science Health Science)
- ④ CLINICAL MICROBIOLOGY made ridiculously simple (Medmaster)
- ⑤ 図説 人体寄生虫学（南山堂）
- ⑥ 医科ウイルス学（南江堂）

- ⑦ 標準感染症学 (医学書院)
- ⑧ Fields Virology (Lippincott Williams & Wilkins)
- ⑨ 標準小児科学 第9版 (医学書院)
- ⑩ 防衛医学 (防衛医学振興会) 第4章 感染症学、熱帯医学 (P225-332) ; 第11章 NBC 関連医学 (P649-711)
- ⑪ ハンドアウト、当日配布するプリント

教室： 臨床小講堂1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	2	水	7-8	感染制御 ～理論と実践～	川名	①-⑩⑪
2	4	9	水	7-8	ウイルス感染症の要点	川名	①②④⑥⑦⑧ ⑩⑪
3	4	16	水	7-8	エボラウイルス病 (2014) の 流行はなぜ拡大したのか ～感染封じ込めへ向けた教訓～	金山	①②⑦⑩⑪
4	5	9	金	7-8	血液製剤・移植と感染症	小林	①②⑦⑩⑪
5	5	14	水	7-8	小児と感染症	今井	①②⑦⑨⑩⑪
6	5	21	水	7-8	新型コロナウイルス感染症 ～現代科学が明らかにしたパンデミック～	川名	①②⑤⑦⑩⑪
7	5	28	水	7-8	数理モデルと感染症疫学	金山	①②⑦⑩⑪
8	6	4	水	7-8	最新の化学療法、 最新の感染症学領域の話題	川名	⑩⑪
9	6	18	水	7-8	感染症学の現場 ～バイオテロを疑う～	木下 四ノ宮	①②⑥⑦⑧⑩⑪
10	6	25	水	7-8	寄生虫・熱帯感染症の要点	三木田 小野	①②⑤⑦⑩⑪
11	6	27	金	7-8	細菌、真菌感染症の要点	木下	①②⑦⑩⑪
					感染症系 (臨床) 定期試験		

第2学年	科目	免疫・アレルギー・膠原病系	50時間	責任者	木下 学
------	----	---------------	------	-----	------

担当教官名と連絡先： 木下 学
 中島 弘幸
 中島 正裕
 齋藤 雅史
 佐藤 仁哉

到達目標：

免疫が自然免疫と獲得免疫、細胞性免疫と液性免疫からなるという基本を知り、感染防御、抗腫瘍免疫、自己免疫疾患、アレルギーを始めとする各種疾患に関与していることを学ぶ。重症感染症をはじめとした各種病態における免疫の役割を理解する。

1. 知識： 自然免疫と獲得免疫、細胞性免疫と液性免疫の構成要因と働きと相互作用ならびに各種疾患での役割を理解できる。免疫分子、サイトカインの働き、免疫器官の構造と病理を理解できる。また、英語論文の要旨を概ね理解できる。
2. 態度： 基礎医学研究の重要さと大切さに気付き、科学に対する興味を自らの内に育てると共に真摯に向き合うことを知る。医学は生物学の一分野であり、その可能性と限界を知る謙虚さを身につける。

評価法：

1. 知識： 筆記試験、発表、場合によって口頭試問、レポートなどにより評価する。
2. 態度： 講義室での学習態度、意欲、質疑応答で評価する。講義内容に対する質問も評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-01-03: 個体の反応					
PS-01-03-18	PS-01-03-19	PS-01-03-20	PS-01-03-21	PS-01-03-22	PS-01-03-23
PS-01-03-24	PS-01-03-25	PS-01-03-26	PS-01-03-27	PS-01-03-28	PS-01-03-29
PS-01-03-30					
PS-03-02: 免疫・アレルギー					
PS-03-02-01	PS-03-02-02	PS-03-02-03	PS-03-02-04	PS-03-02-05	

テキスト等

- ① Kenneth Murphy, Casey Weaver & Leslie J. Berg 編： JANEWAY' S Immunobiology 第9版 (Garland science, 2017)
- ② 関修司・安保徹編集： 病態のしくみがわかる免疫学 (医学書院、2010)
- ③ Abul K. Abbas, Andrew H. Lichtman & Shiv Pillai 編： Cellular and Molecular Immunology 第10版 (Elsevier, 2021)
- ④ 仁木利郎、小田義直編： 標準病理学第7版 (医学書院、2023)
- ⑤ Kumar V, Abbas AK & Aster JC 編： Robbins Basic Pathology 第11版 (Elsevier, 2022)
- ⑥ 吉野正、小田義直、坂元亨宇、森井英一編： カラーアトラス 病理組織の見方と鑑別診断 第7版 (医歯薬出版、2020)
- ⑦ 病気が見える Vol. 6 免疫・膠原病・感染症 第2版 (メディックメディア、2018)

教室： 2号館 31 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	19	火	3-4	免疫学総論・概念	木下	①P1-36
2	9	9	火	5-6	自然免疫と獲得免疫	木下	①P1-38
3	9	16	火	3-4	マクロファージと好中球 補体	中島(弘)	①P37-76
4	10	2	木	5-6	細菌と真菌に対する免疫応答	木下	①P77-100, P104-121
5	10	9	木	5-6	免疫グロブリンと T 細胞受容体の構造	中島(正)	①P139-172
6	10	14	火	7-8	サイトカイン、ケモカイン	木下	②P78-91
7	10	28	火	5-6	主要組織適合遺伝子複合体の構造と抗原提示経路	中島(弘)	①P213-256
8	11	4	火	7-8	ウイルスに対する免疫応答	中島(弘)	①P101-104, P121-131
9	11	7	金	3-4	B 細胞と T 細胞の多様性獲得機序	中島(正)	①P173-212
10	11	11	火	3-4	T 細胞の応答様式	中島(弘)	①P346-398
11	11	18	火	7-8	招聘講義	木下	
12	11	21	金	3-4	肝臓の免疫機構	関	②P42-51, P94-103
13	11	28	金	5-6	抗原刺激後の細胞内シグナル応答	齋藤	①P76-100, P257-294
14	11	28	金	7-8	免疫記憶における B 細胞と T 細胞	中島(正)	①P399-492
15	12	2	火	3-4	免疫病理概論、アレルギー反応	病態病理 佐藤	④P94-121、 ⑤P121-145
16	12	5	金	5-6	原発性及び後天性免疫不全	中島(弘)	①P533-600
17	12	5	金	7-8	免疫寛容の維持機構とその破綻	中島(正)	①P643-700
18	1	6	火	1-2	癌免疫に関わる細胞性機序	木下	①P126-133
19	1	8	木	1-2	アレルギー発症の機序と Coombs 分類	中島(正)	P601-642
20	1	29	木	3-4	自己免疫疾患、移植免疫、免疫不全	病態病理 佐藤	④P121-133、 ⑤P145-182
21	2	3	火	1-2	顕微鏡実習 (RA、SLE、橋本病など)	病態病理 佐藤	④P105-126、 ⑤P134-163
22	2	5	木	1-2	病態検討発表会 (自然免疫) 1	木下 中島(弘) 中島(正) 齋藤	
23	2	5	木	3-4	病態検討発表会 (自然免疫) 2	木下 中島(弘) 中島(正) 齋藤	
24	2	12	木	1-2	病態検討発表会 (獲得免疫) 1	木下 中島(弘) 中島(正) 齋藤	①
25	2	12	木	3-4	病態検討発表会 (獲得免疫) 2	木下 中島(弘) 中島(正) 齋藤	
					定期試験		

第3学年	科目	免疫・アレルギー・膠原病系	28時間	責任者	木下 学
------	----	---------------	------	-----	------

担当教官名と連絡先： 木下 学
今井 耕輔
伊藤 健司
佐藤 貴浩
荒木 幸仁
山下 太郎

到達目標：

基礎免疫学を概ね理解したうえで、病原体や癌細胞に対する免疫応答機構を理解する。代表的なアレルギー・自己免疫性疾患、関節リウマチ、膠原病とその類縁疾患、先天性および後天性免疫不全症について、病理、病態生理、症候、診断と治療を理解する。

1. 知識： 病原体や癌細胞に対する免疫応答機構を成長・発達の視点も踏まえて説明できる。代表的なアレルギー疾患、自己免疫性疾患とも呼ばれる膠原病である関節リウマチ、全身性エリテマトーデスとその類縁疾患、および先天性および後天性免疫不全症について、病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
2. 態度： 免疫学に対する興味を自らの内に育てると共に、疾患に対して真摯に向き合うことを知る。現代医学の進歩と、その限界を理解する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験、小テスト、場合によって口頭試問、レポートなどにより評価する。
2. 態度： 講義室での学習態度、意欲、質疑応答で評価する。講義内容に対する質問も評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>GE-01-01：臓器横断的な診療</u>					
GE-01-01-01	GE-01-01-02	GE-01-01-06			
<u>RE-01-02：探究心</u>					
RE-01-02-01					
<u>RE-02-01：医学と医療</u>					
RE-02-01-01					
<u>PS-01-03：個体の反応</u>					
PS-01-03-28	PS-01-03-29	PS-01-03-32	PS-01-03-33		
<u>PS-01-04：病因と病態</u>					
PS-01-04-15	PS-01-04-16				
<u>PS-02-04：皮膚系</u>					
PS-02-04-04					
<u>PS-02-05：運動器(筋骨格)系</u>					
PS-02-05-01	PS-02-05-02	PS-02-05-03	PS-02-05-04	PS-02-05-05	
<u>PS-02-16：耳鼻・咽喉・口腔系</u>					
PS-02-16-01	PS-02-16-02	PS-02-16-03	PS-02-16-04	PS-02-16-05	
<u>PS-03-02：免疫・アレルギー</u>					
PS-03-02-01	PS-03-02-02	PS-03-02-03	PS-03-02-04	PS-03-02-05	

テキスト等：

- ① 標準小児科学 第9版 (医学書院)
- ② 内科学書 改訂第6版 (中山書店)
- ③ 内科学 (朝倉書店)
- ④ EXPER T膠原病・リウマチ (診断と治療社)
- ⑤ 標準皮膚科学 (医学書院)
- ⑥ 新耳鼻咽喉科学 第11版 (南山堂)
- ⑦ 標準整形外科学 (医学書院)
- ⑧ 病態のしくみがわかる免疫学 (医学書院)
- ⑨ 病気が見える Vol. 6 免疫・膠原病・感染症 (メディックメディア)
- ⑩ プリント

教室： 2号館 32 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	9	9	火	3-4	免疫・アレルギー・膠原病 概論	木下	⑩
2	9	12	金	1-2	膠原病総論 膠原病各論1： 全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群	内科 伊藤	②P237-239, P219-222, P228-229, P857-866, P875-881、 ③P1069-1076, P1091-1093、 ④P2-89, P132-139
3	9	12	金	3-4	膠原病各論2： 強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎、混合性結合組織病、重複症候群	内科 伊藤	②P881-891、 ③P1076-1083
4	11	12	水	1-2	膠原病各論3： シェーグレン症候群、成人 Still 病。ベーチェット病	内科 伊藤	③P1064-1069, P1093-1096、 ②P904-906, P908-912、 ③P202-204
5	11	12	水	3-4	膠原病各論4： 血管炎症候群	内科 伊藤	②P916-919、 ③P1058-1063, P1100-1102、 ④P132-139
6	11	28	金	1-2	膠原病各論5： 血清反応陰性脊椎関節症	内科 伊藤	②P891-895、 ③P1086-1090、 ④P158-167, P172-177
7	11	28	金	3-4	膠原病各論6： 関節リウマチ	内科 伊藤	②P895-903、 ③P1084-1091, P1063-1064、 ④P168-171, P182-186, P229-230, P177-181, P187-192
8	12	5	金	1-2	小児の膠原病	小児科 今井	①P303-316、 ⑩
9	12	5	金	3-4	鼻アレルギー	耳鼻科 荒木	⑥
10	1	7	水	1-2	アレルギー総論	皮膚科 端本	②P39-43、 P926-951

11	1	7	水	3-4	アレルギー性自己免疫性皮膚疾患	皮膚科 吉留	⑤P200-219、 P298-324
12	1	21	水	5-6	先天性免疫不全症	小児科 今井	①P281~302、 ⑩
13	1	21	水	7-8	小児のアレルギー疾患	小児科 今井	①P317-333、 ⑩
14	2	12	木	1-2	関節リウマチ	整形外科 山下	②P868-875、 ③P1053-1057、 ④P132-139、 ⑦P229-252
					定期試験		

第3学年	科目	免疫・アレルギー・膠原病系 免疫学実習	22時間	責任者	木下 学
------	----	------------------------	------	-----	------

担当教官名と連絡先： 木下 学 (免疫・微生物学)
 中島 弘幸 (免疫・微生物学)
 中島 正裕 (免疫・微生物学)
 齋藤 雅史 (免疫・微生物学)

到達目標：

免疫学が自然免疫と獲得免疫、細胞性免疫と液性免疫からなるという基本を知り、感染防御、抗腫瘍免疫における免疫機構の役割を各種実験を通して学ぶ。

1. 知識： フローサイトメトリーを用いてマウス胸腺でのT細胞の分化、ヒト及びマウスの単核球表面マーカーと機能を理解する。リンパ球の細胞障害（キラー）活性の測定法、抗体産生等の実習を行うことにより免疫の特性、抗体の機能、細胞間相互作用等を理解する。
2. 技能： マウス、ヒトのリンパ球を比重遠心法で分離でき、リンパ球の細胞障害（キラー）活性を計算できる。マウスに羊赤血球を腹腔投与し、末梢血から血清を分離し、抗体産生能を測定できる。
3. 態度： 積極的に実験を自ら行う。動物実験をその医学的有用性、人道的見地から理解する。

評価法：

1. 知識： レポート、実習試験（筆記）により評価する。
2. 技能： それぞれの実験結果によりグループ（班）ごとに評価する。
3. 態度： 実習への積極性などによる態度、実習の片付け、レポート内容で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-01-03: 個体の反応				
PS-01-03-18	PS-01-03-21	PS-01-03-23	PS-01-03-30	

テキスト等：

- ① 実習書・プリント
 実習の内容の概説、手技等を記載した実習書を配布する。補足分はプリントを配布する。
- ② 病態のしくみがわかる免疫学（医学書院、2010）
- ③ 病気が見える Vol.6 免疫・膠原病・感染症（メディックメディア、2018）

教室： 免疫・微生物学/国際感染症学/法医学実習室および2号館32番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	15	火	5-9	ガイダンス 抗体産生(1) フローサイトメトリー(1)	木下 中島(弘) 中島(正) 齋藤	①②③
2	4	18	金	5-9	フローサイトメトリー(2)	木下 中島(弘) 中島(正) 齋藤	①②③
3	4	22	火	5-9	抗体産生(2) 細胞障害（キラー）活性の測定法	木下 中島(弘) 中島(正) 齋藤	①②③
4	5	9	金	5-9	フローサイトメトリー(3)	木下 中島(弘) 中島(正) 齋藤	①②③
5	6	10	火	7-8	試験		

第1学年	科目	防衛医学系	30時間	責任者	黒川 貴幸
------	----	-------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 黒川 貴幸
 上野 美紀（防衛看護学）
 石神 徳郎
 村上 馨（歯科口腔外科）
 関根 康雅（救急部）
 江頭 早織
 吉松 真也

到達目標：

防衛医学系の基礎となる事項について理解する（特に軍事医学の歴史、災害医学の基礎と関連法制、自衛隊の活動における衛生科の役割やルール等について）。自衛隊と災害の関わりや自衛隊の国際貢献活動についての事例を、医学の観点から学ぶ。

1. 知識： 防衛医学で取り扱う内容の概要を説明できる。
 安全保障の動向および自衛隊の行動根拠につき概要を説明できる。
 災害医学およびトリアージの概要につき説明できる。
 歴史上軍医が挙げた功績の一部を説明できる。
 災害派遣に関わる法制やいわゆる国際人道法につき概要を説明できる。
 自衛隊における多職種連携の概要につき説明できる。
2. 技能： 簡単なトリアージが実施できる。
3. 態度： 防衛医学という分野に興味を感じ、関心を持つ。

評価法：

1. 知識： 定期試験、授業中の小テスト、レポート等で評価する。
2. 技能： 講義及び机上演習中のレポートで評価する。
3. 態度： 授業中や机上演習等での態度、講義終了後に提出する講義メモ等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。
PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
PR-04-01-03	診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べるができる。
GE-02-01-01	地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。
GE-02-01-02	患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。
GE-02-02-01	地域(都会・郊外・へき地・離島を含む)の実情に応じた医療と医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状の概要を理解している。
GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。

GE-02-02-05	地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。
GE-02-03-01	地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。
LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
RE-02-01-01	医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。
S0-01-05-02	健康危機管理(感染症、放射線事故、災害等の有事)に関連する基本的な制度や法律を理解している。
S0-01-05-03	災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。
S0-04-03-02	自然災害(新興感染症を含む)が起きた際に必要とされる医師の役割を理解している。
S0-04-05-01	医学・医療の歴史的変遷を踏まえ現代の医学的問題を相対化できる。

テキスト等：

- ① 参考書 1： 防衛医学（防衛医学振興会）
- ② 参考書 2： DMAT 標準テキスト（へるす出版）
- ③ 参考書 3： 自衛隊医官のための治療・後送ハンドブック（防衛医学振興会）
- ④ 参考書 4： Textbook of Military Medicine (Office of The Surgeon General)
- ⑤ 参考書 5： Emergency War Surgery 5th edition US Army
- ⑥ 参考書 6： 六法全書（有斐閣）

教室： 1号館 21 番教室（9月8日は、臨床大講堂）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	21	月	7-8	防衛医学の概要・自衛隊医官のキャリアパス 1	黒川	①P3-18
2	5	12	月	7-8	軍事医学史 1	江頭	①P32-34
3	5	19	月	7-8	軍事医学史 2	江頭	①P32-34
4	5	26	月	7-8	危機管理	黒川	①P3-18
5	6	2	月	7-8	防衛法制	関根	
6	6	23	月	7-8	行動計画	黒川	
7	6	30	金	7-8	戦時国際法	黒川	①P208-214
8	7	4	金	7-8	自衛隊衛生総論	黒川	
9	7	7	月	7-8	災害医療 1（概論）	黒川	①P171-207
10	7	14	月	7-8	国際貢献・多職種連携 1	黒川 村上	
11	7	25	金	5-6	災害医療 2（関連法制）	黒川	①P208-214
12	8	18	月	7-8	国際貢献・多職種連携 2	黒川 (招)上野	
13	8	25	月	7-8	災害医療 3（大量傷者対応概論）	黒川	①P32-34
14	9	8	月	5-6	災害医療 4-1（机上演習 1）	防衛医学 教官	①P32-34
15	9	8	月	7-8	災害医療 4-2（机上演習 2）	防衛医学 教官	①P32-34

				定期試験	黒川	①P3-18
--	--	--	--	------	----	--------

注：(招) は招聘講師

招聘講師へ連絡を取りたい場合は、まず防衛医学教官へ連絡されたい。

第2学年	科目	防衛医学系	28時間	責任者	黒川 貴幸
------	----	-------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 黒川 貴幸
 伊藤 正孝（再生発生学）
 木村 幹彦（特殊環境衛生）
 石神 徳郎
 江頭 早織
 吉松 真也

到達目標：

陸海空自衛隊衛生の活動の実際について理解する。防衛医学各論および自衛隊医官のキャリアパスについて、基礎的な事項を理解する。

1. 知識： 安全保障の動向を説明できる。
 防衛医学を概説できる。
 戦傷病につき説明できる。
 外傷に対する初期対応につき概要を説明できる。
 特殊環境医学、健康管理、特殊戦傷病の基礎的な事項を説明できる。
 自衛隊医官のキャリアパスにつき概要を説明できる。
2. 技能： ターニケットによる止血が実施できる。
3. 態度： 防衛医学という分野に興味を感じ、関心を持つ。医学を学ぶという意識を高める。

評価法：

1. 知識： 定期試験、授業中の小テスト、レポート等で評価する。
2. 技能： 講義中のレポート及び課題発表等で評価する。
3. 態度： 授業中や課題発表等での態度、講義終了後に提出する講義メモ等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。
PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
PR-04-01-03	診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べることができる。
GE-02-01-01	地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。
GE-02-01-02	患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。
GE-02-02-01	地域(都会・郊外・へき地・離島を含む)の実情に応じた医療と医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状の概要を理解している。
GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。
GE-02-02-05	地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。
GE-02-03-01	地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。

LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
RE-02-01-01	医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
PS-03-05-01	地域の救急医療体制について病院前救護体制、メディカルコントロール、初期・二次・三次救急医療の概念を用いて概要を理解している。
PS-03-05-03	ショックの患者の初期対応と原因に応じた治療について理解している。
PS-03-05-06	中毒患者が呈するトキシドローームに基づき病歴と身体所見から中毒の起因物質を推定できる。
PS-03-05-10	高温による障害(熱中症)、低温による障害(低体温症)の症候、主な検査・診断、治療法について理解している。
PS-03-05-11	気圧、振動、騒音による障害の症候、主な検査・診断、治療法について概要を理解している。
PS-03-05-12	外傷の病態と診断の要点について理解している。
PS-03-05-13	熱傷の重症度を評価し(気道熱傷の有無、熱傷面積及び深達度)、治療方針について理解している。
CS-03-03-04	外傷の初期対応の実施を補助できる。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。
SO-04-03-02	自然災害(新興感染症を含む)が起きた際に必要とされる医師の役割を理解している。
SO-04-05-01	医学・医療の歴史的変遷を踏まえ現代の医学的問題を相対化できる。

テキスト等：

- ① 参考書 1： 防衛医学（防衛医学振興会）
- ② 参考書 2： DMAT 標準テキスト（へるす出版）
- ③ 参考書 3： 自衛隊医官のための治療・後送ハンドブック（防衛医学振興会）
- ④ 参考書 4： Textbook of Military Medicine (Office of The Surgeon General)
- ⑤ 参考書 5： Emergency War Surgery 5th edition US Army 防衛医学（防衛医学振興会）

教室： 2号館 31 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	7	火	1-2	1 学年の復習・海自衛生の実際	黒川	①P3-18
2	10	7	火	3-4	陸自衛生の実際	石神	
3	10	7	火	5-6	空自衛生の実際	吉松	
4	10	9	木	1-2	外傷総論	黒川	①P421-435, 440-448
5	10	16	木	1-2	戦傷病総論	黒川	
6	11	7	金	1-2	戦傷 1（銃創・爆傷・熱傷）	黒川	①P19-37, 39-58
7	11	11	火	1-2	特殊戦傷病 1（総論・核兵器）	石神	①P649-655
8	11	13	木	1-2	戦傷 2（TCCC・第一線救護）	黒川	①P160-161
9	11	20	木	1-2	特殊環境医学総論・戦病	黒川	①P3-18
10	12	9	火	1-2	健康管理・航空身体検査	吉松	①P19-37, 39-49
11	12	11	木	1-2	登山医学	伊藤	
12	1	6	火	5-6	特殊戦傷病 2（化学兵器）	石神	①P673-669

13	1	26	月	5-6	航空医学（歴史等・航空生理）	木村	
14	1	26	月	7-8	自衛隊医官のキャリアパス2・ 統幕衛生の実際	黒川 (招)	
					定期試験		

注：(招) は招聘講師

招聘講師へ連絡を取りたい場合は、まず防衛医学教官へ連絡されたい。

第3学年	科目	防衛医学系	26時間	責任者	黒川 貴幸
------	----	-------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 黒川 貴幸
 加来 浩器（広域感染症）
 石神 徳郎
 江頭 早織
 吉松 真也

到達目標

防衛医学系の中核となる事項について、特に航空医学、潜水医学、登山医学の実際を学ぶ。防衛医学研究の動向の一端を理解する。防衛医学研究と安全保障の関係、とりわけ医学研究における Dual Use Research 問題の存在に関心を持つ。陸海空自衛隊衛生の近年の動向について理解する。

1. 知識： 化学剤、生物剤、核兵器が人体に及ぼす影響と除染や防護法につき説明できる。
 低圧環境下の病態生理、疾病予防、健康管理、傷病者の航空搬送につき説明できる。
 高圧あるいは閉鎖環境下での病態生理、健康管理につき説明できる。
 潜水障害の予防と対処法につき説明できる。
 防衛医学研究の概要につき説明できる。
2. 技能： 特殊戦傷病対応を想定し、地図上にゾーニングと救護所の設置位置を例示できる。
3. 態度： 防衛医学で扱うべき事項をより広範囲かつ深化させて理解しようと努める。

評価法：

1. 知識： 定期試験、授業中の小テスト、レポート等で評価する。
2. 技能： 実習中のレポート等で評価する。
3. 態度： 授業や実習等での態度、講義終了後に提出する講義メモ等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する（利益相反等）。
PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
PR-04-01-03	診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べることができる。
GE-01-01-02	適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。
GE-02-01-01	地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。
GE-02-01-02	患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。
GE-02-02-01	地域（都会・郊外・へき地・離島を含む）の実情に応じた医療と医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状の概要を理解している。
GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。

GE-02-02-05	地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。
GE-02-03-01	地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。
LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
RE-01-01-01	常識を疑う。
RE-01-01-02	何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
RE-01-02-01	最先端の研究に刺激を受ける。
RE-01-02-02	ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。
RE-02-01-01	医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
PS-03-05-01	地域の救急医療体制について病院前救護体制、メディカルコントロール、初期・二次・三次救急医療の概念を用いて概要を理解している。
PS-03-05-03	ショックの患者の初期対応と原因に応じた治療について理解している。
PS-03-05-11	気圧、振動、騒音による障害の症候、主な検査・診断、治療法について概要を理解している。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。
S0-04-03-02	自然災害(新興感染症を含む)が起きた際に必要とされる医師の役割を理解している。
S0-04-05-01	医学・医療の歴史的変遷を踏まえ現代の医学的問題を相対化できる。
S0-05-01-05	地域医療提供体制に関する諸課題の相互関連性の概要を理解している。
S0-05-01-06	医療提供体制と医師の働き方について自身の考えを述べることができる。

テキスト等：

- ① 参考書 1： 防衛医学（防衛医学振興会）
- ② 参考書 2： DMAT 標準テキスト改訂第 2 版（へるす出版）
- ③ 参考書 3： 自衛隊医官のための治療・後送ハンドブック（防衛医学振興会）
- ④ 参考書 4： 大量破壊兵器事案における救急処置（じほう）
- ⑤ 参考書 5： 臨床航空医学（鳳鳴堂）
- ⑥ 参考書 6： 宇宙航空医学入門（鳳文書林出版販売）
- ⑦ 参考書 7： 潜水医学入門（大修館書店）
- ⑧ 参考書 8： Textbook of Military Medicine (Office of The Surgeon General)
- ⑨ 参考書 9： Emergency War Surgery 5th edition US Army
- ⑩ 当日配布するプリント
- ⑪ その他防衛医学（防衛医学振興会）

教室： 2号館 32 番教室（戦傷病対応演習、防衛医学研究 2・3 については別途指示する。）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	9	18	木	1-2	潜水医学総論・潜水艦救難	黒川 (招)	①P351-389
2	9	18	木	3-4	海自衛生トピックス	海幕首席 衛生官	
3	10	14	火	3-4	陸自衛生トピックス	陸幕衛生 部長	①P399-412
4	10	30	木	1-2	特殊戦傷病 3（生物兵器）	加來	
5	10	30	木	3-4	防衛医学研究 1	加來	
6	11	14	金	1-2	宇宙医学	黒川 (招)	①
7	11	14	金	3-4	潜水医学各論（潜水生理学、減圧障害治療）	黒川 (招)	①P351-389
8	11	18	火	1-2	特殊戦傷病 4（放射線障害）	黒川 (招)	
9	11	18	火	3-4	空自衛生トピックス	空幕首席 衛生官	
10	12	2	火	1-2	戦傷病対処演習 1	石神	
11	12	2	火	3-4	戦傷病対処演習 2	石神	
12	12	23	火	1-2	防衛医学研究 2	防衛医学 教官	
13	12	23	火	3-4	防衛医学研究 3	防衛医学 教官	
					定期試験		

注：(招) は招聘講師

招聘講師及び陸幕衛生部長、海幕首席衛生官、空幕首席衛生官へ連絡を取りたい場合は、まず防衛医学教官へ連絡されたい。

第3学年	科目	IPMHE 参加準備 (防衛医学・防衛看護学)	12 時間	責任者	黒川 貴幸 上野 美紀
------	----	----------------------------	-------	-----	----------------

担当教官名と連絡先：

黒川 貴幸 (防衛医学)
 上野 美紀 (防衛看護学)
 石神 徳郎 (防衛医学)
 楠見 ひとみ (防衛看護学)
 佐藤 昭太 (防衛看護学)
 江頭 早織 (防衛医学)
 吉松 真也 (防衛医学)
 荒科 悠子 (防衛看護学)

到達目標

2025 年に日本で開催されるインド太平洋国際軍事医学会議 (Indo-Pacific Military Health Exchange) への参加に伴い、国際学会へ参加することの意義を理解する。学会で討論することにより、発表内容を理解する。国際的な軍事医学の動向に興味を持つ。

1. 知識：参加者と討論・交流するための必要な素養・知識を習得する。
学会参加を通じて知識をさらに深める。
2. 技能：参加者と英語で討論・交流し、発表内容の理解に努める。
学会発表の方法に関する概要を理解する。
3. 態度：防衛医科大学校学生としてふさわしい態度で学会に参加する。

評価法：

1. 知識：IPMHE 終了後のレポート等で評価する。
2. 技能：実習中のレポート等で評価する。
3. 態度：授業中や実習等での態度、講義終了後に提出するレポート等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。
PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
PR-04-01-03	診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べるができる。
GE-01-01-02	適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。
GE-02-01-01	地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。
GE-02-01-02	患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。
GE-02-02-01	地域(都会・郊外・へき地・離島を含む)の実情に応じた医療と医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状の概要を理解している。
GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。

GE-02-02-05	地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。
GE-02-03-01	地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。
LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
RE-01-01-01	常識を疑う。
RE-01-01-02	何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
RE-01-02-01	最先端の研究に刺激を受ける。
RE-01-02-02	ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。
RE-02-01-01	医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
PS-03-05-01	地域の救急医療体制について病院前救護体制、メディカルコントロール、初期・二次・三次救急医療の概念を用いて概要を理解している。
PS-03-05-03	ショックの患者の初期対応と原因に応じた治療について理解している。
PS-03-05-11	気圧、振動、騒音による障害の症候、主な検査・診断、治療法について概要を理解している。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。
S0-04-03-02	自然災害(新興感染症を含む)が起きた際に必要とされる医師の役割を理解している。
S0-04-05-01	医学・医療の歴史的変遷を踏まえ現代の医学的問題を相対化できる。
S0-05-01-05	地域医療提供体制に関する諸課題の相互関連性の概要を理解している。
S0-05-01-06	医療提供体制と医師の働き方について自身の考えを述べることができる。

テキスト等：

- ① 当日配布するプリント
- ② その他

教室：臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	21	木	7-9	事前説明・グループ学習1	黒川 上野 全教官	
2	10	20	月	7-9	グループ学習2	黒川 上野 全教官	
3	11	21	金	7-9	グループ学習3	黒川 上野 全教官	
4	12	16	火	7-9	レポート作成・発表	黒川 上野 全教官	

第4学年	科目	防衛医学系	26時間	責任者	黒川 貴幸
------	----	-------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 黒川 貴幸
 加来 浩器（広域感染症）
 清住 哲郎（救急部）
 徳野 慎一（非常勤講師）
 石神 徳郎
 霧生 信明（救急部）
 江頭 早織
 吉松 真也

到達目標：

防衛医学系の応用となる事項について、特に災害医学、国際貢献活動における感染症、地域の救急・防災システムを学ぶ。机上訓練やケーススタディーを通じて、自ら考える力をつける。

- 知識： 災害対応における医師・医官の役割を説明できる。
 国際貢献活動における感染症対策や熱帯医学の重要性について概説できる。
 感染症疫学調査を用いた感染リスク評価について説明できる。
 自衛隊における身体検査や健康管理の目的と概要を説明できる。
 国際貢献活動の枠組みやルール、関与する国際機関についての概要を説明できる。
 自衛隊の部隊等において医官として対応すべき事項を説明できる。
 自衛隊医官のキャリアパスにつき説明できる。
- 技能： 災害現場での医療チームの行動について立案できる。
 トリアージタグの使用法を理解し、実際に使用できる。
- 態度： 防衛医学への探究心及び問題意識を示す。

評価法：

- 知識： 定期試験、授業中の小テスト、レポート等で評価する。
- 技能： 実習中のレポート等で評価する。
- 態度： 授業やグループ学習での態度、講義終了後に提出する講義メモ等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する（利益相反等）。
PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
PR-04-01-03	診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べることができる。
GE-01-01-02	適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。
GE-02-01-01	地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。
GE-02-01-02	患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。
GE-02-02-01	地域（都会・郊外・へき地・離島を含む）の実情に応じた医療と医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状の概要を理解している。

GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。
GE-02-02-05	地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。
GE-02-03-01	地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。
LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
RE-02-01-01	医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
PS-03-03-09	新興感染症等についてその感染経路を理解し、必要な感染対策を理解している。
CS-03-03-03	頻度や緊急性の高い患者に対する初期対応(二次救命処置を含む)の実施を補助できる。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種との役割を理解している。
SO-01-05-02	健康危機管理(感染症、放射線事故、災害等の有事)に関連する基本的な制度や法律を理解している。
SO-01-05-03	災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。
SO-04-03-01	気候変動と医療との関係性を理解し、患者が抱える健康に関する課題と気候変動との関係を想像できる。
SO-04-03-02	自然災害(新興感染症を含む)が起きた際に必要とされる医師の役割を理解している。
SO-04-05-01	医学・医療の歴史の変遷を踏まえ現代の医学的問題を相対化できる。
SO-05-02-01	国際的に取り組む必要のある医療・健康課題について、歴史・社会的背景を踏まえて、概要を理解している。

テキスト等：

- ① 参考書 1： 防衛医学（防衛医学振興会）
- ② 参考書 2： DMAT 標準テキスト（へるす出版）
- ③ 参考書 3： 自衛隊医官のための各種災害派遣対応マニュアル（防衛医学振興会）
- ④ 参考書 4： 自衛隊医官のための国際協力活動ハンドブック（防衛医学振興会）
- ⑤ 参考書 5： 自衛隊衛生のための感染対策マニュアル 2015（防衛医学振興会）
- ⑥ 参考書 6： 自衛隊医官のための治療・後送ハンドブック（防衛医学振興会）
- ⑦ 当日配布するプリント
- ⑧ その他防衛医学（防衛医学振興会）

教室： 臨床小講堂 1（グループ学習については別に記載したとおり）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	2	水	5-6	自衛隊医官のキャリアパス 3	江頭	
2	4	9	水	5-6	ケーススタディー（災害医療）	黒川	①P227-279
3	4	16	水	5-6	グループ学習 1	防衛医学 教官	①P227-279
4	5	7	水	5-6	グループ学習 2	防衛医学 教官	①P227-279
5	5	14	水	5-6	グループ学習 3	防衛医学 教官	
6	5	19	月	5-6	グループ学習 4	防衛医学 教官	
7	5	29	木	7-8	ケーススタディー（サリン）	徳野	
8	6	4	水	5-6	ケーススタディー（部隊での慢性疾患）	吉松	

9	6	9	月	5-6	国際貢献と感染症 1	加來	
10	6	18	水	5-6	国際貢献と感染症 2	加來	
11	6	23	月	3-4	災害医療 5 (大量傷者対応各論)	霧生	
12	6	25	水	5-6	国際貢献と感染症 3	加來	
13	7	9	水	5-6	ケーススタディー (部隊での急性・救急疾患)	黒川	
					定期試験		

グループ学習区分 (教場は別途指示する)

グループ学習				授業項目	担当者	テキスト等
4/16 (水)	5/7 (水)	5/14 (水)	5/19 (月)			
A	B	C	D	気道管理	石神 江頭 救急部 教官	①P217-224
B	A	D	C	トリアージ演習	清住 黒川 吉松	①P32-34
	C/D		A/B	机上訓練 (列車事故対応)	黒川	①P171-203
C/D		A/B		身体検査と健康管理	吉松	①P471-564, P771-784

グループ学習の注意：

学年全体を計4グループ (A・B・C・D) に分け、各グループにリーダーを1名おく。グループの分け方及び集合場所は別途指示する。

第3学年	科目	社会医学系 衛生学公衆衛生学	88時間	責任者	角田 正史
------	----	-------------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 角田 正史
 岩澤 聡子
 田中 光信
 吉岡 範幸
 鈴木 聡子
 中村 好宏
 櫻井 裕
 片桐 朝美
 内田 和彦

到達目標：

予防医学の全体像を把握し、医学の社会的意味を理解する。疫学、環境保健、産業保健、国際保健、社会保障制度について理解する。

1. 知識： 予防医学の全体像を把握させ、医学の社会的意味を説明できる。疫学、環境保健、産業保健、国際保健、社会保障制度の概略を説明できる。統計学で学んだ基礎的な統計の知識を疫学・根拠に基づいた医療に応用し理解できる。
2. 態度： 課題に対し、真摯に取り組む。医療制度を支えている様々な職種に対する感謝を深める。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 授業中の受講態度や質疑応答等により評価する。

モデル・コア・カリキュラムとの対応：

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01： 誠実さ</u>
PR-01-01-02
<u>PR-02-03： 品格・礼儀</u>
PR-02-03-01 PR-02-03-02
<u>PR-04-01： 臨床倫理</u>
PR-04-01-01 PR-04-01-02
<u>GE-01-02： 生物・心理・社会的な問題への包括的な視点</u>
GE-01-02-01 GE-01-02-02
<u>GE-01-03： 患者中心の医療</u>
GE-01-03-02
<u>GE-01-04： 根拠に基づいた医療 (EBM)</u>
GE-01-04-01 GE-01-04-03
<u>GE-01-05： 行動科学</u>
GE-01-05-01 GE-01-05-03
<u>GE-01-06： 緩和ケア</u>
GE-01-06-01 GE-01-06-02 GE-01-06-05
<u>GE-02-01： プライマリ・ケアにおける基本概念</u>
GE-02-01-01 GE-02-01-02
<u>GE-02-02： 地域におけるプライマリ・ケア</u>
GE-02-02-01 GE-02-02-02 GE-02-02-03 GE-02-02-04 GE-02-02-05

GE-02-03: 医療資源に応じたプライマリ・ケア

GE-02-03-01 GE-02-03-02

GE-02-04: 在宅におけるプライマリ・ケア

GE-02-04-01 GE-02-04-02

GE-03-01: 人生のプロセス

GE-03-01-01 GE-03-01-02 GE-03-01-03

GE-03-04: 学童期、思春期、青年期、成人期

GE-03-04-04

GE-03-05: 老年期

GE-03-05-05 GE-03-05-06 GE-03-05-07

GE-03-06: 終末期

GE-03-06-01 GE-03-06-02 GE-03-06-03 GE-03-06-05 GE-03-06-06

GE-04-01: 医学的・文化的・社会的文脈における健康

GE-04-01-01 GE-04-01-02 GE-04-01-03 GE-04-01-04 GE-04-01-05 GE-04-01-06

GE-04-01-07

LL-01-01: 生涯学習の実践

LL-01-01-01

LL-02-01: 医療者教育の実践

LL-02-01-01

RE-02-01: 医学と医療

RE-02-01-01

RE-02-02: 論文読解

RE-02-02-01

RE-03-03: 研究手法

RE-03-03-02

RE-04-01: 研究発表

RE-04-01-01 RE-04-01-02 RE-04-01-03

RE-05-02: 対象者の保護

RE-05-02-01

IT-01-02: 情報・科学技術利用にあたっての倫理観とルール

IT-01-02-01 IT-01-02-02

CS-02-01: 診療録記載

CS-02-01-01

CS-05-01: 医療の質向上

CS-05-01-01

CS-05-02: 医療従事者の健康管理

CS-05-02-01 CS-05-02-02

CS-05-03: 安全管理体制

CS-05-03-02

CS-05-04: 感染制御

CS-05-04-01 CS-05-04-02

<u>CS-05-05: 患者安全の配慮と促進</u>					
CS-05-05-01	CS-05-05-02				
<u>IP-02-03: 自職種の省察</u>					
IP-02-03-01					
<u>IP-02-04: 他職種の理解</u>					
IP-02-04-01					
<u>S0-01-01: 公衆衛生</u>					
S0-01-01-01	S0-01-01-02	S0-01-01-03	S0-01-01-04		
<u>S0-01-02: 社会保険、公的扶助、社会福祉</u>					
S0-01-02-01	S0-01-02-02	S0-01-02-03			
<u>S0-01-03: 地域保健</u>					
S0-01-03-01	S0-01-03-02	S0-01-03-03	S0-01-03-04	S0-01-03-05	S0-01-03-06
<u>S0-01-04: 産業保健・環境保健</u>					
S0-01-04-01	S0-01-04-02	S0-01-04-03	S0-01-04-04		
<u>S0-01-05: 健康危機管理</u>					
S0-01-05-01	S0-01-05-02				
<u>S0-02-01: 保健統計</u>					
S0-02-01-01	S0-02-01-02				
<u>S0-02-02: 疫学</u>					
S0-02-02-01	S0-02-02-02	S0-02-02-03	S0-02-02-04	S0-02-02-05	S0-02-02-06
S0-02-02-07					
<u>S0-02-03: データ解析と統計手法</u>					
S0-02-03-01	S0-02-03-02	S0-02-03-03	S0-02-03-04	S0-02-03-05	
<u>S0-03-01: 死と法</u>					
S0-03-01-01	S0-03-01-02	S0-03-01-03	S0-03-01-05		
<u>S0-04-01: 健康と医療</u>					
S0-04-01-01	S0-04-01-02				
<u>S0-04-03: 気候変動と医療</u>					
S0-04-03-01	S0-04-03-02				
<u>S0-04-06: 医療経済</u>					
S0-04-06-01					
<u>S0-04-07: 社会的公正</u>					
S0-04-07-01					
<u>S0-05-01: 国内の医療職の役割や医療体制</u>					
S0-05-01-01	S0-05-01-02	S0-05-01-03	S0-05-01-04	S0-05-01-05	S0-05-01-06
<u>S0-05-02: グローバルヘルスの役割や医療体制</u>					
S0-05-02-01	S0-05-02-02	S0-05-02-03			
<u>S0-06-01: 社会科学と医療との関係</u>					
S0-06-01-01	S0-06-01-02	S0-06-01-03			

テキスト等：

- ① シンプル衛生学公衆衛生学
- ② NEW 衛生学公衆衛生学
- ③ 公衆衛生がみえる
- ④ 国民衛生の動向（厚生統計協会）
- ⑤ はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第3版
- ⑥ ハンド・アウト（担当科のシラバスなど）
- ⑦ 当日配布するプリント

教室： 2号館 32 番教室（11月17日は臨床大講堂）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	9	水	3-4	予防医学総論	櫻井	
2	4	11	金	3-4	衛生学公衆衛生学総論	角田	
3	4	22	火	3-4	人口統計	角田	
4	5	7	水	3-4	疫学1	岩澤	
5	5	14	水	3-4	水	鈴木	
6	5	19	月	3-4	疫学2	岩澤	
7	5	20	火	3-4	疫学3	岩澤	
8	5	26	月	3-4	スクリーニング	岩澤 中村	
9	6	16	月	5-6	環境保健の概念	角田	
10	7	7	月	3-4	EBM	岩澤	
11	7	8	火	3-4	地球環境問題	岩澤	
12	7	10	木	3-4	空気	岩澤	
13	8	22	金	3-4	疾病統計1	角田	
14	8	25	月	3-4	疾病統計2	角田	
15	8	26	火	3-4	感染症1	吉岡	
16	8	29	金	3-4	感染症2	田中	
17	10	2	木	3-4	食中毒	吉岡	
18	10	7	火	3-4	産業医学総論	角田	
19	10	10	金	3-4	産業中毒学1	角田	
20	10	15	水	3-4	放射線・その他	田中	
21	10	16	木	3-4	産業中毒学3	吉岡	
22	10	22	水	3-4	産業中毒学2	岩澤	
23	10	29	水	3-4	作業関連疾病	岩澤	
24	11	6	木	3-4	難聴騒音・その他	吉岡	
25	11	7	金	3-4	産業中毒学4	吉岡	
26	11	10	月	3-4	労働衛生法規	角田	
27	11	13	木	3-4	産業衛生活動	宮田 角田	
28	11	17	月	3-4	予備（衛生学後期試験）	全員	
29	11	20	木	3-4	学校保健・国民栄養・実習説明1	鈴木	
30	11	21	金	5-6	生活習慣病と予防	吉岡	
31	12	1	月	3-4	障害者福祉	片桐	
32	12	8	月	3-4	老人保健福祉介護1	片桐	
33	12	9	火	3-4	老人保健福祉介護2	片桐	
34	12	15	月	3-4	地域保健1・保健所	鈴木	
35	12	17	水	3-4	医療経済	田中	
36	12	22	月	3-4	母子保健・児童福祉	片桐	
37	1	8	木	3-4	実習学習1	全員	
38	1	15	木	3-4	実習学習2	全員	

39	1	19	月	3-4	メンタルヘルス	内田	
40	1	26	月	3-4	医療制度	鈴木	
41	1	29	木	3-4	医師法・医療法	角田	
42	2	2	月	3-4	医療訴訟・終末期医療と死の概念	角田	
43	2	9	月	3-4	国際保健	春木 角田	
44	2	16	月	3-4	地域保健2・福祉	鈴木	

第3学年	科目	社会医学系 衛生学（実習）	10時間	責任者	角田 正史
------	----	---------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 角田 正史
 岩澤 聡子
 田中 光信
 吉岡 範幸
 鈴木 聡子

到達目標： 広く社会全体を包含した環境と健康・疾病について理解を深める。

1. 知識： 授業で得た環境保健、産業保健の実際を説明できる。
2. 技能： 環境保健においては浄水場の工程を理解でき、産業保健については実際の工程の中で、産業保健の3管理を指摘できる。
3. 態度： 説明者に対し、礼意をもって接する。

評価法：

1. 知識： レポートで評価する。
2. 技能： 実習中の見学、及びレポートにて評価する。
3. 態度： 実習中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PR-01-01: 誠実さ
PR-01-01-02
PR-02-03: 品格・礼儀
PR-02-03-01 PR-02-03-02
S0-01-04: 産業保健・環境保健
S0-01-04-01 S0-01-04-02 S0-01-04-03 S0-01-04-04

テキスト等：

- ① シンプル衛生学公衆衛生学
- ② NEW 衛生学公衆衛生学
- ③ ハンド・アウト（担当科のシラバスなど）
- ④ 当日配布するプリント

教室： 2号館 32 番教室、衛生学公衆衛生学実習室および学外の施設

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	3	金	5-9	産業保健見学・食品衛生見学	全員	産業職場見学予定
2	10	10	金	5-9	環境保健見学	全員	環境保健関連施設見学予定

（実地見学が不可能な場合には web にて代替する）

第3学年	科目	社会医学系 公衆衛生学（実習）	20時間	責任者	角田 正史
------	----	--------------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 角田 正史
 岩澤 聡子
 田中 光信
 吉岡 範幸
 鈴木 聡子

到達目標：

見学対象である衛生学・公衆衛生学関連施設、産業保健の現場を自らの興味・関心で選択し、事前の学習を行った上で、実際の施設見学において現場の実際を体験し、体験を基に関連資料を収集し、レポートにまとめ、施設や産業保健実践の意義、内容などを他者に理解できるように発表を行う。

1. 知識： 対象施設・産業保健現場に関する知識を説明できる。
2. 技能： 実習において説明を理解でき、実習前後に関連した資料の収集ができ、レポートを作成し内容を他の施設・現場において実習を行った者に対して、わかりやすく簡潔にプレゼンテーションすることができる。
3. 態度： 課題に対し、真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 実習、最終プレゼンテーションおよびレポートで評価する。
2. 技能： 実習、最終プレゼンテーションおよびレポートで評価する。
3. 態度： 実習（実習への出席、実習中の態度）、最終プレゼンテーションおよびレポートで評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01： 誠実さ</u>			
PR-01-01-02			
<u>PR-02-03： 品格・礼儀</u>			
PR-02-03-01	PR-02-03-02		
<u>LL-01-01： 生涯学習の実践</u>			
LL-01-01-01			
<u>LL-02-01： 医療者教育の実践</u>			
LL-02-01-01			
<u>RE-02-02： 論文読解</u>			
RE-02-02-01			
<u>RE-03-03： 研究手法</u>			
RE-03-03-02			
<u>RE-04-01： 研究発表</u>			
RE-04-01-01	RE-04-01-02	RE-04-01-03	
<u>S0-01-03： 地域保健</u>			
S0-01-03-01	S0-01-03-05		
<u>S0-01-04： 産業保健・環境保健</u>			
S0-01-04-01	S0-01-04-02	S0-01-04-03	S0-01-04-04

テキスト等： 講座で用意した実習要領

教室： 臨床小講堂1（1月19日のみ臨床大講堂）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	12	4	木	5-9	見学先に関する資料調査または実地見学	全員	
2	12	17	水	5-9	実地見学または資料調査	全員	
3	12	24	水	5-9	実地見学に基づく資料調査、発表原稿作成	全員	
4	1	19	月	5-9	発表	全員	

（実地見学が不可能な場合は web 又は実習室における実習で代替する）

第4学年	科目	社会医学系 統計学	42時間	責任者	中村 好宏
------	----	-----------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 中村 好宏
小田 牧子
金武 潤
角田 正史

教育目標：

確率論的・統計学的なものの見方、確率変数と標本それぞれの分布、統計的推定と仮説検定の原理を理解するとともに、習得した理論を現実の医学生物学データに応用し、解析しうる実力を身につける。

1. 知識： 確率の概念を理解し、説明できる。母集団と標本を区別し、推測統計の概念を説明できる。仮説検定など、医学の分野で頻繁に用いられる統計手法を理解し、説明できる。
2. 技能： 一般的な記述統計の手法を用いてデータの集計、視覚化などができる。ランダムな現象に対して、確率をもって対応できる。標本から母集団に関する推測を行うことができる。仮説検定で、実際の問題を処理することができる。
3. 態度： 知識、技能の習得に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 技能： 筆記試験および講義内で行う演習により評価する。
3. 態度： 講義中の態度や提出物により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

S0-02-03-01	尺度(間隔、比、順序、名義)について説明できる。
S0-02-03-02	データの分布(欠損値を含む)について説明できる。
S0-02-03-03	正規分布の母平均の信頼区間について説明できる。
S0-02-03-04	相関分析、平均値と割合の検定等を実施できる。
S0-02-03-05	多変量解析の意義を理解している。

準備教育モデル・コア・カリキュラム「3. 情報の科学(2) 統計の基礎」の1)～15)、(3) 統計手法の適用」の1)～11)と対応する。ただし、項目を整理統合したため1対1の対応にはなっていない。

テキスト：

- ① 笹渕裕介共著「超入門！すべての医療従事者のためのRStudioではじめる医療統計」金芳堂（2020）
- ② 当日配布するプリント

教室： 臨床小講堂1および医用工学実習室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	3	木	1-2	確率とその応用（遺伝子多型）	中村 金武	
2	4	10	木	1-2	確率変数、確率分布	中村	
3	4	15	火	1-2	ランダム標本、統計量とその確率分布	中村	
4	4	17	木	1-2	点推定と最尤法	中村	
5	5	1	木	1-2	区間推定（1）	中村	
6	5	8	木	1-2	区間推定（2）	中村	
7	5	13	火	1-2	仮説検定の基本概念	中村	
8	5	20	火	1-2	平均値の検定、比率の検定	中村	
9	5	22	木	1-2	ここまでのまとめ	中村	
10	5	27	火	1-2	中間試験	中村 小田	
11	5	29	木	1-2	RStudioの使い方	中村 小田	

12	6	3	火	1-2	Rによるデータハンドリングと記述統計	中村 小田	
13	6	5	木	1-2	Rによる平均値の検定、比率の検定	中村 小田	
14	6	10	火	1-2	適合度の検定、分割表の検定、リスク比、オッズ比の検定	中村 角田	
15	6	12	木	1-2	Rによる適合度の検定、分割表の検定	中村 小田	
16	6	17	火	1-2	分散分析、ノンパラメトリック検定	中村	
17	6	19	木	1-2	Rによる分散分析、ノンパラメトリック検定	中村 小田	
18	6	24	火	1-2	線形モデル	中村	
19	6	26	木	1-2	Rによるロジスティック回帰	中村 小田	
20	7	1	火	1-2	Rによる生存時間解析	中村 小田	
21	7	3	木	1-2	まとめ	中村	
22					(定期試験)	中村 小田	

第3学年	科目	社会医学系 法医学	95時間	責任者	金武 潤
------	----	-----------	------	-----	------

担当教官名と連絡先： 金武 潤
 井戸田 望
 細谷 直
 角田 正史
 中村 好宏
 坂上 和弘 (国立科学博物館、非常勤講師)
 橋谷田 真樹 (関西医科大学、招へい講師)

到達目標：

医学・医療において法に関わる諸問題を理解し、法医学的知識に基づいた的確な案件処理能力を習得する。さらに、防衛省・自衛隊における法医学の重要性を理解する。

1. 知識： 死体現象、損傷、窒息、内因性急死などの主要な法医学的知識を説明できる。自然死と異状死および死亡診断書と死体検案書の違いを説明できる。我が国の死因究明制度について説明できる。
2. 技能： 死体検案書を正しく記載することができる。
3. 態度： 授業を真摯に聴講する。解剖実習では、教員から説明された注意点を守り、死者に対して敬意を持って真摯に参加する。

評価法： 知識、技能、態度を総合的に評価する。詳細は、ガイダンスの際に説明する。

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 技能： 死体検案書を正しく記載する技能を筆記試験時に評価する。
3. 態度： 授業・実習中の態度、及び解剖実習後に提出するレポート、個人レポート、班ごとの発表の内容で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-03-06： <u>終末期</u>
GE-03-06-01
CS-05-03： <u>安全管理体制</u>
CS-05-03-02
S0-03-01： <u>死と法</u>
S0-03-01-02 S0-03-01-03 S0-03-01-04 S0-03-01-05
S0-05-01： <u>国内の医療職の役割や医療体制</u>
S0-05-01-01

テキスト等：

- ① NEW エッセンシャル法医学 第6版 (医歯薬出版)
- ② 標準法医学 第8版 (医学書院)
- ③ 適宜プリントを配布する。

教室：2号館 32 番教室（講義）

法医解剖室、衛生学公衆衛生学実習室および2号館 32 番教室（実習）

講義

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	2	木	1-2	社会と法医学（ガイダンス）	金武	①-③
2	10	8	水	3-4	死体現象Ⅰ	金武	
3	10	15	水	1-2	死体現象Ⅱ	金武	
4	10	16	木	1-2	損傷Ⅰ	細谷	
5	11	4	火	1-2	窒息Ⅰ	井戸田	
6	11	11	火	1-2	内因性急死Ⅰ	井戸田	
7	11	21	金	1-2	虐待	井戸田	
8	11	21	金	3-4	死体検案書と死因論	金武	
9	11	25	火	1-2	異常環境	細谷	
10	12	17	水	1-2	損傷Ⅱ	細谷	
11	12	24	水	1-2	窒息Ⅱ	井戸田	
12	12	24	水	3-4	内因性急死Ⅱ	井戸田	
13	1	15	木	1-2	異状死及び関連法規	金武	
14	2	17	火	1-2	災害時の法医学対応	金武	
15	2	17	火	3-4	法医学のまとめ	金武	
16					定期試験	金武	

実習

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	12	5	金	5-9	特別講義（DNA 多型）（橋谷田）	金武 中村	①-③
2	12	9	火	5-9	実習ガイダンス	金武	
3	12	15	月	5-9	法医解剖 死体検案書 硬組織（坂上） 上記実習を班ごとに分かれて行う。	金武 井戸田 細谷	
4	12	19	金	5-9			
5	12	23	火	5-9			
6	1	5	月	5-9			
7	1	9	金	5-9			
8	1	14	水	5-9			
9	1	20	火	5-9			
10	1	27	火	5-9			
11	2	5	木	5-9			
12	2	9	月	5-9			
13	2	13	金	5-9	法医学のまとめ・班ごとの発表	金武	

*実施方法の詳細についてはガイダンスの際に説明する。

*硬組織実習は衛生学公衆衛生学実習室を使用する。

【法医解剖について】

埼玉県警察から囑託される法医解剖（司法解剖及び死因調査解剖）に参加し、所見をとり、死因・死後経過時間等の判断をし、最終的に死体検案書を作成する。基本的な解剖学に関する知識が要求されるため、十分な予習をして臨んで欲しい。また、その他の基礎医学、臨床医学、行動科学及び法学の分野とも水平的かつ縦断的理解が求められる。実習は8班に分けて実施し、全体として8事例を扱うこととなるが、実際の法医解剖を通じての実習であるため、あらかじめ具体的な項目を挙げることは困難である。よって、他の講義・実習との関連については、解剖決定の告知の際に予習重点項目として示す。

第4学年	科目	社会医学系 医療倫理	12時間	責任者	大井 賢一
------	----	------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 大井 賢一

到達目標：

本講義と倫理学（1学年後期）は連携して教育を行う。医療倫理は医療の現場における医師と患者（家族）の関係が考察の対象である。医療は治療によって患者によい結果をもたらすことを期待されるが、その結果にしばしば乖離が認められる。例えば、がんはあらゆる病気のなかでも最も死亡率の高い病気で、1981年以来日本人の死因第1位を占めている。本講義では、倫理学において学習した基礎知識や概念を再確認しつつ、患者が死を予期するがんの告知、治療経過のなかで患者が死に臨むがんの再発転移を例に実際の臨床場面に現れる倫理的ジレンマ、医師として患者（家族）と共に死に臨む姿勢や対応法を学習する。

生物学的存在であると同時に社会的存在でもある人間をその両面から総合的に理解することを通じて、患者の基本的権利を尊重し、共感的態度を保持しながら的確なインフォームド・コンセント（Informed Consent; IC）を得ることができる医師の姿勢を身につける。

1. 知識： 医療倫理がどのような歴史的背景の基に成立し、運用されているかを説明できる。
2. 技能： 様々な疾患、病態、障害を抱えた個人に対する基本的な IC 文書に記すべき項目を説明できる。
3. 態度： 患者の苦悩への共感姿勢を示すことができる。グループ発表課題に積極的に参与し、討論する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験およびグループ発表レポートにより評価する。
2. 技能： 模擬患者情報による IC 文書の作成により評価する。
3. 態度： グループ発表と討論における態度により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01: 誠実さ</u>		
PR-01-01-01	PR-01-01-02	
<u>PR-01-02: 省察</u>		
PR-01-02-01	PR-01-02-02	
<u>PR-02-01: 思いやり</u>		
PR-02-01-01	PR-02-01-02	
<u>PR-02-02: 他者理解と自己理解</u>		
PR-02-02-01	PR-02-02-02	
<u>PR-02-03: 品格・礼儀</u>		
PR-02-03-01	PR-02-03-02	
<u>PR-03-01: 教養</u>		
PR-03-01-01	PR-03-01-02	
<u>PR-04-01: 臨床倫理</u>		
PR-04-01-01	PR-04-01-02	PR-04-01-03
<u>GE-03-06: 終末期</u>		
GE-03-06-01	GE-03-06-02	GE-03-06-05
<u>CM-02-01: 患者へのわかりやすい言葉の説明</u>		
CM-02-01-01		
<u>CM-02-03: 患者の意思決定の支援</u>		
CM-02-03-01		

テキスト等：① 当日配布プリント、新聞記事等

教室：臨床小講堂1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	8	木	3-4	医の倫理、医療倫理、生命倫理の発展と歴史、今日における課題	大井	①
2	5	22	木	3-4	インフォームド・コンセント 医師の説明義務とその範囲、	大井	①
3	5	29	木	3-4	インフォームド・コンセント 患者の死生観について	大井	①
4	6	12	木	3-4	事例演習1（グループ討論） 患者が死を予期するがんの告知	大井	①
5	6	19	木	3-4	事例演習2（グループ討論） 患者が死に臨むがんの再発転移	大井	①
6	7	3	木	3-4	事例演習3 各グループ討論の共有	大井	①

第3学年	科目	血液・造血器・リンパ系	48時間	責任者	小林 真一
------	----	-------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 小林 真一 (内科学3)
 今井 耕輔 (小児科学)
 森谷 邦彦 (小児科学)
 関中 佳奈子 (小児科学)
 笠松 智孝 (放射線医学)

到達目標：

血液疾患の病因、病態生理、症候、診断、治療について理解し、診断的アプローチの基本に沿って疾患を整理する。

1. 知識： 血液細胞の機能、造血細胞の分化と成熟、遺伝子異常の観点から血液疾患の病態を説明することができる。主な血液疾患の症候、診断、治療について説明することができる。
2. 技能： 病態生理の知識を応用して疾患や症例を論理的に考察することができる。

評価法：

小テスト、口頭試問、理解度の判定、講義評価のため双方向対話型授業支援システムを用いる場合がある。

1. 知識： 筆記試験（小テスト、期末試験）で評価する。
2. 技能： PBLの時間に口頭試問を行い評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-02-02：血液・造血器・リンパ系</u>					
PS-02-02-01	PS-02-02-02	PS-02-02-03	PS-02-02-04	PS-02-02-05	
<u>PS-02-12：小児</u>					
PS-02-12-01	PS-02-12-04				
<u>PS-03-04：腫瘍</u>					
PS-03-04-01	PS-03-04-04	PS-03-04-09	PS-03-04-20	PS-03-04-22	PS-03-04-24
PS-03-04-25					
<u>CS-02-04：治療(計画、経過の評価)</u>					
CS-02-04-40	CS-02-04-41	CS-02-04-43	CS-02-04-44		

テキスト等：

- ① 血液内科学
 - ・当日配付するプリント
 - ・内科学 第10版（矢崎義雄 総編集、朝倉書店）
 - ・新臨床内科学 第10版（矢崎義雄 監修、医学書院）
 - ・血液内科クリニカルスタンダード（東原正明、須永真司編集、文光堂）
 - ・病気がみえる⑤ 改訂第2版 血液（メディックメディア）
 - ・防衛医学：P821-828
- ② 小児血液学
 - ・当日配布するプリント
 - ・標準小児科学 第9版（医学書院）
- ③ 放射線医学
 - ・当日配布するプリント
 - ・標準放射線医学 第7版（医学書院）

教室： 2号館32番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	3	4	火	1-2	血液内科学1 鉄欠乏性貧血・異常ヘモグロビン症	小林	①
2	3	4	火	3-4	血液内科学2 巨赤芽球性貧血	小林	①
3	4	3	木	7-8	血液内科学3 溶血性貧血	小林	①
4	4	8	火	1-2	血液内科学4 再生不良性貧血	小林	①
5	4	8	火	3-4	血液内科学5 骨髄異形成症候群	小林	①
6	4	17	木	1-2	PBL1/小テスト	小林	①
7	4	17	木	3-4	血液内科学6 骨髄増殖性腫瘍	小林	①
8	4	22	火	1-2	小児血液学1 小児の貧血	小倉	②
9	5	1	木	5-6	血液内科学7 慢性白血病	小林	①
10	5	1	木	7-8	血液形態学1 血液像の見方1 火金	脇本	①
11	5	8	木	5-6	血液内科学8 急性白血病	木村	①
12	5	8	木	7-8	血液内科学9 造血幹細胞移植（含む造血発生）	木村	①
13	5	13	火	3-4	血液内科学10 骨髄腫	小林	①
14	5	22	木	5-6	小児血液学2 小児白血病・悪性リンパ腫	關中(佳)	②
15	5	22	木	7-8	小児血液学3 小児腫瘍学	森谷	②
16	5	27	火	5-6	放射線治療学 悪性リンパ腫・全身照射・放射免疫療法	笠松	③
17	5	27	火	7-8	血液形態学2 血液像の見方2 火金	脇本	①
18	6	9	月	1-2	血液内科学11 悪性リンパ腫	小林	①
19	6	9	月	3-4	PBL2/小テスト	小林	①
20	6	16	月	7-8	血液内科学12 止血異常1	小林	①
21	6	19	木	1-2	血液内科学13 止血異常2	小林	①
22	6	19	木	3-4	小児血液学4 凝固系・血小板・血管系の異常	關中(悠)	②
23	7	8	火	1-2	PBL6/小テスト	小林	①
24	10	22	水	1-2	予備	小林	①

第3学年	科目	神経系	92時間	責任者	和田 孝次郎
------	----	-----	------	-----	--------

担当教官名と連絡先：

和田 孝次郎 (脳神経外科学)
 豊岡 輝繁 (脳神経外科学)
 富山 新太 (脳神経外科学)
 竹内 誠 (脳神経外科学)
 三島 有美子 (脳神経外科学)
 藤井 和也 (脳神経外科学)
 池脇 克則 (神経・抗加齢血管内科)
 鈴木 一詩 (神経・抗加齢血管内科)
 本郷 悠 (神経・抗加齢血管内科)
 松尾 洋孝 (分子生体制御学)
 戸村 哲 (外傷研究部門)
 江戸 博美 (放射線医学)
 松本 浩 (小児科学)
 座波 清誉 (小児科学)
 尼子 雅敏 (リハビリテーション)
 田村 吏沙 (リハビリテーション)

到達目標：

神経系の正常構造と機能を理解し、主な神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。神経系疾患の主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢ならびに性別と関連づけて学ぶ。神経系疾患の診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、副作用）を学ぶ。脊椎の正常構造と機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。視床下部・下垂体の機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。個体の死について学ぶ。神経系の放射線診断と治療の基本を学ぶ。

1. 知識： 神経系の正常構造と機能を説明できる、また主な神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。神経系疾患の主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢ならびに性別と関連づけて説明できる。神経系疾患の診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、副作用）について説明できる。脊椎の正常構造と機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。視床下部・下垂体の機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。個体の死について説明できる。神経系の放射線診断と治療について説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験により評価する。
2. 態度： 授業中の態度を評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-03: 神経系				
PS-02-03-01	PS-02-03-02	PS-02-03-04	PS-02-03-05	

テキスト等：

- 神経内科学： ① 参考書1：ベッドサイドの神経のみかた（南山堂）
 ② 参考書2：神経局在診断（文光堂）
 ③ 参考書3：神経内科学（第2版）（朝倉書店）
 ④ 参考書4：Merrit's Neurology（Lippincot Williams & Wilkins）
 ⑤ 参考書5：神経内科ハンドブック（医学書院）
 ⑥ 当日配布するプリント

脳神経外科学：① 参考書 1：病気がみえる 7

放射線医学：① 参考書 1：標準放射線医学 第 7 版（医学書院）

② 当日配布するプリント

リハビリテーション：① 参考書 1：リハビリテーション医学・医療コアテキスト（医学書院）

② 参考書 2：現代リハビリテーション医学 第 4 版（金原出版）

教室： 2 号館 32 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	9	19	金	3-4	神経系オリエンテーション 脳神経外科総論	和田	
2	10	3	金	1-2	神経診察法	和田	
3	10	6	月	1-2	神経放射線 I	江戸	放射①P53-122
4	10	8	水	1-2	神経リハビリテーション I	岡村 (中病)	リハ①P91-113
5	10	14	火	7-8	ガンマナイフ治療	林 (東京女子 医大)	
6	10	20	月	5-6	パーキンソン病	(招)鎌倉	
7	10	21	火	1-2	頭蓋内圧亢進、脳ヘルニア、脳死	戸村	
8	10	29	水	1-2	外傷性頭蓋内血腫	戸村	
9	11	6	木	5-6	血管内治療	三島	
10	11	7	金	1-2	神経皮膚症候群・良性腫瘍	藤井	
11	11	10	月	1-2	神経内視鏡	豊岡	
12	11	11	火	7-8	神経診察法	和田	
13	11	13	木	1-2	脊髄反射経路、錐体路障害	松尾	
14	11	17	月	1-2	病的反射、延髄の機能及び生命中枢	松尾	
15	11	19	水	5-6	小児神経学 2	(招)座波	
16	11	19	水	7-8	脳波	(招)座波	
17	11	25	火	3-4	小脳の機能と障害	松尾	
18	11	26	水	1-2	神経リハビリテーション II	田村	
19	11	26	水	3-4	脳外 PBL 型 脳腫瘍 症例提示, グループ実習・発表	佐藤	
20	12	1	月	7-8	神経 II 予備		
予備	12	2	火	5-6	トルコ鞍近傍疾患とその他の血管障害	豊岡	
予備	12	2	火	7-8	神経内視鏡	豊岡	
21	12	4	木	1-2	悪性脳腫瘍(基礎編)	富山	
22	12	8	月	1-2	悪性脳腫瘍(臨床編)	藤井	
23	12	16	火	1-2	認知症をきたす神経疾患	鈴木	
24	12	16	火	3-4	脳外 PBL 型 脳卒中 症例提示, グループ実習・発表	佐藤	
25	12	19	金	1-2	頭痛・三叉神経痛・顔面痙攣	和田	
26	12	19	金	3-4	神経免疫疾患(末梢)	(招)海田	
27	12	22	月	5-6	脊髄疾患・末梢神経の外科	豊岡	
28	1	5	月	1-2	神経皮膚症候群・良性腫瘍	藤井	
29	1	5	月	3-4	小児神経学 1	松本	
30	1	6	火	5-6	トルコ鞍近傍疾患とその他の血管障害	豊岡	
31	1	6	火	7-8	脳梗塞	豊岡	
32	1	9	金	1-2	神経系診察と評価法(ビデオ)	本郷	

33	1	9	金	3-4	脳出血	竹内	
34	1	14	水	1-2	機能性・発作性神経疾患（片頭痛・てんかん・神経痛等）	本郷	
35	1	14	水	3-4	中枢神経疾患（脊髄小脳変性症、その他の運動ニューロン疾患等）	鈴木	
36	1	16	金	1-2	筋・神経筋接合部疾患	本郷	
37	1	16	金	3-4	高次脳機能障害（武田）	(招) 武田	
38	1	20	火	1-2	神経免疫疾患（中枢：多発性硬化症、免疫介在性脳炎等）	鈴木	
39	1	20	火	3-4	運動ニューロン疾患	(招)中村	
40	1	22	木	1-2	末梢神経障害：遺伝性、代謝性、中毒性、ベル麻痺等	本郷	
41	1	22	木	3-4	水頭症・先天奇形	三島	
42	1	23	金	1-2	くも膜下出血	竹内	
43	1	26	月	1-2	神経感染症 I、II	本郷	
44	1	30	金	1-2	内科疾患に伴う神経障害（癌、薬剤性を含む）	本郷	
45	1	30	金	3-4	英語で話す脳神経外科	伊藤 (順天堂大)	
46	2	6	金	1-2	PBL 型講義・症例提示/学生発表	本郷	
47	2	12	木	3-4	神経系 I テスト	本郷	
48	2	16	月	1-2	神経系 II テスト	和田	
49	2	20	金	1-2	神経系 I 補講（試験の解説）	本郷	
50	2	20	金	3-4	神経系 II 補講（試験の解説）	和田	

注：(招) は招聘講師

第3学年	科目	腎・尿路系	54時間	責任者	伊藤 敬一
------	----	-------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先：

伊藤 敬一 (泌尿器科)
 大島 直紀 (腎臓内科)
 堀口 明男 (外傷熱傷事態対処センター)
 黒田 健司 (泌尿器科)
 辻田 裕二郎 (泌尿器科)
 新地 祐介 (泌尿器科)
 小林 裕章 (泌尿器科)
 坂巻 裕介 (腎臓内科)
 松原 秀史 (腎臓内科)
 江戸 博美 (放射線部)
 釜江 智佳子 (小児科学)

腎・尿路系の授業では、腎・尿路系の解剖、病理、生理、各論（腎臓内科、泌尿器科、小児科）を総合的に理解するために、各専門分野（腎臓内科学、泌尿器科学、小児科学）の講義を行い、それぞれの分野の統合を図る。各専門分野の統合により腎・尿路系に対する学生の理解を深めることを目的とする。

腎臓内科

到達目標：

生体の恒常性を維持するために重要な役割を果たしている糸球体と尿細管の正常構造と生理機能を理解する。代表的な糸球体疾患と尿細管疾患の病理を理解する。さらに主な腎臓疾患（急性糸球体腎炎、慢性腎炎、慢性腎臓病、慢性腎不全、尿細管疾患、高血圧、水・電解質バランスの異常、酸・塩基平衡の異常）の病態生理、原因、診断および治療法について学ぶ。

- 知識：
 - 腎臓の正常構造と生理機能を説明できる。
 - 代表的な糸球体腎炎の病理（光顕、電顕、免疫染色）を説明できる。
 - 水・電解質バランスおよび酸・塩基平衡（尿崩症、SIADH、高・低Na、K、Cl、Ca、P血症、尿細管性アシドーシスを含む）の病態生理と治療法を学ぶ。
 - 急性糸球体腎炎の病因、病理、症候、診断と管理を説明できる。
 - 慢性糸球体腎炎（IgA腎症を含む）の分類、病理、症候、診断と治療を説明できる。
 - ネフローゼ症候群の定義、分類、病理、症候、診断と治療（ステロイド、免疫抑制薬）を説明できる。
 - 急速進行性糸球体腎炎症候群（特発性半月体形成性糸球体腎炎すなわちANCA関連腎炎、顕微鏡的多発血管炎、Goodpasture症候群、Wegener肉芽腫症を含む）の病態生理、病理、症候、診断と治療を説明できる。
 - 全身性疾患〔糖尿病、SLE、強皮症、血栓性微小血管症（TMA、TTP/HUSなど）、Henoch-Schoenlein紫斑病、アミロイドーシス、クリオグロブリン血症、B・C型肝炎〕に伴う腎疾患、および妊娠高血圧症候群の病理、症候、診断と治療を説明できる。
 - 急性腎傷害（acute kidney injury）の原因、病態、治療を説明できる。血液透析、血液浄化について説明できる。
 - 慢性腎臓病（chronic kidney disease）の病態、進展の抑え方、治療（アンジオテンシンII受容体遮断薬、降圧薬、貧血改善薬、ビタミンD、利尿薬など）、維持血液透析、腹膜透析を説明できる。
- 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識を取り入れる姿勢を身につける。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

- 知識： 筆記試験で評価する。
 - 態度： 課題学習で評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。
- *腎臓内科試験：12月22日（月）

小児腎臓病学

到達目標：

1. 知識：
 - ・小児期の腎機能の発達、生理的特徴を説明できる。
 - ・小児期の主な腎・尿路系疾患の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。

泌尿器科学

到達目標：

男性・女性の副腎、腎、尿路および男性生殖器の正常構造と生理機能を理解し、主な泌尿器科疾患の病態生理、原因、症候、診断および治療法について学ぶ。

1. 知識：
 - ・腎尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。
 - ・蓄排尿の機序を説明できる。
 - ・腎・尿路系の画像診断を概説できる。
 - ・尿流動態検査を説明できる。
 - ・腎移植を説明できる。
 - ・泌尿器科癌（腎癌、尿路上皮癌、前立腺癌、精巣癌など）の症候、診断と治療を説明できる。
 - ・急性・慢性腎盂腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。
 - ・尿路の炎症（膀胱炎、前立腺炎、尿道炎、精巣炎、精巣上体炎など）の病因、診断と治療を説明できる。
 - ・腎尿路の主な先天異常（膀胱尿管逆流症、腎盂尿管移行部狭窄症、重複腎盂尿管など）を概説できる。
 - ・尿路結石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。
 - ・前立腺肥大症の症候、診断、治療を説明できる。
 - ・神経因性膀胱を概説できる。
 - ・過活動膀胱の診断と治療を説明できる。
 - ・尿道狭窄症の症候、診断、治療を説明できる。
 - ・性分化・性成熟異常について説明できる。
 - ・男性不妊症の原因、検査法、治療法について説明できる。
 - ・陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。
 - ・勃起障害とその治療を説明できる。
 - ・尿失禁および骨盤臓器脱の種類、病態、症状、診断、治療法について説明できる。

評価法：

1. 知識：多肢選択肢試験で評価する。
 2. 態度：授業に取り組む姿勢、授業内容に対する質問、相互型の授業で総合的に評価する。
- *泌尿器科学試験：2月下旬～3月初旬に予定

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-09-01	腎・尿路系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-09-02	腎・尿路系でみられる症候について理解している。
PS-02-09-03	腎・尿路系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-09-04	腎・尿路系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-09-05	腎・尿路系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-02-10-01	生殖器系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-10-02	生殖器系でみられる症候について理解している。
PS-02-10-03	生殖器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-04	生殖器系に関する疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-05	生殖器系に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-02-14-01	内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-14-02	内分泌・栄養・代謝系でみられる症候について理解している。

PS-02-14-03	内分泌・栄養・代謝系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-14-04	内分泌・栄養・代謝系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-14-05	内分泌・栄養・代謝系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-03-04-07	腫瘍のTNM分類、ステージについて概要を理解している。
PS-03-04-08	がんの症候について理解している。
PS-03-04-15	主な泌尿器系腫瘍の症候、診断、治療について理解している。
PS-03-04-16	主な生殖器系腫瘍の症候、診断、治療について理解している。
PS-03-04-18	主な内分泌系腫瘍の症候、診断、治療について理解している。
PS-03-04-23	主な腫瘍の手術療法について概要を理解している。
PS-03-04-24	主な腫瘍の放射線療法・インターベンショナルラジオロジーの適応について概要を理解している。
PS-03-04-25	主な腫瘍の薬物療法(細胞障害性抗癌薬、分子標的治療薬)、造血幹細胞移植、がん免疫に関する治療法について概要を理解している。

テキスト等：

腎臓内科：① 内科学 朝倉書店 第11版

② 講義時に配布するプリント

小児科：① 標準小児科学 第9版

② 配布するプリント

泌尿器科：① 標準泌尿器科学 改定第10版（医学書院）

② 講義時に配布するプリント

③ Smith and Tanagho's General Urology, 19th edition (Lange)

④ 病気が見える 腎・泌尿器 vol. 8 (MEDIC MEDIA)

教室：2号館32番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	2	木	5-6	腎臓病総論（蛋白が尿へ漏れないためのしくみ）	坂巻	内科①②
2	10	7	火	5-6	小児の腎臓病1	釜江	小児科①②
3	10	9	木	1-2	電解質の正常と異常	大島	内科②
4	10	14	火	1-2	小児の腎臓病2	釜江	小児科①②
5	10	15	水	7-8	糖尿病性腎臓病、妊娠と腎、腎血管性高血圧	松原	内科①②
6	10	16	木	7-8	ネフローゼ症候群	坂巻	内科①②
7	10	21	火	3-4	尿細管疾患、多発性嚢胞腎	大島	内科②
8	10	22	水	7-8	慢性腎臓病の管理と血液透析	松原	内科①②
9	11	6	木	1-2	腹膜透析、酸・塩基平衡	大島	内科②
10	11	19	水	1-2	急性糸球体腎炎、IgA腎症	坂巻	内科①②
11	11	19	水	3-4	ANCA関連腎炎と抗糸球体基底膜抗体腎炎	坂巻	内科①②
12	12	15	月	1-2	急性腎傷害（急性腎不全）、原因と治療、緊急透析	松原	内科①②
13	12	16	火	5-6	膠原病、HUS、アミロイド腎症など	松原	内科①②
14	12	18	木	3-4	前立腺癌、男性不妊、性機能障害	小林	泌尿器科①②
15	12	22	月	1-2	腎臓内科試験	大島	
16	1	6	火	1-2	尿路生殖器の解剖、症候、診断	伊藤	泌尿器科①②
17	1	6	火	3-4	性分化・性成熟異常、精巣捻転	辻田	泌尿器科①②
18	1	21	水	1-2	尿路生殖器腫瘍（腎癌、腎良性腫瘍、尿路上皮癌）	伊藤	泌尿器科①②
19	1	21	水	3-4	尿路生殖器腫瘍（精巣癌、陰茎癌）	黒田	泌尿器科①②
20	1	23	金	3-4	外傷（尿路生殖器）	鈴木 (川口)	泌尿器科①②
21	1	28	水	5-6	女性泌尿器科（尿失禁、骨盤臓器脱）	黒田	泌尿器科①②
22	1	28	水	7-8	先天異常（腎臓、尿管、尿道、性器）、膀胱尿管逆流	辻田	泌尿器科①②

23	2	4	水	1-2	下部尿路機能障害（神経因性膀胱、過活動膀胱、前立腺肥大症）、尿道狭窄症	堀口 (柳田)	泌尿器科①②
24	2	4	水	3-4	腎泌尿器系の画像診断	江戸	泌尿器科①②
25	2	9	月	1-2	尿路結石症	小林	泌尿器科①②
26	2	24	火	5-6	腎不全（腎後性）、腎移植、副腎腫瘍	新地	泌尿器科①②
27	2	24	火	7-8	尿路生殖器の感染症	瀬口	泌尿器科①②

第3学年	科目	精神系	52時間	責任者	戸田 裕之
------	----	-----	------	-----	-------

担当教官名と連絡先：

高橋 知久（精神科学）
 竹下 昇吾（精神科学）
 古賀 農人（精神科学）
 岩田 朋大（精神科学）
 佐藤 豊（心理学）
 長峯 正典（行動科学）
 斉藤 拓（行動科学）
 今井 耕輔（小児科学）
 石塚 俊晶（薬理学）
 澤村 岳人（海上幕僚監部，招聘講師）
 小林 伸久（自衛隊中央病院，招聘講師）
 横山 恭子（上智大学，招聘講師）
 苗代 弘（所沢中央病院，非常勤講師）

到達目標：

精神と行動の障害に対して、全人的な立場から、病態生理、診断、治療を理解し、良好な患者と医師の信頼関係にもとづいた医療を学ぶ。

1. 知識：精神科症候学と精神科診断学を理解し、代表的な精神障害の原因、症状、経過、治療を理解し、さらに精神科医療に関わる法と倫理について学ぶ。
2. 態度：課題の達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識：筆記試験で評価する。
2. 態度：授業中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-01-06-01	緩和ケアの概念を理解した上で、全人的苦痛(身体的苦痛、心理社会的苦痛、スピリチュアルペイン)を評価できる。
RE-01-02-01	最先端の研究に刺激を受ける。
PS-01-03-32	薬物の受容体結合・薬理作用の関連性及び作動薬・拮抗薬について理解している。
PS-01-03-33	薬物の有害作用、薬物間相互作用について概要を理解している。
PS-02-17-02	精神系でみられる症候について理解している。
PS-02-17-03	精神系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-17-04	精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-17-05	精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
CS-01-01-01	医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。
S0-01-03-04	精神保健及び精神障害者福祉の意義及び関連する制度や法律を理解している。
S0-01-05-03	災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。

テキスト等：

- ① 標準精神医学 第9版（医学書院、2024）
- ② 当日配布するプリント
- ③ 防衛医学（防衛医学振興会）2007年3月刊

教室： 2号館 32番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	3	木	1-2	精神医学総論	戸田	
2	4	3	木	3-4	不安障害	高橋	
3	4	21	月	1-2	児童青年期精神医学(1)	高橋	
4	4	21	月	3-4	児童青年期精神医学(2)	高橋	
5	4	28	月	1-2	症状精神病/器質性精神病/睡眠障害	竹下	
6	4	28	月	3-4	前頭葉症候群	(招)苗代	
7	5	21	水	1-2	気分障害(1)	戸田	
8	5	21	水	3-4	気分障害(2)	戸田	
9	5	23	金	5-6	ストレス関連障害	(招)澤村	
10	5	23	金	7-8	精神薬理学	石塚	
11	5	26	月	1-2	摂食障害	高橋	
12	5	28	水	1-2	てんかん(1)	岩田	
13	5	28	水	3-4	てんかん(2)	岩田	
14	5	30	金	1-2	認知症	戸田	
15	5	30	金	3-4	精神保健福祉法と司法精神医学	戸田	
16	6	2	月	3-4	パーソナリティ障害	高橋	
17	6	6	金	5-6	小児心身症	(招)横山	
18	6	13	金	5-6	精神療法	(招)小林	
19	8	22	金	5-6	心理検査	佐藤	
20	8	22	金	7-8	リエゾン精神医学と緩和ケア	竹下	
21	8	26	火	5-6	統合失調症(1)	竹下	
22	8	26	火	7-8	統合失調症(2)	竹下	
23	8	27	水	5-6	脳科学と精神科学	古賀	
24	9	5	金	1-2	アルコール・薬物依存	竹下	
25	9	5	金	3-4	防衛精神医学と自衛隊精神保健	長峯	
26	9	10	水	7-8	予備		

注：(招)は招聘講師

第4学年	科目	生殖器機能系	80時間	責任者	高野 政志
------	----	--------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先：

高野 政志	(産科婦人科学)
濱田 佳伸	(産科婦人科学)
宮本 守員	(産科婦人科学)
曾山 浩明	(産科婦人科学)
加藤 顕人	(腫瘍化学療法部)
野口 立彦	(生物学)
佐藤 仁哉	(病態病理学)
山崎 民大	(外科3(乳腺))
江戸 博美	(放射線医学)
古谷 健一	(非常勤講師)
笹 秀典	(非常勤講師)
石井 賢治	(非常勤講師)
工藤 一弥	(非常勤講師)
吉田 昌史	(非常勤講師)
鈴木 理絵	(非常勤講師)
垣本 壮一郎	(非常勤講師)

到達目標：

ヒトの妊娠・分娩および乳腺を含む生殖機能全般に関する基礎的・臨床的な知識を習得する。それらを学習するにあたり、課題探究・解決能力、論理的思考と表現力を涵養する。

1. 知識：解剖学、生理学、病理学、放射線医学等を基礎とした生殖器系疾患群（乳腺を含む）および妊娠・分娩・産褥・新生児管理（母性保健の法律を含む）等に関する正しい知識を説明できる。
2. 技能：生殖器機能系の全般にわたる各疾患の概念と病態生理を理解し、臨床診断および治療方針を説明できる。
3. 態度：生殖という次世代の生命に関与する重要な学習科目であることを自覚し、課題の達成に真摯に取り組む。

【具体的な到達目標】

産科

- 1) 妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的・生理学的変化を説明できる。
- 2) 胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。
- 3) 妊娠の診断法が説明できる。
- 4) 妊娠と薬剤・放射線の影響について説明できる。
- 5) 遺伝学的胎児情報の収集の方法と法的背景を説明できる。
- 6) 正常妊娠・分娩・産褥の経過を説明できる。
- 7) 主な異常妊娠（流産、子宮外妊娠、妊娠中毒症、血液型不適合、多胎妊娠、骨盤位など）の病態と治療を説明できる。
- 8) 主な異常分娩（早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩損傷）の病態と治療を説明できる。
- 9) 主な異常産褥（子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎）の病態と治療を説明できる。
- 10) 産科救急（産科出血、DIC）の病態と治療を説明できる。
- 11) 主な合併症妊娠（耐糖能異常、血小板減少症、甲状腺疾患）の病態と治療を説明できる。
- 12) 胎児・新生児の成長発達、生理・解剖について説明できる。
- 13) 主な胎内治療について説明できる。
- 14) 人工妊娠中絶の適応と法的背景について説明できる。
- 15) 鉗子・吸引分娩術や帝王切開術の適応を説明できる。
- 16) 骨盤位牽出術の方法と合併症を理解できる。
- 17) 母性保健や労働基準法の意義と役割を産科学的に説明できる。
- 18) 社会保険、医療保険における周産期の取り扱いを理解できる。

婦人科

- 1) 性腺・性器の発生・解剖を理解し、説明できる。
- 2) 女性性機能系の生理・性周期と調節機序を説明できる。
- 3) 加齢による性機能の変化と疾患の特徴を説明できる。
- 4) 婦人科的診察法・検査法を説明できる。
- 5) 月経異常を解釈し、説明できる。
- 6) 性の分化・発育・成熟の異常を説明できる。
- 7) 性器発育不全・性器の位置異常を説明できる。
- 8) 感染症・性感染症の所見を述べ、治療法を説明できる。
- 9) 外陰・膣の疾患の診断と治療を説明できる。
- 10) 子宮の疾患について診断と治療を説明できる。
- 11) 卵巣・卵管の疾患について診断と治療法を説明できる。
- 12) 婦人科癌の主訴および症状による診断を説明できる。
- 13) 婦人科癌の薬物療法についてその作用機序と授与方法について説明できる。
- 14) 婦人科の手術療法の基本と応用について説明できる。
- 15) 放射線療法と化学療法の実際を説明できる。
- 16) 生殖内分泌疾患を理解し、治療法を説明できる。
- 17) 不妊症の系統診断と治療を説明できる
- 18) 子宮内膜症・子宮腺筋症の症候、診断と治療を説明できる。
- 19) 乳房腫瘍、異常乳汁分泌（出血性乳房）と乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な原因を列挙できる。
- 20) 良性乳腺疾患の種類を列挙できる。
- 21) 乳癌の危険因子、症候、診断、治療と予後を説明できる。

評価法：

1. 知識： 各分野を総合した筆記試験で評価する。
2. 技能： 具体的な技能に関しては、別途の技能実習および OSCE にて評価する。
3. 態度： 授業および演習態度によって評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-03-03-01	胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化について理解している。
PS-02-10-01	生殖器系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-10-02	生殖器系でみられる症候について理解している。
PS-02-10-03	生殖器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-04	生殖器系に関する疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-05	生殖器系に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-02-11-01	妊娠と分娩に関する構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-11-02	妊娠と分娩でみられる症候について理解している。
PS-02-11-03	妊娠と分娩で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-11-04	妊娠と分娩に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-11-05	妊娠と分娩に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-02-13-01	乳房の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-13-02	乳房でみられる症候について理解している。
PS-02-13-03	乳房に関して行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-13-04	乳房疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-13-05	乳房に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法について理解している。
PS-03-01-05	遺伝カウンセリングの意義と方法について理解している。
PS-03-04-16	主な生殖器系腫瘍の症候、診断、治療について理解している。
PS-03-04-17	主な乳腺腫瘍の症候、診断、治療について理解している。
PS-03-04-23	主な腫瘍の手術療法について概要を理解している。

PS-03-04-25	主な腫瘍の薬物療法(細胞障害性抗癌薬、分子標的治療薬)、造血幹細胞移植、がん免疫に関する治療法について概要を理解している。
SO-01-03-05	成育基本法、母子保健法、母体保護法、児童福祉法、児童虐待防止法等、母子保健施策の意義と概要を理解している。

テキスト等:

- 産科婦人科学: ① 産婦人科研修の必修知識 2020 (日本産科婦人科学会編)
 ② 生殖医療の必修知識 2020 (日本生殖医学会編、杏林舎)
 ③ 産婦人科ガイドライン産科編 2020 (日本産科婦人科学会編)
 ④ 子宮頸癌治療ガイドライン 2022 (日本婦人科腫瘍学会編、金原出版)
 ⑤ 子宮体がん治療ガイドライン 2018 (日本婦人科腫瘍学会編、金原出版)
 ⑥ 卵巣がん・卵管癌・腹膜癌治療ガイドライン 2020 (日本婦人科腫瘍学会編、金原出版)
 ⑦ 防衛医学 (防衛医学振興会)
 ⑧ プリント、ハンドアウト

生物学: ① ガイトン生理学原著第 13 版 (エルゼビア・ジャパン、2018)

- 病理学: ① 坂本穆彦監修、北川昌伸、仁木利郎編: 標準病理学第 6 版 (医学書院、2019)
 ② Kumar V, Abbas AK & Aster JC 編: Robbins Basic Pathology 第 10 版 (Elsevier, 2018)
 ③ カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断 (第 6 版) (赤木忠厚、松原修、真鍋俊明監修、医歯薬出版、2018)
 ④ ハンドアウト

外科(乳腺): ① 標準外科学第 15 版 (医学書院)

放射線医学: ① 標準放射線医学第 7 版 (医学書院)

教室: 臨床小講堂 1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	8	火	5-8	生殖器機能系: ガイダンスと概説	笹	産婦①A, B, E-1, 2、②③
2	4	11	金	1-4	性器の発生、解剖、発育障害	濱田	産婦①E-6
3	4	14	月	5-8	正常排卵周期と生殖内分泌(1)	濱田	生物①P1073-1105
4	4	18	金	1-4	性周期・受胎・不妊(診断と治療)	垣本	生物①P1073-1105
5	5	8	火	5-8	婦人科癌の薬物療法・分子標的治療	工藤	産婦①E-8、④⑤⑥
6	5	9	金	1-4	精子形成 卵子形成	野口	生物①P1057-1072, P1073-1105
7	5	13	火	5-8	性の決定と完成	古谷	生物①P1073-1105
8	5	20	火	5-8	子宮疾患の診断と治療: 良性疾患	加藤	産婦③A-C, E-3~6、②
9	5	23	金	1-4	加齢による性機能の変化、性器の位置異常	石井	産婦①A-C, E-3~6、②
10	5	27	火	5-8	子宮疾患の診断と治療: 悪性疾患	高野	産婦①C-1-11, E-3、④⑤
11	5	30	金	1-4	乳房・乳腺の疾患: 診断と治療	山崎	外科①P331
12	6	3	火	5-8	生殖器系病理学: 女性骨盤内臓器、乳腺	佐藤	病理①P591-600, ②P704-714
13	6	6	金	1-4	子宮附属器疾患の診断と治療: 良性、悪性腫瘍	曾山	産婦①C-1~11, E-8、⑥
14	6	13	金	1-4	生殖放射線: 女性性器, 乳腺	江戸	放射線①B, C, D-6~21、③

15	6	13	金	5-8	婦人科の手術療法の基本と応用	宮本	生物①P1073-1105
16	6	17	火	5-8	正常排卵周期と生殖内分泌(2)	古谷	産婦①A-C, E-3~6、②
17	6	23	月	5-8	胎児と胎児付属器の診断と治療	濱田 吉田	産婦①B, C, D、②
18	6	27	金	1-2	合併症妊娠の診断と治療	曾山	産婦①P552-573、②③
19	6	27	金	3-4	産科婦人科における遺伝カウンセリング	鈴木	産婦①D-6~21、③
20	7	3	木	5-6	女性のヘルスケア	濱田	
21	7	17	木	5-6	異常妊娠の病態と治療	濱田	産婦①D-6~21、③
22	7	24	木	5-6	周産期の手術療法、薬物療法	加藤	産婦①D-6~21、③
23	8	21	木	5-6	妊娠と薬剤・放射線の影響	高野	産婦①D-6~21, E-8、③

第3学年	科目	内分泌・代謝・成長発育系	61時間	責任者	今井 耕輔
------	----	--------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 今井 耕輔（小児科学）
 若松 太（小児科学）
 宇都 飛鳥（腎臓内分泌内科）
 伊藤 敬一（泌尿器科学）
 江戸 博美（放射線医学）
 富田 浩子（放射線医学）（招へい講師）
 鈴木 洋（耳鼻咽喉科学）

到達目標：

1. 知識： 内分泌・代謝系の構成と機能を理解し、主な内分泌・代謝疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴および精神・社会的な問題を理解する。
2. 態度： 講義で学ぶ基礎的医学をもとに、常に最新の医学知識の更新に取り組む積極性をもつ。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する
2. 態度： 講義中の質疑応答や、学習に取り組む態度等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-12: 小児					
PS-02-12-01	PS-02-12-02	PS-02-12-03	PS-02-12-04		
PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系					
PS-02-14-01	PS-02-14-02	PS-02-14-03	PS-02-14-04	PS-02-14-05	PS-02-14-06

テキスト等：

- 内分泌内科学： ① 当日配布するプリント
 ② 矢崎義雄、小室一成編： 内科学 第12版（朝倉書店、2022）
 ③ 日本糖尿病学会編： 糖尿病治療ガイド 2022-2023（文光堂）
- 放射線学： ① 当日配布するプリント
 ② 標準放射線医学 第7版（医学書院）
- 小児科学： ① 標準小児科学 第9版（医学書院）
 ② 当日配布するプリント
 ③ Nelson Textbook of Pediatrics, 21th Edition (Saunders Elsevier)
 ④ 「防衛医学」
- 小児病理学： ① Kumar V, Abbas A et al: Robbins & Cotran Pathologic Basis of Disease, 10th edition (Elsevier, 2021)
 ② 坂本穆彦、北川昌伸、仁木利郎（編集）： 標準病理学 第6版（医学書院、2019）
 ③ ハンドアウト（当日配布）
- 内分泌外科学： ① 標準外科学 第11版（医学書院）
- 内分泌泌尿器科学： ① ハンドアウト
 ② 標準泌尿器科学 改訂第10版（医学書院）
 ③ Smith and Tanagho's General Urology 19th edition (Lange)
 ④ 病気が見える 腎・泌尿器 vol. 8 (MEDIC MEDIA)

教室： 2号館 32 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	3	5	水	5-6	内分泌内科学総論	宇都	内科①
2	5	12	月	5-6	新生児学 1 (胎児、新生児の生理的特徴、循環・呼吸の出生時の変化、胎児・新生児仮死)	今井 難波	小児科①P98-107、③P8-81、P116-181
3	5	12	月	7-8	甲状腺疾患・副甲状腺疾患に対する外科的治療法	鈴木	ハンドアウト等
4	5	19	月	5-6	新生児学 2 (新生児呼吸障害、黄疸、おもな先天性疾患)	若松	小児科①P98-107、③P138-181、④P864-876
5	5	19	月	7-8	新生児学 3 (低出生体重児固有の疾患、救急を要する新生児疾患)	若松	小児科①P98-107、③P182-193、④P864-876
6	5	23	金	3-4	視床下部・下垂体前葉 1 (機能低下症)	宇都	内科①
7	5	27	火	1-2	副腎皮質 1 : クッシング症候群他	宇都	内科①
8	5	27	火	3-4	副腎皮質 2 : アルドステロン症他	宇都	内科①
9	6	3	火	1-2	甲状腺 1 : バセドウ病他	宇都	内科①
10	6	3	火	3-4	下垂体後葉と水・Na 代謝異常症、多腺性自己免疫症候群 甲状腺 1 : バセドウ病他	宇都	内科①
11	6	10	火	3-4	内分泌泌尿器科 (副腎疾患、腫瘍)	伊藤	泌尿器②P256-266、③④
12	6	11	水	3-4	核医学各論 (内分泌、腫瘍)	富田	放射線②P170-177
13	6	11	水	5-6	小児科学 I (小児診断法と治療法の特徴、小児保健、予防接種)	今井	小児科①P1-59、③P2-81
14	6	13	金	1-2	甲状腺 2 : 甲状腺炎・甲状腺機能低下症	宇都	内科①
15	6	17	火	1-2	甲状腺 3 : その他の甲状腺疾患	宇都	内科①
16	6	17	火	3-4	副甲状腺と骨代謝 カルシウム代謝異常	宇都	内科①
17	6	17	火	5-6	視床下部・下垂体前葉 2 (先端巨大症他)	宇都	内科①
18	7	4	金	5-6	糖尿病 1	宇都	内科①
19	7	4	金	7-8	糖尿病 2	宇都	内科①
20	7	4	金	9	体液平衡 (水・電解質・酸塩基) 核医学各論 (内分泌、腫瘍)	宇都	内科①
21	7	11	金	1-2	糖尿病 3	宇都	内科①
22	7	11	金	3-4	糖尿病 4	宇都	内科①
23	7	23	水	5-6	小児科学 II (成長と発達の異常)	今井	小児科①P168-190、③P948-1024
24	7	25	金	5-6	副腎髄質：褐色細胞腫他 多発性内分泌腫瘍症	宇都	内科①
25	8	18	月	5-6	先天性代謝異常 (フェニルケトン尿症、ガラクトース血症、ホモシスチン尿症などの病態、診断、治療。マススクリーニング、小児糖尿病の診断と治療、糖代謝異常)	今井 鈴木	小児科①P191-221、③P308-373、④P864-876
26	8	18	月	7-8	小児内分泌・代謝学 (成長ホルモン分泌不全低身長、先天性甲状腺機能低下症、副腎皮質過形成)	今井 鈴木	内科①

27	8	19	火	1-2	臨床内分泌アラカルト(1)	宇都	放射線②P689-691, P491-496, P603-619
28	9	1	月	7-8	放射線診断学(内分泌)	江戸	内科①
29	9	5	金	5-6	臨床内分泌アラカルト(2)	宇都	内科①
30	9	5	金	7-8	臨床内分泌アラカルト(3)	宇都	
31	9	12	金	7-8	症例検討	今井 宇都 鈴木 伊藤 今井	

第4学年	科目	感覚器系	118時間	責任者	竹内 大
------	----	------	-------	-----	------

担当教官名と連絡先：

竹内 大	(眼科学)
佐藤 智人	(眼科学)
神田 貴之	(眼科学)
播本 幸三	(眼科学)
塩谷 彰浩	(耳鼻咽喉科学)
荒木 幸仁	(耳鼻咽喉科学)
鈴木 洋	(耳鼻咽喉科学)
宇野 光祐	(耳鼻咽喉科学)
谷合 信一	(耳鼻咽喉科学)
佐藤 貴浩	(皮膚科学)
端本 宇志	(皮膚科学)
高井 彩也華	(皮膚科学)
東 隆一	(形成外科)
會沢 哲士	(形成外科)
土屋 壮登	(形成外科)
久保 諭	(形成外科)
田村 聡	(形成外科)
川上 沙織	(形成外科)
横江 秀隆	(歯科口腔外科)
村上 馨	(歯科口腔外科)
羽田 朱里	(歯科口腔外科)
平田 洋介	(歯科口腔外科)
江戸 博美	(放射線医学)

到達目標：

感覚器系の正常構造と機能を理解し、主な感覚器疾患の病態生理・機能・症候・病態・診断および治療法について学び、説明ができる。

1. 知識：

<感覚器疾患>

感覚器の正常構造と生理機能を説明できる。主要な感覚器としては、皮膚、眼、耳・鼻・咽喉口腔があげられる。

<眼科総論>

眼・視覚系の構造と機能を理解し、眼・視覚系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。
 視力、眼圧、屈折、調節について理解し、その異常を説明できる。
 眼位、眼球運動、両眼視について理解し、その異常を説明できる。
 視野、色覚について理解し、その検査法と異常を説明できる。
 眼瞼、結膜、涙器の疾患の診断、治療について理解し、説明できる。
 角膜の疾患の診断、治療について理解し、説明できる。
 白内障の原因、診断、治療について理解し、説明できる。
 緑内障の原因、診断、治療について理解し、説明できる。
 ぶどう膜炎の診断、治療について理解し、説明できる。
 網膜疾患の診断、治療について理解し、説明できる。
 視神経、視路の疾患の診断、治療について理解し、説明できる。

<耳鼻咽喉科総論>

耳鼻・咽喉の構造と機能を理解し、主な疾患の症候、診断および治療法を説明できる。

<皮膚科総論>

皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

<形成外科総論>

顔・四肢の外傷、先天異常、皮膚腫瘍の治療、組織欠損の再建について理解する。

<歯科口腔外科総論>

口腔の構造と機能を理解し、歯科口腔系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。

<感覚器系放射線医学総論>

感覚器系の診断治療における画像診断の役割について理解する。

2. 態度：講義の聴講に集中することができる。講義の内容に関する質問に、応答することができる。課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションがとれる。

評価法：

1. 知識：定期試験にて評価する。
(眼科学、耳鼻咽喉科学、皮膚科学、歯科口腔外科学、形成外科学)
2. 態度：授業の出席状況、学習態度や質問に対する応答の言葉遣い等により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

<u>GE-01-01: 臓器横断的な診療</u>					
GE-01-01-01	GE-01-01-03	GE-01-01-04			
<u>PS-01-02: 個体の構成と機能</u>					
PS-01-02-23					
<u>PS-02-04: 皮膚系</u>					
PS-02-04-01	PS-02-04-02	PS-02-04-03	PS-02-04-04	PS-02-04-05	
<u>PS-02-13: 乳房</u>					
PS-02-13-05					
<u>PS-02-15: 眼・視覚系</u>					
PS-02-15-01	PS-02-15-02	PS-02-15-03	PS-02-15-04	PS-02-15-05	
<u>PS-02-16: 耳鼻・咽喉・口腔系</u>					
PS-02-16-01	PS-02-16-02	PS-02-16-03	PS-02-16-04	PS-02-16-05	
<u>PS-03-04: 腫瘍</u>					
PS-03-04-05	PS-03-04-11	PS-03-04-12	PS-03-04-19	PS-03-04-23	PS-03-04-24
PS-03-04-25					
<u>PS-03-05: 救急・集中治療</u>					
PS-03-05-12					
<u>PS-03-06: 放射線の生体影響と適切な利用、放射線障害</u>					
PS-03-06-01	PS-03-06-02	PS-03-06-03	PS-03-06-04	PS-03-06-05	PS-03-06-06
PS-03-06-07	PS-03-06-08				
<u>CS-01-02: 身体所見</u>					
CS-01-02-06					
<u>CS-02-01: 診療録記載</u>					
CS-02-01-02					

CS-02-03: 検査(計画、分析評価)						
CS-02-03-01	CS-02-03-02	CS-02-03-03	CS-02-03-04	CS-02-03-05	CS-02-03-06	
CS-02-03-07						
CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)						
CS-02-04-15	CS-02-04-16	CS-02-04-19	CS-02-04-20			
CS-03-01: 検査手技						
CS-03-01-01						
CS-03-02: 治療手技						
CS-03-02-01						
IP-01-03: 医師間の紹介と相談						
IP-01-03-01						

テキスト等:

眼科学: ① 中澤 満、村上 晶、園田 康平編集: 標準眼科学 改訂第14版 (医学書院、2018)

② 当日配布するプリント

耳鼻咽喉科学: ① 新耳鼻咽喉科学 改訂12版 (南山堂)

② 当日配布するプリント

皮膚科学: ① 見て分かる皮膚疾患 (中外医学)

② 標準皮膚科学 第11版 (医学書院)

③ あたらしい皮膚科学 (中山書店)

④ New Minor Dermatology 皮膚科学 (金芳堂)

⑤ 当日配布するプリント

形成外科学: ① 標準形成外科学 (医学書院)

② 当日配布するプリント

歯科口腔外科学: ① 栗田賢一、覚道健治: SIMPLE TEXT 第3版 口腔外科の疾患と治療 (永末書店)

② 飯塚忠彦: Minor textbook 口腔外科学 第7版 (金芳堂)

③ 防衛医学編纂委員会編: 防衛医学 (防衛医学振興会)

④ R. ブルース・ドノフ (河合 幹訳): MGH 口腔外科マニュアル (医学書院)

⑤ 白川正順監修: 口腔外科学 リファレンスマニュアル (ゼニス出版)

⑥ War Surgery in Afghanistan and Iraq: United States Army

⑦ 当日配布するプリント

放射線医学: ① 標準放射線医学 第7版 (医学書院)

② 当日配布するプリント

教室: 臨床小講堂1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	1	火	5	口腔外科学総論	横江	口腔⑦
2	4	1	火	6	口腔解剖	平田	口腔⑦
3	4	1	火	7-8	形成外科: 総論	會沢	形成スライド、 配付資料
4	4	3	木	3	口腔ケア、歯科疾患	羽田	口腔⑦
5	4	3	木	4	口腔感染症(1)	横江	口腔⑦
6	4	3	木	5-6	眼科総論 (視力・眼圧・視野)	竹内	眼科①P354- 365, 315-323
7	4	3	木	7-8	角膜	櫻井	眼科①P47-73

8	4	10	木	3-4	皮膚の構造と機能、発疹学	端本	皮膚①P5-28, P59-65、②P1-46, P47-53、③P1-25, P50-62、④P2-61, P1-40
9	4	10	木	5	防衛歯学(1)	村上	口腔⑦
10	4	10	木	6	口腔顎顔面外傷(1)	村上	口腔⑥P53-60, P65-81、⑦
11	4	10	木	7	口腔顎顔面外傷(2)	村上	口腔⑥P53-60, P65-82、⑦
12	4	10	木	8	口腔顎顔面外傷(3)	村上	口腔⑥P53-60, P65-83、⑦
13	4	11	金	7-8	形成外科：腫瘍	久保	形成スライド、配付資料
14	4	15	火	3	防衛歯学(2)	村上	口腔⑦
15	4	15	火	4	歯の外傷	平田	口腔⑦
16	4	15	火	7-8	形成外科：先天異常、美容外科	土屋	形成スライド、配布資料
17	4	17	木	3-4	薬疹、中毒疹、紅皮症、角化症	高井	皮膚①P133-136, P212-219, P240-258、②P153-161, P181-215、③P122-134、④P69-76, P127-134, P147-170
18	4	17	木	7-8	喉頭科学（構造、機能、検査、疾患）	荒木	耳鼻①②
19	4	18	金	5-6	蕁麻疹、痒疹、紅皮症	佐藤(貴)	皮膚①P5-28、②P93-111、③P107-125、④P95-102
20	5	1	木	5-6	眼瞼、結膜、涙器	(招)岩田	眼科①P214-225
21	5	1	木	7	口腔感染症(2)	横江	口腔⑦
22	5	1	木	8	口腔感染症(3)	横江	口腔⑦
23	5	7	水	1-2	ウイルス性疾患・性病・原虫・動物性疾患	奥野	皮膚①P524-560、②P417-432, P475-494、③P424-448, P492-506、④P259-273, P291-294, P309-310
24	5	9	金	5-6	全身病と眼（含糖尿病網膜症）	佐藤	眼科①P177-183, P257-276
25	5	12	月	5-6	口腔顎顔面再建(1)(2)	(招)白川	口腔⑦
26	5	12	月	7-8	音声言語、嚥下	谷合	耳鼻①②
27	5	14	水	1	口腔顎顔面再建(3)	村上	口腔⑦
28	5	14	水	2	法歯学	染田	口腔⑦
29	5	19	月	7-8	感覚器画像診断	江戸	放射①P123-152
30	5	20	火	3-4	形成外科：手術手技、手外科	田村	形成スライド、配布資料

31	5	21	水	1-2	耳鼻咽喉科学概論	塩谷	耳鼻①②
32	5	21	水	3-4	耳科学 (顔面神経)	(招) 栗田	耳鼻①②
33	5	26	月	7-8	口腔咽頭科学 (構造、機能、検査)	宇野	耳鼻①②
34	5	27	火	3-4	解剖、発生、屈折、光覚、色覚等	神田	眼科①P2-15, 243-256, ① P366-392
35	5	28	水	1-2	湿疹・皮膚炎	佐藤(貴)	皮膚①P113-132 ②P113-132、③ P93-106、④ P47-61
36	5	28	水	3-4	形成外科：歴史、概念、皮弁	山本	形成スライド、 配布資料
37	5	29	木	5-6	白内障	(招) 村岡	眼科①P90-105
38	6	2	月	7-8	鼻科学 (構造、機能、検査)	鈴木	耳鼻①②
39	6	3	火	3	口腔悪性腫瘍(1)	横江	口腔⑦
40	6	3	火	4	口腔悪性腫瘍(2)	横江	口腔⑦
41	6	4	水	1-2	網膜 1 (黄斑疾患以外)	佐藤	眼科①P184-204
42	6	6	金	5-6	網膜 2 (黄斑疾患)	佐藤	眼科①P224-239
43	6	6	金	7-8	眼位、眼球運動、両眼視	(招) 若栗	眼科①P327-349
44	6	9	月	7-8	鼻科学 (顔面骨折・感染・腫瘍)	鈴木	耳鼻①②
45	6	10	火	3-4	耳科学 (疾患①外耳、中耳)	渡部	耳鼻①②
46	6	11	水	1-2	色素異常症・母斑症	高井	皮膚①P259- 273, 387-394、 ②P277-306、③ P258-270, 327- 354, 420-423、 ④P10-11, 183- 186, 191-202
47	6	11	水	3-4	緑内障	神田	眼科①P106-136
48	6	12	木	5-6	眼窩	播本	眼科①P226-242
49	6	16	月	5-6	汗腺・毛包脂腺・毛爪疾患・細菌性疾患	奥野	皮膚①P335- 355, 444-474、 ②P379-415、③ P312-326, 449- 466、④P275- 290, 311-320
50	6	16	月	7-8	良性・悪性腫瘍 (リンパ腫含む)	(招) 西澤	皮膚①P387-443 ②P307-377, 327-356、③ P355-420、④ P217-290
51	6	17	火	3-4	耳科学 (疾患②内耳)	渡部	耳鼻①②
52	6	18	水	1-2	視神経、神経眼科	神田	眼科①P205- 213, 288-314
53	6	18	水	3-4	水疱症・膿疱症	佐藤(貴)	皮膚①P219-239 ②P163-179、③ P202-227、④ P135-146
54	6	24	火	3-4	口腔咽頭科学(唾液腺疾患)	宇野	耳鼻①②
55	6	25	水	1-2	頭頸部腫瘍学 気管、食道、頸部 (疾患)	荒木	耳鼻①②
56	6	25	水	3	口腔粘膜疾患	平田	口腔⑦
57	6	25	水	4	口腔感染症(4)	横江	口腔⑦

58	6	26	木	3-4	ぶどう膜 (炎症・腫瘍)	竹内	眼科①P74-89
59	6	26	木	5-6	真菌性疾患・結核・らい・肉芽腫	高井	皮膚①P496-522 ②P435-458、③ P467-482、④ P295-307、 ①P475-495、② P362-364, 459- 475、③P296- 302, 483-491、 ④P111-117, 285-289
60	6	30	月	5-6	防衛歯学(3)(4)	(招) 海老沢	口腔⑦
61	7	1	火	3-4	耳科学 (疾患③その他耳科疾患)	渡部	耳鼻①②
62	7	1	火	5-6	ロービジョン・リハビリテーション	(招)清水	眼科①P338-353
63	7	4	金	5-6	光と皮膚 ・ 光線皮膚疾患	(招)川田	皮膚①P137-158 ②P144-145、③ P194-201、④ P119
64	7	8	火	5	紫斑 ・ 血管炎	端本	皮膚①P178- 199, 298-324, ②P113-130, 217-230、③ P135-184、④ P77-108
65	7	8	火	6	眼外傷	神田	眼科①P277-287
66	7	11	金	5	形成異常・代謝異常	高井	皮膚①P356-377 ②P621-718、③ P312-326, 449- 466、④P187- 215, 171-181
67	7	11	金	6	血行障害 ・ 膠原病	端本	皮膚①P178- 199, 298-324、 ②P113-130, 217-230、③ P135-184、④ P77-108
68	7	18	金	5-6	形成外科： 虚血肢、慢性創傷	川上	形成スライド、 配付資料
	8	19	火	5-6	予備		
69	8	22	金	5-6	形成外科： 外傷、再建	東	形成スライド、 配付資料
70	8	25	月	5-6	頭頸部腫瘍外科	鈴木 會沢 村上	①② (耳鼻)、 ②③スライド、 ビデオ (形成・ 口腔)

注：(招)は招聘講師

第3学年	科目	運動器系	60時間	責任者	堀内 圭輔
------	----	------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先：

松熊 晋	(臨床検査医学講座)
今井 耕輔	(小児科学)
鈴木 一詩	(内科学)
杉浦 弘明	(放射線医学)
松尾 洋孝	(分子生体制御学)
尼子 雅敏	(リハビリテーション医学)
田村 吏沙	(リハビリテーション医学)
堀内 圭輔	(整形外科)
須佐 美知郎	(整形外科)
北村 和也	(整形外科)
梶川 慶太	(整形外科)
山下 太郎	(整形外科)
久島 雄宇	(整形外科)
小林 紘樹	(整形外科)
中村 一喜	(整形外科)
米原 周吾	(整形外科)

到達目標：

運動器の正常構造と生理機能を理解し、運動器領域の主な外傷と疾患の原因、病態、症候、診断、治療、予後について学習する。主要な外傷、疾患の診断法を学習する。

1. 知識：運動器の正常造と生理機能を説明できる。運動器領域における主な外傷と疾患の原因、病態、症候、診断、治療、予後を説明できる。
2. 技能：基本的な診察ができる。基本的な画像読影ができる。
3. 態度：課題の達成に真摯に取り組み、教官、指導医、同僚と良好なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識：定期試験、試問で評価する。
2. 技能：小テストで診察や画像読影を行わせて評価する。
3. 態度：授業態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-04-01-04	身体活動、スポーツ医・科学(競技スポーツ以外も含む)の知識や統計情報をもとに個人の生活活動を評価でき、本人や家族の生活や価値観も踏まえた上で活動や運動の支援を計画できる。
PS-01-02-14	筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して理解している。
PS-01-02-24	体幹と四肢の骨格と筋、心血管系、泌尿生殖器系各器官の形成過程について理解している。
PS-02-03-01	神経系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-03-02	神経系でみられる症候について理解している。
PS-02-03-03	神経系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-03-04	神経系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-03-05	神経系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-02-05-01	運動器(筋骨格)系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-05-02	運動器(筋骨格)系でみられる症候について理解している。
PS-02-05-03	運動器(筋骨格)系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-05-04	運動器(筋骨格)系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。

PS-02-05-05	運動器(筋骨格)系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-03-04-12	主な骨軟部腫瘍の症候、診断、治療について概要を理解している。
PS-03-05-12	外傷の病態と診断の要点について理解している。

テキスト等：

- ① 防衛医学（防衛医学振興会）
- ② 生理学参考書： ガイトン生理学 原著第13版（Elsevier、2018）『骨格筋の収縮』『脊髄の運動機能と反射』『副甲状腺ホルモン、カルシトニン、カルシウム』
- ③ 放射線医学参考書： 標準放射線医学 第7版（医学書院）
- ④ リハビリテーション医学参考書： 現代リハビリテーション医学（金原出版）
- ⑤ 整形外科学ハンドアウト： 運動器系講義ノート（整形外科学講座編集）
- ⑥ 整形外科学参考書： 標準整形外科学（医学書院）
- ⑦ その他当日配布するプリント

教室： 2号館 32 番教室

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	3	木	5-6	運動器系入門、外傷総論	堀内	⑤
2	4	8	火	5-6	股関節	小林	⑤
3	4	11	金	1-2	下肢外傷(1)	山下	⑤
4	4	15	火	3-4	足の外科	中村	⑤
5	5	1	木	1-2	骨粗鬆症	堀内	⑤
6	5	2	金	5-6	肩関節	尼子	⑤
7	5	2	金	7-8	骨系統疾患、骨端症	山下	⑤
8	5	8	木	1-2	運動器の発達、小児筋疾患	今井 (招)松本	⑦
9	5	8	木	3-4	膝関節	山下	⑤
10	5	14	水	1-2	自衛隊における整形外科医療(1)	米原	①P509-519、⑦
11	5	30	金	5-6	関節リウマチ	中村	⑤
12	5	30	金	7-8	脳神経内科からみる運動障害	鈴木	⑦
13	6	3	火	5-6	末梢神経・筋の検査、電気生理検査	鈴木 (招)園生	⑦
14	6	3	火	7-8	運動器のCT、MRI	杉浦	⑦
15	6	16	月	1-2	自衛隊における整形外科医療(2)	堀内 (招)内藤	①P509-519、⑦
16	6	16	月	3-4	痛風の診断と治療	松尾	⑦
17	7	7	月	1-2	骨腫瘍	須佐	⑤
18	7	22	火	1-2	脊椎外傷	梶川	⑤
19	7	22	火	3-4	炎症、感染症	梶川	⑤
20	7	23	水	3-4	上肢外傷	久島	⑤
21	8	20	水	5-6	末梢神経損傷	尼子	⑤
22	8	20	水	7-8	軟部腫瘍	須佐	⑤
23	8	22	金	1-2	脊髄損傷	堀内 (招)谷戸	⑤⑦
24	8	26	火	1-2	脊髄損傷のリハビリテーション	田村	④1、5、6、8章
25	8	27	水	7-8	運動器リハビリテーション	尼子	リハビリテーション診療クリニカルガイド P99-206
26	9	3	水	5-6	脊椎脊髄疾患	北村	⑤
27	9	3	水	7-8	切断、義肢	尼子	リハビリテーション診療クリニカルガイド P208-223

28	9	10	水	1-2	下肢外傷(2)	小林	⑤
29	9	11	木	1-2	骨・関節・軟部組織の腫瘍	松熊	⑦
30	9	19	金	1-2	肘関節	久島	⑤

第4学年	科目	基本的診療技能実習	157時間	責任者	荒木 幸仁
------	----	-----------	-------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 荒木 幸仁（各項目の担当者は別に示す）

到達目標： 基本的診療技能実習に関する基本的な考え方と技能を学ぶ。

技能： 医療面接に関する基本的な考え方と技能を学ぶ。

シミュレーションなどを通じて基本的な身体診察を学ぶ。

基本的臨床手技の目的、方法、適応、禁忌と合併症を学ぶ。

【医療面接】担当： 総合臨床部

- 1) 適切な身だしなみ、言葉遣いや礼儀を実践できる。
- 2) 医療面接の目的・意義（情報収集、良好な医師-患者関係、治療・教育的効果）を説明できる。
- 3) 医療面接における基本的コミュニケーション技法を実践できる。
- 4) 病歴情報の種類（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、社会歴、システムレビュー）とそれを聴取する際の手順を説明できる。

【全身状態とバイタルサイン】担当： 内科1、内科3

- 1) バイタルサインを説明できる。
- 2) 血圧測定の方法を説明し、正しく血圧を測定できる。
- 3) 脈拍のチェックポイントを説明し、正しく脈拍をとれる。
- 4) 呼吸数を測定し、呼吸パターンを観察できる。
- 5) 体温測定の方法と注意点を説明し、測定できる。

【頭頸部】担当： 耳鼻咽喉科、眼科

- 1) 頭部の診察ができる。
- 2) 眼（視野、瞳孔、眼球運動、眼球突出、結膜、眼底）の診察ができる。
- 3) 耳（外耳道、鼓膜、聴力）の診察ができる。
- 4) 口腔・鼻腔の診察ができる。
- 5) 甲状腺を含めた頸部の診察ができる。

【胸部】担当： 内科1、内科2

- 1) 胸部の区分を説明できる。
- 2) 胸部診察で確認すべき項目を列挙し、視診、打診、触診と聴診ができる。

【腹部】担当： 内科2

- 1) 腹部の区分を説明できる。
- 2) 腹部診察で確認すべき項目を列挙し、視診、聴診、打診と触診ができる。
- 3) 直腸診の診察の要点と手順を説明できる。

【神経】担当： 内科3、脳神経外科

- 1) 意識状態が判定できる。
- 2) 脳神経の診察ができる。
- 3) 深部腱反射の診察ができる。
- 4) 小脳・運動機能の診察ができる。
- 5) 感覚系の診察ができる。
- 6) 髄膜刺激所見のとりかたを説明できる。

【四肢と脊柱】担当： 整形外科

- 1) 四肢・脊柱の診察の要点と手順を説明できる。

【男性生殖器と鼠径部】担当： 泌尿器科

- 1) 泌尿生殖器の診察の要点と手順を説明できる。

【女性生殖器と妊婦】担当： 産婦人科

- 1) 女性生殖器の診察の要点と手順を説明できる。

【乳房と腋下】担当： 外科3

- 1) 乳房の診察の要点と診察の手順を説明できる。

【小児の診察】担当：小児科

1) 新生児・小児の全身診察の手順を説明できる。

【基本的臨床手技・一般手技】担当：検査部、輸血療法部、泌尿器科

1) 静脈採血の手順、部位と合併症を列挙し、正しく実施できる。

2) 血液型判定と交差適合試験の手順を説明し、正しく実施できる。

3) 持続導尿の手順、部位と合併症を列挙し、正しく実施できる。

【基本的臨床手技・外科手技】担当：外科2

1) 縫合手技の準備、手順、合併症を列挙し、正しく縫合できる。

2) 創の一次的閉鎖、遅延一次閉鎖、二次的癒合とデブリードマンを説明できる。

【基本的臨床手技・検査手技】担当：内科1

1) 12誘導心電図の準備、手順を列挙し、正しく記録できる。

【感染対策】担当：外科1、外科3

1) 清潔と不潔の区別を説明できる。

2) 清潔操作の注意点を説明し、実施できる。

3) 手指消毒・衛生的手洗いの手順を列挙し、正しく実施できる。

4) PPEの着脱と廃棄の手順を列挙し、正しく実施できる。

5) 手術時手洗い・ガウンテクニックの手順を列挙し、正しく実施できる。

【救急】担当：救急部

1) 一次救命処置（脳心肺蘇生）の基本的な手技について説明し、モデルを用いて正しく実施できる。

評価法：臨床実習前OSCEと基本的診療技能実習の成績を合わせて総合的に評価

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>CS-01-01: 医療面接</u>					
CS-01-01-01	CS-01-01-02	CS-01-01-03			
<u>CS-01-02: 身体所見</u>					
CS-01-02-01	CS-01-02-02	CS-01-02-03	CS-01-02-04	CS-01-02-05	CS-01-02-06
<u>CS-02-03: 検査(計画、分析評価)</u>					
CS-02-03-02	CS-02-03-03				
<u>CS-03-03: 救急・初期対応</u>					
CS-03-03-01	CS-03-03-02				
<u>CS-05-05: 患者安全の配慮と促進</u>					
CS-05-05-01					
<u>CM-01-01: 患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用</u>					
CM-01-01-01	CM-01-01-02	CM-01-01-03	CM-01-01-04	CM-01-01-05	
<u>CM-01-02: 患者の立場の尊重と苦痛への配慮</u>					
CM-01-02-01	CM-01-02-02				

テキスト等：「診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度についての学習・評価項目」
(第1.0版) (医療系大学間共用試験実施評価機構)

教室：2号館33番教室、1号館11番教室、臨床小講堂1、臨床小講堂2、図書館視聴覚室、外来、スキルラボ等

実習内訳： 第4学年学生をA～Fの6グループに分け、6回1シリーズとして実習を行う。

	項目	場所
	オリエンテーション	スキルラボ、小講堂1
I	① 医療面接（総臨）	総合臨床部外来
	② 全身状態とバイタルサイン（内1、内3）	臨床小講堂1
	③ 頭頸部（耳鼻）	耳鼻咽喉科外来または病棟
	④ 乳房と腋下、女性生殖器と妊婦（外3、婦人科）	臨床小講堂2
	⑤ 胸部（呼吸器）（内2）	図書館視聴覚室
	⑥ 胸部（循環器）、基本的臨床手技（検査手技）（内1）	スキルラボ
II	⑦ 頭頸部（眼科）	眼科医局
	⑧ 腹部（内2）	臨床小講堂1
	⑨ 男性生殖器と鼠径部、基本的臨床手技（導尿）（泌尿器）	泌尿器科医局
	⑩ 感染対策（外1、3）	手術室
	⑪ 基本的臨床手技・外科手技（外2）	1号館22番教室
	⑫ 四肢と脊柱（整外）	整形外科病棟
III	⑬ 基本的臨床手技・一般手技（検査、輸血）	検査部
	⑭ 神経（内3）	2号館33番教室
	⑮ 神経（脳外）	臨床小講堂1
	⑯ 救急（救急）	スキルラボ
	⑰ 小児（小児科）	東病棟6F（エレベーターホール）
	⑱ 包交・包帯法（看護学科）	看護8号館・9号館

No.	月	日	曜	時限	担当教官					
					Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ	Fグループ
1	6	18	水	9	オリエンテーション (各班長対象): 循環器					
2	6	30	月	7-9	オリエンテーション: 荒木					
3	7	2	水	7-9	①廣岡	②松原	③荒木	④外: 永生 産: 曾山	⑤川名	⑥池上
4	7	3	木	7-9	②佐々木	③捨田利	④外: 山崎 産: 濱田	⑤川名	⑥眞崎	①廣岡
5	7	4	金	7-9	③宇野	④外: 永生 産: 宮本	⑤君塚	⑥竹藤	①廣岡	②坂巻
6	7	7	月	7-9	④外: 山崎 産: 濱田	⑤小川	⑥安田	①廣岡	②大島	③宇野
7	7	8	火	7-9	⑤君塚	⑥長友	①廣岡	②池脇	③鈴木	④外: 永生 産: 濱田
8	7	9	水	7-9	⑥池上	①廣岡	②遠藤	③宇野	④外: 山崎 産: 曾山	⑤川名
9	7	11	金	7-9	⑦佐藤	⑧成松	⑨黒田	⑩梶原	⑪堤	⑫梶川
10	7	14	月	7-9	⑧高本	⑨小林	⑩高尾	⑪石田	⑫久島	⑦播本
11	7	15	火	7-9	⑨伊藤	⑩高尾	⑪堤	⑫小林	⑦神田	⑧東山
12	7	16	水	7-9	⑩岡本	⑪石田	⑫中村	⑦神田	⑧富田	⑨堀口 (瀬川)
13	7	17	木	7-9	⑪橋本	⑫北村	⑦播本	⑧古橋	⑨辻田	⑩山寺
14	7	18	金	7-9	⑫山下	⑦佐藤	⑧古橋	⑨新地	⑩矢口	⑪橋本
15	7	22	火	7-9	⑬看護学科	⑬看護学科	⑬看護学科	⑮豊岡	⑯霧生	⑰今井
16	7	23	水	7-9	予備	⑬松熊、 緒方、水口	⑭本郷、 専修医	⑱看護学科	⑱看護学科	⑱看護学科
17	8	19	火	7-9	⑬松熊、 緒方、水口	⑭本郷、 専修医	⑮豊岡	⑯瀬野	⑰今井	予備
18	8	20	水	7-9	⑭本郷、 専修医	⑮佐藤	⑯清住	⑰今井	予備	⑬松熊、 緒方、水口
19	8	21	木	7-9	⑮藤井	⑯瀬野	⑰今井	予備	⑬松熊、 緒方、水口	⑭本郷、 専修医
20	8	22	金	7-9	⑯関根	⑰今井	予備	⑬松熊、 緒方、水口	⑭本郷、 専修医	⑮佐藤
21	9	4	木	1-6	予備	予備	予備	予備	予備	予備
22	9	4	木	7-9	⑰今井	予備	⑬松熊、 緒方、水口	⑭本郷、 専修医	⑮藤井	⑯梶山
23	9	19	金	1-9	復習及び OSCE 直前対策					
24	9	22	月	1-9	医療面接事前演習 (講義)		時間: 0830~1200	細部別示		
					医療面接事前演習 (A~Cグループ)		時間: 1300~1700	細部別示		
25	9	24	水	1-9	医療面接事前演習 (D~Fグループ)		時間: 1300~1700	細部別示		
26 ~ 32	9 ~ 10	25 ~ 3	木 ~ 金	1-9	復習及び OSCE 直前対策					

第6学年	科目	衛生学公衆衛生学 (臨床講義)	7時間	責任者	角田 正史
------	----	--------------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 角田 正史
 岩澤 聡子
 吉岡 範幸
 片桐 朝美

到達目標：

第3及び第4学年で学習した衛生学および公衆衛生学を総括的に復習させ、新たに提起される衛生・公衆衛生学上の諸問題について理解させる。

1. 知識： 医師国家試験に出題される公衆衛生上の知識を説明できる。関連した分野（統計学、法医学など）の知識を、医師国家試験レベルで公衆衛生に関連して説明できる。
2. 態度： 医師国家試験問題に対し、真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 授業で行う過去の医師国家試験問題に対する解答で評価する。筆記試験（卒業試験、総合試験）で評価する。
2. 態度： 過去の医師国家試験問題への真摯な取組み姿勢で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01： 誠実さ</u>
PR-01-01-02
<u>PR-02-03： 品格・礼儀</u>
PR-02-03-01 PR-02-03-02
<u>PR-04-01： 臨床倫理</u>
PR-04-01-01 PR-04-01-02
<u>GE-01-02： 生物・心理・社会的な問題への包括的な視点</u>
GE-01-02-01 GE-01-02-02
<u>GE-01-03： 患者中心の医療</u>
GE-01-03-02
<u>GE-01-04： 根拠に基づいた医療(EBM)</u>
GE-01-04-01 GE-01-04-03
<u>GE-01-05： 行動科学</u>
GE-01-05-01 GE-01-05-03
<u>GE-01-06： 緩和ケア</u>
GE-01-06-01 GE-01-06-02 GE-01-06-05
<u>GE-02-01： プライマリ・ケアにおける基本概念</u>
GE-02-01-01 GE-02-01-02
<u>GE-02-02： 地域におけるプライマリ・ケア</u>
GE-02-02-01 GE-02-02-02 GE-02-02-03 GE-02-02-04 GE-02-02-05
<u>GE-02-03： 医療資源に応じたプライマリ・ケア</u>
GE-02-03-01 GE-02-03-02
<u>GE-02-04： 在宅におけるプライマリ・ケア</u>
GE-02-04-01 GE-02-04-02

GE-03-01: 人生のプロセス
GE-03-01-01 GE-03-01-02 GE-03-01-03

GE-03-04: 学童期、思春期、青年期、成人期
GE-03-04-04

GE-03-05: 老年期
GE-03-05-05 GE-03-05-06 GE-03-05-07

GE-03-06: 終末期
GE-03-06-01 GE-03-06-02 GE-03-06-03 GE-03-06-05 GE-03-06-06

GE-04-01: 医学的・文化的・社会的文脈における健康
GE-04-01-01 GE-04-01-02 GE-04-01-03 GE-04-01-04 GE-04-01-05 GE-04-01-06
GE-04-01-07

LL-01-01: 生涯学習の実践
LL-01-01-01

LL-02-01: 医療者教育の実践
LL-02-01-01

RE-02-01: 医学と医療
RE-02-01-01

RE-02-02: 論文読解
RE-02-02-01

RE-03-03: 研究手法
RE-03-03-02

RE-04-01: 研究発表
RE-04-01-01 RE-04-01-02 RE-04-01-03

RE-05-02: 対象者の保護
RE-05-02-01

IT-01-02: 情報・科学技術利用にあたっての倫理観とルール
IT-01-02-01 IT-01-02-02

CS-02-01: 診療録記載
CS-02-01-01

CS-05-01: 医療の質向上
CS-05-01-01

CS-05-02: 医療従事者の健康管理
CS-05-02-01 CS-05-02-02

CS-05-03: 安全管理体制
CS-05-03-02

CS-05-04: 感染制御
CS-05-04-01 CS-05-04-02

CS-05-05: 患者安全の配慮と促進
CS-05-05-01 CS-05-05-02

IP-02-03: 自職種の省察
IP-02-03-01

<u>IP-02-04: 他職種の理解</u>						
IP-02-04-01						
<u>S0-01-01: 公衆衛生</u>						
S0-01-01-01	S0-01-01-02	S0-01-01-03	S0-01-01-04			
<u>S0-01-02: 社会保険、公的扶助、社会福祉</u>						
S0-01-02-01	S0-01-02-02	S0-01-02-03				
<u>S0-01-03: 地域保健</u>						
S0-01-03-01	S0-01-03-02	S0-01-03-03	S0-01-03-04	S0-01-03-05	S0-01-03-06	
<u>S0-01-04: 産業保健・環境保健</u>						
S0-01-04-01	S0-01-04-02	S0-01-04-03	S0-01-04-04			
<u>S0-01-05: 健康危機管理</u>						
S0-01-05-01	S0-01-05-02					
<u>S0-02-01: 保健統計</u>						
S0-02-01-01	S0-02-01-02					
<u>S0-02-02: 疫学</u>						
S0-02-02-01	S0-02-02-02	S0-02-02-03	S0-02-02-04	S0-02-02-05	S0-02-02-06	
S0-02-02-07						
<u>S0-02-03: データ解析と統計手法</u>						
S0-02-03-01	S0-02-03-02	S0-02-03-03	S0-02-03-04	S0-02-03-05		
<u>S0-03-01: 死と法</u>						
S0-03-01-01	S0-03-01-02	S0-03-01-03	S0-03-01-05			
<u>S0-04-01: 健康と医療</u>						
S0-04-01-01	S0-04-01-02					
<u>S0-04-03: 気候変動と医療</u>						
S0-04-03-01	S0-04-03-02					
<u>S0-04-06: 医療経済</u>						
S0-04-06-01						
<u>S0-04-07: 社会的公正</u>						
S0-04-07-01						
<u>S0-05-01: 国内の医療職の役割や医療体制</u>						
S0-05-01-01	S0-05-01-02	S0-05-01-03	S0-05-01-04	S0-05-01-05	S0-05-01-06	
<u>S0-05-02: グローバルヘルスの役割や医療体制</u>						
S0-05-02-01	S0-05-02-02	S0-05-02-03				
<u>S0-06-01: 社会科学と医療との関係</u>						
S0-06-01-01	S0-06-01-02	S0-06-01-03				

テキスト等：

- ① レビューブック 公衆衛生 最新版（メディックメディア）
- ② 国試対策問題編集委員会 クエスチョン・バンク 公衆衛生 最新版（メディックメディア）
- ③ 厚生省統計協会編「国民衛生の動向」最新版
- ④ 公衆衛生がみえる 最新版（メディックメディア）
- ⑤ はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第2版 疫学への招待
- ⑥ 当日配布するプリント

教室：臨床大講堂（6月6日は臨床小講堂2、9月5日は臨床小講堂1）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	6	金	1300-1415	保健医療総論	角田	
2	7	11	金	1300-1415	疫学、EBM	岩澤	
3	7	18	金	1300-1415	医療関係の法律	角田	
4	8	22	金	1300-1415	感染症	吉岡	
5	8	29	金	1300-1415	産業保健	岩澤	
6	9	5	金	1300-1415	成人保健と健康増進	吉岡	
7	9	19	金	1300-1415	老人保健、介護保険、社会福祉	片桐	

第5学年	科目	防衛医学（臨床講義）	6時間	責任者	黒川 貴幸
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 黒川 貴幸
石神 徳郎
江頭 早織
吉松 真也

到達目標：

一般医学の知識を基盤として、災害対応や国際活動における自衛隊衛生の役割につき、机上演習等を通じて理解を深める。自衛隊医官として果たすべき役割を自覚する。

1. 知識： 災害における情報の重要性を例示し、大量傷病者発生時の対応法を説明できる。
国際貢献における活躍の方法とその概要について説明できる。
放射線災害対応の要点を説明できる。
2. 技術： トリアージを実施できる。線量測定を実施できる。
3. 態度： 今まで学んできた防衛医学の知識をより实际的に理解しようと努める

評価法： 取得すべき単位認定としての評価は行わない。

1. 知識： 講義における課題等の提出及びディスカッション等によりフィードバックを行う。
2. 技能： 同上
3. 態度： 同上

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。
PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-02-02-01	自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。
PR-02-03-02	礼儀正しく振る舞う。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
PR-04-01-03	診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べることができる。
GE-01-01-02	適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。
GE-02-01-01	地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。
GE-02-01-02	患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。
GE-02-02-01	地域(都会・郊外・へき地・離島を含む)の実情に応じた医療と医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状の概要を理解している。
GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。
GE-02-02-05	地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。
GE-02-03-01	地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。

LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
RE-02-01-01	医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
PS-03-06-01	放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位について概要を理解している。
PS-03-06-02	内部被ばくと外部被ばくについて、線量評価やその病態、症候、診断と治療について概要を理解している。
PS-03-06-03	放射線及び電磁波の人体(胎児を含む)への影響(急性影響と晩発影響)と適切な利用法について理解している。
PS-03-06-04	種々の正常組織の放射線の透過性や放射線感受性の違いについて理解している。
PS-03-06-06	医療被ばく・職業被ばくも含めた放射線被ばく低減の3原則と安全管理を理解し、放射線を用いる画像検査と処置(エックス線撮影、CT、核医学、血管造影及びインターベンショナルラジオロジー、エックス線透視等)の被ばく軽減を実行できる。
CS-05-02-02	自身を含む医療者の労働環境の改善の必要性を理解し、実際の医療現場において改善に努めることができる。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。
SO-01-05-02	健康危機管理(感染症、放射線事故、災害等の有事)に関連する基本的な制度や法律を理解している。
SO-01-05-03	災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。
SO-04-03-02	自然災害(新興感染症を含む)が起きた際に必要とされる医師の役割を理解している。
SO-04-05-01	医学・医療の歴史的変遷を踏まえ現代の医学的問題を相対化できる。
SO-05-02-01	国際的に取り組む必要のある医療・健康課題について、歴史・社会的背景を踏まえて、概要を理解している。
SO-06-01-03	個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)を理解している。

テキスト等：

- ① 参考書 1： 防衛医学（防衛医学振興会）
- ② 参考書 2： DMAT 標準テキスト（へるす出版）
- ③ 参考書 3： 自衛隊医官のための各種災害派遣対応マニュアル（防衛医学振興会）
- ④ 参考書 4： 自衛隊医官のための国際協力活動ハンドブック（防衛医学振興会）
- ⑤ 当日配布するプリント
- ⑥ その他防衛医学（防衛医学振興会）

教室：臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	6	金	1425-1540	机上演習 1 - 1 (国際活動 1)	黒川	①④
2	6	6	金	1550-1705	机上演習 1 - 2 (国際活動 2)	黒川	①④
3	11	7	金	1300-1415	机上演習 2 - 1 (放射線被ばく対応 1)	黒川 (招)	①②③
4	11	7	金	1425-1540	机上演習 2 - 2 (放射線被ばく対応 2)	黒川 (招)	①②③
5	1	23	金	1300-1415	机上演習 3 - 1 (災害対応 1)	黒川	①②③
6	1	23	金	1425-1540	机上演習 3 - 2 (災害対応 2)	黒川	①②③

注：(招) は招聘講師

招聘講師へ連絡を取りたい場合は、まず防衛医学教官へ連絡されたい。

第5学年 第6学年	科 目	防衛医学（臨床講義）	5時間	責任者	黒川 貴幸
--------------	-----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 黒川 貴幸
 加来 浩器（広域感染症）
 金武 潤（法医学）
 石神 徳郎
 江頭 早織
 吉松 真也

到達目標

自衛隊衛生に関する最新知見の学習を通じ、防衛医学への理解をさらに深める。トピックス等を通じて、自衛隊医官として将来果たすべき役割への自覚を深める。

1. 知識： 自衛隊における医官の役割や実際の働きについて具体的に説明できる。
 災害時における死体の取扱法を説明できる。
 情報セキュリティの重要性について説明できる。
 地域医療について問題点を説明できる。
2. 技能： 死体検案書の作成ができる。
3. 態度： 自衛隊医官として防衛医学で学んだ事項を実践する気構えを持つ。

評価法： 取得すべき単位認定としての評価は行わない。

1. 知識： 講義における課題等の提出及びディスカッション等によりフィードバックを行う。
2. 技能： 同上
3. 態度： 同上

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。
PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-02-02-01	自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。
PR-02-03-02	礼儀正しく振る舞う。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
PR-04-01-03	診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べることができる。
GE-01-01-02	適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。
GE-02-01-01	地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。
GE-02-01-02	患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。
GE-02-02-01	地域(都会・郊外・へき地・離島を含む)の実情に応じた医療と医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状の概要を理解している。
GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。
GE-02-02-05	地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。

GE-02-03-01	地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。
GE-02-03-02	離島・へき地や医師不足地域等の医療資源が限られた状況での医療提供体制及び保健・福祉・介護の体制の概要を理解している。
GE-03-06-01	死の概念と定義や生物学的な個体の死について理解している。
LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
RE-02-01-01	医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
CS-03-04-02	各種検案書の下書きを作成できる。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。
S0-01-01-01	公衆衛生の概念を理解している。
S0-01-05-02	健康危機管理(感染症、放射線事故、災害等の有事)に関連する基本的な制度や法律を理解している。
S0-01-05-03	災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。
S0-03-01-02	異状死・異状死体の取扱いと死体検案書について理解している。
S0-03-01-03	死亡診断書と死体検案書を作成できる。
S0-04-03-02	自然災害(新興感染症を含む)が起きた際に必要とされる医師の役割を理解している。
S0-04-05-01	医学・医療の歴史的変遷を踏まえ現代の医学的問題を相対化できる。

テキスト等：

- ① 参考書：防衛医学（防衛医学振興会）
- ② 死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル <http://www.mhlw.go.jp/toukei/manual/>
- ③ 当日配布するプリント
- ④ その他

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	9	金	1550-1705	災害と法医学 (死体の取扱と死体検案書の作成)	金武	①P715-734、 ②③
2	6	20	金	1550-1705	防衛医学研究アップデート	加來	
3	7	4	金	1300-1415	防衛医学アップデート	黒川	
4	7	11	金	1550-1705	大規模災害対応の実際	黒川 (招)	
5	9	26	金	1550-1705	自衛隊衛生最前線	黒川 (招)	

注1：(招)は招聘講師

招聘講師へ連絡を取りたい場合は、まず防衛医学教官へ連絡されたい。

注2：「災害と法医学」においては、スマートフォン/タブレット/カメラ等情報機器の教場持ち込みを厳禁とする。

第5学年	科目	内科学 I (臨床講義)	5時間	責任者	足立 健
------	----	--------------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 足立 健
 眞崎 暢之
 竹藤 亜紗子
 坂巻 裕介
 宇都 飛鳥
 栗原 勲 (教育改革・計画部門)

到達目標：

系統講義において身につけた知識、技能、態度を実際に応用できる場として、患者を診察し、その疾患の特徴を充分認識させると共にその正しい診断、治療の基本をまとめる。

1. 知識： 代表的循環器疾患の病態、診断、検査法、治療法を説明できる。代表的腎疾患の病態、診断、検査法、治療法を説明できる。代表的内分泌代謝疾患の病態、診断、検査法、治療法を説明できる。
2. 態度： 授業中の症例の診断・治療に真摯に取り組んでいるかを評点付ける。疾患に対して興味を持って取り組んでいるかを評点付ける。教官、先輩、後輩、患者と適切なコミュニケーションがとれているかを評価する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 授業中の理解度や臨床に向かう真摯さを評価する。質疑応答やグループでの discussion では真摯な態度で参加しているかを評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム (令和4年度改訂版) との対応：

<u>PS-02-06: 循環器系</u>				
PS-02-06-01	PS-02-06-02	PS-02-06-03	PS-02-06-04	PS-02-06-05
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>				
PS-02-09-01	PS-02-09-02	PS-02-09-03	PS-02-09-04	PS-02-09-05
<u>PS-02-14: 内分泌・栄養・代謝系</u>				
PS-02-14-01	PS-02-14-02	PS-02-14-03	PS-02-14-04	PS-02-14-05
<u>PS-03-04: 腫瘍</u>				
PS-03-04-18				

テキスト等：

- ① 当日配布するプリント
- ② 参考書1： 心臓病の病態生理—ハーバード大学テキスト (メディカルサイエンスインターナショナル)
- ③ 参考書2： ハリソン内科学 第5版 (メディカルサイエンスインターナショナル)
- ④ 参考書3： 内科学 第12版 (朝倉書店)

教室： 臨床大講堂 (4月11日、6月13日)、臨床小講堂2 (10月24日、11月28日、12月12日)

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	11	金	1425-1540	血管疾患	足立	①
2	6	13	金	1425-1540	不整脈	竹藤	①
3	10	24	金	1425-1540	内分泌代謝疾患	宇都	①
4	11	28	金	1425-1540	虚血性心疾患	眞崎	①
5	12	12	金	1300-1415	臨床推論 (NECS 形式)	坂巻 栗原	

第6学年	科目	内科学Ⅰ（臨床講義）	1時間	責任者	足立 健
------	----	------------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 足立 健
佐藤 亜沙子

到達目標：

系統講義において身につけた知識、技能、態度を実際に応用できる場として、患者を診察し、その疾患の特徴を充分認識させると共にその正しい診断、治療の基本をまとめる。

1. 知識： 代表的循環器疾患の病態、診断、検査法、治療法を説明できる。
2. 態度： 授業中の症例の診断・治療に真摯に取り組んでいるかを評点付ける。疾患に対して興味を持って取り組んでいるかを評点付ける。教官、先輩、後輩、患者と適切なコミュニケーションがとれているかを評価する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 授業中の理解度や臨床に向かう真摯さを評価する。質疑応答やグループでの discussion では真摯な態度で参加しているかを評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-03-05: 救急・集中治療

PS-03-05-02

テキスト等：

- ① 当日配布するプリント
- ② 参考書1： 心臓病の病態生理—ハーバード大学テキスト（メディカルサイエンスインターナショナル）
- ③ 参考書2： ハリソン内科学 第5版（メディカルサイエンスインターナショナル）
- ④ 参考書3： 内科学 第12版（朝倉書店）

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	13	金	1425-1540	不整脈	竹藤	①

第5学年	科目	内科学Ⅱ（臨床講義）	5時間	責任者	穂苅 量太
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 穂苅 量太
 成松 和幸
 富田 謙吾
 栗原 勲
 君塚 善文
 小川 卓範

到達目標：

消化器疾患、呼吸器疾患、感染症のうち、代表的症例を呈示し、その診断・治療法の知識ならびに臨床応用を習得する。

1. 知識： 代表的な消化器疾患（消化管・肝・胆道・膵疾患）、呼吸器疾患、感染症の病態、診断、検査法、治療法を説明することができる。
2. 態度： 常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 講義中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

CS-02-02: 臨床推論
CS-02-02-01 CS-02-02-02
CS-02-03: 検査(計画、分析評価)
CS-02-03-01

テキスト等： ① 当日配布プリント

教室： 臨床大講堂、臨床小講堂2

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	9	金	1425-1540	消化器疾患症例呈示	富田	①
2	6	20	金	1300-1415	臨床推論（NECS形式）	穂苅 栗原	①
3	7	18	金	1300-1415	呼吸器疾患症例呈示	小川	①
4	10	17	金	1425-1540	感染症症例呈示	君塚	①
5	1	9	金	1300-1415	消化器疾患症例呈示	成松	①

第6学年	科目	内科学Ⅱ（臨床講義）	1時間	責任者	穂苅 量太
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 穂苅 量太
富田 謙吾

到達目標：

消化器疾患のうち、代表的症例を呈示し、その診断・治療法の知識ならびに臨床応用を習得する。

1. 知識： 代表的な消化器疾患（消化管・肝・胆道・膵疾患）の病態、診断、検査法、治療法を説明することができる。
2. 態度： 常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 講義中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

CS-02-02: 臨床推論
CS-02-02-01 CS-02-02-02
CS-02-03: 検査(計画、分析評価)
CS-02-03-01

テキスト等： ① 当日配布プリント

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	9	金	1425-1540	消化器疾患症例呈示	富田	①

第5学年	科目	内科学Ⅲ（臨床講義）	5時間	責任者	鈴木 一詩
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 鈴木 一詩
伊藤 健司
小林 真一
本郷 悠

到達目標： 内科疾患の診断と治療の実際について症例を通じて理解する。

1. 知識： 内科疾患（血液疾患、神経筋疾患、膠原病疾患、血管疾患）の診断と治療について症例に則して説明できる。
2. 技能： 病態生理から症例を論理的に解釈することができる。
3. 態度： 臨床推論を使いながら、主体的に症例を考察する態度を理解する。

評価法：

1. 知識： 第5学年進級試験をもって充てる。
2. 技能： 講義時間に適宜口頭試問を実施する。
3. 態度： クリニカルクラークシップ時の実習態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-01-02： 個体の構成と機能</u>				
PS-01-02-30				
<u>PS-01-04： 病因と病態</u>				
PS-01-04-09	PS-01-04-12	PS-01-04-18		
<u>PS-02-02： 血液・造血器・リンパ系</u>				
PS-02-02-01	PS-02-02-02	PS-02-02-03	PS-02-02-04	PS-02-02-05
<u>PS-02-03： 神経系</u>				
PS-02-03-01	PS-02-03-02	PS-02-03-03	PS-02-03-04	PS-02-03-05
<u>PS-02-14： 内分泌・栄養・代謝系</u>				
PS-02-14-05	PS-02-14-06			
<u>PS-03-02： 免疫・アレルギー</u>				
PS-03-02-01	PS-03-02-02	PS-03-02-04	PS-03-02-05	
<u>CS-02-02： 臨床推論</u>				
CS-02-02-01	CS-02-02-02	CS-02-02-03	CS-02-02-04	
<u>CS-02-04： 治療(計画、経過の評価)</u>				
CS-02-04-01	CS-02-04-49			
<u>CS-03-05： 患者ケアに必要な連携</u>				
CS-03-05-01				

テキスト等：

- ① 血液： 当日配布するプリント及び提示するスライド
 参考書 1： Color Atlas of Clinical Hematology Second edition
 (A.V. Hoffbrand & J.E. Pettit, Mosby-Wolfe)
 参考書 2： 内科学 第 10 版 (矢崎義雄 総編集、朝倉書店)
- ② 神経： 当日配布するプリント及び提示するスライド
 参考書 1： ベットサイドの神経のみかた (南山堂)
 参考書 2： 神経局在診断 (文光堂)
 参考書 3： 国試対策神経内科学 (園生雅弘著、中外医学社)
 参考書 4： 医学生・研修医のための神経内科学 2 版 (中外医学社)
 参考書 5： Merrit's Neurology (Lippincot Williams & Wilkins)
- ③ 膠原病： 当日提示するスライド
 参考書 1： ハリソン内科学 第 3 版 (メディカルサイエンスインターナショナル)
 参考書 2： 内科学 第 10 版 (朝倉書店)
- ④ 血管： 当日配布するプリント及び提示するスライド
 参考書 1： ハリソン内科学 第 3 版 (メディカルサイエンスインターナショナル)
 参考書 2： The Metabolic and Molecular Bases of Inherited Disease Eighth edition
 (David Valle, McGraw-Hill Professional)

教室： 臨床大講堂 (6 月 27 日、7 月 4 日)、臨床小講堂 2 (9 月 5 日、12 月 5 日、1 月 16 日)

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	27	金	1425-1540	臨床講義 膠原病疾患	伊藤	③
2	7	4	金	1425-1540	臨床講義 神経疾患	鈴木	②
3	9	5	金	1300-1415	臨床講義 血液疾患	小林	①
4	12	5	金	1425-1540	臨床講義 血管疾患	未定	④
5	1	16	金	1425-1540	臨床講義 膠原病疾患	伊藤	③

第6学年	科目	内科学Ⅲ（臨床講義）	1時間	責任者	鈴木 一詩
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 鈴木 一詩
本郷 悠

到達目標： 神経筋疾患の診断と治療の実際について症例を通じて理解する。

1. 知識： 神経筋疾患の診断と治療について症例に則して説明できる。
2. 技能： 病態生理から症例を論理的に解釈することができる。
3. 態度： 臨床推論を使いながら、主体的に症例を考察する態度を理解する。

評価法：

1. 知識： 総合試験をもって充てる。
2. 技能： 講義時間に適宜口頭試問を実施する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-02-03：神経系</u>				
PS-02-03-01	PS-02-03-02	PS-02-03-03	PS-02-03-04	PS-02-03-05
<u>CS-02-02：臨床推論</u>				
CS-02-02-01	CS-02-02-02	CS-02-02-03	CS-02-02-04	
<u>CS-02-04：治療（計画、経過の評価）</u>				
CS-02-04-01	CS-02-04-49			
<u>CS-03-05：患者ケアに必要な連携</u>				
CS-03-05-01				

テキスト等：

- ① 当日配布するプリント及び提示するスライド
- ② ベットサイドの神経のみかた（南山堂）
- ③ 神経局在診断（文光堂）
- ④ 国試対策神経内科学（園生雅弘著、中外医学社）
- ⑤ 医学生・研修医のための神経内科学 2版（中外医学社）
- ⑥ Merrit's Neurology (Lippincot Williams & Wilkins)

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	7	4	金	1425-1540	臨床講義	鈴木	

第5学年	科目	精神科学（臨床講義）	4時間	責任者	戸田 裕之
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 長峯 正典（行動科学）
 斉藤 拓（行動科学）
 佐藤 豊（心理学）
 栗原 勲（教育改革・計画部門）

到達目標： 実際に問題となる臨床上の諸問題に対応する能力を育てる。

1. 知識： 地域精神医療、自衛隊医療、リエゾン精神医療などの現場での対応を学ぶ。
2. 態度： 課題に達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験を実施する。
2. 態度： 授業中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

CS-02-02-03	基本診療科で主訴からの診断推論を組み立てられる。
CM-01-01-04	対人関係に関わる心理的要因(陽性感情・陰性感情等)を認識しながらコミュニケーションをとることができる。
S0-01-04-01	産業保健の意義、労働衛生の3管理等、産業保健の基本的な考え方を理解している。
S0-01-05-03	災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。

テキスト等： ① ハンドアウト

教室： 臨床小講堂2（6月27日は臨床大講堂）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
2	4	18	金	1300-1415	自衛隊精神保健	斉藤	①
10	6	27	金	1300-1415	自殺の予防	長峯	①
16	8	29	金	1300-1415	カウンセリングの基礎理論	佐藤	①
23	10	17	金	1300-1415	臨床推論（NECS形式）	戸田 栗原	

第6学年	科目	精神科学（臨床講義）	1時間	責任者	戸田 裕之
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 長峯 正典（行動科学）

到達目標： 実際に問題となる臨床上の諸問題に対応する能力を育てる。

1. 知識： 地域精神医療、自衛隊医療、リエゾン精神医療などの現場での対応を学ぶ。
2. 態度： 課題に達成に真摯に取り組む。

評価法：

1. 知識： 筆記試験を実施する。
2. 態度： 授業中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

CS-02-02-03	基本診療科で主訴からの診断推論を組み立てられる。
CM-01-01-04	対人関係に関わる心理的要因（陽性感情・陰性感情等）を認識しながらコミュニケーションをとることができる。
S0-01-04-01	産業保健の意義、労働衛生の3管理等、産業保健の基本的な考え方を理解している。
S0-01-05-03	災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。

テキスト等： ① ハンドアウト

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
10	6	27	金	1300-1415	自殺の予防	長峯	①

第5学年	科目	小児科学（臨床講義）	6時間	責任者	今井 耕輔
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 今井 耕輔
 若松 太 （非常勤講師）
 金井 貴志
 森谷 邦彦
 釜江 智佳子
 座波 清誉
 栗原 勲 （教育改革・計画部門）

到達目標：

1. 知識： 第4学年で習得した小児医療の知識・技能に対する理解を臨床例に基づいて、さらに深める。
2. 態度： 大人とは異なる小児特有の疾患について積極的に習得する姿勢をもつ。

評価法： 講義中の質疑応答や、学習に取り組む態度等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-03-02: 小児期全般					
GE-03-02-01	GE-03-02-02	GE-03-02-03	GE-03-02-04	GE-03-02-05	GE-03-02-06
GE-03-06: 終末期					
GE-03-06-04					
PS-02-12: 小児					
PS-02-12-01	PS-02-12-02	PS-02-12-03	PS-02-12-04		
PS-03-04: 腫瘍					
PS-03-04-20					

テキスト等： ① プリント

教室： 臨床小講堂2（4月11日、6月13日は、臨床大講堂）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	11	金	1550-1705	小児血液・腫瘍性疾患	森谷	①
2	6	13	金	1550-1705	新生児疾患	若松	①
3	7	11	金	1300-1415	臨床推論（NECS形式）	今井 栗原	①
4	9	5	金	1550-1705	小児腎臓疾患	今井 釜江	①
5	10	24	金	1550-1705	小児循環器疾患	金井	①
6	11	7	金	1550-1705	小児神経疾患	今井 座波	①

第6学年	科目	小児科学（臨床講義）	1時間	責任者	今井 耕輔
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 若松 太（非常勤講師）

到達目標：

1. 知識： 第4・5学年で習得した小児医療の知識・技能に対する理解をさらに深め、充実させる。
2. 態度： 大人とは異なる小児特有の疾患について積極的に習得する姿勢をもつ。

評価法： 講義中の質疑応答や、学習に取り組む態度等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-03-02: 小児期全般					
GE-03-02-01	GE-03-02-02	GE-03-02-03	GE-03-02-04	GE-03-02-05	GE-03-02-06
GE-03-06: 終末期					
GE-03-06-04					
PS-02-12: 小児					
PS-02-12-01	PS-02-12-02	PS-02-12-03	PS-02-12-04		
PS-03-04: 腫瘍					
PS-03-04-20					

テキスト等： ① プリント

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	13	金	1550-1705	新生児疾患	若松	①

第5学年	科目	外科学 I (臨床講義)	5時間	責任者	上野 秀樹
------	----	--------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 上野 秀樹
 岸 庸二
 辻本 広紀
 梶原 由規
 永生 高広

到達目標：

消化器臓器の正常構造と生理機能を理解し、代表的な消化器病変の病理を理解し、さらに主な消化器疾患（消化管・肝・胆道・膵疾患）の病態生理、原因、診断および治療法について学ぶ。

1. 知識： 消化器臓器の正常構造と生理機能を説明できる。主な消化器疾患（食道癌、胃癌、炎症性腸疾患、直腸癌、肝癌、膵癌）の病態生理、病理、原因を説明できる。またこれらの消化器疾患の疫学、症候、診断および治療法を説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。

評価法：

1. 知識： 進級試験で評価する。
2. 態度： 相互型の授業により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-08: 消化器系				
PS-02-08-01	PS-02-08-02	PS-02-08-03	PS-02-08-04	PS-02-08-05
PS-03-04: 腫瘍				
PS-03-04-14				

テキスト等：

- ① 標準外科学 第16版（医学書院）
- ② NEW外科学 改訂第3版（南江堂）
- ③ 適宜プリントを配布する。

教室： 臨床大講堂（6月27日、7月4日）および臨床小講堂2（11月14日、12月12日、1月16日）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	27	金	1550-1705	大腸癌の診断と治療	上野	①②
2	7	4	金	1550-1705	臨床推論（NECS形式）	岸 栗原	
3	11	14	金	1550-1705	上部消化管癌の診断と治療	辻本	①②③
4	12	12	金	1550-1705	急性腹症の診断と治療	梶原	①②③
5	1	16	金	1550-1705	膵頭部領域癌の診断と治療	永生	①②③

第6学年	科目	外科学 I (臨床講義)	1時間	責任者	上野 秀樹
------	----	--------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 上野 秀樹
岸 庸二

到達目標：

消化器臓器の正常構造と生理機能を理解し、代表的な消化器病変の病理を理解し、さらに主な消化器疾患（消化管・肝・胆道・膵疾患）の病態生理、原因、診断および治療法について学ぶ。

1. 知識： 消化器臓器の正常構造と生理機能を説明できる。主な消化器疾患（食道癌、胃癌、炎症性腸疾患、直腸癌、肝癌、膵癌）の病態生理、病理、原因を説明できる。またこれらの消化器疾患の疫学、症候、診断および治療法を説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。

評価法：

1. 知識： 進級試験で評価する。
2. 態度： 相互型の授業により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-08: 消化器系				
PS-02-08-01	PS-02-08-02	PS-02-08-03	PS-02-08-04	PS-02-08-05
PS-03-04: 腫瘍				
PS-03-04-14				

テキスト等：

- ① 標準外科学 第16版（医学書院）
- ② NEW 外科学 改訂第3版（南江堂）
- ③ 適宜プリントを配布する。

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	7	4	金	1550-1705	臨床推論 (NECS 形式)	岸 栗原	

第5学年	科目	外科学Ⅱ（臨床講義）	2時間	責任者	堤 浩二
------	----	------------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 堤 浩二
橋本 博史
石田 治

到達目標：

胸部外科（主に循環器・呼吸器）領域と血管外科領域の臨床的な判断に関する基本的な考え方を学ぶ。

1. 知識： 胸部外科と血管外科領域に必要な知識を自ら説明できる。
2. 技能： 胸部外科と血管外科領域に必要な技能を知識として把握する。
3. 態度： 講義において質問や意見を述べるなど、積極的な態度を示せる。

評価法： 定期試験中の筆記試験により評価する。

1. 知識： 講義中の試問と筆記試験で評価する。
2. 技能： 基本的技能を知識として把握していることを講義中の試問と筆記試験で評価する。
3. 態度： 知識や技能を得ようとする積極的な態度の有無を評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PS-02-06：循環器系</u>				
PS-02-06-01	PS-02-06-02	PS-02-06-03	PS-02-06-04	PS-02-06-05
<u>PS-02-07：呼吸器系</u>				
PS-02-07-01	PS-02-07-02	PS-02-07-03	PS-02-07-04	PS-02-07-05

テキスト等：

- ① 標準外科学 第17版（医学書院）
- ② 当日配付するプリント

教室： 臨床大講堂（6月20日）、臨床小講堂2（10月10日）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	20	金	1425-1540	心血管疾患（弁膜症、大動脈、虚血性心疾患など）	石田	①P349-436
2	10	10	金	1425-1540	呼吸器疾患（肺腫瘍）	橋本	①P303-348

第6学年	科目	外科学Ⅱ（臨床講義）	1時間	責任者	堤 浩二
------	----	------------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 堤 浩二
石田 治

到達目標：

心臓血管外科領域の臨床的な判断に関する基本的な考え方を学ぶ。

1. 知識： 心臓血管外科領域に必要な知識を自ら説明できる。
2. 技能： 心臓血管外科領域に必要な技能を知識として把握する。
3. 態度： 講義において質問や意見を述べるなど、積極的な態度を示せる。

評価法： 定期試験中の筆記試験により評価する。

1. 知識： 講義中の試問と筆記試験で評価する。
2. 技能： 基本的技能を知識として把握していることを講義中の試問と筆記試験で評価する。
3. 態度： 知識や技能を得ようとする積極的態度の有無を評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-06-01	循環器系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-06-02	循環器系でみられる症候について理解している。
PS-02-06-03	循環器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-06-04	循環器系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-06-05	循環器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

テキスト等：

- ① 標準外科学 第17版（医学書院）
- ② 当日配付するプリント

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	20	金	1425-1540	心血管疾患（弁膜症、大動脈、虚血性心疾患など）	石田	①P349-436

第4学年	科目	脳神経外科学（臨床講義）	1時間	責任者	和田 孝次郎
------	----	--------------	-----	-----	--------

担当教官名と連絡先： 和田 孝次郎
豊岡 輝繁
富山 新太
竹内 誠
三島 有美子
藤井 和也

到達目標：

神経系の正常構造と機能を理解し、主な神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。神経系疾患の主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢ならびに性別と関連づけて学ぶ。神経系疾患の診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、副作用）を学ぶ。脊椎の正常構造と機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。視床下部・下垂体の機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。個体の死について学ぶ。神経系の放射線診断と治療の基本を学ぶ。

1. 知識： 神経系の正常構造と機能を説明できる。また主な神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。神経系疾患の主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢ならびに性別と関連づけて説明できる。神経系疾患の診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、副作用）について説明できる。脊椎の正常構造と機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。視床下部・下垂体の機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。個体の死について説明できる。神経系の放射線診断と治療について説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験により評価する。
2. 態度： 授業中の態度を評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-03: 神経系

PS-02-03-01 PS-02-03-02 PS-02-03-03 PS-02-03-04 PS-02-03-05

テキスト等：

- ① 病気がみえる7
- ② 防衛医学（防衛医学振興会）
- ③ 当日配布するプリント
- ④ ホームページ <http://www.ndmc.ac.jp/med/subject/noshinkei/>

教室： 臨床小講堂1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	16	金	1425-1540	めまいの診断と治療	和田	①③

第5学年	科目	脳神経外科学（臨床講義）	4時間	責任者	和田 孝次郎
------	----	--------------	-----	-----	--------

担当教官名と連絡先： 和田 孝次郎
豊岡 輝繁
富山 新太
竹内 誠
三島 有美子
藤井 和也

到達目標：

神経系の正常構造と機能を理解し、主な神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。神経系疾患の主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢ならびに性別と関連づけて学ぶ。神経系疾患の診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、副作用）を学ぶ。脊椎の正常構造と機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。視床下部・下垂体の機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。個体の死について学ぶ。神経系の放射線診断と治療の基本を学ぶ。

1. 知識： 神経系の正常構造と機能を説明できる。また主な神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。神経系疾患の主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢ならびに性別と関連づけて説明できる。神経系疾患の診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、副作用）について説明できる。脊椎の正常構造と機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。視床下部・下垂体の機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。個体の死について説明できる。神経系の放射線診断と治療について説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験により評価する。
2. 態度： 授業中の態度を評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-03: 神経系

PS-02-03-01 PS-02-03-02 PS-02-03-03 PS-02-03-04 PS-02-03-05

テキスト等：

- ① 病気がみえる 7
- ② 防衛医学（防衛医学振興会）
- ③ 当日配布するプリント
- ④ ホームページ <http://www.ndmc.ac.jp/med/subject/noshinkei/>

教室： 臨床大講堂（9月26日）、臨床小講堂2（5月30日、9月19日、11月14日）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	30	金	1300-1415	医師国家試験対策：水頭症・下垂体腺腫	豊岡	
2	9	19	金	1300-1415	医師国家試験対策：外傷全般の国家試験対策	竹内	
3	9	26	金	1300-1415	医師国家試験対策：髄膜腫・神経膠腫等	藤井	
4	11	14	金	1300-1415	医師国家試験対策：脳卒中全般	和田	

第6学年	科目	脳神経外科学（臨床講義）	1時間	責任者	和田 孝次郎
------	----	--------------	-----	-----	--------

担当教官名と連絡先： 和田 孝次郎
豊岡 輝繁
富山 新太
竹内 誠
三島 有美子
藤井 和也

到達目標：

神経系の正常構造と機能を理解し、主な神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。神経系疾患の主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢ならびに性別と関連づけて学ぶ。神経系疾患の診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、副作用）を学ぶ。脊椎の正常構造と機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。視床下部・下垂体の機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。個体の死について学ぶ。神経系の放射線診断と治療の基本を学ぶ。

1. 知識： 神経系の正常構造と機能を説明できる。また主な神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。神経系疾患の主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を発達、成長、加齢ならびに性別と関連づけて説明できる。神経系疾患の診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、副作用）について説明できる。脊椎の正常構造と機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。視床下部・下垂体の機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療について説明できる。個体の死について説明できる。神経系の放射線診断と治療について説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。先生、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験により評価する。
2. 態度： 授業中の態度を評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-03: 神経系					
PS-02-03-01	PS-02-03-02	PS-02-03-03	PS-02-03-04	PS-02-03-05	

テキスト等：

- ① 病気がみえる7
- ② 防衛医学（防衛医学振興会）
- ③ 当日配布するプリント

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	9	26	金	1300-1415	医師国家試験対策： 髄膜腫・神経膠腫等	藤井	

第5学年	科目	整形外科学（臨床講義）	6時間	責任者	堀内 圭輔
------	----	-------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 堀内 圭輔
北村 和也
梶川 慶太
山下 太郎
久島 雄宇
小林 紘樹

到達目標：

整形外科の代表的疾患に対して、特に臨床面からアプローチし、病態の把握、診断、治療計画の立て方、予後の予測などの思考過程を養う。

1. 知識： 運動器の正常構造と生理機能を説明できる。整形外科領域における主な外傷と疾患の原因、病態、症候、診断、治療、予後を説明できる。
2. 技能： 基本的な徒手検査を含む身体診察ができる。基本的な画像読影ができる。
3. 態度： 課題の達成に真摯に取り組み、教官、上級医、同僚と良好なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識： 進級試験で評価する。
2. 技能： 徒手検査を含めた診察や画像読影を行わせて評価する。
3. 態度： 授業態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-04-01-04	身体活動、スポーツ医・科学(競技スポーツ以外も含む)の知識や統計情報をもとに個人の生活活動を評価でき、本人や家族の生活や価値観も踏まえた上で活動や運動の支援を計画できる。
PS-02-05-01	運動器(筋骨格)系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-05-03	運動器(筋骨格)系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-05-04	運動器(筋骨格)系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-05-05	運動器(筋骨格)系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-03-05-12	外傷の病態と診断の要点について理解している。

テキスト等：

- ① 運動器系講義ノート（整形外科学講座編集）
- ② 標準整形外科学（医学書院）
- ③ ハンドアウト（当日配布するプリント）

教室：臨床小講堂2（5月30日は臨床大講堂）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	4	18	金	1425-1540	腰痛	北村	①
2	4	18	金	1550-1705	骨折	久島	①
3	5	30	金	1425-1540	関節痛をきたす疾患	小林	①
4	7	11	金	1425-1540	スポーツ外傷と障害	山下	①
5	10	10	金	1550-1705	骨代謝と骨粗鬆症	堀内	①
6	1	16	金	1300-1415	脊柱変形を来す疾患	梶川	①

第6学年	科目	整形外科学（臨床講義）	2時間	責任者	堀内 圭輔
------	----	-------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 久島 雄宇
小林 絃樹

教育目標：

整形外科の代表的疾患に対して、特に臨床面からアプローチし、病態の把握、診断、治療計画の企て方、予後の予測などの思考過程を養う。

1. 知識： 運動器の正常構造と生理機能を説明できる。整形外科領域における主な外傷と疾患の原因、病態、症候、診断、治療、予後を説明できる。
2. 技能： 基本的な徒手検査を含む身体診察ができる。基本的な画像読影ができる。
3. 態度： 課題の達成に真摯に取り組み、教官、上級医、同僚と良好なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識： 総合試験で評価する。
2. 技能： 徒手検査を含む診察や画像読影を行わせて評価する。
3. 態度： 授業態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-04-01-04	身体活動、スポーツ医・科学(競技スポーツ以外も含む)の知識や統計情報をもとに個人の生活活動を評価でき、本人や家族の生活や価値観も踏まえた上で活動や運動の支援を計画できる。
PS-02-05-01	運動器(筋骨格)系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-05-03	運動器(筋骨格)系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-05-04	運動器(筋骨格)系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-05-05	運動器(筋骨格)系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-03-05-12	外傷の病態と診断の要点について理解している。

テキスト等：

- ① 運動器系講義ノート（整形外科学講座編集）
- ② 標準整形外科学（医学書院）
- ③ ハンドアウト（当日配布するプリント）

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	23	金	1425-1540	関節痛をきたす疾患	小林	①
2	7	11	金	1425-1540	骨折	久島	①

第4学年	科目	皮膚科学（臨床講義）	1時間	責任者	佐藤 貴浩
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 佐藤 貴浩
 端本 宇志
 沢田 泰之

到達目標： 緊急に対応を要する皮膚細菌感染症の症候、診断、治療を学ぶ。

1. 知識： 細菌感染症の所見を判断し、診断を行い、適切な治療法を挙げることができる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。疑問点を積極的に同僚や教官に質問して解決する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 講義の聴講に集中し、講義の内容に関する質問に応答することができる。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-04-02	皮膚系でみられる症候について理解している。
PS-02-04-03	皮膚系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-04-04	皮膚系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-04-05	皮膚系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

テキスト等：

- ① 見て分かる皮膚疾患（中外医学）
- ② 標準皮膚科学 第11版（医学書院）
- ③ New Minor Dermatology 皮膚科学（金芳堂）
- ④ あたらしい皮膚科学（中山書店）

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	30	金	1425-1540	緊急を要する細菌感染症	(招) 沢田	①P444-474、 ②P403-415、 ③P449-466、 ④P275-290、

注：(招)は招聘講師

第5学年	科目	皮膚科学（臨床講義）	5時間	責任者	佐藤 貴浩
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 佐藤 貴浩
 端本 宇志
 山崎 正視
 沢田 泰之

到達目標： 皮膚の構造と機能を理解し、主に皮膚疾患の病態生理・原因・症候・診断を学ぶ。

1. 知識： 緊急を要する細菌感染症の特徴を説明できる。重症皮膚アレルギーの症状を理解し、皮膚アレルギー検査法を説明できる。薬疹の病型を列記し解説できる。薬疹や薬物障害の発症機序、症候と治療を説明できる。重要なウイルス感染症の特徴を説明できる。防衛医学における皮膚科の役割を説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。疑問点を積極的に同僚や教官に質問して解決する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 講義の聴講に集中することができる。講義の内容に関する質問に応答することができる。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-04-02	皮膚系でみられる症候について理解している。
PS-02-04-03	皮膚系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-04-04	皮膚系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-04-05	皮膚系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

テキスト等：

- ① 見て分かる皮膚疾患（中外医学）
- ② 標準皮膚科学 第11版（医学書院）
- ③ New Minor Dermatology 皮膚科学（金芳堂）
- ④ あたらしい皮膚科学（中山書店）

教室： 臨床大講堂（8月22日、9月12日、10月17日は臨床小講堂2）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	22	金	1425-1540	食物アレルギー、アナフィラキシー	佐藤	①P200-205、 ③P105-114、 ④P63-68
2	9	12	金	1425-1540	ウイルス感染症	端本	①P524-560、 ②P417-432、 P475-494、 ③P424-448、 P492-506、 ④P259-273、 P291-294、 P309-310
3	9	19	金	1425-1540	薬疹と皮膚アレルギー	端本	①P212-219、 ②P153-161、 ③P126-134、 ④P127-134

4	10	17	金	1550- 1705	ハンセン病	(招)山崎	①P486-495、 ②P467-473、 ③P488、④P287
5	1	30	金	1425- 1540	緊急を要する細菌感染症	(招)沢田	①P444-474、 ②P403-415、 ③P449-466、 ④P275-290

注：(招)は招聘講師

第6学年	科目	皮膚科学（臨床講義）	1時間	責任者	佐藤 貴浩
------	----	------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 佐藤 貴浩
端本 宇志

到達目標： 皮膚の構造と機能を理解し、主に細菌感染症の病態生理・原因・症候・診断を学ぶ。

1. 知識： 緊急性を要する細菌感染症の特徴を説明できる。処置や治療法などの対応方法を学ぶ。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。疑問点を積極的に同僚や教官に質問して解決する。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 講義の聴講に集中することができる。講義の内容に関する質問に応答することができる。課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションがとれる。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-04-02	皮膚系でみられる症候について理解している。
PS-02-04-03	皮膚系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-04-04	皮膚系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-04-05	皮膚系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

テキスト等：

- ① 見て分かる皮膚疾患（中外医学）
- ② 標準皮膚科学 第11版（医学書院）
- ③ New Minor Dermatology 皮膚科学（金芳堂）
- ④ あたらしい皮膚科学（中山書店）

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	9	19	金	1425-1540	薬疹と皮膚アレルギー	端本	①P212-219、 ②P153-161、 ③P126-134、 ④P127-134

第5学年 第6学年	科 目	泌尿器科学（臨床講義）	5時間	責任者	伊藤 敬一
--------------	-----	-------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 伊藤 敬一
黒田 健司
辻田 裕二郎
新地 祐介

到達目標：

男性・女性の副腎、腎、尿路および男性生殖器の正常構造と生理機能を理解し、主な泌尿器科疾患の病態生理、原因、症候、診断および治療法について学ぶ。本臨床講義では、泌尿器科学において特に重要な症状である血尿と排尿障害について、その原因の診断と治療について講義を行う。また救急対応が必要な泌尿器科疾患についても講義を行う。さらに具体的な症例を提示し、実際の泌尿器科診療について学習する。

1. 知識： 泌尿器科疾患の理解に必要な、解剖および生理機能を説明できる。主な泌尿器科疾患の病態、生理、病理、原因を説明できる。症候から、診断に必要な検査および治療法を説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識を取り入れる姿勢を身につける。同僚から学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法： 臨床実習、総合試験により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-09-01	腎・尿路系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-09-02	腎・尿路系でみられる症候について理解している。
PS-02-09-03	腎・尿路系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-09-04	腎・尿路系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-09-05	腎・尿路系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-02-10-01	生殖器系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-10-02	生殖器系でみられる症候について理解している。
PS-02-10-03	生殖器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-04	生殖器系に関する疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-05	生殖器系に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
CS-02-02-01	主要症候について原因と病態生理を理解している。
CS-02-02-02	主要症候について鑑別診断を検討し、診断の要点を説明できる。

テキスト等：

- ① 標準泌尿器科学 改訂第10版（医学書院）
- ② 教官の配布するプリント
- ③ Smith and Tanagho's General Urology 19th edition (Lange)
- ④ 病気が見える 腎・泌尿器 vol. 8 (MEDIC MEDIA)

第5学年

教室： 臨床小講堂2（9月19日は臨床大講堂）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	7	18	金	1425- 1540	排尿障害の診断と治療	黒田	①②
2	9	5	金	1425- 1540	救急対応が必要な泌尿器科疾患	辻田	①②
3	9	19	金	1550- 1705	血尿の見方	伊藤	①②
4	11	28	金	1550- 1705	症例から学ぶ泌尿器科疾患	新地	①②

第6学年

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	9	19	金	1550- 1705	血尿の見方	伊藤	①②

第4学年	科目	眼科学（臨床講義）	1時間	責任者	竹内 大
------	----	-----------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 竹内 大
播本 幸三

到達目標： 眼科領域で重要な疾患の病態生理・原因・症候・診断・治療を呈示された症例をもとに学ぶ。

1. 知識： 後眼部疾患の診断、治療について理解し、説明できる。
2. 態度： 講義の聴講に集中することができる。講義の内容に関する質問に、応答することができる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。臨床実習時にグループごとに口答試験により評価する。
2. 態度： 授業の聴講姿勢、質問に対する応答の言葉遣いにて評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-15-02	眼・視覚系で見られる症候について理解している。
PS-02-15-05	眼・視覚系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

テキスト等： ① 中澤満、村上昌、園田康平編集： 標準眼科学 改訂第14版（医学書院）

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	30	金	1550-1705	眼症候診断学	播本	①P16-46

第5学年	科目	眼科学（臨床講義）	5時間	責任者	竹内 大
------	----	-----------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 竹内 大
佐藤 智人
神田 貴之
播本 幸三

到達目標： 眼科領域で重要な疾患の病態生理・原因・症候・診断・治療を呈示された症例をもとに学ぶ。

1. 知識： 緑内障の診断、治療について理解し説明できる。白内障の診断、治療について理解し説明できる。眼科領域にみられる症候と、その診断、治療について理解し説明できる。前眼部疾患の診断、治療について理解し説明できる。後眼部疾患の診断、治療について理解し、説明できる。
2. 態度： 講義の聴講に集中することができる。講義の内容に関する質問に、応答することができる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。臨床実習時にグループごとに口答試験により評価する。
2. 態度： 授業の聴講姿勢、質問に対する応答の言葉遣いにて評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-15-01	眼・視覚系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-15-02	眼・視覚系でみられる症候について理解している。
PS-02-15-03	眼・視覚系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-15-04	眼・視覚系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-15-05	眼・視覚系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

テキスト等： ① 中澤満、村上昌、園田康平編集：標準眼科学 改訂第14版（医学書院）

教室： 臨床大講堂（5月30日、1月30日）および臨床小講堂2（8月29日、9月12日、12月5日）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	30	金	1550-1705	前眼部疾患	神田	①P47-73, P214-225
2	8	29	金	1550-1705	網膜剥離、糖尿病網膜症	佐藤	①P164-167, P177-183
3	9	12	金	1550-1705	後眼部疾患	神田	①P137-145, P184-204
4	12	5	金	1550-1705	緑内障	神田	①P106-136
5	1	30	金	1550-1705	眼症候診断学	播本	①P16-46

第6学年	科目	眼科学（臨床講義）	1時間	責任者	竹内 大
------	----	-----------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 竹内 大
神田 貴之

到達目標： 眼科領域で重要な疾患の病態生理・原因・症候・診断・治療を呈示された症例をもとに学ぶ。

1. 知識： 緑内障の診断、治療について理解し説明できる。
2. 態度： 講義の聴講に集中することができる。講義の内容に関する質問に、応答することができる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。臨床実習時にグループごとに口答試験により評価する。
2. 態度： 授業の聴講姿勢、質問に対する応答の言葉遣いにて評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-15-01	眼・視覚系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-15-02	眼・視覚系でみられる症候について理解している。
PS-02-15-03	眼・視覚系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-15-04	眼・視覚系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-15-05	眼・視覚系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

テキスト等： ① 中澤満、村上昌、園田康平編集： 標準眼科学 改訂第14版（医学書院）

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	30	金	1550-1705	前眼部疾患	神田	①P47-73, P214-225

第4学年	科目	耳鼻咽喉科学（臨床講義）	2時間	責任者	荒木 幸仁
------	----	--------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 荒木 幸仁
宇野 光祐
渡部 高久

到達目標：耳鼻・咽喉・口腔系疾患の診断と治療を理解する。

1. 知識：頭頸部疾患の診断と治療が説明できる。
2. 態度：常に最新の医学知識の更新に取り組む。教官、同僚と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識：臨床実習時にグループごとの口答試験により評価する。
2. 態度：授業態度、出席状況により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-16: 耳鼻・咽喉・口腔系					
PS-02-16-01	PS-02-16-02	PS-02-16-03	PS-02-16-04	PS-02-16-05	
PS-03-04: 腫瘍					
PS-03-04-19	PS-03-04-21	PS-03-04-23	PS-03-04-24	PS-03-04-25	PS-03-04-26
CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)					
CS-02-04-17					

テキスト等：スライド、ビデオ

教室：臨床小講堂1（1月23日）および臨床大講堂（1月30日）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	23	金	1300-1415	感染症	宇野	
2	1	30	金	1300-1415	頭頸部内視鏡	渡部	

第5学年	科目	耳鼻咽喉科学（臨床講義）	5時間	責任者	荒木 幸仁
------	----	--------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 荒木 幸仁
宇野 光祐
渡部 高久
捨田利 慧

到達目標： 耳鼻・咽喉・口腔系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。

1. 知識： 喉頭癌の症候、診断と治療を説明できる。口腔、咽頭の悪性腫瘍を概説できる。嘔声と嚥下困難・障害をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。睡眠時無呼吸症候群を概説できる。内視鏡を用いた喉頭疾患の治療を概説できる。人工内耳の適応を正しく理解し、術式および術後成績について概説できる。
2. 態度： 常に最新の医学知識の更新に取り組む。教官、同僚と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識： 卒業試験により評価する。
2. 態度： 授業態度、出席状況により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-16: 耳鼻・咽喉・口腔系					
PS-02-16-01	PS-02-16-02	PS-02-16-03	PS-02-16-04	PS-02-16-05	
PS-03-04: 腫瘍					
PS-03-04-19	PS-03-04-21	PS-03-04-23	PS-03-04-24	PS-03-04-25	PS-03-04-26
CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)					
CS-02-04-17					

テキスト等： スライド、ビデオ

教室： 臨床大講堂（5月9日、1月30日）および臨床小講堂2（8月22日、9月12日、12月5日）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	9	金	1300-1415	頭頸部腫瘍	宇野	
2	8	22	金	1300-1415	喉頭疾患、嚥下障害	荒木	
3	9	12	金	1300-1415	鼻科疾患、睡眠時無呼吸	捨田利	
4	12	5	金	1300-1415	耳科疾患（聴覚）	渡部	
5	1	30	金	1300-1415	耳科疾患（平衡）	渡部	

第6学年	科目	耳鼻咽喉科学（臨床講義）	1時間	責任者	荒木 幸仁
------	----	--------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 荒木 幸仁
宇野 光祐

到達目標： 耳鼻・咽喉・口腔系疾患の診断と治療を理解する。

1. 知識： 喉頭癌の症候、診断と治療を説明できる。口腔、咽頭の悪性腫瘍を概説できる。
2. 態度： 常に最新の医学知識の更新に取り組む。教官、同僚と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識： 卒業試験により評価する。
2. 態度： 授業態度、出席状況により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-16: 耳鼻・咽喉・口腔系					
PS-02-16-01	PS-02-16-02	PS-02-16-03	PS-02-16-04	PS-02-16-05	
PS-03-04: 腫瘍					
PS-03-04-19	PS-03-04-21	PS-03-04-23	PS-03-04-24	PS-03-04-25	PS-03-04-26
CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)					
CS-02-04-17					

テキスト等： スライド、ビデオ

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	9	金	1300-1415	頭頸部腫瘍	宇野	

第5学年	科目	産科婦人科学	6時間	責任者	高野 政志
------	----	--------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 高野 政志
濱田 佳伸
宮本 守員
曾山 浩明
尾松 公平（腫瘍化学療法部）
加藤 顕人（腫瘍化学療法部）

到達目標： 臨床実習を通じて修得する基本的な産科婦人科学の知識・技能に加えて、最新の臨床的トピックを中心に講義を行い、系統講義では網羅し難い分野のより深い知識と学習意欲の向上を目的とする。

1. 知識： 産科婦人科学の各領域における最新トピックである分子細胞マーカーや最新画像診断の成果を簡単に説明できる。
2. 技能： 修得した知識を論理的に説明することができる。
3. 態度： 生殖という次世代の生命に関与する医学・医療であることを自覚し、課題の達成に真摯に取り組む。

評価法： 定期試験中の筆記試験により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-10-01	生殖器系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-10-02	生殖器系でみられる症候について理解している。
PS-02-10-03	生殖器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-04	生殖器系に関する疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-05	生殖器系に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-02-11-01	妊娠と分娩に関する構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-11-02	妊娠と分娩でみられる症候について理解している。
PS-02-11-03	妊娠と分娩で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-11-04	妊娠と分娩に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-11-05	妊娠と分娩に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-03-01-05	遺伝カウンセリングの意義と方法について理解している。
PS-03-04-16	主な生殖器系腫瘍の症候、診断、治療について理解している。
PS-03-04-23	主な腫瘍の手術療法について概要を理解している。
PS-03-04-25	主な腫瘍の薬物療法（細胞障害性抗癌薬、分子標的治療薬）、造血幹細胞移植、がん免疫に関する治療法について概要を理解している。

テキスト等：① 当日に配布する。

教室：臨床小講堂2（9月26日は臨床大講堂）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	7	18	金	1550- 1705	周産期医学と超音波診断の進歩	曾山	①
2	8	29	金	1425- 1540	抗癌剤抵抗性のメカニズムとその対策	宮本	①
3*	9	26	金	1425- 1540	産科婦人科における最新の手術学	加藤	①
4	10	24	金	1300- 1415	産科婦人科領域における遺伝疾患、遺伝カウンセリング	濱田	①
5	11	14	金	1425- 1540	HPV と子宮頸癌、HPV ワクチンの話題	高野	①
6	1	9	金	1425- 1540	分子バイオマーカーと婦人科腫瘍	尾松	①

* 第6学年と合同

第6学年	科目	産科婦人科学	1時間	責任者	高野 政志
------	----	--------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 加藤 顕人（腫瘍化学療法部）

到達目標： 臨床実習を通じて修得する基本的な産科婦人科学の知識・技能に加えて、最新の臨床的トピックを中心に講義を行い、系統講義では網羅し難い分野のより深い知識と学習意欲の向上を目的とする。

1. 知識： 産科婦人科学の各領域における最新トピックである分子細胞マーカーや最新画像診断の成果を簡単に説明できる。
2. 技能： 修得した知識を論理的に説明することができる。
3. 態度： 生殖という次世代の生命に関与する医学・医療であることを自覚し、課題の達成に真摯に取り組む。

評価法： 臨床実習、総合試験により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

PS-02-10-01	生殖器系の構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-10-02	生殖器系でみられる症候について理解している。
PS-02-10-03	生殖器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-04	生殖器系に関する疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-10-05	生殖器系に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-02-11-01	妊娠と分娩に関する構造と機能について基本的事項を理解している。
PS-02-11-02	妊娠と分娩でみられる症候について理解している。
PS-02-11-03	妊娠と分娩で行う検査方法について基本的事項を理解している。
PS-02-11-04	妊娠と分娩に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
PS-02-11-05	妊娠と分娩に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
PS-03-01-05	遺伝カウンセリングの意義と方法について理解している。
PS-03-04-16	主な生殖器系腫瘍の症候、診断、治療について理解している。
PS-03-04-23	主な腫瘍の手術療法について概要を理解している。
PS-03-04-25	主な腫瘍の薬物療法（細胞障害性抗癌薬、分子標的治療薬）、造血幹細胞移植、がん免疫に関する治療法について概要を理解している。

テキスト等： ① 当日に配布する。

教室： 臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1*	9	26	金	1425-1540	産科婦人科における最新の手術学	加藤	①

* 第5学年と合同

第4学年	科目	放射線医学（臨床講義）	1時間	責任者	野崎 太希
------	----	-------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 野崎 太希

到達目標： 放射線診断学の新しい発展領域を修得する。

1. 知識： 泌尿生殖器領域における最近の画像診断の進歩に関して説明できる。
2. 技能： CT、MRI の最新技術を用いて病変のある部位を指摘することができる。
3. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。
画像診断の目的ごとに、どの検査法が重要であるとランクを付ける。

評価法：

1. 知識： 実習中の試問と筆記試験で評価する。
2. 技能： 実習中の試問で評価する。
3. 態度： 実習中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

<u>PS-02-07: 呼吸器系</u>					
PS-02-07-01	PS-02-07-03	PS-02-07-05			
<u>PS-02-08: 消化器系</u>					
PS-02-08-01	PS-02-08-03	PS-02-08-05			
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>					
PS-02-09-01	PS-02-09-03	PS-02-09-05			
<u>PS-02-10: 生殖器系</u>					
PS-02-10-01	PS-02-10-03	PS-02-10-05			
<u>PS-03-04: 腫瘍</u>					
PS-03-04-05	PS-03-04-13	PS-03-04-14	PS-03-04-15	PS-03-04-16	PS-03-04-24
<u>PS-03-06: 放射線の生体影響と適切な利用、放射線障害</u>					
PS-03-06-01	PS-03-06-02	PS-03-06-03	PS-03-06-04	PS-03-06-05	PS-03-06-06
PS-03-06-07	PS-03-06-08				
<u>CS-02-03: 検査(計画、分析評価)</u>					
CS-02-03-01	CS-02-03-02	CS-02-03-03	CS-02-03-04	CS-02-03-05	CS-02-03-06
CS-02-03-07					
<u>CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)</u>					
CS-02-04-15	CS-02-04-16				
<u>CS-03-01: 検査手技</u>					
CS-03-01-01					
<u>CS-03-02: 治療手技</u>					
CS-03-02-01					

テキスト等：

- ① 標準放射線医学 第7版
- ② プリント

教室： 臨床小講堂1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	16	金	1300-1415	放射線診断学の新しい発展領域	新本	①P491-510、②

第5学年	科目	放射線医学（臨床講義）	6時間	責任者	野崎 太希
------	----	-------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 杉浦 弘明
 笠松 智孝
 江戸 博美
 須山 陽介
 濱本 耕平（非常勤講師）
 渡邊 定弘（招へい講師）

到達目標：

種々のモダリティ（単純写真、CT、MRI、US、核医学）の原理を理解し、読影能力を高めて診断に寄与し、種々の治療法（IVR、放射線治療、核医学）を理解し治療にも寄与できる能力を涵養する。放射線治療の基本を修得する。

1. 知識： 種々の画像診断法（CT、MRI、US、核医学、単純写真）の原理を説明できる。それぞれの画像診断法で人体の解剖を説明できる。種々の治療法（IVR、放射線治療、核医学）の原理を説明でき、放射線障害についても説明できる。IVRでは医療器具（カテーテル、ガイドワイヤー、ステント、フィルター、コイルなど）を説明できる。放射線治療では放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。放射線防護と安全管理について説明できる。
2. 技能： 読影では簡単な所見を拾い上げ、鑑別診断を列挙できる。IVRでは各手技の適応を挙げることができる。放射線治療では放射線治療計画を説明できる。
3. 態度： 読影では絶えず教科書、文献を検索する態度と想像力を働かせる態度を養う。IVR、放射線治療では患者の尊厳を傷つけないよう患者の尊厳を敬う。

評価法：

1. 知識： 実習中の試問と筆記試験で評価する。
2. 技能： 実習中の試問で評価する。
3. 態度： 実習中の態度で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

<u>PS-02-07: 呼吸器系</u>					
PS-02-07-01	PS-02-07-03	PS-02-07-05			
<u>PS-02-08: 消化器系</u>					
PS-02-08-01	PS-02-08-03	PS-02-08-05			
<u>PS-02-09: 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)</u>					
PS-02-09-01	PS-02-09-03	PS-02-09-05			
<u>PS-02-10: 生殖器系</u>					
PS-02-10-01	PS-02-10-03	PS-02-10-05			
<u>PS-03-04: 腫瘍</u>					
PS-03-04-05	PS-03-04-13	PS-03-04-14	PS-03-04-15	PS-03-04-16	PS-03-04-24
<u>PS-03-06: 放射線の生体影響と適切な利用、放射線障害</u>					
PS-03-06-01	PS-03-06-02	PS-03-06-03	PS-03-06-04	PS-03-06-05	PS-03-06-06
PS-03-06-07	PS-03-06-08				
<u>CS-02-03: 検査(計画、分析評価)</u>					
CS-02-03-01	CS-02-03-02	CS-02-03-03	CS-02-03-04	CS-02-03-05	CS-02-03-06
CS-02-03-07					
<u>CS-02-04: 治療(計画、経過の評価)</u>					
CS-02-04-15	CS-02-04-16				

CS-03-01: 検査手技

CS-03-01-01

CS-03-02: 治療手技

CS-03-02-01

テキスト等：

- ① 標準放射線医学 第7版
- ② プリント

教室： 臨床小講堂2 (6月13日は臨床大講堂、12月19日は2号館31番教場)

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	13	金	1300- 1415	放射線基礎医学：被曝と防護	渡邊	①P721-732、②
2	8	22	金	1550- 1705	腹部画像診断	江戸	①P327-470、②
3	10	10	金	1300- 1415	放射線治療	笠松	①P475-496、②
4	11	28	金	1300- 1415	胸部画像診断	杉浦	①P721-732、②
5	12	19	金	1425- 1540	Vascular IVR (治療法の種類と手技、症例)	濱本	①P694-718、②
6	12	19	金	1550- 1705	臨床推論 (NECS 形式)	須山 栗原	

第4学年	科目	麻酔学（臨床講義）	1時間	責任者	池田 健彦
------	----	-----------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 三條 芳光（招聘講師）

到達目標：

臨床麻酔実習に当たり、医療安全の観点に立ちモニターアラームの意義を考えるとともに、麻酔記録システムや薬力学の実践的知識に基づく麻酔シミュレータなど IT 応用システムの実態にふれ、安全かつ効率的に実習にあたる実践技術について学ぶ。また、麻酔記録システムが病院の医療経済にとって著しく重要な意義を持つことを理解する。

1. 知識： モニターで習得した知識を元に、臨床現場でのモニター利用に実用上必須となる知識を補足する。麻酔への IT 技術に関連し、麻酔記録システム・薬物動態シミュレーション技術の導入などの応用実態について学ぶ。各種循環モニターの仕組み、意味を述べる事ができる。IT システムとモニター操作の実例について、実践的な知識体系を体験する。
2. 技能： TCI ポンプ・BIS モニター・薬物動態シミュレータを応用し、適正麻酔を実施するための基礎知識を習得する。あわせて、速度定数、時定数、半減期などの薬物動態パラメータから相互変換計算を行い、グラフィメージで薬物動態を視覚的に把握する技能を習得する。
3. 態度： モニターと IT システムが薬力学の最新の知識体系と医療安全や医療経済にまで接続することを理解する。

評価法：

1. 知識： 卒業試験として筆記試験で評価する。
2. 技能： 麻酔記録システムと薬物動態シミュレーションに関する事例を体験し、小テストにより評価する。
3. 態度： 新しいテクノロジーに関する試問により評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

CS-02-04-30	安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法について概要を理解している。
CS-02-04-32	吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症について理解している。

テキスト等：

- ① 麻酔集中治療とモニタリング（克誠堂出版）
- ② 麻酔科の新しい流れ（先端医療研究所）
- ③ 臨床の疑問に答える 静脈麻酔 Q&A99（羊土社）

教室： 臨床小講堂 1

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	1	16	金	1550-1705	手術室 IT システム（モニター含む）	三條	①②③

第6学年	科目	救急医学（臨床講義）	18時間	責任者	清住 哲郎
------	----	------------	------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 清住 哲郎
 関根 康雅
 霧生 信明
 瀬野 宗一郎
 梶山 翼

到達目標： 緊急を要する疾患、外傷の病態、診断及び治療を症例から学ぶ。

1. 知識： 救急医療として対応が必要な疾病・外傷について、重症度、病態、診断、治療を説明できる。災害医療に必要な知識と対応を説明できる。
2. 態度： 課題の達成に真摯に取り組む。常に最新の医学知識の更新に取り組む。同僚からも学ぶ態度を保つ。自身ばかりでなく同僚の達成度を理解し、相互に補完しあう。教官、先輩、後輩と適切なコミュニケーションが取れる。

評価法：

1. 知識： 筆記試験で評価する。
2. 態度： 課題学習で評価する。相互型の授業により評価する。グループ学習で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

PS-03-05: 救急・集中治療					
PS-03-05-02	PS-03-05-03	PS-03-05-04	PS-03-05-05	PS-03-05-12	
CS-03-03: 救急・初期対応					
CS-03-03-01	CS-03-03-02	CS-03-03-03	CS-03-03-04	CS-03-03-05	

テキスト等：

- ① 標準救急医学 改訂第5版（医学書院）
- ② 救急診療指針 改訂第5版（へるす出版）
- ③ 外傷初期ガイドライン 改訂第6版（へるす出版）
- ④ 急性中毒標準診療ガイド（じほう）
- ⑤ JRC 蘇生ガイドライン 2020（医学書院）

教室： 臨床大講堂（6月6日、6月27日は臨床小講堂2、9月5日は臨床小講堂1）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	5	23	金	1300-1415	ショック、蘇生	清住	①②⑤
2	6	6	金	1425-1705	体幹外傷	霧生	③
3	6	27	金	1425-1540	脳神経救急	瀬野	①②③
4	7	18	金	1425-1705	整形外科外傷	関根	①②③
5	8	22	金	1425-1705	臨床推論（NECS形式）	清住 栗原	
6	8	29	金	1425-1705	内因性救急	梶山	①②③
7	9	5	金	1425-1705	外傷初期診療	清住	①②③

第5学年	科目	総合臨床医学（臨床講義）	2時間	責任者	廣岡 伸隆
------	----	--------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 廣岡 伸隆
大野 洋介
高崎 寛

到達目標：

これまで学んできた総合臨床医学を補完するために、専門性にかかわらない医療の特性、地域性の基本的知識を習得する。

1. 知識： 自衛隊医療の特性を説明できる。在宅医療の進め方を概説できる。
2. 態度： 自衛隊医療・地域医療という特性の理解に真摯に努める。部外から招聘する講師に敬意をもって接する。

評価法：

1. 知識： 客観試験で評価する（主に筆記試験）。
2. 態度： 講義中の質疑応答や、学習に対する態度等で評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>PR-01-01: 誠実さ</u>					
PR-01-01-01	PR-01-01-02				
<u>PR-01-02: 省察</u>					
PR-01-02-02					
<u>PR-02-01: 思いやり</u>					
PR-02-01-01	PR-02-01-02				
<u>GE-01-02: 生物・心理・社会的な問題への包括的な視点</u>					
GE-01-02-01	GE-01-02-02				
<u>GE-01-03: 患者中心の医療</u>					
GE-01-03-01	GE-01-03-02	GE-01-03-03			
<u>GE-02-01: プライマリ・ケアにおける基本概念</u>					
GE-02-01-01	GE-02-01-02				
<u>GE-02-02: 地域におけるプライマリ・ケア</u>					
GE-02-02-01	GE-02-02-02	GE-02-02-03	GE-02-02-04	GE-02-02-05	
<u>GE-02-04: 在宅におけるプライマリ・ケア</u>					
GE-02-04-01	GE-02-04-02				

テキスト等：

- ① ハンドアウト
- ② 当日配布するプリント
- ③ 防衛医学（防衛医学振興会）

教室： 臨床小講堂2（10月3日）、2号館31番教場（12月19日）

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	3	金	1550-1705	地域医療、在宅医療	(招)間嶋 廣岡	①②
2	12	19	金	1300-1415	自衛隊と総合臨床	廣岡	①②

注：(招)は招聘講師

第6学年	科目	形成外科（臨床講義）	1時間	責任者	東 隆一
------	----	------------	-----	-----	------

担当教官名と連絡先： 東 隆一
早坂 李枝（招聘講師）

到達目標： 医官に必要な形成外科の知識を獲得する。チーム医療の中で形成外科の果たす役割を理解する。

1. 知識： 形成外科で取り扱う疾患（先天性形態異常、顔面や手の外傷、皮膚軟部組織腫瘍、腫瘍切除後の組織欠損等の再建術）・診断とそれらに対する治療方法を理解する。
2. 態度： 最新の医学知識の吸収に意欲的である。医療者としての使命感を持つ。

評価法： 講義中の質疑応答などで評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

GE-01-01-01	臓器横断的に医学的課題を捉えることができる。
GE-01-01-02	適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。
LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
CS-02-04-20	外科的治療の適応と合併症について理解している。

テキスト等： ① 当日配布するプリント

教室： 臨床小講堂2

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	6	20	金	1300-1415	再建外科医療の実際と再建外科医としてのキャリアパスやライフワークバランスについて	東 早坂	①

第4学年 第5学年	科目	令和7年度 特別講義	2日間	代表教官	医学教育部長
--------------	----	------------	-----	------	--------

教室：臨床大講堂

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	2	6	金	1300- 1705	別示	退官予定者	
2	2	27	金	1300- 1705	別示	退官予定者	

第6学年	科目	卒業生のプロフェッショナリズム： 医師の誓いとバイオセキュリティ	6時間	責任者	黒川 貴幸
------	----	-------------------------------------	-----	-----	-------

担当教官名と連絡先： 黒川 貴幸
 小林 靖 (副校長)
 栗田 成雄 (副校長)
 川名 明彦
 石神 徳郎
 江頭 早織
 吉松 真也

到達目標：

卒業を間近に控えた時期を用いて医師の誓いを考察し、バイオセキュリティの観点から、防衛医科大学校の卒業生として相応しいプロフェッショナリズムを涵養する。

1. 知識： 医師の誓いを考察することにより、医師として持つべき心構えの基本を、バイオセキュリティに関連させて確認する。特に「技術化した科学」に広く観察される dual use 化の現象として、純粋な学術的生命科学研究でさえも生物兵器の強毒化に悪用されうる懸念が近年増大していることを理解する。また生物兵器禁止条約の構造的弱点、テロリズムの現状などを復習するとともに、米国科学アカデミーの報告書を元に、懸念される研究分野（所謂 Fink の7分類）を学ぶ。
2. 態度： 自らのプロフェッションの証として医師の誓いを卒業時に宣言することができる。

評価法： 取得すべき単位認定としての評価は行わない。

1. 知識： ディスカッションや発表等によるフィードバックを行う。
2. 態度： 同上

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応

PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する（利益相反等）。
PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
PR-02-01-01	患者を含めた他者に思いやりをもって接する。
PR-02-02-01	自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。
PR-02-02-02	他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものかを考え、意識して行動する。
PR-02-03-01	医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。
PR-02-03-02	礼儀正しく振る舞う。
PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
PR-04-01-03	診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べるができる。
GE-02-01-02	患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。
GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。
LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。

LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる
LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
LL-02-01-03	成人学習理論を活用し、後輩や同僚等に対して教育を実践できる。
RE-01-01-01	常識を疑う。
RE-01-01-02	何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
RE-01-02-01	最先端の研究に刺激を受ける。
RE-01-02-02	ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。
RE-02-01-01	医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
IT-01-01-01	情報・科学技術を医療に活用することの重要性と社会的意義を理解している。
IT-01-01-02	医療における情報・科学技術に関連する規制(法律、ガイドライン等)の概要を理解している。
S0-04-03-02	自然災害(新興感染症を含む)が起きた際に必要とされる医師の役割を理解している。
S0-04-05-01	医学・医療の歴史的変遷を踏まえ現代の医学的問題を相対化できる。

テキスト等：

- ① 当日配布するプリント
- ② その他

教室： 別示

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	医師国家試験 終了後 卒業までの間 (別示)				講義、ディスカッション、発表 (別示)	全員	①②
2							
3							
4							
5							
6							

第4学年	科目	研究室配属	193時間	責任者	角田 正史
------	----	-------	-------	-----	-------

担当教官名と連絡先： 角田 正史

到達目標：

各講座等で行っている研究に参加することにより基礎的研究能力を身につけるとともに、先端的研究等の要素に触れさせる。

1. 知識： 研究の実際に触れることで実証的な考え方を学び、研究知識を身につけるとともに大学独自、あるいは先端的研究の要素に触れさせる。
2. 技能： 研究の実際に触れることで基本的研究技法を身につける。
3. 態度： 研究に真摯に取り組む。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

<u>RE-01-01: 能動的姿勢</u>			
RE-01-01-01	RE-01-01-02		
<u>RE-01-02: 探究心</u>			
RE-01-02-01	RE-01-02-02		
<u>RE-02-01: 医学と医療</u>			
RE-02-01-01			
<u>RE-02-02: 論文読解</u>			
RE-02-02-01			
<u>RE-03-01: 問い</u>			
RE-03-01-01			
<u>RE-03-02: 研究計画</u>			
RE-03-02-01			
<u>RE-03-03: 研究手法</u>			
RE-03-03-01	RE-03-03-02	RE-03-03-03	
<u>RE-03-04: 研究結果</u>			
RE-03-04-01			
<u>RE-04-01: 研究発表</u>			
RE-04-01-01	RE-04-01-02	RE-04-01-03	
<u>RE-05-01: 適切な研究遂行</u>			
RE-05-01-01			
<u>RE-05-02: 対象者の保護</u>			
RE-05-02-01	RE-05-02-02		

(※各教官で異なる)

各講座の学生数、テーマ及び場所：

物理学（2名）金長先生

テーマ：「聴診器の仕組みを理解する」実験教材の開発に関する研究
場 所：別に示す。

化学（2名）武井先生

テーマ：1. 微細藻類から金属マイクロコイルをつくるーバイオテンプレート技術に挑戦ー
2. DNA および RNA の新たな検出法の開発
場 所：別に示す。

生物学（4名）野口先生

- テーマ：1. ショウジョウバエの分子遺伝学を用いた精子形成過程の解析
2. 電磁波照射のラット精子形成への影響

場 所：別に示す。

再生発生学講座（2名）伊藤先生

- テーマ：免疫組織化学染色と電子顕微鏡の手技を学ぶ。

場 所：別に示す。

解剖学講座（計4名まで）西井先生

- テーマ：1. 腸管神経叢の分布とその周辺構造に関する研究
2. 嗅覚に関与する組織の電子顕微鏡を用いた形態学的解析
3. レクチン発現マウスにおける神経回路の解析

場 所：別に示す。

分子生体制御学講座（3名）松尾先生

- テーマ：1. 膜輸送体病（特に尿酸関連疾患）の分子遺伝疫学研究
2. 疾患関連分子の機能解析研究

場 所：別に示す。

生理学講座（計6名まで）守本先生

- テーマ：1. 凝固障害の制御に関する研究（2名まで）
2. 天気痛の発症メカニズムに関する研究（2名まで）
3. 出生後好中球サージに関する研究（1名まで）
4. 先天性心疾患の発生メカニズムに関する研究（1名まで）

場 所：別に示す。

生化学講座（3名）佐藤先生

- テーマ：衝撃波管を用いた爆傷による脳損傷の病態メカニズム解析

場 所：別に示す。

薬理学講座（2名）石塚先生

- テーマ：1. 分子状水素投与がサルコペニア肥満モデルマウスに及ぼす作用の分子機序解明
2. AI技術を用いた脳学習機能の解析

場 所：別に示す。

病態病理学講座（2名）佐藤先生

- テーマ：1. 疾病の病理学的研究
2. 人工知能（HALO-AI）を用いた病理学的研究
3. 病理標本の顕微鏡学習
4. 病理画像、スライド示説による病理診断の学習
5. 病理解剖症例の診断と報告書作成

場 所：別に示す。

免疫・微生物学講座（3名）木下先生

- テーマ：Army Liposomal Formulation を用いた免疫賦活法に関する研究

場 所：別に示す。

衛生学公衆衛生学講座（2名）角田先生

- テーマ：1. 動物実験試料を用いた化学物質の毒性評価の解析
2. 化学物質リスク評価の実際：許容濃度を導いてみる
3. 血液製剤と輸血に関わる疫学研究

場 所：別に示す。

国際感染症講座（2名）三木田先生

- テーマ：1. ネズミマラリア感染動物モデルを用いたマラリア赤内型制御機構の解析
2. 寄生蠕虫の遺伝子診断法および分子疫学的解析
3. 等温遺伝子増幅法を用いた簡易感染症診断法の開発

場 所：別に示す。

法医学講座（2名）金武先生

テーマ：法医学実務とそれを取り巻く環境について

場 所：別に示す。

医用工学講座（3名）石原先生

- テーマ：1. 超音響顕微鏡の開発と応用に関する研究
2. 超音響技術による生体組織イメージング・データ解析に関する研究
3. 光技術を用いた生体材料（バイオマテリアル）の開発に関する研究

場 所：別に示す。

防衛医学講座（2名）黒川先生

- テーマ：1. 有事災害医療に関する研究
2. 洋上医療に関する研究
3. 防衛医学教育に関する研究
4. バーチャルリアリティー（VR）技術の活用研究

場 所：別に示す。

内科学講座

循環器内科（2名）足立先生

- テーマ：1. 心不全のコホート研究ならびに心筋症に関するイメージング研究
2. 血管内皮機能に関する研究

場 所：別に示す。

腎臓内分泌代謝内科（1名）大島先生

- テーマ：1. 透析用シャント発達におけるシャントボール運動の有効性
2. 熱中症予防と免疫機能

場 所：別に示す。

消化器内科（1名）穂苅先生

テーマ：昆虫食が消化管免疫に及ぼす影響に関する研究

場 所：別に示す。

感染症呼吸器内科（1名）君塚先生

テーマ：光を用いた気道上皮細胞の免疫応答修飾作用の研究

場 所：別に示す。

血液膠原病アレルギー内科（血液内科2名・膠原病内科1名）小林先生

- テーマ：1. 骨髄線維化における fibrocyte に関する研究
2. T細胞リンパ腫の治療成績と予後に関する研究
3. 血小板由来微小粒子による、関節リウマチ滑膜細胞の活性化に関する研究
4. 免疫抑制療法下でのサイトメガロウイルス（CMV）再活性化に対する先制治療に関する研究

場 所：別に示す。

神経抗加齢血管内科（1名）鈴木先生

テーマ：別に示す。

場 所：別に示す。

精神科学講座（2名）戸田先生

テーマ：モデル動物を用いた精神症状の病態生理の機序解明研究
場 所：別に示す。

小児科学講座（2名）今井先生

テーマ：1. 原発性免疫不全症の早期診断法・新規遺伝子同定・病態解析
2. 疾患 iPS 細胞を用いた病態解明に関する研究
3. 川崎病の層別化と免疫学的解析および誘因微生物の同定による病態解明
場 所：別に示す。

外科学講座

1 部門（3名）上野先生

テーマ：1. 消化器癌間質モジュレーターを標的とした治療法開発
2. がん微小環境（ニッチ）の研究
場 所：別に示す。

2 部門（1名）堤先生

テーマ：人工血小板を用いた開心術の安全性についての研究
場 所：別に示す。

3 部門（2名）岸先生

テーマ：BR・UR 膵癌の Conversion 手術後の臨床経過に関して
場 所：別に示す。

脳神経外科学講座（1名）和田先生

テーマ：【頭部外傷に対する高気圧酸素や水素ガスのプレコンディショニング効果の検証】に関する研究
場 所：別に示す。

整形外科科学講座（2名）堀内先生

テーマ：1. 術前フレイルと頸椎症性脊髄症術後の頸椎後弯変形の関連性に関する研究
2. 重心動揺性と下肢筋肉量の相関に関する研究
場 所：別に示す。

皮膚科学講座（1名）佐藤先生

テーマ：末梢感覚神経に着目した痒み、または皮膚アレルギー性炎症の機序に関する研究
場 所：別に示す。

泌尿器科学講座（2名）伊藤先生

テーマ：1. 泌尿器科がんに対する診断・治療法の開発に関する研究
2. 組織再生工学による尿道狭窄の新規治療法の開発
場 所：別に示す。

眼科学講座（2名）竹内先生

テーマ：1. 糖尿病網膜症における眼局所免疫異常のメカニズム解析
2. ドラッグリポジショニングによる非感染性ぶどう膜炎新規治療薬の開発
場 所：別に示す。

耳鼻咽喉科学講座（3名）荒木先生

テーマ：1. 頭頸部悪性腫瘍に対する新規治療法の研究
2. 末梢運動神経障害に対する新規治療法の研究
3. 聴覚障害に対する新規治療法の研究
場 所：別に示す。

産科婦人科学講座（4名）高野先生

- テーマ：1. 婦人科腫瘍学：婦人科がんにおける腫瘍免疫機構に関する研究
2. 婦人科腫瘍学：婦人科がんの化学療法抵抗性克服に関する研究
3. 周産期新生児学：前置胎盤等のハイリスク妊娠の病態解明に関する研究
4. 女性ヘルスケア：女性の月経随伴症を克服し能力発揮させるための支援法の開発
- 場 所：別に示す。

放射線医学講座（2名）野崎先生

- テーマ：1. 膀胱癌の上皮内癌の検出における MRI の有用性に関する研究
2. T2 強調像で atypical nodule の形態を示す前立腺移行域病変の検討
- 場 所：別に示す。

麻酔科学講座（1名）池田先生

- テーマ：痛みのメカニズムに関する研究
- 場 所：別に示す。

臨床検査医学講座・病院検査部・病院病理診断科（2名）松熊先生

- テーマ：1. 剖検例の症例検討（診断書作成）
2. 外科病理症例検討（消化器、骨軟部等）
3. 臨床検査に関する研究等
- 場 所：別に示す。

病院形成外科（3名）東先生

- テーマ：1. LiDAR を用いた下肢リンパ浮腫の周径計測の有用性の研究
2. 切断指の長期保管方法の開発
3. キャピラロスコープを用いた末梢血管攣縮に関する研究
- 場 所：別に示す。

病院歯科口腔外科（1名）横江先生

- テーマ：1. 口腔顎顔面領域への応用を目指した銀ナノ粒子を用いた医療材料の創製
2. 病院環境感染制御に関する基礎的研究
- 場 所：別に示す。

病院救急部（2名）清住先生

- テーマ：1. 爆傷・外傷研究
2. ショック・蘇生研究
3. バーチャルリアリティの活用、医学教育に関する研究
4. 救急医療システムに関する研究
- 場 所：別に示す。

病院リハビリテーション部（3名）尼子先生

- テーマ：3次元動作解析を駆使したスポーツを科学する運動生理学的研究
- 場 所：別に示す。

病院医療情報部（1名）脇坂先生

- テーマ：医療情報システム内の蓄積情報の解析
- 場 所：別に示す。

研究センター

外傷研究部門（2名）戸村先生

- テーマ：1. 頭部外傷・頭部爆傷の研究
2. 出血性ショックに関する研究
- 場 所：別に示す。

医療工学研究部門（1名）中村先生

テーマ：防衛医学に関連した医療工学研究
場 所：別に示す。

特殊環境衛生研究部門（1名）木村先生、白石先生

テーマ：特殊環境に関する研究
場 所：別に示す。

行動科学研究部門（1名）長峯先生

テーマ：自衛隊員のメンタルヘルスに関する疫学研究
場 所：別に示す。

生体情報・治療システム研究部門（2名）川内先生、角井先生

テーマ：1. 近赤外光照射（Photobiomodulation）による脳機能賦活化に関する研究
2. 衝撃波または衝突による脳損傷の外力と損傷機構-病態に関する研究
場 所：別に示す。

広域感染症疫学・制御研究部門（2名）加來先生

テーマ：1. 国内外の感染症情報収集と解析に関する研究
2. 新興感染症の動向とリスク評価に関する研究
3. 食品の安心安全の諸問題に関わる調査研究
4. ワンヘルスに関わる感染症の諸問題に関わる調査研究
5. 医療関連感染のリスク解析に関する研究
場 所：別に示す。

共同利用研究施設（1名）三浦先生

テーマ：1. 生体分子間相互作用の研究
2. タンパク質の構造と機能の予測のバイオインフォマティクス
3. 光学顕微鏡画像の高画質化
場 所：別に示す。

期間： 令和7年10月6日～令和7年11月12日

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	10	6	月	1-9	別示	各講座等 教官	別示
2	10	7	火	1-9	別示	各講座等 教官	別示
3	10	8	水	1-9	別示	各講座等 教官	別示
4	10	9	木	1-9	別示	各講座等 教官	別示
5	10	10	金	1-4	別示	各講座等 教官	別示
6	10	14	火	1-9	別示	各講座等 教官	別示
7	10	15	水	1-9	別示	各講座等 教官	別示
8	10	16	木	5-9	別示	各講座等 教官	別示
9	10	17	金	1-9	別示	各講座等 教官	別示

10	10	20	月	1-9	別示	各講座等 教官	別示
11	10	21	火	1-9	別示	各講座等 教官	別示
12	10	22	水	1-9	別示	各講座等 教官	別示
13	10	23	木	1-4	別示	各講座等 教官	別示
14	10	27	月	1-9	別示	各講座等 教官	別示
15	10	28	火	1-9	別示	各講座等 教官	別示
16	10	29	水	1-9	別示	各講座等 教官	別示
17	10	30	木	1-9	別示	各講座等 教官	別示
18	11	4	火	1-9	別示	各講座等 教官	別示
19	11	6	木	1-9	別示	各講座等 教官	別示
20	11	7	金	1-9	別示	各講座等 教官	別示
21	11	10	月	1-9	別示	各講座等 教官	別示
22	11	11	火	1-9	別示	各講座等 教官	別示
23	11	12	水	1-9	別示	教研センター	別示

第1学年	科目	多職種連携教育（IPE）	4時間	責任者	医学教育 研修センター長
------	----	--------------	-----	-----	-----------------

担当教官名と連絡先： 石塚 俊晶
佐藤 全伯
栗原 勲
早野 貴美子
中村 昌子
上野 美紀
小林 靖

到達目標：

医学科、看護学科及び明治薬科大学薬学科の学生が共通のプログラムで実習を行う。明治薬科大学と共同開発したオンデマンドビデオ教材を使用し、提示された医療事故の事例について対応策を提案する課題を実施することで、将来のチーム医療に必要な他職種への理解、コミュニケーション能力、倫理を尊重した思考力の基本を涵養する。オンラインで IPE café に参加し、他学科の学生や教官・教員と円滑なコミュニケーションをとるとともに、相互理解を深める。

1. 知識： 医師、看護師、薬剤師の職務と権限および職種の連携について説明できる。医療事故の発生原因を説明できる。
2. 技能： 提示された事例について検討し、問題点を指摘するとともに、多職種チームとしての対応策を提案できる。課題の実施に必要な情報を適切に収集できる。基本的な情報整理法を実施できる。説得力のある資料を作成できる。電子メールで適確にコミュニケーションをとることができる。
3. 態度： 他職種を理解しようとする姿勢がある。課題に真摯に取り組む姿勢がある。

評価法：

1. 知識： 学習課題の成果を医学科、看護学科、明治薬科大学薬学科の教官・教員評価者が評価し、個別にコメントによるフィードバックを行う。
2. 技能： 適切な情報収集と基本的な情報整理法の実施、資料の作成能力及びメールでのコミュニケーション能力を評価者が評価する。
3. 態度： IPE café への参加態度、課題に真摯に取り組む姿勢を評価者が評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

IT-02-01-02	情報・科学技術を用いて収集した情報及びデータを基に問題解決を図る。
IT-03-01-02	遠隔コミュニケーションの在り方を理解し、その目的に応じて適切なツール(電子メール、テレビ会議システム、SNS等)を選択し利用できる。
IP-01-02-01	多職種及び他の医療系学部の学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。
IP-02-01-01	自らの知識や価値観を多職種及び他の医療系学部の学生に伝えることができる。
IP-02-02-01	多職種及び他の医療系学部の学生と共に学び、成長できる。
IP-02-03-01	医師の役割を多職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。
IP-02-03-02	自らの価値観や言動について、多職種及び他の医療系学部の学生との関係性の中で、相対化できる。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。

テキスト等： 別示

教室： 別示

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	8	22	金	1-4/ 5-8	別示	別示	

第5学年	科目	多職種連携教育 (IPE)	4時間	責任者	医学教育 研修センター長
------	----	---------------	-----	-----	-----------------

担当教官名と連絡先： 石塚 俊晶
佐藤 全伯
栗原 勲
早野 貴美子
中村 昌子
三上 由美子
小林 靖

到達目標：

医学科、看護学科及び明治薬科大学薬学科の学生が共通のプログラムで実習を行う。各学科の学生からなるオンライングループで、事前作成したスライドを用いて医療事故事例のプレゼンテーションと質疑応答を行うのみならず、医療事故防止策を提案するグループワークを実施することで、将来のチーム医療に必要な他職種への理解、コミュニケーション能力、倫理を尊重した思考力の基本を涵養する。さらに、電子メールによるコミュニケーションやオンライン会議システムの使用を通じて ICT 化社会における実務遂行能力を養う。

1. 知識： 医療事故の発生原因と予防策について説明できる。医療事故防止における多職種連携の重要性を説明できる。
2. 技能： 適切な情報収集と発表資料作成ができる。オンラインで説得力のあるプレゼンテーションが実施できる。自分の意見を伝えるとともに、他者の意見を踏まえて効果的な討論ができる。オンラインで医療事故防止策を多職種チームとして提案できる。
3. 態度： 他学科学生に対する敬意と理解を持ち、チームとして行動する姿勢がある。課題に真摯に取り組む姿勢がある。

評価法：

1. 知識： 事前学習課題の成果を医学科、看護学科、明治薬科大学薬学科の教官・教員ファシリテータが評価する。
2. 技能： プレゼンテーションの作成・発表能力、グループ討論の際の論旨の妥当性及び電子メールでのコミュニケーション能力をファシリテータが評価する。
3. 態度： 参加態度、課題に真摯に取り組む姿勢をファシリテータが評価する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応：

IT-02-01-02	情報・科学技術を用いて収集した情報及びデータを基に問題解決を図る。
IT-03-01-02	遠隔コミュニケーションの在り方を理解し、その目的に応じて適切なツール(電子メール、テレビ会議システム、SNS等)を選択し利用できる。
IP-01-02-01	多職種及び他の医療系学部の学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。
IP-02-01-01	自らの知識や価値観を多職種及び他の医療系学部の学生に伝えることができる。
IP-02-01-02	多職種及び他の医療系学部の学生の中で自らの役割を果たすことができる。
IP-02-02-01	多職種及び他の医療系学部の学生と共に学び、成長できる。
IP-02-03-01	医師の役割を多職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。
IP-02-03-02	自らの価値観や言動について、多職種及び他の医療系学部の学生との関係性の中で、相対化できる。
IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。

テキスト等： 別示

教室： 別示

No.	月	日	曜	時限	授業項目	担当者	テキスト等
1	2	13	金	1-4/ 5-8	別示	別示	

